2012年度
授業要覧

経済学部
履修ガイド

青山学院大学

教育方針・理念

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人とに仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力を持つ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

総目次

Ⅰ．キリスト教教育について…… 2

Ⅱ．大学での学習活動について…… 3

1　大学での学習とは（カリキュラム／履修）

2　単位（単位制／単位とは／単位数／既修得単位の認定／協定校・認定校留学による単位認定）

3　授業科目の種類と配置（授業科目の種類／履修年次／履修順序）

Ⅲ．履修について…… 6

1　履修計画（履修計画の立案／履修計画上の注意）

2　履修登録（履修登録の方法／履修登録の確認と修正／履修登録について／履修取消制度について／履修取消申請方法）

Ⅳ．学部履修要項（入学年度，学科別）…… 11

（卒業要件・進級条件／青山スタンダード／第一外国語／専門科目・演習／税理士特別講座）

Ⅴ．授業について…… 202

1　授業（授業時間／授業教室／休講／補講／授業の欠席について）

2　大学からの伝達

3　緊急時の「授業の取り扱い」および「伝達手段」について

Ⅵ．試験・レポートについて…… 205

1　試験の種別（定期試験／平常試験／レポート／追試験）

2　定期試験の受験（定期試験時間／受験上の注意／不正行為）

3　追試験（申請資格／申請方法／追試験時間・採点）

Ⅶ．成績評価について（成績評価／G.P.A.／成績通知／成績調査）…… 209

Ⅷ．進級および卒業について（進級／卒業／９月卒業／卒業延期制度）…… 211

Ⅸ．学籍について…… 212

（修業年限／在学年限／休学／復学／退学／再入学／二重学籍／除籍／転部・転学部・転学科）

Ⅹ．教職課程（教員免許状・各種資格）について…… 214

Ⅺ．大学院について…… 233

巻末　学務担当窓口について

Ⅰ．キリスト教教育について

本学のキリスト教教育

キリスト教の精神のもとに建てられている青山学院は、その「教育方針」にも明記されているように「キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、神の前に真実に生き　真理を謙虚に追求し　愛と奉仕の精神をもって　すべての人と社会とに対する責任を　進んで果たす人間の形成を目的とする」特別な学校です。したがって、その中に設置された青山学院大学においても、キリスト教教育を非常に重視しています。

本学における教育の特徴が他の国公立や私立の大学と異なる最もユニークな点は、このキリスト教による教育方針にあるといえます。

この教育方針をまっとうするために、本学には次の３つの基本的プログラムがあります。

⑴　大学礼拝　　⑵　キリスト教概論　　⑶　宗教センター活動

⑴　大学礼拝

大学では、キリスト教教育の中心に礼拝を位置づけており、時間を定めて礼拝を行っています（礼拝時間：青山･月～金 10時30分～11時 および 火 19時30分～20時、相模原・月～土 10時30分～11時）。大学礼拝は、キリスト教の信仰を土台とする学院の精神を最も具体的に示す場であるとともに、みなさんにキリスト教による人格教育を行う教育の場でもあります。また大学礼拝は教会における礼拝とは異なり、キリスト教信者だけの礼拝ではありません。礼拝出席は自由ですが、青山学院大学の独特な“スピリット”は礼拝においてよく表わされているので、大学礼拝を体験することなしに本学の教育を受けたとは言えないのです。

⑵　キリスト教概論

大学の必修科目の一つとして、「キリスト教概論」があります。この講義は、本学建学の精神であるキリスト教の信仰の内容を学問的に研究し、聖書を通してキリスト教の教義、歴史、神学、実践などの問題を理解するとともに、キリスト教の意義を学ぶことを目的としています。大学礼拝とキリスト教概論とは密接な関係があり、そのため礼拝レポートがキリスト教概論の中に取り入れられています。その他数多くのキリスト教関連科目が青山スタンダード（テーマ別科目）、ソーパー・プログラム科目、各学科科目のなかに配置され、みなさんの知的好奇心にチャレンジしています。

⑶　宗教センター活動

青山学院は、プロテスタント･キリスト教信仰の上に創立された学園であり、宗教センターは、特に、メソジスト教会の創始者、ジョンおよびチャールズ･ウェスレー兄弟の信仰的伝統を重んじ、キリスト教活動を行っています。青山キャンパスは間島記念館１階に、相模原キャンパスはＣ棟（チャペル）１階にそれぞれ宗教センターがあり、学生キリスト教活動の中心になっています。

各宗教センターでは、みなさんのために「聖書に親しむ会」、「キリスト教文化に親しむ会」、青山キリスト教学生会（A.C.F.）、聖歌隊、ハンドベル・クワイア、ゴスペル・クワイアまた、キリスト教図書の閲覧、講演会・コンサートの開催、研修旅行の実施などの活動が行われており、学生生活に色彩とバランスをあたえるために重要な役割を果たしています。さらに、各宗教センターには専任の宗教主任がおり、事務職員と協力して毎日みなさんのために宗教上の指導、アドバイス、教会紹介、カウンセリングなどの責任を負っています。この宗教センター活動は他大学とは異なる本学独特のシステムであり、みなさんの利用を待っています。

Ⅱ．大学での学習活動について

1．大学での学習とは

カリキュラム

大学の授業科目、単位数、履修年次（どの学年で履修するか）を体系的に編成したものを「カリキュラム（教育課程）」といいます。所属する学部・学科のカリキュラムにそって学習を進め、最終的に、定められたカリキュラムの授業内容を修得することが、大学での学習の目的です。

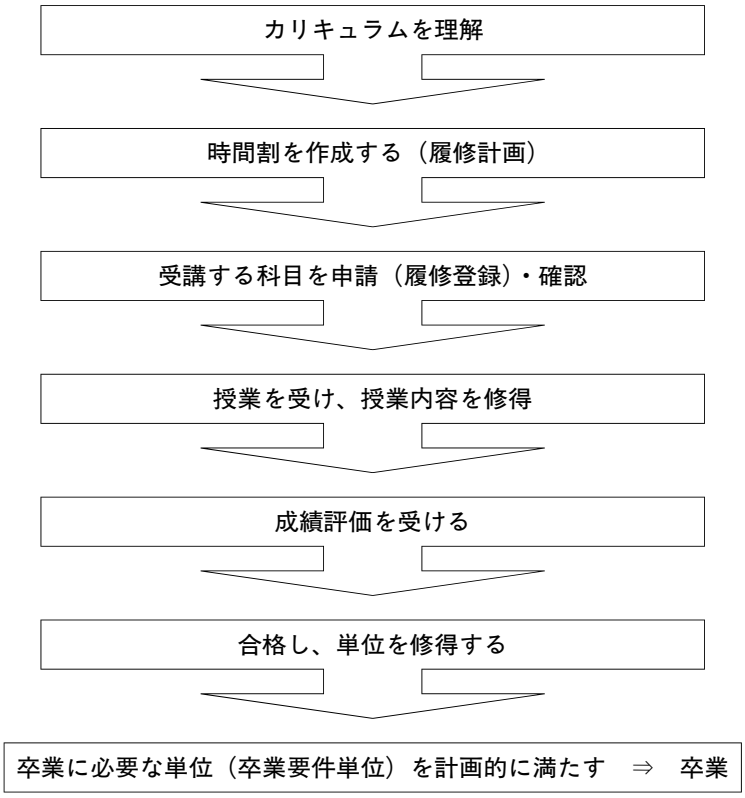
カリキュラムは入学年度別に定められており、卒業まで変更はありません。

各学部・学科のカリキュラムについては、「Ⅳ．学部履修要項」を参照してください。

履　修

各学部・学科のカリキュラムにそって配置された授業科目の受講を大学に申請することを「履修登録」、授業を受け、試験に合格して単位を得ることを「単位を修得する」といいます。この「履修登録」から「単位修得」までの一連の流れを「履修」といいます。

図式化すると以下のようになります。



大学では、カリキュラムで定められた範囲で履修する科目を選択することができますが、卒業に至るまでの過程は自己責任であるということを常に念頭に置いてください。

2．単　位

単位制

単位制とは、卒業するために、在学年限内に所定の単位を修得しなければならない制度です。これは極めて厳格なもので、たとえ１単位であっても不足すると卒業できません。卒業に必要な単位数は、学部･学科ごとに定められています。詳しくは、「Ⅳ．学部履修要項」の「卒業要件」を参照してください。

単位とは

単位とは、学習の成果を量的に表したものです。授業科目を履修し、出席回数、平常試験・定期試験またはレポート、その他担当教員が必要と認める学習作業の結果などによって、その授業科目に合格したと担当教員が判断したとき、所定の単位が与えられます。

単位数

単位数は、それぞれの授業科目ごとに定められており、授業形態によって算定方法が異なります。

大学設置基準による規定	１単位の標準＝“45時間の学修が必要な内容”

本学での単位算定方法

講義・演習の科目では…	１単位＝授業15～30時間分
実験・実習・実技（スポーツなど）の科目・集中科目では…	１単位＝授業30～45時間分

15時間の講義科目（１単位）を例に取ると、“45時間の学修を必要とする内容”で１単位、と規定されており、授業時間外に30時間の自習が前提となっています。

なお、ここでいう“１時間”とは、授業時間45分を表します。本学での１時限の授業は90分で行われているので、単位計算上は、１時限＝“２時間分の授業”となります。

半期の講義科目では、

15週×２時間＝30時間分＝２単位

となります。

実際の単位数

半期科目 （前期のみ、または後期のみの科目）	15週で完結 ・講義科目なら２単位 ・演習科目なら２単位または１単位 ・実験・実習・実技科目なら１単位
通年科目 （一年を通して行われる科目）	30週で完結 ・講義科目なら４単位 ・演習科目なら４単位または２単位 ・実験・実習・実技科目なら２単位

既修得単位の認定

新たに入学した１年生で、本学入学以前に他大学･短期大学ですでに修得した単位があり、修得済み単位として認定を受けたい学生は、指定された期間（**入学式翌日～前期授業開始日**）に書類を相模原キャンパス学務グループに提出し申請してください。**60単位を超えない範囲**で各学部･学科の基準に従って単位が認定されます（大学学則第42条参照）。この申請は、入学した年度に限って可能であり、次年度以降に申請することはできません。

編入・転部または転学部・転学科した学生の場合は、それまで修得した単位のうち、各学部・学科が適当と認める科目の単位が認定されますので、指定された期間（入学手続時配付書類に記載）に書類を青山キャンパス学務部教務課に提出し申請してください。

協定校･認定校留学による単位認定

協定校留学・認定校留学の制度によって留学した場合は、帰国後所定の手続きをふむことにより、留学先で修得した単位が60単位を超えない範囲で各学部・学科の基準に従って認定されます。ただし、教職課程における必修科目および選択必修科目は、認定の対象外となり

ます。

3．授業科目の種類と配置

授業科目の種類

各授業科目は、卒業要件として必ず履修・修得しなければならないか否かによって、以下の３つに区分されます。

授業科目の種類

必修科目	必ず履修し、単位を修得しなければならない科目
選択必修科目	指定されたいくつかの科目の中から選択履修し、各学部・学科所定の単位数を必ず修得しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修し、必要単位数を修得する科目

上記の内容でわかるとおり、履修の際には、「必修科目」を優先して卒業要件単位を満たしてゆく必要があります。

また、授業の開講期間によって、１年を通じて実施する「通年科目」、前期あるいは後期で完結する「半期科目」、夏期･冬期休業期間などを利用して実施する「集中講義科目」に分かれます。

履修年次

「履修年次」とは、それぞれの授業科目を**履修するのが望ましい学年**のことです。履修年次は、４年間の学習を系統的に行えるよう、カリキュラムに基づいて定められています。

履修年次は「Ⅳ．学部履修要項」部分の科目配置表に記載されていますので、それに従って科目を履修してください。

原則として、**現在の学年より上級の年次に配置されている授業科目を履修することはできません**が、現在の学年より下級の年次に配置されている授業科目であれば履修することができます。ただし、例外もありますので、「Ⅳ．学部履修要項」で確認してください。

履修順序

各学部・学科には、段階的に学習を進めるために「履修順序」が設けられた授業科目があります。これは、**ある授業科目の単位を修得しなければ、その上級科目として設けられている授業科目を履修することができない**、というものです。

上級に設けられた授業科目は、初級の授業科目の内容をすでに修得していることを前提とし、その次の段階から授業を始めます。したがって、初級の授業科目と上級の授業科目を同時に履修することはできません。ただし、４年次留年生は、学部・学科によっては履修順序に関係なく履修できる場合もあります。

各学部･学科の履修順序については、「Ⅳ．学部履修要項」に記載されています。ただし『講義内容』に記載されている場合もありますので注意してください。

Ⅲ．履修について

1．履修計画

履修計画の立案

大学においては、各学生がカリキュラムにそって履修計画を立て、受講したい科目を選択します。

授業科目には、あらかじめ登録されている「事前登録科目」（必修科目等）があり、学生はそれ以外の時限について履修計画を立てることになります。

履修計画を立てるに当たっては、カリキュラムについてよく理解し、所属学部・学科で定められた必修科目の修得と、進級や卒業に必要な履修規定上の必要条件（進級条件・卒業要件）を満たすことを優先させます。

第一部では、1年間で履修申請できる単位数が決められています。下記の(1)～(4)にそって、履修計画を立ててください。

(1) 年度初めのオリエンテーション期間中に行われる所属学部・学科のガイダンスに出席する。

ガイダンスでは、履修上の注意や授業科目の説明が行われますので、必ず出席して最新の情報を得てください。

(2) カリキュラムの内容、特徴、意義について知る。

「Ⅳ．学部履修要項」の卒業要件単位表･科目配置表で、各授業科目がどのような分野に属しているかを確認してください。履修順序についても、ここで確認してください。

(3) 各授業科目の講義内容を知る。

Web 版『講義内容』（「学生ポータル」の「講義内容検索」よりアクセス可能）には、各授業の詳しい授業計画などが記載されています。履修しようと思う科目の内容をよく確認してください。具体的な授業内容を知りたい場合は、履修登録期間中に受講してみる、受講時に担当者に確認するなどの方法でも講義内容を確認できます。（履修登録期間終了後は、履修登録をしていない科目を受講することはできません。）

「Ⅳ．学部履修要項」の「履修年次」は履修が望ましい年次を表しています。また、『講義内容』の「履修年次」は履修可能な年次を表示しています。履修順序などで履修が制限されることがありますので、「Ⅳ．学部履修要項」で必ず確認し、なるべく望ましい年次での履修を心がけてください。

(4) 卒業に必要な科目と単位数、資格に必要な科目と単位数を知る。

卒業要件単位とは、卒業に必要な最低限の単位です。教員免許状および各種資格を取得するためには、これに加えてそれぞれに必要な所定の単位を修得しなければなりません。「Ⅳ．学部履修要項」、「Ⅹ．教職課程（教員免許状･各種資格）について」および冊子『教職課程履修の手引』を参照し、各自の目標に合った計画を立ててください。

履修計画上の注意

履修計画に際しては、以下のことに注意してください。

(1) 同一時限に、2科目以上の授業科目を重複して履修登録することはできません。（特に許可された科目を除きます。）

(2) 第一部では各学部・学科で1年間の履修登録単位数の限度（最高履修制限単位）が定められており、その単位数を超えて履修することはできません。

教職課程関連科目および教職課程科目については「Ⅳ．学部履修要項」および冊子『教職課程履修の手引』を参照してください。

(3) 既に単位を修得した科目を、再度履修登録することはできません。（特に許可された科目を除きます。）

(4) 他キャンパスの授業科目を履修する場合、90分間の移動時間が必要です。この移動時間の間に実施されている授業科目の履修はできません。

(5) 他学部科目の履修を希望する場合、「Ⅳ．学部履修要項」の「他学部科目一覧表」を参照してください。
(6) 第一部の学生が第二部開講科目を履修することはできません。また、第二部の学生が第一部開講科目を履修することはできません。
(7) 履修登録締め切り後、登録に不備や間違いがあったときは、当該科目の登録が無効となります。
(8) 受講者数が著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果などを考慮して、クラスの分割・抽選などの措置を取ることがあります。

2．履修登録

履修登録の方法

「履修登録」は、年度初頭に、その年度に履修を希望する授業科目を大学に登録する、大変重要な手続きです。（集中講義科目、後期に開講される科目も年度初頭に履修登録を行います。）

本学の履修登録は、基本的には Web 上のシステム「Web 履修登録システム」（パソコンまたは学内情報端末を使用）で行います。詳細については、冊子『履修登録システム利用案内』を参照してください。

履修登録方法は次のとおりです。それぞれについてよく読み、理解しておいてください。

【登録番号と履修登録方法】

『授業時間割表』の登録番号表示	履修登録方法
数字 5 桁で表示されている	Web 履修登録システムを利用して、自分で登録できます。履修登録期間内であれば、自分で削除することもできます。
＋＋＋＋＋	Web で抽選または選考を行う科目です。Web 履修登録システムの「制限科目申請」から応募してください。抽選・選考の結果、履修登録された科目は、削除することはできません。曜日時限等に間違いのないよう、注意して応募してください。また、受付期間が科目によって異なりますので、注意してください。 注）青山スタンダード教養コア科目（人間理解関連科目、社会理解関連科目、自然理解関連科目、歴史理解関連科目）は、学生ポータルの登録・申請メニューにある「青山スタンダード教養コア科目応募登録」から応募してください。
＊＊＊＊＊	Web 以外で抽選または選考を行う科目です。所定の日時・場所（オリエンテーション期間中や初回授業等）で申請してください。申請方法については、『学年初頭行事』や『講義内容』、学部・学科等の指示に従ってください。抽選・選考の結果、履修登録された科目は、削除することはできません。
＃＃＃＃＃	事前に登録済または履修登録期間中に大学側で登録を行う科目です。自分で履修登録する必要はありません。
－－－－－	受講が許可された学生のみ登録できます。学部学科等の指示に従ってください。

【ペア科目】

ペア科目とは、同一授業科目で、週 2 回以上授業を行う科目です。『授業時間割表』には「ペア」と記載されています。『授業時間割表』に記載されている登録番号で登録してください。対応するほかの曜日・時限も自動的に登録されます。

【「健康・スポーツ演習」・「スポーツ運動実習」】

『学年初頭行事』を参照のうえ、これらの科目に関するガイダンスに出席してください。

履修登録の確認と修正

履修登録の手続きは重要なものであり、一科目でも登録もれや登録間違いがあってはなりません。『履修登録システム利用案内』をよく読み、各自の責任において、履修登録期間内に履修登録を完了してください。

履修が確定したら、**各自履修登録リストを印刷し、誤りがないか必ず確認してください。印刷した履修登録リストは、年度末まで保管してください。**確認を怠ったために生じた問題について、大学側は一切責任を負いません。

履修登録を行ったつもりで登録されていなかった科目や、誤って登録してしまった科目については、間違えたまま授業に出席し試験を受けても単位を修得することができないばかりでなく、登録していない科目の試験を受けることは不正行為とみなされ、処分の対象となります（『試験における不正行為者処分規則施行細則』第 2 条参照）ので注意してください。

期日までに履修登録をしない場合は、修学の意志がないものとして、大学学則第34条に基づき除籍処分となります。

なお、履修登録の期間は年度初頭のみに限られていますが、後期に履修変更期間を設けています。前期科目の成績を確認したうえで再度履修を見直し、必要がある場合は Web 履修登録システムを使用して、各自で履修の変更を行ってください。

履修登録、後期履修変更に関する詳細は、次項「履修登録について」を参照してください。

履修登録について

１．履修登録

履修登録は、必ず所定の期間内に行ってください。履修登録期間は「学生ポータル」で確認してください。

制限科目の応募締切日時は、個々の科目により異なりますので、注意してください。

後期開講の制限科目も年度初頭に応募・登録を行います。登録した履修内容は必ず「学生ポータル」で確認してください。

履修登録・修正時の注意点（後期履修変更時も同様）

履修登録最終日は、アクセスが多く、登録に時間がかかります。「混みあってアクセスできなかった」という理由は認められませんので、余裕をもって履修登録が完了するようにしてください。

エラーが表示されたら、適切に対処してください。自分で解決できない場合は、各キャンパス窓口で相談してください。

登録や修正を行った後は、必ず「履修登録画面」で履修登録リストを印刷して確認してください。

２．後期履修変更

後期に履修変更期間を設けます。前期科目の成績を確認したうえで再度履修を見直し、必要がある場合は Web 履修登録システムを使用して各自で履修の変更を行ってください。履修変更期間以降の修正は、一切認めません。後期履修変更期間は、「学生ポータル」で確認してください。

後期の履修変更に際しては、次の５点に注意してください。

⑴　履修制限単位内で、後期科目のみの修正を行うことができます。

⑵　受講者を制限する科目（抽選・制限カード・受講許可等）に関わる変更はできません。

⑶　通年科目を削除しなければならない変更はできません。

⑷　前期に修得できなかった科目と同一名称科目の再履修はできません。

⑸　⑵～⑷の制限にかかわらず、学部学科等から特に指定があった場合は、それに従ってください。

後期履修変更を行った学生は、前期の履修登録と同様、変更の操作を行ったあと、履修変更期間内に履修登録リストを印刷し、修正に誤りがないか各自で確認してください。確認を怠ったために生じた問題について、大学側は一切責任を負いません。

後期履修変更期間中に追加できる単位数は次のとおりです。（第一部学生のみ）

後期履修変更期間に追加できる単位数（後期科目のみ）＝ 当該年度の最高履修制限単位 － ［前期修得単位数 ＋ 前期に修得できなかった単位数 ＋ 履修取消科目の単位数 ＋ 通年科目の単位数］

履修取消制度について

授業の内容が勉強したいものと異なっていた場合、履修登録（または後期履修変更）期間終了後の一定期間内であれば履修を取りやめることができます。
詳細は以下のとおりです。

1）対象者：全学部生
2）対象科目：下記①、②を除く全科目
　① 事前登録科目（履修登録期間中に大学側が登録する科目を含む）
　② 制限科目
※ この他に学部・学科で対象外としている科目がある場合は「Ⅳ．学部履修要項」に記載されていますので、参照してください。
3）履修取消科目の扱い：本制度を利用して取り消した前期科目と同一名称の科目を後期に履修することはできません。
4）履修取消科目の単位の扱い：本制度を利用して取り消した科目の単位数は、当該年度の申請単位数に含まれます。
5）履修取消科目の成績評価の表示：
　① 成績通知書：「W」
　② 成績証明書：記載しない。

履修取消申請方法

履修取消の申請は、所定の期間内に所属キャンパスの学務窓口でのみ受け付けます。申請の取り下げは一切認められません。履修取消申請受付期間は、「学生ポータル」で確認してください。

Ⅳ．経済学部履修要項

経済学科

Ａ．2011年度以降入学者

【１】経済学科履修について……13
【２】青山スタンダード科目履修方法および配置表……15
【３】第一外国語科目について……33
【４】専門科目履修方法および配置表……35

Ｂ．2009・2010年度入学者

【１】経済学科履修について……41
【２】青山スタンダード科目履修方法および配置表……43
【３】第一外国語科目について……52
【４】専門科目履修方法および配置表……54

Ｃ．2008年度入学者

【１】経済学科履修について……59
【２】青山スタンダード科目履修方法および配置表……61
【３】第一外国語科目について……70
【４】専門科目履修方法および配置表……72

Ｄ．2006・2007年度入学者

【１】経済学科履修について……77
【２】青山スタンダード科目履修方法および配置表……79
【３】第一外国語科目について……88
【４】専門科目履修方法および配置表……90

Ｅ．2004・2005年度入学者

【１】経済学科履修について……95
【２】青山スタンダード科目履修方法および配置表……97
【３】第一外国語科目について ……106
【４】専門科目履修方法および配置表 ……108

現代経済デザイン学科

Ａ．2012年度入学者

【１】現代経済デザイン学科履修について ……113
【２】青山スタンダード科目履修方法および配置表 ……115
【３】第一外国語科目について ……124
【４】専門科目履修方法および配置表 ……126

Ｂ．2011年度入学者

【１】現代経済デザイン学科履修について ……132
【２】青山スタンダード科目履修方法および配置表 ……134
【３】第一外国語科目について ……143
【４】専門科目履修方法および配置表 ……145

Ｃ．2009・2010年度入学者

【１】現代経済デザイン学科履修について ……150
【２】青山スタンダード科目履修方法および配置表 ……152
【３】第一外国語科目について ……161
【４】専門科目履修方法および配置表 ……163

Ｄ．2008年度入学者

【１】現代経済デザイン学科履修について ……168
【２】青山スタンダード科目履修方法および配置表 ……170
【３】第一外国語科目について ……179
【４】専門科目履修方法および配置表 ……181

他学部科目一覧表 ……186

A．経済学科履修要項（2011年度以降入学者）

【1】 経済学科履修について

経済学科の基本理念

経済学を理論、政策、歴史の３方向から総合的に学び、現実の経済問題を自ら分析できる力を養い、弾力的な思考と行動力を持った自由で独立した学生を育てる。

１．卒業要件

⑴ 卒業に必要な単位数について

卒業資格を得るためには、下表に示す区分にしたがってその単位を修得しなければなりません。ここに示す単位数は科目の種別ごとに要求される最低の単位数です。これが１単位でも不足すると卒業は認められません。

134単位は卒業に必要な最低単位数なので、意欲のある学生はこの単位を超えて単位を修得できます。

⑵ 学位について

経済学科に４年以上（ただし８年を限度とします）在学し、卒業に必要な**134**単位以上を修得した者には、学位記を与え「学士（経済学）」の学位を授与します。

卒業要件単位表

<table>
<tr><th colspan="2">科　目　の　種　類</th><th>必選の別</th><th colspan="2">必要単位</th></tr>
<tr><td colspan="2">青山スタンダード科目</td><td>必　修
選択必修</td><td colspan="2">26</td></tr>
<tr><td>外　国　語　科　目</td><td>第一外国語科目</td><td>必　修</td><td colspan="2">12</td></tr>
<tr><td rowspan="5">専　門　科　目</td><td>Ａ群（入門科目）</td><td>選　択</td><td rowspan="3">24</td><td rowspan="5">80</td></tr>
<tr><td>Ｂ群（基礎科目）</td><td>選択必修</td></tr>
<tr><td>Ｃ１群（専攻科目）</td><td>選　択</td></tr>
<tr><td>Ｃ２群（専攻科目）</td><td>選　択</td><td rowspan="2">56</td></tr>
<tr><td>Ｄ群（関連科目）
（20単位まで専門に算入）</td><td>選　択</td></tr>
<tr><td>自　由　選　択　科　目</td><td>青山スタンダード26単位を超えた単位
経済学部開講の外国語選択科目
専門80単位を超えた単位
他学部開講の専門科目</td><td>選　択</td><td colspan="2">16</td></tr>
<tr><td colspan="3">総　　計</td><td colspan="2">134</td></tr>
</table>

※　Ａ・Ｂ・Ｃ１群で24単位を超えた単位は、Ｃ２群に加算されます。
※　Ｃ２群・Ｄ群で56単位を超えた単位は、自由選択科目に加算されます。

2．最高履修制限単位

最高履修制限単位は次のとおりです。各年次生は、この表に示す単位数を超えて履修することはできません。なお、各年次においては、１科目以上の履修をしなければなりません。

学　　年	１年次	２年次	３年次	４年次	合　計
最高履修制限単位	44	44	46	50	184

（注意）　教育職員免許状および各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目および教職課程関連科目の単位は、最高履修制限単位に含まれません。

3．進級条件

２年次終了時までに、卒業要件単位50単位以上を修得しなければ３年次に進級できません。

なお、教育職員免許状および各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目の単位は、卒業要件単位に算入されません。

4．修得単位僅少者について

入学後休学期間を除いて２年間で修得単位が32単位に満たない学生は、大学学則第34条に基づき成業の見込のない者として除籍されることがありますので注意してください。

5．編入学者

編入学者については、入学時の学年の履修条件が適用されます。履修方法等通常の入学者とは異なりますので特に注意してください。なお、編入学者の場合、編入をした年度に限り履修順序は適用しません。編入後、２年間に限り最高履修制限単位を８単位超えて履修できます。

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2012年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養を備えているという社会的評価をうけることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

科目の種類				必選の別	必要単位
青山スタンダード科目	1）教養コア	キリスト教理解関連科目		必修	2
	2）技能コア	言葉の技能	英語	※1	
			第二外国語 ※2　※3	必修	4
		身体の技能		必修※4	2
		情報の技能		必修	2
	3）テーマ別	キリスト教理解関連科目		必修	2
	4）教養コア	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記４領域のうち２領域から「教養コア科目」を選択	選択必修	4
	5）領域指定	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記領域より４）で選択しなかった２領域から各１科目（２単位）ずつ選択。（「教養コア科目」あるいは「テーマ別科目」いずれも可）	選択必修	4
	フレッシャーズ・セミナー、ウェルカム・レクチャー、キャリアデザイン・セミナー、教養コア科目、技能コア科目、テーマ別科目から選択。（１）～５）で修得した科目は除く）			選択	6

※１　言葉の技能･英語は、所属する学部（学科）が開講する科目を履修します。詳しくは、所属する学部（学科）の外国語科目履修方法および配置表に関するページを参照してください。（英語スキルⅠ－１、Ⅰ－２を除く）

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

・「（第二外国語）Ⅰ(A)」「（第二外国語）Ⅰ(B)」について、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます（日本語は除く）。

・「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ･（第二外国語）」あるいは「（第二外国語）Ⅱ」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「インテンシブ･（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

※４　教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修です。

○　必要単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　**受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。**

３．授業科目配置表

（太字は必修科目）

		授業科目	単位	配置年次	備考
		フレッシャーズ・セミナー	2	1	1年生のみ
		ウェルカム・レクチャー	2	1	1年生のみ
		キャリアデザイン・セミナー	2	1	1年生のみ
教養コア科目		（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	
		（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題(総合科目) 現代社会の諸問題(個別科目)	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（自然理解関連科目） 科学･技術の視点（総合科目） 科学･技術の視点（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	英語	英語スキルⅠ－1	1	1	2007年度以降入学者１年生のみ
		英語	英語スキルⅠ－2	1	1	2007年度以降入学者１年生のみ
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
			（第二外国語）Ⅰ(A)－2	**1**	**1**	
			（第二外国語）Ⅰ(B)－1	**1**	**1**	
			（第二外国語）Ⅰ(B)－2	**1**	**1**	
			英語Ⅰ－1	**1**	**1**	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週２回履修し、計４単位修得してください。
			英語Ⅰ－2	**1**	**1**	
			英語（ⅠA）－1	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠA）－2	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）－1	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）－2	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(A)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(B)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
	身体の技能	**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修
	情報の技能	**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	理工学部・社会情報学部は２年次 他は３年次配置
		旧約聖書と人間	2	2･3･4	
		新約聖書と人間	2	2･3･4	
		キリスト教生命倫理	2	2･3･4	
		キリスト教政治倫理	2	2･3･4	
		キリスト教と自然科学	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	キリスト教環境倫理	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		キリスト教音楽	2	2･3･4	
		キリスト教美術	2	2･3･4	
		メソジスト教会史	2	2･3･4	
		世界の諸宗教	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		サービス・ラーニングⅠ	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2･3･4	
		海外語学・キリスト教文化研修	2	2･3･4	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2･3･4	
		哲学B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題A	2	2･3･4	
		哲学の諸問題B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題C	2	2･3･4	
		哲学の諸問題D	2	2･3･4	
		論理学A	2	2･3･4	
		論理学B	2	2･3･4	
		論理学の諸問題A	2	2･3･4	
		論理学の諸問題B	2	2･3･4	
		倫理学A	2	2･3･4	
		倫理学B	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題A	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題B	2	2･3･4	
		西洋倫理思想史A	2	2･3･4	
		西洋倫理思想史B	2	2･3･4	
		言語学A	2	2･3･4	
		言語学B	2	2･3･4	
		日本語学A	2	2･3･4	
		日本語学B	2	2･3･4	
		文学A	2	2･3･4	
		文学B	2	2･3･4	
		文学史A	2	2･3･4	
		文学史B	2	2･3･4	
		美術A	2	2･3･4	
		美術B	2	2･3･4	
		美術史A	2	2･3･4	
		美術史B	2	2･3･4	
		音楽A	2	2･3･4	
		音楽B	2	2･3･4	
		音楽史A	2	2･3･4	
		音楽史B	2	2･3･4	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	文化人類学A	2	2･3･4	
		文化人類学B	2	2･3･4	
		比較文化A	2	2･3･4	
		比較文化B	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題A	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題B	2	2･3･4	
		心理学A	2	2･3･4	心理学科除く
		心理学B	2	2･3･4	心理学科除く
		教育学A	2	2･3･4	
		教育学B	2	2･3･4	
		平和を考えるA	2	2･3･4	
		平和を考えるB	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）	4	2･3･4	法学部除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		日本の法と社会A	2	2･3･4	
		日本の法と社会B	2	2･3･4	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	
		国際政治経済学B	2	2･3･4	
		国際関係概論A	2	2･3･4	
		国際関係概論B	2	2･3･4	
		社会学A	2	2･3･4	
		社会学B	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	
		経済学A	2	2･3･4	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	
		情報社会科学B	2	2･3･4	
		情報社会論	2	2･3･4	
		社会情報論	2	2･3･4	
		人口問題A	2	2･3･4	
		人口問題B	2	2･3･4	
		フェミニズムA	2	2･3･4	
		フェミニズムB	2	2･3･4	
		民族問題A	2	2･3･4	
		民族問題B	2	2･3･4	
		マスメディアと社会	2	2･3･4	
		データサイエンス	2	2･3･4	

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	福祉と人間A	2	2･3･4	
		福祉と人間B	2	2･3･4	
		グローバリゼーションとWTO	2	2･3･4	
		日本農業とWTO	2	2･3･4	
		環境問題と社会	2	2･3･4	NPO環境平和持続の会寄附講座
	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	
		技術史B	2	2･3･4	
		日常生活の数理	2	2･3･4	
		数理科学入門I	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学入門II	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学の視点	2	2･3･4	
		数理モデル	2	2･3･4	
		自然科学概論A	2	2･3･4	
		自然科学概論B	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術A	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術B	2	2･3･4	
		現代物理	2	2･3･4	
		ライフサイエンス	2	2･3･4	
		ゲノム	2	2･3･4	
		生物と地球環境	2	2･3･4	
		地球環境保全	2	2･3･4	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	2･3･4	
		地球観（自然と人の倫理）	2	2･3･4	
		生命と地球の歴史	2	2･3･4	
		宇宙科学	2	2･3･4	
		野鳥の生態	2	2･3･4	
		鳥類と生物多様性	2	2･3･4	
		植物生態学	2	2･3･4	
		先端エレクトロニクス	2	2･3･4	
		環境科学A	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		環境科学B	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		自然地理学A	2	2･3･4	
		自然地理学B	2	2･3･4	
		科学史	2	2･3･4	
		生命と生態系(環境と生物)	2	2･3･4	
		生命の連続（遺伝）	2	2･3･4	
		かたちの科学	2	2･3･4	
		自然史	2	2･3･4	
		自然観の変遷	2	2･3･4	
		青山学院大学の歴史	2	2･3･4	
		日本社会史A	2	2･3･4	
		日本社会史B	2	2･3･4	

テーマ別科目	歴史理解関連科目（領域E）	日本社会史C	2	2･3･4	
		中国史A	2	2･3･4	
		中国史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史A	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史C	2	2･3･4	
		現代史A	2	2･3･4	
		現代史B	2	2･3･4	
		現代史C	2	2･3･4	
		現代史D	2	2･3･4	
		考古学A	2	2･3･4	
		考古学B	2	2･3･4	
		科学思想史A	2	2･3･4	
	言葉の技能（領域F）	インテンシブ･(第二外国語)(A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ･(第二外国語)(B)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(C)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(D)	2	2･3･4	
		(第二外国語) II (A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語を指します。
		(第二外国語) II (B)	2	2･3･4	
		(第二外国語) II (C)	2	2･3･4	
		(第二外国語) II (D)	2	2･3･4	
		(第二外国語) II (E)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、中国語を指します。
		中国語 II (F)	2	2･3･4	
		(第二外国語) II	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		英語 II	2	2･3･4	フランス文学科のみ
		英語 (II A)	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		英語 (II B)	2	2･3･4	外国人留学生のみ、旧称「英語II」
		日本語 II	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		(第二外国語) III	2	3・4	(第二外国語)はドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		フランス語 III (A)	2	3・4	フランス文学科除く
		フランス語 III (B)	2	3・4	フランス文学科除く
		英語 III	2	3・4	フランス文学科のみ
		英語 (III)	2	3・4	外国人留学生のみ
		日本語 III	2	3・4	外国人留学生のみ
		(第二外国語) 会話（I）	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語（フランス文学科のみ）を指します。

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	（第二外国語）会話（II）	2	3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語を指します。
		日本語（I）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（I）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（I）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（I）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（II）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（II）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（II）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（II）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（III）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（III）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（III）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（III）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（IV）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（IV）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（IV）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（IV）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（VI）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（VI）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（VI）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（VI）D	1	3	交換留学生のみ
		日本事情（I）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（II）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（III）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（IV）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（V）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（VI）	2	3	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化C	2	2･3･4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化B	2	2･3･4	
		イスラム圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		イスラム圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		日本学A	2	2･3･4	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	2･3･4	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	
		English Studies B	2	2･3･4	
		English Studies C	2	2･3･4	
		English Studies D	2	2･3･4	
		English Studies E	2	2･3･4	
		ことばの研究A	2	2･3･4	
		ことばの研究B	2	2･3･4	
		少数民族の社会と文化A	2	2･3･4	
		少数民族の社会と文化B	2	2･3･4	
		民族文化論A	2	2･3･4	
		民族文化論B	2	2･3･4	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	
		動きの人間学	2	2･3･4	
		医療社会学	2	2･3･4	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	４回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎Ⅰ	2	2･3･4	
		プログラミング基礎Ⅱ	2	2･3･4	
		情報スキルⅡ	2	2･3･4	
		eラーニング入門	2	2･3･4	
		インストラクショナルデザイン入門	2	2･3･4	

テーマ別科目		教育システムのためのIT入門	2	2･3･4	両キャンパス相互に隔年開講
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	
	キャリアの技能（領域Ⅰ）	キャリアデザイン基礎	2	2･3･4	
		キャリアデザイン応用	2	3・4	
		仕事力基礎論	2	3・4	
		日本語文章作成演習	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門A	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門B	2	2･3･4	
		感性ビジネスA ―ファッション産業のフロンティア―	2	2･3･4	
		感性ビジネスB ―ファッション産業のフロンティア―	2	2･3･4	
		感性ビジネスC ―ファッション・ビジネス戦略論―	2	2･3･4	㈶ファッション産業人材育成機構(IFI）寄附講座
		感性ビジネスD ―ファッション・ビジネス戦略論―	2	2･3･4	㈶ファッション産業人材育成機構(IFI）寄附講座
		パーソナル･マネー･マネジメント入門	2	2･3･4	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと人づくりのリテラシー	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情A	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情B	2	2･3･4	
		現代金融の諸問題	2	2･3･4	金融青山会寄附講座
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		ファイナンシャルプランニング基礎	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		囲碁で養うロジカルシンキング	2	2･3･4	公益財団法人日本棋院寄附講座
		ファッション流通ビジネス論	2	2･3･4	
		海外語学・文化研修Ⅰ	2	2･3･4	
		海外語学・文化研修Ⅱ	2	2･3･4	
		海外語学・文化研修Ⅲ	2	2･3･4	
		ビジネスコミュニケーション	2	3・4	

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2011年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養を備えているという社会的評価をうけることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

<table>
<tr><th colspan="4">科目の種類</th><th>必選の別</th><th>必要単位</th></tr>
<tr><td rowspan="10">青山スタンダード科目</td><td>1）教養コア</td><td colspan="2">キリスト教理解関連科目</td><td>必修</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2）技能コア</td><td rowspan="2">言葉の技能</td><td>英語</td><td colspan="2">※1</td></tr>
<tr><td>第二外国語 ※2 ※3</td><td>必修</td><td>4</td></tr>
<tr><td colspan="2">身体の技能</td><td>必修※4</td><td>2</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報の技能</td><td>必修</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3）テーマ別</td><td colspan="2">キリスト教理解関連科目</td><td>必修</td><td>2</td></tr>
<tr><td>4）教養コア</td><td>人間理解関連科目
社会理解関連科目
自然理解関連科目
歴史理解関連科目</td><td>左記4領域のうち2領域から「教養コア科目」を選択</td><td>選択必修</td><td>4</td></tr>
<tr><td>5）領域指定</td><td>人間理解関連科目
社会理解関連科目
自然理解関連科目
歴史理解関連科目</td><td>左記領域より4）で選択しなかった2領域から各1科目（2単位）ずつ選択。（「教養コア科目」あるいは「テーマ別科目」いずれも可）</td><td>選択必修</td><td>4</td></tr>
<tr><td colspan="3">フレッシャーズ・セミナー、ウェルカム・レクチャー、キャリアデザイン・セミナー、教養コア科目、技能コア科目、テーマ別科目から選択。（1）～5）で修得した科目は除く）</td><td>選択</td><td>6</td></tr>
</table>

※1　言葉の技能･英語は、所属する学部（学科）が開講する科目を履修します。詳しくは、所属する学部（学科）の外国語科目履修方法および配置表に関するページを参照してください。（英語スキルⅠ－1、Ⅰ－2を除く）

※2　第二外国語科目の中から1外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※3　第二外国語科目には、履修順序があります。

・「（第二外国語）Ⅰ(A)」「（第二外国語）Ⅰ(B)」について、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます（日本語は除く）。

・「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ･（第二外国語）」あるいは「（第二外国語）Ⅱ」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「インテンシブ･（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

※4　教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修です。

○　必要単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます（国際政治経済学部除く）。

○　**受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。**

3．授業科目配置表

（太字は必修科目）

			授業科目	単位	配置年次	備考
			フレッシャーズ・セミナー	2	1	1年生のみ
			ウェルカム・レクチャー	2	1	1年生のみ
			キャリアデザイン・セミナー	2	1	1年生のみ
教養コア科目			（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	
教養コア科目			（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	 2 2	 1 1	 （総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
教養コア科目			（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題(総合科目) 現代社会の諸問題(個別科目)	 2 2	 1 1	 （総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
教養コア科目			（自然理解関連科目） 科学･技術の視点（総合科目） 科学･技術の視点（個別科目）	 2 2	 1 1	 （総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
教養コア科目			（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	 2 2	 1 1	 （総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	英語	英語スキルⅠ－1	1	1	2007年度以降入学者1年生のみ
技能コア科目	言葉の技能	英語	英語スキルⅠ－2	1	1	2007年度以降入学者1年生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－2**	**1**	**1**	
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(B)－1**	**1**	**1**	
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(B)－2**	**1**	**1**	
技能コア科目	言葉の技能		**英語Ⅰ－1**	**1**	**1**	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週2回履修し、計4単位修得してください。
技能コア科目	言葉の技能		**英語Ⅰ－2**	**1**	**1**	
技能コア科目	言葉の技能		**英語（ⅠA）－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能		**英語（ⅠA）－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能		**英語（ⅠB）－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能		**英語（ⅠB）－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能		**日本語Ⅰ(A)**	**2**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能		**日本語Ⅰ(B)**	**2**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	身体の技能		**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修
技能コア科目	情報の技能		**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	理工学部・社会情報学部は2年次 他は3年次配置
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		旧約聖書と人間	2	2･3･4	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		新約聖書と人間	2	3・4	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		キリスト教生命倫理	2	3・4	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		キリスト教政治倫理	2	3・4	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		キリスト教と自然科学	2	2･3･4	

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	キリスト教環境倫理	2	2･3･4	
		キリスト教音楽	2	3・4	
		キリスト教美術	2	3・4	
		メソジスト教会史	2	3・4	
		世界の諸宗教	2	2･3･4	
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	3・4	
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅠ	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2･3･4	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2･3･4	
		哲学B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題A	2	3・4	
		哲学の諸問題B	2	3・4	
		哲学の諸問題C	2	3・4	
		哲学の諸問題D	2	3・4	
		論理学A	2	2･3･4	
		論理学B	2	2･3･4	
		論理学の諸問題A	2	3・4	
		論理学の諸問題B	2	3・4	
		倫理学A	2	2･3･4	
		倫理学B	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題A	2	3・4	
		倫理学の諸問題B	2	3・4	
		西洋倫理思想史A	2	3・4	
		西洋倫理思想史B	2	3・4	
		言語学A	2	2･3･4	
		言語学B	2	2･3･4	
		日本語学A	2	2･3･4	
		日本語学B	2	2･3･4	
		文学A	2	2･3･4	
		文学B	2	2･3･4	
		文学史A	2	3・4	
		文学史B	2	3・4	
		美術A	2	2･3･4	
		美術B	2	2･3･4	
		美術史A	2	3・4	
		美術史B	2	3・4	
		音楽A	2	2･3･4	
		音楽B	2	2･3･4	
		音楽史A	2	3・4	
		音楽史B	2	3・4	
		文化人類学A	2	2･3･4	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	文化人類学B	2	2･3･4	
		比較文化A	2	2･3･4	
		比較文化B	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題A	2	3・4	
		比較文化の諸問題B	2	3・4	
		心理学A	2	2･3･4	心理学科除く
		心理学B	2	2･3･4	心理学科除く
		教育学A	2	2･3･4	
		教育学B	2	2･3･4	
		平和を考えるA	2	3・4	
		平和を考えるB	2	3・4	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）	4	2･3･4	法学部除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		日本の法と社会A	2	3・4	
		日本の法と社会B	2	3・4	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	
		国際政治経済学B	2	2･3･4	
		国際関係概論A	2	2･3･4	
		国際関係概論B	2	2･3･4	
		社会学A	2	2･3･4	
		社会学B	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	
		経済学A	2	2･3･4	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	
		情報社会科学B	2	2･3･4	
		情報社会論	2	3・4	
		社会情報論	2	3・4	
		人口問題A	2	2･3･4	
		人口問題B	2	2･3･4	
		フェミニズムA	2	3・4	
		フェミニズムB	2	3・4	
		民族問題A	2	3・4	
		民族問題B	2	3・4	
		マスメディアと社会	2	2･3･4	
		データサイエンス	2	2･3･4	
		福祉と人間A	2	3・4	

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	福祉と人間B	2	3・4	
		グローバリゼーションとWTO	2	3・4	
		日本農業とWTO	2	3・4	
		環境問題と社会	2	3・4	NPO環境平和持続の会寄附講座
	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	
		技術史B	2	2･3･4	
		日常生活の数理	2	2･3･4	
		数理科学入門I	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学入門II	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学の視点	2	2･3･4	
		数理モデル	2	2･3･4	
		自然科学概論A	2	2･3･4	
		自然科学概論B	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術A	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術B	2	2･3･4	
		現代物理	2	2･3･4	
		ライフサイエンス	2	2･3･4	
		ゲノム	2	2･3･4	
		生物と地球環境	2	3・4	
		地球環境保全	2	3・4	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	3・4	
		地球観（自然と人の倫理）	2	2･3･4	
		生命と地球の歴史	2	2･3･4	
		宇宙科学	2	2･3･4	
		野鳥の生態	2	2･3･4	
		鳥類と生物多様性	2	2･3･4	
		植物生態学	2	2･3･4	
		先端エレクトロニクス	2	2･3･4	
		環境科学A	2	2･3･4	
		環境科学B	2	2･3･4	
		自然地理学A	2	2･3･4	
		自然地理学B	2	2･3･4	
		科学史	2	2･3･4	
		生命と生態系(環境と生物)	2	2･3･4	
		生命の連続（遺伝）	2	2･3･4	
		かたちの科学	2	2･3･4	
		自然史	2	2･3･4	
		自然観の変遷	2	2･3･4	
	歴史理解関連科目（領域E）	青山学院大学の歴史	2	2･3･4	
		日本社会史A	2	2･3･4	
		日本社会史B	2	2･3･4	
		日本社会史C	2	3・4	

テーマ別科目	歴史理解関連科目（領域E）	中国史A	2	2･3･4	
		中国史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史A	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史C	2	3・4	
		現代史A	2	2･3･4	
		現代史B	2	2･3･4	
		現代史C	2	2･3･4	
		現代史D	2	2･3･4	
		考古学A	2	2･3･4	
		考古学B	2	2･3･4	
		科学思想史A	2	2･3･4	
	言葉の技能（領域F）	インテンシブ･(第二外国語)(A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ･(第二外国語)(B)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(C)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(D)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語を指します。
		（第二外国語）II (B)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (C)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (D)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (E)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、中国語を指します。
		中国語 II (F)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		英語 II	2	2･3･4	フランス文学科のみ
		英語 (II A)	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		英語 (II B)	2	2･3･4	外国人留学生のみ、旧称「英語II」
		日本語 II	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）III	2	3・4	（第二外国語）はドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		フランス語 III (A)	2	3・4	フランス文学科除く
		フランス語 III (B)	2	3・4	フランス文学科除く
		英語 III	2	3・4	フランス文学科のみ
		英語 (III)	2	3・4	外国人留学生のみ
		日本語 III	2	3・4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）会話（I）	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語（フランス文学科のみ）を指します。
		（第二外国語）会話（II）	2	3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語を指します。

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	日本語（Ⅰ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅰ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅰ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅰ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅱ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅱ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅱ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅱ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅲ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅲ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅲ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅲ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅳ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅳ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅳ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅳ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅴ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅴ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅴ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅴ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅵ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅵ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅵ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅵ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅰ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅱ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅲ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅳ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅴ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅵ）	2	3	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化C	2	3・4	
		スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	スペイン語圏の社会と文化C	2	3・4	
		中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	3・4	
		韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化B	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化A	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化B	2	3・4	
		日本学A	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	
		English Studies B	2	2･3･4	
		English Studies C	2	3・4	
		English Studies D	2	3・4	
		English Studies E	2	3・4	
		ことばの研究A	2	2･3･4	
		ことばの研究B	2	3・4	
		少数民族の社会と文化A	2	3・4	
		少数民族の社会と文化B	2	3・4	
		民族文化論A	2	2･3･4	
		民族文化論B	2	2･3･4	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	
		動きの人間学	2	2･3･4	
		医療社会学	2	2･3･4	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	４回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎Ⅰ	2	2･3･4	
		プログラミング基礎Ⅱ	2	2･3･4	
		情報スキルⅡ	2	2･3･4	
		eラーニング入門	2	2･3･4	
		インストラクショナルデザイン入門	2	2･3･4	
		教育システムのためのIT入門	2	2･3･4	
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	
		キャリアデザイン基礎	2	2･3･4	

テーマ別科目	キャリアの技能（領域Ⅰ）	キャリアデザイン応用	2	3・4	
		仕事力基礎論	2	3・4	
		日本語文章作成演習	2	2・3・4	
		国際ビジネス入門A	2	2・3・4	
		国際ビジネス入門B	2	2・3・4	
		感性ビジネスA ーファッション産業のフロンティアー	2	2・3・4	
		感性ビジネスB ーファッション産業のフロンティアー	2	2・3・4	
		感性ビジネスC ーファッション・ビジネス戦略論ー	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構(IFI）寄附講座
		感性ビジネスD ーファッション・ビジネス戦略論ー	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構(IFI）寄附講座
		パーソナル・マネー・マネジメント入門	2	3・4	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと人づくりのリテラシー	2	2・3・4	
		国際ビジネスと海外事情A	2	3・4	
		国際ビジネスと海外事情B	2	3・4	
		現代金融の諸問題	2	3・4	金融青山会寄附講座
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2・3・4	㈱近代セールス社寄附講座
		ファイナンシャルプランニング基礎	2	2・3・4	㈱近代セールス社寄附講座
		囲碁で養うロジカルシンキング	2	2・3・4	公益財団法人日本棋院寄附講座
		ファッション流通ビジネス論	2	2・3・4	
		ビジネスコミュニケーション	2	3・4	

【３】 第一外国語科目について

１．第一外国語科目配置表

	授業科目（全て通年）	単位	履修年次	備　　考
必修	**リーディング・コンプリヘンションⅠ**	2	1	
	リーディング・コンプリヘンションⅡ	2	2	リーディング・コンプリヘンションⅠ修得者のみ履修可。
	ファンダメンタル・イングリッシュ	2	1	
	リーディング＆ディスカッション	2	2	ファンダメンタル・イングリッシュ修得者のみ履修可。
	ライティング＆コミュニケーション	2	1	
	英語圏の言葉と文化（英語演習）	2	3	
選択	オーラル・コミュニケーションⅠ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座A	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座B	2	1・2	(2014年度以降休講)
	アドバンスト・ライティング	2	2	ライティング＆コミュニケーション修得者のみ履修可。
	ビジネス・コミュニケーション	2	3・4	
	オーラル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	オーラル・コミュニケーションⅠ修得者のみ履修可。
	スピーチ・クリニック	4	3・4	

(注意)・第一外国語科目には、クラス指定があります。
・下級年次必修科目の再履修クラスが開講されている場合は、必ずそのクラスで受講してください。
・他学部の第一外国語科目は履修できません。

２．外国人留学生の外国語科目の履修について

外国人留学生の外国語科目は、以下のとおり履修してください。

Ａ．第一外国語科目の履修方法

第一外国語科目の必要単位

必　　修（12単位）

履修年次	授業科目名（すべて２単位）		
1	**日本語初級A**	**日本語初級B**	**日本語初級C**
2	**日本語中級 A**	**日本語中級 B**	
3	**日本語上級**		

履修順序はありません。

※指定の第一外国語必修科目以外は履修できません。

Ｂ．第二外国語科目の履修方法（青山スタンダード参照）

言葉の技能〔領域Ｆ〕（第二外国語科目）の必要単位

必　　修（４単位）

フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語のうちから１カ国語を履修すること。ただし、母国語（第一言語）は第二外国語として履修できません。

（注意）

⑴　外国人留学生の第一外国語科目・第二外国語科目については、原則として、履修順序を設けません。ただし、１年次配置前期開講科目と後期開講科目の間にそれぞれ履修順序があり、前期開講科目の単位が修得できない時、後期開講科目の履修登録は自動的に削除されます。

⑵　申請した第二外国語以外の外国語科目の単位は、自由選択科目に算入されます。

⑶　本学入学以前に、高等学校あるいは海外などですでに学習したことのある学生が、その学力をⅠ修了者に準ずると認定された場合、Ⅱの科目で卒業に必要な単位に充当することができます。

【４】 専門科目履修方法および配置表

１．専門科目について

専門科目の最低必要単位は、入学年度の履修条件に従って修得しなければなりません。

① Ａ・Ｂ・Ｃ１群の必要単位　**24**単位（これを超えた単位は、Ｃ２群に加算）

Ａ群　選択科目

Ｂ群　選択必修　**8** 単位（２単位×４科目）

※このうち２科目は**ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ**、**マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ**より選択。

Ｃ１群　選択科目

② Ｃ２・Ｄ群の必要単位　**56**単位（これを超えた単位は、自由選択に加算）

Ｃ２群　選択科目

Ｄ群　選択科目　**20**単位までを専門科目に含める。

２．教職課程関連科目について（2011年度入学者のみ）

教職課程関連科目は、教職課程の一分野である「教科に関する専門科目」として置く科目です。履修については、「Ｘ．教職課程（教員免許状･各種資格）について」ならびに『教職課程履修の手引（第一部）』を参照してください。なお、修得単位は卒業要件単位には算入されません。

３．他学部生の本学科専門科目の履修について

他学部生は下記専門科目の履修はできません。

授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
経済学入門	2	経済英語入門	2	ミクロ経済学Ⅰ	2
ミクロ経済学Ⅱ	2	マクロ経済学Ⅰ	2	マクロ経済学Ⅱ	2
経済政策論Ⅰ	2	経済政策論Ⅱ	2	財政学Ⅰ	2
財政学Ⅱ	2	社会政策基礎	2	特殊講義	2
注）産業論	2	労働経済基礎	2	現代日本経済史Ⅰ	2
現代日本経済史Ⅱ	2	現代欧米経済史Ⅰ	2	現代欧米経済史Ⅱ	2
外国書講読	2	情報処理ＡⅠ	2	情報処理ＡⅡ	2
情報処理ＢⅠ	2	情報処理ＢⅡ	2	演習	4
演習（卒業論文）	8	ＧＩＳ入門	2	ＧＩＳ応用	2
マーケティング論Ⅰ	2	マーケティング論Ⅱ	2	事業戦略論Ⅰ	2
事業戦略論Ⅱ	2	財務会計論Ⅰ	2	財務会計論Ⅱ	2
リスク・マネジメント論Ⅰ	2	リスク・マネジメント論Ⅱ	2	租税の経済学Ⅰ	2
租税の経済学Ⅱ	2				

注）「産業論（航空事業Ⅰ）」･「産業論（航空事業Ⅱ）」･「産業論（損害保険業）」･「産業論（税法）」･「産業論（証券ビジネス）」･「産業論（知的エンタテイメント産業Ⅰ）」･「産業論（知的エンタテイメント産業Ⅱ）」は他学部生の履修を認めます。

４．演習について

演習は、各学部の基礎または概要科目で学んだことをもとに、自分自身で研究テーマを見つけ、大学４年間の集大成である「卒業論文」作成を目標とする専門科目です。学生主体の討論形式を中心に授業が進みます。

ただし、教員ごとに少人数の登録となりますので、選考を要します。

⑴　履修登録方法

３年生：「演習」（４単位）

選考に合格した場合は、事前登録科目として自動的に履修登録されますので、各自での履修登録は必要ありません。

４年生：「演習（卒業論文）」（８単位）
選考に合格した場合と前年度からの継続を希望する場合には、各自で履修登録をしてください。

⑵　履修登録に関する注意事項

①　４年次において「演習（卒業論文）」を履修する場合は、必ず卒業論文を提出してください。

②　４年次において「演習（卒業論文）」を履修した場合、この科目は**必修**となります。したがって、この単位を修得できない場合には、他の選択科目で卒業単位を充足していても卒業を認めません。

③　３年次において協定校へ交換留学生として行く場合、３年次前期は「演習」を履修し、帰国後の４年次後期から卒業論文指導教員の許可があれば、「演習（卒業論文）」を継続履修することが可能です。

⑶　卒業論文について

提出日時・注意事項については、学生ポータルを確認してください。

５．大学院科目特別履修制度について

大学院経済学研究科経済学専攻または公共・地域マネジメント専攻への進学を希望する４年次生に対して、より高度な専門知識を早期に習得する機会を提供するために、経済学研究科科目の一部を履修することができます。

これによって修得した単位は、研究科入学後、博士前期課程修了要件として定められた単位数まで申請することができるため早期修了あるいは課程博士論文作成作業への早期着手が可能になります。またこの取得単位は卒業後５年以内に限り研究科に入学した時点で認定することができます。

大学院科目特別履修制度は、以下の２種類の方法があります。

１．３年次試験による大学院科目特別履修生試験
　出願資格：３年次に在学する者（経済学専攻は経済・経営・国際政経学部のみ）

２．４年次履修による先取り科目履修
　経済学専攻：
　経済学部４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。
　公共・地域マネジメント専攻：
　現代経済デザイン学科４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。

※詳細は大学院事務室経済学研究科へ問い合わせてください。

６．産業論について

産業論のうち寄附講座となっている科目は、企業の寄付により開講されている科目です。企業の都合により次年度以降閉講する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

7．経済学科専門科目配置表

コース			授業科目	単位	履修年次	備考
入門科目						
A群			経済学入門	2	1	
			経済英語入門	2	1	
			経済数学入門Ⅰ	2	1・2	
			経済数学入門Ⅱ	2	1・2	
基礎科目						
B群			ミクロ経済学Ⅰ	2	1・2	B群の8科目中4科目選択必修（このうち2科目は、ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱより選択）
			ミクロ経済学Ⅱ	2	1・2	
			マクロ経済学Ⅰ	2	1・2	
			マクロ経済学Ⅱ	2	1・2	
			経済史概論Ⅰ	2	1・2	
			経済史概論Ⅱ	2	1・2	
			統計学概論Ⅰ	2	1・2	
			統計学概論Ⅱ	2	1・2	
専攻科目						
C1群			経済政策論Ⅰ	2	2	
			経済政策論Ⅱ	2	2	
			財政学Ⅰ	2	2	
			財政学Ⅱ	2	2	
			金融論Ⅰ	2	2	
			金融論Ⅱ	2	2	
			国際経済学Ⅰ	2	2	
			国際経済学Ⅱ	2	2	
			経済地理	2	2	＊
			経済地誌	2	2	＊
専攻科目						
C2群	理論・数量	理論	経済学史Ⅰ	2	2	
			経済学史Ⅱ	2	2	
			応用ミクロ経済学Ⅰ	2	3・4	
			応用ミクロ経済学Ⅱ	2	3・4	
			応用マクロ経済学Ⅰ	2	3・4	
			応用マクロ経済学Ⅱ	2	3・4	
			経済動学Ⅰ	2	3・4	
			経済動学Ⅱ	2	3・4	
			オープンマクロ経済学Ⅰ	2	3・4	
			オープンマクロ経済学Ⅱ	2	3・4	
			契約の経済学	2	3・4	＊
			法と経済学	2	3・4	＊
		数量	情報処理ＡⅠ	2	3・4	
			情報処理ＡⅡ	2	3・4	
			情報処理ＢⅠ	2	3・4	
			情報処理ＢⅡ	2	3・4	
			計量経済学Ⅰ	2	3・4	
			計量経済学Ⅱ	2	3・4	
			経済統計Ⅰ	2	3・4	
			経済統計Ⅱ	2	3・4	
			数理統計Ⅰ	2	3・4	
			数理統計Ⅱ	2	3・4	
			経済数学Ⅰ	2	3・4	
			経済数学Ⅱ	2	3・4	
	政策・産業	政府	社会政策基礎	2	2	
			社会政策論Ⅰ	2	3・4	
			社会政策論Ⅱ	2	3・4	

＊　現代経済デザイン学科主体科目

コース			授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
C2群	政策・産業	政府	地方財政の経済学Ⅰ	2	3・4	＊
			地方財政の経済学Ⅱ	2	3・4	＊
			租税の経済学Ⅰ	2	3・4	
			租税の経済学Ⅱ	2	3・4	
			公共経済学Ⅰ	2	3・4	
			公共経済学Ⅱ	2	3・4	
			社会保障論Ⅰ	2	3・4	
			社会保障論Ⅱ	2	3・4	
			NPO 論 A	2	3・4	＊
			NPO 論 B	2	3・4	＊
			特殊講義（雇用制度と労使関係）	2	3・4	
			特殊講義（社会保障と保険１）	2	3・4	
			特殊講義（社会保障と保険２）	2	3・4	
		企業	産業論（総合商社）	2	3・4	
			産業論（現代の証券）	2	3・4	野村證券㈱寄附講座
			産業論（航空事業Ⅰ）	2	3・4	
			産業論（航空事業Ⅱ）	2	3・4	
			産業論（ベンチャーとマーケティング）	2	3・4	
			産業論（損害保険業）	2	3・4	日本興亜損害保険㈱寄附講座
			産業論（コマーシャルバンキング戦略論）	2	3・4	SMBC コンサルティング㈱寄附講座
			産業論（バンキングビジネス）	2	3・4	
			産業論（自動車産業）	2	3・4	
			産業論（税法）	2	3・4	東京税理士会寄附講座
			産業論（証券ビジネス）	2	3・4	東海東京証券㈱寄附講座
			産業論（知的エンタテイメント産業Ⅰ）	2	3・4	日本コントラクトブリッジ連盟寄附講座
			産業論（知的エンタテイメント産業Ⅱ）	2	3・4	日本コントラクトブリッジ連盟寄附講座
			※産業論は、卒業要件単位に算入されるのは10単位までで、それを超えた単位は卒業要件外になります。			
			労働経済基礎	2	2	
			労働経済論Ⅰ	2	3・4	
			労働経済論Ⅱ	2	3・4	
			産業組織論Ⅰ	2	3・4	
			産業組織論Ⅱ	2	3・4	
			特殊講義（ゲーム理論）	2	2	
			特殊講義（マーケット・デザイン）	2	3・4	
			特殊講義（ビジネス経済学１）	2	2	
			特殊講義（ビジネス経済学２）	2	3・4	
			特殊講義（モノ造りの経済学）	2	3・4	
		金融	ファイナンス論基礎	2	2	
			ファイナンス論	2	3・4	
			国際金融論Ⅰ	2	3・4	
			国際金融論Ⅱ	2	3・4	
			特殊講義（金融リスク管理）	2	3・4	
			特殊講義（ファイナンス市場分析）	2	3・4	
	歴史・国際・環境	歴史	日本経済史Ⅰ	2	3・4	
			日本経済史Ⅱ	2	3・4	
			欧米経済史Ⅰ	2	3・4	
			欧米経済史Ⅱ	2	3・4	
			現代日本経済史Ⅰ	2	3・4	
			現代日本経済史Ⅱ	2	3・4	
			現代欧米経済史Ⅰ	2	3・4	
			現代欧米経済史Ⅱ	2	3・4	
			東洋経済史Ⅰ	2	3・4	
			東洋経済史Ⅱ	2	3・4	
			経済思想史Ⅰ	2	3・4	
			経済思想史Ⅱ	2	3・4	
			キリスト教社会思想史Ⅰ	2	3・4	

コース			授業科目	単位	履修年次	備考
C 2 群	歴史・国際・環境		キリスト教社会思想史II	2	3・4	
		国際問題	日本経済論 I	2	3・4	
			日本経済論II	2	3・4	
			世界経済論 I	2	3・4	
			世界経済論II	2	3・4	
			開発経済学	2	3・4	*
			政策と評価 B	2	3・4	*
			各国経済論 A I	2	3・4	
			各国経済論 A II	2	3・4	
			各国経済論 B I	2	3・4	
			各国経済論 B II	2	3・4	
		地域・環境	地域経済学II	2	3・4	*
			都市経済学	2	3・4	*
			交通経済学 I	2	3・4	
			交通経済学II	2	3・4	
			農業経済論 I	2	3・4	
			農業経済論II	2	3・4	
			環境経済学 I	2	3・4	
			環境経済学II	2	3・4	
			GIS 入門	2	3・4	
			GIS 応用	2	3・4	「GIS 入門」修得者のみ履修可。 異名称同一科目：現代経済デザイン学科「GIS による空間分析II」
			地域人口論	2	3・4	*
			住宅と不動産の経済学	2	3・4	*
	演習		外国書講読	2	3・4	
			演習	4	3 のみ	
			演習（卒業論文）	8	4 のみ	
関連科目						
D 群（関連科目）	現代経済デザイン学科科目		A・B 群科目、C 群の「コア科目」、「演習等」、「総合科目」、4 年次配置（院共通）科目、同一名称科目、異名称同一科目（「GIS による空間分析II」））は除きます。			
	法学		憲法	4	2	
			民法 I	4	3・4	
			民法II	4	3・4	
			商法 I	4	3・4	
			商法II	4	3・4	
			経済法	4	3・4	
			労働法	4	3・4	
	経営学		簿記論	4	1・2	
			マーケティング論 I	2	2	
			マーケティング論II	2	2	
			事業戦略論 I	2	2	
			事業戦略論II	2	2	
			財務会計論 I	2	2	
			財務会計論II	2	2	
			リスク・マネジメント論 I	2	3・4	
			リスク・マネジメント論II	2	3・4	
			経営史 I	2	3・4	
			経営史II	2	3・4	
	国際政治経済学部 B 群科目		経済学部の科目と異名称のものに限ります。 I・IIを除いた同一名称科目は履修できません。 他学部科目一覧表の国際政治経済学部欄参照。			

8．教職課程関連科目配置表（2011年度生のみ）

教職課程関連科目			
授業科目	単位	履修年次	備考
日本史	4	3・4	
外国史（東洋史及び西洋史）	4	3・4	
人文地理学	4	3・4	
人文地理学概論	4	3・4	
自然地理学	4	3・4	
△地理情報分析法	4	3・4	
△気象学	4	3・4	
地誌学概論	4	3・4	
法律学概説	4	3・4	
政治学概説	4	3・4	
政治学原論	4	1・2	
国際関係論	4	3・4	
哲学史	4	3・4	
△倫理学概説	4	3・4	
宗教学	4	3・4	
△心理学概説	4	3・4	

（注意）修得した単位は卒業要件単位には算入されません。
教職課程関連科目は教育職員免許状の取得を希望し申請した学生以外は履修できません。
△は隔年開講

9．税理士特別講座について

経済学部では、本学OB・OGの税理士・公認会計士等で構成される「青学会計人クラブ」の協力のもと、1998年から正規のカリキュラムとは別に「税理士特別講座」を開設しています。

皆さんの先輩であり、実務の第一線で活躍する専門家が、日頃の忙しい時間を割いて会計科目･税法科目の基礎講座と親身な受験指導を行っています。税理士試験のみならず、日商簿記検定を目指す人にも学習の指針となることでしょう。税理士･公認会計士という職業に関心を持ちながらも、現場の実務家と接する機会の少ない学生は、この特別講座を大いに活用してください。

勉学意欲のある学生の受講を期待しています。

説明会開催日時や申し込みの詳細については、年度初頭に「学生ポータル」を参照してください。

B．経済学科履修要項（2009・2010年度入学者）

【1】 経済学科履修について

経済学科の基本理念

経済学を理論、政策、歴史の３方向から総合的に学び、現実の経済問題を自ら分析できる力を養い、弾力的な思考と行動力を持った自由で独立した学生を育てる。

１．卒業要件

⑴ 卒業に必要な単位数について

卒業資格を得るためには、下表に示す区分にしたがってその単位を修得しなければなりません。ここに示す単位数は科目の種別ごとに要求される最低の単位数です。これが１単位でも不足すると卒業は認められません。

134単位は卒業に必要な最低単位数なので、意欲のある学生はこの単位を超えて単位を修得できます。

⑵ 学位について

経済学科に４年以上（ただし８年を限度とします）在学し、卒業に必要な**134**単位以上を修得した者には、学位記を与え「学士（経済学）」の学位を授与します。

卒業要件単位表

<table>
<tr><th colspan="2">科　目　の　種　類</th><th>必選の別</th><th colspan="2">必要単位</th></tr>
<tr><td colspan="2">青山スタンダード科目</td><td>必　修
選択必修</td><td colspan="2">26</td></tr>
<tr><td>外　国　語　科　目</td><td>第一外国語科目</td><td>必　修</td><td colspan="2">12</td></tr>
<tr><td rowspan="5">専　門　科　目</td><td>Ａ群（入門科目）</td><td>選　択</td><td rowspan="3">24</td><td rowspan="5">80</td></tr>
<tr><td>Ｂ群（基礎科目）</td><td>選択必修</td></tr>
<tr><td>Ｃ１群（専攻科目）</td><td>選　択</td></tr>
<tr><td>Ｃ２群（専攻科目）</td><td>選　択</td><td rowspan="2">56</td></tr>
<tr><td>Ｄ群（関連科目）
（**20**単位まで専門に算入）</td><td>選　択</td></tr>
<tr><td>自　由　選　択　科　目</td><td>青山スタンダード26単位を超えた単位
経済学部開講の外国語選択科目
専門80単位を超えた単位
他学部開講の専門科目</td><td>選　択</td><td colspan="2">16</td></tr>
<tr><td colspan="3">総　　計</td><td colspan="2">134</td></tr>
</table>

※　Ａ・Ｂ・Ｃ１群で24単位を超えた単位は、Ｃ２群に加算されます。
※　Ｃ２群・Ｄ群で56単位を超えた単位は、自由選択科目に加算されます。

2．最高履修制限単位

最高履修制限単位は次のとおりです。各年次生は、この表に示す単位数を超えて履修することはできません。なお、各年次においては、１科目以上の履修をしなければなりません。

学　　年	１年次	２年次	３年次	４年次	合　計
最高履修制限単位	44	44	46	50	184

（注意）　教育職員免許状および各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目および教職課程関連科目の単位は、最高履修制限単位に含まれません。

3．進級条件

２年次終了時までに、卒業要件単位50単位以上を修得しなければ３年次に進級できません。

なお、教育職員免許状および各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目の単位は、卒業要件単位に算入されません。

4．修得単位僅少者について

入学後休学期間を除いて２年間で修得単位が32単位に満たない学生は、大学学則第34条に基づき成業の見込のない者として除籍されることがありますので注意してください。

5．編入学者

編入学者については、入学時の学年の履修条件が適用されます。履修方法等通常の入学者とは異なりますので特に注意してください。なお、編入学者の場合、編入をした年度に限り履修順序は適用しません。編入後２年間に限り最高履修制限単位を８単位超えて履修できます。

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2009・2010年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養を備えているという社会的評価をうけることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

科目の種類				必選の別	必要単位
青山スタンダード科目	1）教養コア	キリスト教理解関連科目		必修	2
	2）技能コア	言葉の技能	英語	※1	
			第二外国語 ※2　※3	必修	4
		身体の技能		必修※4	2
		情報の技能		必修	2
	3）テーマ別	キリスト教理解関連科目		必修	2
	4）教養コア	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記４領域のうち２領域から「教養コア科目」を選択	選択必修	4
	5）領域指定	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記領域より４）で選択しなかった２領域から各１科目（２単位）ずつ選択。（「教養コア科目」あるいは「テーマ別科目」いずれも可）	選択必修	4
	フレッシャーズ・セミナー、ウェルカム・レクチャー、教養コア科目、技能コア科目、テーマ別科目から選択。（１）～５）で修得した科目は除く）			選択	6

※１　言葉の技能・英語は、所属する学部（学科）が開講する科目を履修します。詳しくは、所属する学部（学科）の外国語科目履修方法および配置表に関するページを参照してください。（英語スキルⅠ－１、Ⅰ－２を除く）

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

・「（第二外国語）Ⅰ(A)」「（第二外国語）Ⅰ(B)」について、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます（日本語は除く）。

・「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ・（第二外国語）」あるいは「（第二外国語）Ⅱ」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

※４　教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修です。

○　必要単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　**受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。**

○　総合文化政策学部生は、履修年次が３年次以上の青山キャンパス開講科目を２年次に履修できる場合があります。詳細は時間割表等で確認してください。

３．授業科目配置表

（太字は必修科目）

		授業科目	単位	配置年次	備考
		フレッシャーズ・セミナー	2	1	1年生のみ
		ウェルカム・レクチャー	2	1	1年生のみ
教養コア科目		（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	
		（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題（総合科目） 現代社会の諸問題（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（自然理解関連科目） 科学・技術の視点（総合科目） 科学・技術の視点（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	英語	英語スキルⅠ－1	1	1	2007年度以降入学者１年生のみ
			英語スキルⅠ－2	1	1	2007年度以降入学者１年生のみ
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
			（第二外国語）Ⅰ(A)－2	**1**	**1**	
			（第二外国語）Ⅰ(B)－1	**1**	**1**	
			（第二外国語）Ⅰ(B)－2	**1**	**1**	
			英語Ⅰ－1	**1**	**1**	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週２回履修し、計４単位修得してください。
			英語Ⅰ－2	**1**	**1**	
			英語（ⅠA）－1	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠA）－2	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）－1	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）－2	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(A)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(B)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
	身体の技能		**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修
	情報の技能		**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	理工学部・社会情報学部は２年次 他は３年次配置
			旧約聖書と人間	2	2・3・4	
			新約聖書と人間	2	3・4	
			キリスト教生命倫理	2	3・4	
			キリスト教政治倫理	2	3・4	
			キリスト教と自然科学	2	2・3・4	
			キリスト教環境倫理	2	2・3・4	

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	キリスト教音楽	2	3・4	
		キリスト教美術	2	3・4	
		メソジスト教会史	2	3・4	
		キリスト教教育	2	3・4	閉講
		世界の諸宗教	2	2･3･4	
		現代神学	2	3・4	
		キリスト教と社会福祉	2	3・4	閉講
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	3・4	
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅠ	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2･3･4	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2･3･4	
		哲学B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題A	2	3・4	
		哲学の諸問題B	2	3・4	
		哲学の諸問題C	2	3・4	
		哲学の諸問題D	2	3・4	
		論理学A	2	2･3･4	
		論理学B	2	2･3･4	
		論理学の諸問題A	2	3・4	
		論理学の諸問題B	2	3・4	
		倫理学A	2	2･3･4	
		倫理学B	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題A	2	3・4	
		倫理学の諸問題B	2	3・4	
		西洋倫理思想史A	2	3・4	
		西洋倫理思想史B	2	3・4	
		言語学A	2	2･3･4	
		言語学B	2	2･3･4	
		日本語学A	2	2･3･4	
		日本語学B	2	2･3･4	
		文学A	2	2･3･4	
		文学B	2	2･3･4	
		文学史A	2	3・4	
		文学史B	2	3・4	
		美術A	2	2･3･4	
		美術B	2	2･3･4	
		美術史A	2	3・4	
		美術史B	2	3・4	
		音楽A	2	2･3･4	
		音楽B	2	2･3･4	
		音楽史A	2	3・4	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	音楽史B	2	3・4	
		文化人類学A	2	2･3･4	
		文化人類学B	2	2･3･4	
		比較文化A	2	2･3･4	
		比較文化B	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題A	2	3・4	
		比較文化の諸問題B	2	3・4	
		心理学A	2	2･3･4	心理学科除く
		心理学B	2	2･3･4	心理学科除く
		教育学A	2	2･3･4	
		教育学B	2	2･3･4	
		平和を考えるA	2	3・4	
		平和を考えるB	2	3・4	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）	4	2･3･4	法学部除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		日本の法と社会A	2	3・4	
		日本の法と社会B	2	3・4	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	
		国際政治経済学B	2	2･3･4	
		国際関係概論A	2	2･3･4	
		国際関係概論B	2	2･3･4	
		社会学A	2	2･3･4	
		社会学B	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	
		経済学A	2	2･3･4	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	
		情報社会科学B	2	2･3･4	
		情報社会論	2	3・4	
		社会情報論	2	3・4	
		人口問題A	2	2･3･4	
		人口問題B	2	2･3･4	
		フェミニズムA	2	3・4	
		フェミニズムB	2	3・4	
		民族問題A	2	3・4	
		民族問題B	2	3・4	
		マスメディアと社会	2	2･3･4	

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	データサイエンス	2	2･3･4	
		福祉と人間A	2	3・4	
		福祉と人間B	2	3・4	
		国際ビジネス入門A	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門B	2	2･3･4	
		感性ビジネスA ーファッション産業のフロンティアー	2	2･3･4	
		感性ビジネスB ーファッション産業のフロンティアー	2	2･3･4	
		感性ビジネスC ーファッション・ビジネス戦略論ー	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構 (IFI）寄附講座
		感性ビジネスD ーファッション・ビジネス戦略論ー	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構 (IFI）寄附講座
		パーソナル・マネー・マネジメント入門	2	3・4	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと人づくりのリテラシー	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情A	2	3・4	
		国際ビジネスと海外事情B	2	3・4	
		グローバリゼーションとWTO	2	3・4	
		日本農業とWTO	2	3・4	
		環境問題と社会	2	3・4	NPO 環境平和持続の会寄附講座
		現代金融の諸問題	2	3・4	金融青山会寄附講座
		経済・金融とファイナンス	2	3・4	閉講
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		ファイナンシャルプランニング基礎	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		囲碁で養うロジカルシンキング	2	2･3･4	公益財団法人日本棋院寄附講座
	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	
		技術史B	2	2･3･4	
		日常生活の数理	2	2･3･4	
		数理科学入門I	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学入門II	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学の視点	2	2･3･4	
		数理モデル	2	2･3･4	
		自然科学概論A	2	2･3･4	
		自然科学概論B	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術A	2	3・4	
		文化としての科学・技術B	2	3・4	
		現代物理	2	2･3･4	
		ライフサイエンス	2	2･3･4	
		ゲノム	2	2･3･4	
		生物と地球環境	2	3・4	
		地球環境保全	2	3・4	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	3・4	

テーマ別科目	自然理解関連科目（領域D）	地球観（自然と人の倫理）	2	2･3･4	
		生命と地球の歴史	2	2･3･4	
		宇宙科学	2	2･3･4	
		野鳥の生態	2	2･3･4	
		鳥類と生物多様性	2	2･3･4	
		植物生態学	2	2･3･4	
		メカワールド	2	2･3･4	理工学部除く
		経営管理の技術	2	2･3･4	理工学部除く
		先端エレクトロニクス	2	2･3･4	
		環境科学A	2	2･3･4	
		環境科学B	2	2･3･4	
		自然地理学A	2	2･3･4	
		自然地理学B	2	2･3･4	
		科学史	2	2･3･4	
		生命と生態系(環境と生物)	2	2･3･4	
		生命の連続（遺伝）	2	2･3･4	
		かたちの科学	2	2･3･4	
		自然史	2	2･3･4	
		自然観の変遷	2	2･3･4	
	歴史理解関連科目（領域E）	青山学院大学の歴史	2	2･3･4	
		日本社会史A	2	2･3･4	
		日本社会史B	2	2･3･4	
		日本社会史C	2	3・4	
		中国史A	2	2･3･4	
		中国史B	2	2･3･4	
		中国史C	2	3・4	
		ヨーロッパ史A	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史C	2	3・4	
		現代史A	2	2･3･4	
		現代史B	2	2･3･4	
		現代史C	2	2･3･4	
		現代史D	2	2･3･4	
		考古学A	2	2･3･4	
		考古学B	2	2･3･4	
		科学思想史A	2	2･3･4	
		科学思想史B	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ･(第二外国語)(B)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(C)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(D)	2	2･3･4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	（第二外国語）II (A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語を指します。
		（第二外国語）II (B)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (C)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (D)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (E)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、中国語を指します。
		中国語 II (F)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		英語 II	2	2･3･4	フランス文学科のみ
		英語 (II A)	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		英語 (II B)	2	2･3･4	外国人留学生のみ、旧称「英語II」
		日本語 II	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）III	2	3・4	（第二外国語）はドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		フランス語 III (A)	2	3・4	フランス文学科除く
		フランス語 III (B)	2	3・4	フランス文学科除く
		英語 III	2	3・4	フランス文学科のみ
		英語 (III)	2	3・4	外国人留学生のみ
		日本語 III	2	3・4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）会話（I）	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語（フランス文学科のみ）を指します。
		（第二外国語）会話（II）	2	3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語を指します。
		日本語 (I)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (I)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (I)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (I)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)D	1	3	交換留学生のみ

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	日本語（V）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）D	1	3	交換留学生のみ
		日本事情（I）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（II）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（III）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（IV）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（V）	2	3	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化C	2	3・4	
		スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化C	2	3・4	
		中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	3・4	
		韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化B	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化A	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化B	2	3・4	
		日本学A	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	
		English Studies B	2	2･3･4	
		English Studies C	2	3・4	
		English Studies D	2	3・4	
		English Studies E	2	3・4	
		ことばの研究A	2	2･3･4	
		ことばの研究B	2	3・4	
		少数民族の社会と文化A	2	3・4	
		少数民族の社会と文化B	2	3・4	

テーマ別科目		民族文化論A	2	2･3･4	
		民族文化論B	2	2･3･4	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	
		動きの人間学	2	2･3･4	
		医療社会学	2	2･3･4	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	４回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎Ⅰ	2	2･3･4	
		プログラミング基礎Ⅱ	2	2･3･4	
		情報スキルⅡ	2	2･3･4	
		eラーニング入門	2	2･3･4	
		インストラクショナルデザイン入門	2	2･3･4	
		教育システムのためのIT入門	2	2･3･4	
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	

【３】 第一外国語科目について

１．第一外国語科目配置表

	授業科目（全て通年）	単位	履修年次	備　　考
必修	**リーディング・コンプリヘンションⅠ**	2	1	
	リーディング・コンプリヘンションⅡ	2	2	リーディング・コンプリヘンションⅠ修得者のみ履修可。
	ファンダメンタル・イングリッシュ	2	1	
	リーディング＆ディスカッション	2	2	ファンダメンタル・イングリッシュ修得者のみ履修可。
	ライティング＆コミュニケーション	2	1	
	英語圏の言葉と文化（英語演習）	2	3	
選択	オーラル・コミュニケーションⅠ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座Ａ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座Ｂ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	アドバンスト・ライティング	2	2	ライティング＆コミュニケーション修得者のみ履修可。
	ビジネス・コミュニケーション	2	3・4	
	オーラル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	オーラル・コミュニケーションⅠ修得者のみ履修可。
	スピーチ・クリニック	4	3・4	

(注意)・第一外国語科目には、クラス指定があります。
・下級年次必修科目の再履修クラスが開講されている場合は、必ずそのクラスで受講してください。
・他学部の第一外国語科目は履修できません。

2．外国人留学生の外国語科目の履修について

外国人留学生の外国語科目は、以下のとおり履修してください。

A．第一外国語科目の履修方法

第一外国語科目の必要単位

必　　修（12単位）

履修年次	授業科目名（すべて２単位）		
1	**日本語初級A**	**日本語初級B**	**日本語初級C**
2	**日本語中級 A**	**日本語中級 B**	
3	**日本語上級**		

履修順序はありません。

※指定の第一外国語必修科目以外は履修できません。

B．第二外国語科目の履修方法（青山スタンダード参照）

言葉の技能〔領域F〕（第二外国語科目）の必要単位

必　　修（４単位）

フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語のうちから１カ国語を履修すること。ただし、母国語（第一言語）は第二外国語として履修できません。

（注意）

(1) 外国人留学生の第一外国語科目・第二外国語科目については、原則として、履修順序を設けません。ただし、１年次配置前期開講科目と後期開講科目の間にそれぞれ履修順序があり、前期開講科目の単位が修得できない時、後期開講科目の履修登録は自動的に削除されます。

(2) 申請した第二外国語以外の外国語科目の単位は、自由選択科目に算入されます。

(3) 本学入学以前に、高等学校あるいは海外などですでに学習したことのある学生が、その学力をⅠ修了者に準ずると認定された場合、Ⅱの科目で卒業に必要な単位に充当することができます。

【４】 専門科目履修方法および配置表

１．専門科目について

専門科目の最低必要単位は、入学年度の履修条件に従って修得しなければなりません。

① Ａ・Ｂ・Ｃ１群の必要単位　**24**単位（これを超えた単位は、Ｃ２群に加算）

Ａ群　選択科目

Ｂ群　選択必修　**8** 単位（４単位×２科目）

◎このうち１科目は「**ミクロ経済学**」または「**マクロ経済学**」より選択。

Ｃ１群　選択科目

② Ｃ２・Ｄ群の必要単位　**56**単位（これを超えた単位は、自由選択に加算）

Ｃ２群　選択科目

Ｄ群　選択科目　**20**単位までを専門科目に含める。

２．教職課程関連科目について

教職課程関連科目は、教職課程の一分野である「教科に関する専門科目」として置く科目です。履修については、「Ｘ．教職課程（教員免許状･各種資格）について」ならびに『教職課程履修の手引（第一部）』を参照してください。なお、修得単位は卒業要件単位には算入されません。

３．他学部生の本学科専門科目の履修について

他学部生は下記専門科目の履修はできません。

授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
経済学入門	2	経済英語入門	2	ミクロ経済学	4
マクロ経済学	4	経済政策論	4	財政学	4
社会政策基礎	2	特殊講義	2	注）産業論	2
労働経済基礎	2	現代日本経済史	4	現代欧米経済史	4
外国書講読	2	情報処理Ⅰ	2	情報処理Ⅱ	2
演習	4	演習（卒業論文）	8	ＧＩＳ入門	2
ＧＩＳ応用	2	マーケティング論	4	経営学総論（2009年度以前入学者用）	4
事業戦略論Ⅰ（2010年度以降入学者用）	2	事業戦略論Ⅱ（2010年度以降入学者用）	2	財務会計論Ⅰ	2
財務会計論Ⅱ	2	リスク・マネジメント論Ⅰ	2	リスク・マネジメント論Ⅱ	2
租税の経済学Ⅰ	2	租税の経済学Ⅱ	2	経済地理学（2009年度以前入学者用）	4

注）「産業論（航空事業Ⅰ）」･「産業論（航空事業Ⅱ）」･「産業論（損害保険業）」･「産業論（税法）」･「産業論（証券ビジネス）」･「産業論（知的エンタテイメント産業Ⅰ）」･「産業論（知的エンタテイメント産業Ⅱ」は他学部生の履修を認めます。

４．演習について

演習は、各学部の基礎または概要科目で学んだことをもとに、自分自身で研究テーマを見つけ、大学４年間の集大成である「卒業論文」作成を目標とする専門科目です。学生主体の討論形式を中心に授業が進みます。

ただし、教員ごとに少人数の登録となりますので、選考を要します。

⑴　履修登録方法

３年生：「演習」（４単位）

選考に合格した場合は、事前登録科目として自動的に履修登録されますので、各自での履修登録は必要ありません。

４年生：「演習（卒業論文）」（８単位）

選考に合格した場合と前年度からの継続を希望する場合には、各自で履修登録をしてください。

⑵　履修登録に関する注意事項

①　４年次において「演習（卒業論文）」を履修する場合は、必ず卒業論文を提出してください。

②　４年次において「演習（卒業論文）」を履修した場合、この科目は**必修**となります。したがって、この単位を修得できない場合には、他の選択科目で卒業単位を充足していても卒業を認めません。

③　３年次において協定校へ交換留学生として行く場合、３年次前期は、「演習」を履修し、帰国後の４年次後期から卒業論文指導教員の許可があれば、「演習（卒業論文）」を継続履修することが可能です。

⑶　卒業論文について

提出日時・注意事項については、学生ポータルを確認してください。

５．大学院科目特別履修制度について

大学院経済学研究科経済学専攻または公共・地域マネジメント専攻への進学を希望する４年次生に対して、より高度な専門知識を早期に習得する機会を提供するために、経済学研究科科目の一部を履修することができます。

これによって修得した単位は、研究科入学後、博士前期課程修了要件として定められた単位数まで申請することができるため早期修了あるいは課程博士論文作成作業への早期着手が可能になります。またこの取得単位は卒業後５年以内に限り研究科に入学した時点で認定することができます。

大学院科目特別履修制度は、以下の２種類の方法があります。

１．３年次試験による大学院科目特別履修生試験

出願資格：３年次に在学する者（経済学専攻は経済・経営・国際政経学部のみ）

２．４年次履修による先取り科目履修

経済学専攻：

経済学部４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。

公共・地域マネジメント専攻：

現代経済デザイン学科４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。

※詳細は大学院事務室経済学研究科へ問い合わせてください。

６．産業論について

産業論のうち寄附講座となっている科目は、企業の寄付により開講されている科目です。企業の都合により次年度以降閉講する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

7．経済学科専門科目配置表

コース			授業科目	単位	履修年次	備考
入門科目						
A群			経済学入門	2	1	
			経済英語入門	2	1	
			経済数学入門	4	1・2	
基礎科目						
B群			ミクロ経済学	4	1・2	**B群の4科目中2科目選択必修（このうち1科目は、「ミクロ経済学」又は「マクロ経済学」）**
			マクロ経済学	4	1・2	
			経済史概論	4	1・2	
			統計学概論	4	1・2	
専攻科目						
C1群			経済政策論	4	2	
			財政学	4	2	
			金融論	4	2	
			国際経済学	4	2	
			経済地理学	4	2	＊2009年度以前入学者用（2013年度以降休講）
			経済地理	2	2	＊ 2010年度以降入学者用
			経済地誌	2	2	＊ 2010年度以降入学者用
専攻科目						
C2群	理論・数量	理論	経済学史	4	2	
			応用ミクロ経済学	4	3・4	
			応用マクロ経済学	4	3・4	
			経済動学	4	3・4	
			オープンマクロ経済学	4	3・4	
			契約の経済学	2	3・4	＊
			法と経済学	2	3・4	＊
		数量	情報処理Ⅰ	4	2	
			情報処理Ⅱ	4	3・4	
			計量経済学	4	3・4	
			経済統計	4	3・4	
			数理統計	4	3・4	
			経済数学Ⅰ	2	3・4	
			経済数学Ⅱ	2	3・4	
	政策・産業	政府	社会政策基礎	2	2	
			社会政策論	4	3・4	
			地方財政の経済学Ⅰ	2	3・4	＊
			地方財政の経済学Ⅱ	2	3・4	＊
			租税の経済学Ⅰ	2	3・4	
			租税の経済学Ⅱ	2	3・4	
			公共経済学	4	3・4	
			社会保障論	4	3・4	
			NPO論A	2	3・4	＊
			NPO論B	2	3・4	＊
			特殊講義（雇用制度と労使関係）	2	3・4	
			特殊講義（社会保障と保険１）	2	3・4	
			特殊講義（社会保障と保険２）	2	3・4	
		企業	特殊講義（ビジネス経済学１）	2	3・4	
			特殊講義（ビジネス経済学２）	2	3・4	
			特殊講義（ゲーム理論）	2	3・4	
			特殊講義（マーケット・デザイン）	2	3・4	
			特殊講義（モノ造りの経済学）	2	3・4	

＊現代経済デザイン学科主体科目

コース			授業科目	単位	履修年次	備考
C2群	政策・産業	企業	産業論（総合商社）	2	3・4	
			産業論（現代の証券）	2	3・4	野村證券㈱寄附講座
			産業論（航空事業Ⅰ）	2	3・4	
			産業論（航空事業Ⅱ）	2	3・4	
			産業論（ベンチャーとマーケティング）	2	3・4	
			産業論（損害保険業）	2	3・4	日本興亜損害保険㈱寄附講座
			産業論（コマーシャルバンキング戦略論）	2	3・4	SMBC コンサルティング㈱寄附講座
			産業論（バンキングビジネス）	2	3・4	
			産業論（自動車産業）	2	3・4	
			産業論（税法）	2	3・4	東京税理士会寄附講座
			産業論（証券ビジネス）	2	3・4	東海東京証券㈱寄附講座
			産業論（知的エンタテイメント産業Ⅰ）	2	3・4	日本コントラクトブリッジ連盟寄附講座
			産業論（知的エンタテイメント産業Ⅱ）	2	3・4	日本コントラクトブリッジ連盟寄附講座
			※産業論は、卒業要件単位に算入されるのは10単位までで、それを超えた単位は卒業要件外になります。			
			労働経済基礎	2	2	
			労働経済論	4	3・4	
			産業組織論	4	3・4	
		金融	ファイナンス論	4	3・4	
			国際金融論	4	3・4	
			特殊講義（金融リスク管理）	2	3・4	
			特殊講義（ファイナンス市場分析）	2	3・4	
	歴史・国際・環境	歴史	日本経済史	4	3・4	
			欧米経済史	4	3・4	
			東洋経済史	4	3・4	
			経済思想史	4	3・4	
			キリスト教社会思想史	4	3・4	
			現代日本経済史	4	3・4	
			現代欧米経済史	4	3・4	
		国際問題	日本経済論	4	3・4	
			世界経済論	4	3・4	
			開発経済学	2	3・4	＊
			政策と評価 B	2	3・4	＊
			各国経済論 A	4	3・4	
			各国経済論 B	4	3・4	
		地域・環境	地域経済学Ⅱ	2	3・4	＊
			都市経済学	2	3・4	＊
			交通経済学	4	3・4	
			農業経済論	4	3・4	
			環境経済学	4	3・4	
			GIS 入門	2	3・4	
			GIS 応用	2	3・4	「GIS 入門」修得者のみ履修可。 異名称同一科目：現代経済デザイン学科「GIS による空間分析Ⅱ」
			地域人口論	2	3・4	＊
			住宅と不動産の経済学	2	3・4	＊
	演習等		外国書講読	2	3・4	
			演習	4	3のみ	
			演習（卒業論文）	8	4のみ	
関連科目						
D群（関連科目）	現代経済デザイン学科科目		A・B群科目、C群の「コア科目」、「演習等」、「総合科目」、4年次配置（院共通）科目、同一名称科目（Ⅰ、Ⅱが付く科目を含む）、異名称同一科目（「GIS による空間分析Ⅱ」）は除きます。			
			憲法	4	2	
			民法Ⅰ	4	3・4	

コース		授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
D群（関連科目）	法学	民法II	4	3・4	
		商法Ⅰ	4	3・4	
		商法II	4	3・4	
		経済法	4	3・4	
		労働法	4	3・4	
	経営学	簿記論	4	1・2	
		マーケティング論	4	2	
		事業戦略論Ⅰ	2	2	2010年度以降入学者用（2009年度以前入学者用の「経営学総論」は2011年度以降休講）
		事業戦略論II	2	2	
		財務会計論	4	2	
		金融市場論	4	3・4	（2011年度以降休講）
		リスク・マネジメント論Ⅰ	2	3・4	
		リスク・マネジメント論II	2	3・4	
		経営史Ⅰ	2	3・4	
		経営史II	2	3・4	
	国際政治経済学部B群科目	経済学部の科目と異名称のものに限ります。 Ⅰ・IIを除いた同一名称科目は履修できません。 他学部科目一覧表の国際政治経済学部欄参照。			

8．教職課程関連科目配置表

教　職　課　程　関　連　科　目			
授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
日本史	4	3・4	
外国史（東洋史及び西洋史）	4	3・4	
人文地理学	4	3・4	
人文地理学概論	4	3・4	
自然地理学	4	3・4	
△地理情報分析法	4	3・4	
△気象学	4	3・4	
地誌学概論	4	3・4	
法律学概説	4	3・4	
政治学概説	4	3・4	
政治学原論	4	1・2	
国際関係論	4	3・4	
哲学史	4	3・4	
△倫理学概説	4	3・4	
宗教学	4	3・4	
△心理学概説	4	3・4	

（注意）　修得した単位は卒業要件単位には算入されません。
教職課程関連科目は教育職員免許状の取得を希望し申請した学生以外は履修できません。
△は隔年開講

9．税理士特別講座について

経済学部では、本学OB・OGの税理士・公認会計士等で構成される「青学会計人クラブ」の協力のもと、1998年から正規のカリキュラムとは別に「税理士特別講座」を開設しています。

皆さんの先輩であり、実務の第一線で活躍する専門家が、日頃の忙しい時間を割いて会計科目･税法科目の基礎講座と親身な受験指導を行っています。税理士試験のみならず、日商簿記検定を目指す人にも学習の指針となることでしょう。税理士･公認会計士という職業に関心を持ちながらも、現場の実務家と接する機会の少ない学生は、この特別講座を大いに活用してください。

勉学意欲のある学生の受講を期待しています。

説明会開催日時や申し込みの詳細については、年度初頭に「学生ポータル」を参照してください。

C．経済学科履修要項（2008年度入学者）

【1】 経済学科履修について

経済学科の基本理念

経済学を理論、政策、歴史の３方向から総合的に学び、現実の経済問題を自ら分析できる力を養い、弾力的な思考と行動力を持った自由で独立した学生を育てる。

１．卒業要件

⑴ 卒業に必要な単位数について

卒業資格を得るためには、下表に示す区分にしたがってその単位を修得しなければなりません。ここに示す単位数は科目の種別ごとに要求される最低の単位数です。これが１単位でも不足すると卒業は認められません。

134単位は卒業に必要な最低単位数なので、意欲のある学生はこの単位を超えて単位を修得できます。

⑵ 学位について

経済学部経済学科に４年以上（ただし８年を限度とします）在学し、卒業に必要な**134**単位以上を修得した者には、学位記を与え「学士（経済学）」の学位を授与します。

卒業要件単位表

<table>
<tr><th colspan="2">科　目　の　種　類</th><th>必選の別</th><th colspan="2">必要単位</th></tr>
<tr><td colspan="2">青山スタンダード科目</td><td>必　修
選択必修</td><td colspan="2">26</td></tr>
<tr><td>外　国　語　科　目</td><td>第一外国語科目</td><td>必　修</td><td colspan="2">12</td></tr>
<tr><td rowspan="5">専　門　科　目</td><td>Ａ群（入門科目）</td><td>選　択</td><td rowspan="3">24</td><td rowspan="5">80</td></tr>
<tr><td>Ｂ群（基礎科目）</td><td>選択必修</td></tr>
<tr><td>Ｃ１群（専攻科目）</td><td>選　択</td></tr>
<tr><td>Ｃ２群（専攻科目）</td><td>選　択</td><td rowspan="2">56</td></tr>
<tr><td>Ｄ群（関連科目）
（20単位まで専門に算入）</td><td>選　択</td></tr>
<tr><td>自　由　選　択　科　目</td><td>青山スタンダード26単位を超えた単位
経済学部開講の外国語選択科目
専門80単位を超えた単位
他学部開講の専門科目</td><td>選　択</td><td colspan="2">16</td></tr>
<tr><td colspan="3">総　　計</td><td colspan="2">134</td></tr>
</table>

※Ａ・Ｂ・Ｃ１群で24単位を超えた単位はＣ２群に加算されます。
※Ｃ２群・Ｄ群で56単位を超えた単位は自由選択科目に加算されます。

2．最高履修制限単位

最高履修制限単位は次のとおりです。各年次生は、この表に示す単位数を超えて履修することはできません。なお、各年次においては、１科目以上の履修をしなければなりません。

学　　年	１年次	２年次	３年次	４年次	合　計
最高履修制限単位	44	44	46	50	184

（注意）　教育職員免許状および各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目および教職課程関連科目の単位は、最高履修制限単位に含まれません。

3．進級条件

２年次終了時までに、卒業要件単位50単位以上を修得しなければ３年次に進級できません。

なお、教育職員免許状および各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目の単位は、卒業要件単位に算入されません。

4．修得単位僅少者について

入学後休学期間を除いて２年間で修得単位が32単位に満たない学生は、大学学則第34条に基づき成業の見込のない者として除籍されることがありますので注意してください。

5．編入学者

編入学者については、入学時の学年の履修条件が適用されます。履修方法等通常の入学者とは異なりますので特に注意してください。なお、編入学者の場合、編入をした年度に限り履修順序は適用しません。

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2008年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養をそなえているという社会的評価を受けることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

科目の種類				必選の別	必要単位
青山スタンダード科目	1）教養コア	キリスト教理解関連科目		必修	2
	2）技能コア	言葉の技能	英語	※１	
			第二外国語 ※２　※３	必修	4
		身体の技能		必修※４	2
		情報の技能		必修	2
	3）テーマ別	キリスト教理解関連科目		必修	2
	4）教養コア	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記４領域のうち２領域から「教養コア科目」を選択	選択必修	4
	5）領域指定	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記領域より４）で選択しなかった２領域から各１科目（２単位）ずつ選択。（「教養コア科目」あるいは「テーマ別科目」いずれも可）	選択必修	4
	フレッシャーズ・セミナー、教養コア科目、技能コア科目、テーマ別科目から選択。（１）～５）で修得した科目は除く）			選択	6

※１　言葉の技能･英語は、所属する学部（学科）が開講する科目を履修します。詳しくは、所属する学部（学科）の外国語科目履修方法および配置表に関するページを参照してください。（英語スキルⅠ－１、Ⅰ－２を除く）

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

・「（第二外国語）Ⅰ(A)」「（第二外国語）Ⅰ(B)」について、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます（日本語は除く）。

・「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ･（第二外国語）」あるいは「（第二外国語）Ⅱ」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「インテンシブ･（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

※４　教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修です。

○　必要単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　**受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。**

○　総合文化政策学部生は、履修年次が３年次以上の青山キャンパス開講科目を２年次に履修できる場合があります。詳細は時間割表等で確認してください。

３．授業科目配置表

（太字は必修科目）

		授業科目	単位	配置年次	備考
		フレッシャーズ・セミナー	2	1	１年生のみ
教養コア科目		（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	
		（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題（総合科目） 現代社会の諸問題（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（自然理解関連科目） 科学・技術の視点（総合科目） 科学・技術の視点（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能 英語	英語スキルⅠ－1	1	1	2007年度以降入学者１年生のみ
		英語スキルⅠ－2	1	1	2007年度以降入学者１年生のみ
	言葉の技能 第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		（第二外国語）Ⅰ(A)－2	**1**	**1**	
		（第二外国語）Ⅰ(B)－1	**1**	**1**	
		（第二外国語）Ⅰ(B)－2	**1**	**1**	
		英語Ⅰ－1	**1**	**1**	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週２回履修し、計４単位修得してください。
		英語Ⅰ－2	**1**	**1**	
		英語（ⅠA）－1	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		英語（ⅠA）－2	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		英語（ⅠB）－1	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		英語（ⅠB）－2	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		日本語Ⅰ(A)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
		日本語Ⅰ(B)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
	技能の身体の	**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修
	技能の情報の	**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	理工学部・社会情報学部は２年次 他は３年次配置
		旧約聖書と人間	2	2・3・4	
		新約聖書と人間	2	3・4	
		キリスト教生命倫理	2	3・4	
		キリスト教政治倫理	2	3・4	
		キリスト教と自然科学	2	2・3・4	
		キリスト教環境倫理	2	2・3・4	
		キリスト教音楽	2	3・4	

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	キリスト教美術	2	3・4	
		メソジスト教会史	2	3・4	
		キリスト教教育	2	3・4	閉講
		世界の諸宗教	2	2･3･4	旧称「比較宗教学」
		現代神学	2	3・4	
		キリスト教と社会福祉	2	3・4	閉講
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	3・4	旧称「聖書とフェミニズム」（2003～2007年度）、「フェミニズムと聖書」（2008年度）
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	旧称「聖書の中の女性たち」
		サービス・ラーニングⅠ	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2･3･4	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2･3･4	
		哲学B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題A	2	3・4	
		哲学の諸問題B	2	3・4	
		哲学の諸問題C	2	3・4	
		哲学の諸問題D	2	3・4	
		論理学A	2	2･3･4	
		論理学B	2	2･3･4	
		論理学の諸問題A	2	3・4	
		論理学の諸問題B	2	3・4	
		倫理学A	2	2･3･4	
		倫理学B	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題A	2	3・4	
		倫理学の諸問題B	2	3・4	
		西洋倫理思想史A	2	3・4	
		西洋倫理思想史B	2	3・4	
		言語学A	2	2･3･4	
		言語学B	2	2･3･4	
		日本語学A	2	2･3･4	
		日本語学B	2	2･3･4	
		文学A	2	2･3･4	
		文学B	2	2･3･4	
		文学史A	2	3・4	
		文学史B	2	3・4	
		美術A	2	2･3･4	
		美術B	2	2･3･4	
		美術史A	2	3・4	
		美術史B	2	3・4	
		音楽A	2	2･3･4	
		音楽B	2	2･3･4	
		音楽史A	2	3・4	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	音楽史B	2	3・4	
		文化人類学A	2	2･3･4	
		文化人類学B	2	2･3･4	
		比較文化A	2	2･3･4	
		比較文化B	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題A	2	3・4	
		比較文化の諸問題B	2	3・4	
		心理学A	2	2･3･4	心理学科除く
		心理学B	2	2･3･4	心理学科除く
		教育学A	2	2･3･4	
		教育学B	2	2･3･4	
		平和を考えるA	2	3・4	
		平和を考えるB	2	3・4	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）	4	2･3･4	法学部除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		日本の法と社会A	2	3・4	
		日本の法と社会B	2	3・4	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	
		国際政治経済学B	2	2･3･4	
		国際関係概論A	2	2･3･4	
		国際関係概論B	2	2･3･4	
		社会学A	2	2･3･4	
		社会学B	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	
		経済学A	2	2･3･4	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	
		情報社会科学B	2	2･3･4	
		情報社会論	2	3・4	
		社会情報論	2	3・4	
		人口問題A	2	2･3･4	
		人口問題B	2	2･3･4	
		フェミニズムA	2	3・4	
		フェミニズムB	2	3・4	
		民族問題A	2	3・4	
		民族問題B	2	3・4	
		マスメディアと社会	2	2･3･4	

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	データサイエンス	2	2･3･4	
		福祉と人間A	2	3・4	
		福祉と人間B	2	3・4	
		国際ビジネス入門A	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門B	2	2･3･4	
		感性ビジネスA ーファッション産業のフロンティアー	2	2･3･4	
		感性ビジネスB ーファッション産業のフロンティアー	2	2･3･4	
		感性ビジネスC ーファッション・ビジネス戦略論ー	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構 (IFI）寄附講座
		感性ビジネスD ーファッション・ビジネス戦略論ー	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構 (IFI）寄附講座
		パーソナル・マネー・マネジメント入門	2	3・4	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと人づくりのリテラシー	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情A	2	3・4	
		国際ビジネスと海外事情B	2	3・4	
		グローバリゼーションとWTO	2	3・4	
		日本農業とWTO	2	3・4	
		環境問題と社会	2	3・4	NPO 環境平和持続の会寄附講座
		現代金融の諸問題	2	3・4	金融青山会寄附講座
		経済・金融とファイナンス	2	3・4	閉講
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		ファイナンシャルプランニング基礎	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		囲碁で養うロジカルシンキング	2	2･3･4	公益財団法人日本棋院寄附講座
	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	
		技術史B	2	2･3･4	
		日常生活の数理	2	2･3･4	
		数理科学入門I	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学入門II	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学の視点	2	2･3･4	
		数理モデル	2	2･3･4	
		自然科学概論A	2	2･3･4	
		自然科学概論B	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術A	2	3・4	
		文化としての科学・技術B	2	3・4	
		現代物理	2	2･3･4	
		ライフサイエンス	2	2･3･4	
		ゲノム	2	2･3･4	
		生物と地球環境	2	3・4	
		地球環境保全	2	3・4	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	3・4	

テーマ別科目	自然理解関連科目（領域D）	地球観（自然と人の倫理）	2	2･3･4	
		生命と地球の歴史	2	2･3･4	
		宇宙科学	2	2･3･4	
		野鳥の生態	2	2･3･4	
		鳥類と生物多様性	2	2･3･4	
		植物生態学	2	2･3･4	
		メカワールド	2	2･3･4	理工学部除く
		経営管理の技術	2	2･3･4	理工学部除く
		先端エレクトロニクス	2	2･3･4	
		環境科学A	2	2･3･4	
		環境科学B	2	2･3･4	
		自然地理学A	2	2･3･4	
		自然地理学B	2	2･3･4	
		科学史	2	2･3･4	
		生命と生態系(環境と生物)	2	2･3･4	
		生命の連続（遺伝）	2	2･3･4	
		かたちの科学	2	2･3･4	
		自然史	2	2･3･4	
		自然観の変遷	2	2･3･4	
	歴史理解関連科目（領域E）	青山学院大学の歴史	2	2･3･4	
		日本社会史A	2	2･3･4	
		日本社会史B	2	2･3･4	
		日本社会史C	2	3・4	
		中国史A	2	2･3･4	
		中国史B	2	2･3･4	
		中国史C	2	3・4	
		ヨーロッパ史A	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史C	2	3・4	
		現代史A	2	2･3･4	
		現代史B	2	2･3･4	
		現代史C	2	2･3･4	
		現代史D	2	2･3･4	
		考古学A	2	2･3･4	
		考古学B	2	2･3･4	
		科学思想史A	2	2･3･4	
		科学思想史B	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ･(第二外国語)(B)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(C)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(D)	2	2･3･4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	（第二外国語）II (A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語を指します。
		（第二外国語）II (B)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (C)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、中国語を指します。
		（第二外国語）II (D)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (E)	2	2･3･4	
		中国語 II (F)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		英語 II	2	2･3･4	フランス文学科のみ
		英語 (II A)	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		英語 (II B)	2	2･3･4	外国人留学生のみ、旧称「英語II」
		日本語 II	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）III	2	3・4	（第二外国語）はドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		フランス語 III (A)	2	3・4	フランス文学科除く
		フランス語 III (B)	2	3・4	フランス文学科除く
		英語 III	2	3・4	フランス文学科のみ
		英語 (III)	2	3・4	外国人留学生のみ
		日本語 III	2	3・4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）会話（I）	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語（フランス文学科のみ）を指します。
		（第二外国語）会話（II）	2	3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語を指します。
		日本語 (I)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (I)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (I)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (I)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (V)A	1	3	交換留学生のみ

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	日本語（V)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V)D	1	3	交換留学生のみ
		日本事情（I）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（II）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（III）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（IV）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（V）	2	3	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化C	2	3・4	
		スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化C	2	3・4	
		中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	3・4	
		韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化B	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化A	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化B	2	3・4	
		日本学A	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	
		English Studies B	2	2･3･4	
		English Studies C	2	3・4	
		English Studies D	2	3・4	
		English Studies E	2	3・4	
		ことばの研究A	2	2･3･4	
		ことばの研究B	2	3・4	
		少数民族の社会と文化A	2	3・4	
		少数民族の社会と文化B	2	3・4	
		民族文化論A	2	2･3･4	

テーマ別科目		民族文化論B	2	2･3･4	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	
		動きの人間学	2	2･3･4	
		医療社会学	2	2･3･4	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	４回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎Ⅰ	2	2･3･4	
		プログラミング基礎Ⅱ	2	2･3･4	
		情報スキルⅡ	2	2･3･4	
		eラーニング入門	2	2･3･4	
		インストラクショナルデザイン入門	2	2･3･4	
		教育システムのためのIT入門	2	2･3･4	
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	

【３】 第一外国語科目について

１．第一外国語科目配置表

	授業科目（全て通年）	単位	履修年次	備　　考
必修	**リーディング・コンプリヘンションⅠ**	2	1	
	リーディング・コンプリヘンションⅡ	2	2	リーディング・コンプリヘンションⅠ修得者のみ履修可。
	ファンダメンタル・イングリッシュ	2	1	
	リーディング＆ディスカッション	2	2	ファンダメンタル・イングリッシュ修得者のみ履修可。
	ライティング＆コミュニケーション	2	1	
	英語圏の言葉と文化（英語演習）	2	3	
選択	オーラル・コミュニケーションⅠ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座Ａ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座Ｂ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	アドバンスト・ライティング	2	2	ライティング＆コミュニケーション修得者のみ履修可。
	ビジネス・コミュニケーション	2	3・4	
	オーラル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	オーラル・コミュニケーションⅠ修得者のみ履修可。
	スピーチ・クリニック	4	3・4	

(注意)・第一外国語科目には、クラス指定があります。
・下級年次必修科目の再履修クラスが開講されている場合は、必ずそのクラスで受講してください。
・他学部の第一外国語科目は履修できません。

2．外国人留学生の外国語科目の履修について

外国人留学生の外国語科目は、以下のとおり履修してください。

A．第一外国語科目の履修方法

第一外国語科目の必要単位

必　　修（12単位）

履修年次	授業科目名（すべて２単位）		
1	**日本語初級A**	**日本語初級B**	**日本語初級C**
2	**日本語中級 A**	**日本語中級 B**	
3	**日本語上級**		

履修順序はありません。

※指定の第一外国語必修科目以外は履修できません。

B．第二外国語科目の履修方法（青山スタンダード参照）

言葉の技能〔領域F〕（第二外国語科目）の必要単位

必　　修（４単位）

フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語のうちから１カ国語を履修すること。ただし、母国語（第一言語）は第二外国語として履修できません。

（注意）

(1) 外国人留学生の第一外国語科目・第二外国語科目については、原則として、履修順序を設けません。ただし、１年次配置前期開講科目と後期開講科目の間にそれぞれ履修順序があり、前期開講科目の単位が修得できない時、後期開講科目の履修登録は自動的に削除されます。

(2) 申請した第二外国語以外の外国語科目の単位は、自由選択科目に算入されます。

(3) 本学入学以前に、高等学校あるいは海外などですでに学習したことのある学生が、その学力をⅠ修了者に準ずると認定された場合、Ⅱの科目で卒業に必要な単位に充当することができます。

【４】 専門科目履修方法および配置表

１．専門科目について

専門科目の最低必要単位は、入学年度の履修条件に従って修得しなければなりません。

① Ａ・Ｂ・Ｃ１群の必要単位　**24**単位（これを超えた単位は、Ｃ２群に加算）

Ａ群　選択科目

Ｂ群　選択必修　**8** 単位（４単位×２科目）

◎このうち１科目は「**ミクロ経済学**」または「**マクロ経済学**」より選択。

Ｃ１群　選択科目

② Ｃ２・Ｄ群の必要単位　**56**単位（これを超えた単位は、自由選択に加算）

Ｃ２群　選択科目

Ｄ群　選択科目　**20**単位までを専門科目に含める。

２．教職課程関連科目について

教職課程関連科目は、教職課程の一分野である「教科に関する専門科目」として置く科目です。履修については、「Ｘ．教職課程（教員免許状･各種資格）について」ならびに『教職課程履修の手引（第一部）』を参照してください。なお、修得単位は卒業要件単位には算入されません。

３．他学部生の本学科専門科目の履修について

他学部生は、下記専門科目の履修はできません。

授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
経済学入門	2	経済英語入門	2	ミクロ経済学	4
マクロ経済学	4	経済政策論	4	財政学	4
注）産業論	2	外国書講読	4	演習	4
情報処理Ⅰ	4	情報処理Ⅱ	4	演習（卒業論文）	8
ＧＩＳ入門	2	ＧＩＳ応用	2	マーケティング論	4
経営学総論	4	財務会計論	4	リスク・マネジメント論	4
経済地理学	4	地方財政論	4	経済開発論	4
地域経済学	4				

注）「産業論（航空事業Ⅰ）」･「産業論（航空事業Ⅱ）」･「産業論（損害保険業）」･「産業論（税法）」･「産業論（証券ビジネス）」･「産業論（知的エンタテイメント産業Ⅰ）」･「産業論（知的エンタテイメント産業Ⅱ」は他学部生の履修を認めます。

４．演習について

演習は、各学部の基礎または概要科目で学んだことをもとに、自分自身で研究テーマを見つけ、大学４年間の集大成である「卒業論文」作成を目標とする専門科目です。学生主体の討論形式を中心に授業が進みます。

ただし、教員ごとに少人数の登録となりますので、選考を要します。

⑴　履修登録方法

３年生：「演習」（４単位）

選考に合格した場合は、事前登録科目として自動的に履修登録されますので、各自での履修登録は必要ありません。

４年生：「演習（卒業論文）」（８単位）

選考に合格した場合と前年度からの継続を希望する場合には、各自で履修登録をしてください。

⑵　履修登録に関する注意事項

①　４年次において「演習（卒業論文）」を履修する場合は、必ず卒業論文を提出してくださ

い。

② ４年次において「演習（卒業論文）」を履修した場合、この科目は**必修**となります。したがって、この単位を修得できない場合には、他の選択科目で卒業単位を充足していても卒業を認めません。

③ ３年次において協定校へ交換留学生として行く場合、３年次前期は「演習」を履修し、帰国後の４年次後期から卒業論文指導教員の許可があれば、「演習（卒業論文）」を継続履修することが可能です。

⑶ 卒業論文について

提出日時・注意事項については、学生ポータルを確認してください。

５．大学院科目特別履修制度について

大学院経済学研究科経済学専攻または公共・地域マネジメント専攻への進学を希望する４年次生に対して、より高度な専門知識を早期に習得する機会を提供するために、経済学研究科科目の一部を履修することができます。

これによって修得した単位は、研究科入学後、博士前期課程修了要件として定められた単位数まで申請することができるため早期修了あるいは課程博士論文作成作業への早期着手が可能になります。またこの取得単位は卒業後５年以内に限り研究科に入学した時点で認定することができます。

大学院科目特別履修制度は、以下の２種類の方法があります。

１．３年次試験による大学院科目特別履修生試験

出願資格：３年次に在学する者（経済学専攻は経済・経営・国際政経学部のみ）

２．４年次履修による先取り科目履修

経済学専攻：

経済学部４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。

公共・地域マネジメント専攻：

現代経済デザイン学科４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。

※詳細は大学院事務室経済学研究科へ問い合わせてください。

６．産業論について

産業論のうち寄附講座となっている科目は、企業の寄付により開講されている科目です。企業の都合により次年度以降閉講する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

7．経済学科専門科目配置表

コース			授業科目	単位	履修年次	備考
入門科目						
A群			経済学入門	2	1	
			経済英語入門	2	1	
			経済数学入門	4	1・2	
基礎科目						
B群			ミクロ経済学	4	1・2	**B群の4科目中2科目選択必修（このうち1科目は、「ミクロ経済学」又は「マクロ経済学」）**
			マクロ経済学	4	1・2	
			経済史概論	4	1・2	
			統計学概論	4	1・2	
専攻科目						
C1群			経済政策論	4	2	
			財政学	4	2	
			金融論	4	2	
			国際経済学	4	2	
			経済地理学	4	2	(2013年度以降休講)
専攻科目						
C2群	理論・数量	理論	経済学史	4	2	
			応用ミクロ経済学	4	3・4	
			応用マクロ経済学	4	3・4	
			経済動学	4	3・4	
			オープンマクロ経済学	4	3・4	
			契約の経済学	2	3・4	＊
			法と経済学	2	3・4	＊
		数量	情報処理Ⅰ	4	2	
			情報処理Ⅱ	4	3・4	
			計量経済学	4	3・4	
			経済統計	4	3・4	
			数理統計	4	3・4	
			経済数学Ⅰ	2	3・4	
			経済数学Ⅱ	2	3・4	
	政策・産業	政府	社会政策論	4	3・4	
			地方財政論	4	3・4	＊(2012年度以降休講) 異名称同一科目：現代経済デザイン学科「地方財政の経済学Ⅰ」・「地方財政の経済学Ⅱ」
			租税論	4	3・4	(2012年度以降休講) 異名称同一科目：現代経済デザイン学科「租税の経済学Ⅰ」・「租税の経済学Ⅱ」
			公共経済学	4	3・4	
			社会保障論	4	3・4	
			NPO論A	2	3・4	＊
			NPO論B	2	3・4	＊
		企業	産業論（総合商社）	2	3・4	
			産業論（現代の証券）	2	3・4	野村證券㈱寄附講座
			産業論（航空事業Ⅰ）	2	3・4	
			産業論（航空事業Ⅱ）	2	3・4	
			産業論（ベンチャーとマーケティング）	2	3・4	
			産業論（損害保険業）	2	3・4	日本興亜損害保険㈱寄附講座
			産業論（コマーシャルバンキング戦略論）	2	3・4	SMBCコンサルティング㈱寄附講座

＊現代経済デザイン学科主体科目

コース			授業科目	単位	履修年次	備考
C2群	政策・産業	企業	産業論（バンキングビジネス）	2	3・4	
			産業論（自動車産業）	2	3・4	
			産業論（税法）	2	3・4	東京税理士会寄附講座
			産業論（証券ビジネス）	2	3・4	東海東京証券㈱寄附講座
			産業論（知的エンタテイメント産業Ⅰ）	2	3・4	日本コントラクトブリッジ連盟寄附講座
			産業論（知的エンタテイメント産業Ⅱ）	2	3・4	日本コントラクトブリッジ連盟寄附講座
			※産業論は、卒業要件単位に算入されるのは10単位までで、それを超えた単位は卒業要件外になります。			
			労働経済論	4	3・4	
			産業組織論	4	3・4	
			産業技術論	4	3・4	（閉講）
		金融	ファイナンス論	4	3・4	
			国際金融論	4	3・4	
	歴史・国際・環境	歴史	日本経済史	4	3・4	
			欧米経済史	4	3・4	
			東洋経済史	4	3・4	
			経済思想史	4	3・4	
			キリスト教社会思想史	4	3・4	
		国際問題	日本経済論	4	3・4	
			世界経済論	4	3・4	
			経済開発論	4	3・4	＊（2012年度以降休講） 異名称同一科目：現代経済デザイン学科「開発経済学」・「政策と評価Ｂ」
			各国経済論Ａ	4	3・4	
			各国経済論Ｂ	4	3・4	
		地域・環境	地域経済学	4	3・4	＊（2012年度以降休講） 異名称同一科目：現代経済デザイン学科「地域経済学Ⅱ」・「都市経済学」
			交通経済学	4	3・4	
			農業経済論	4	3・4	
			環境経済学	4	3・4	
			GIS 入門	2	3・4	
			GIS 応用	2	3・4	「GIS 入門」修得者のみ履修可。 異名称同一科目：現代経済デザイン学科「GIS による空間分析Ⅱ」
			地域人口論	2	3・4	＊
			住宅と不動産の経済学	2	3・4	＊
	演習等		外国書講読	4	3・4	（2012年度以降休講）
			演習	4	3のみ	
			演習（卒業論文）	8	4のみ	
関連科目						
D群（関連科目）	現代経済デザイン学科科目		Ａ・Ｂ群科目、Ｃ群の「コア科目」、「演習等」、「総合科目」、４年次配置（院共通）科目、同一名称科目（Ⅰ、Ⅱが付く科目を含む）、異名称同一科目（※）は除きます。 ※「租税の経済学Ⅰ・Ⅱ」、「地方財政の経済学Ⅰ・Ⅱ」、「地域経済学Ⅱ」、「都市経済学」、「開発経済学」、「政策と評価Ｂ」、「GIS による空間分析Ⅱ」			
	法学		憲法	4	2	
			民法Ⅰ	4	3・4	
			民法Ⅱ	4	3・4	
			商法Ⅰ	4	3・4	
			商法Ⅱ	4	3・4	
			経済法	4	3・4	
			労働法	4	3・4	
			簿記論	4	1・2	

コース		授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
D群（関連科目）	経営学	マーケティング論	4	2	
		経営学総論	4	2	（2011年度以降休講）
		財務会計論	4	2	
		金融市場論	4	3・4	（2011年度以降休講）
		リスク・マネジメント論	4	3・4	
		経営史	4	3・4	
	国際政治経済学部B群科目	経済学部の科目と異名称のものに限ります。 Ⅰ・Ⅱを除いた同一名称科目は履修できません。 他学部科目一覧表の国際政治経済学部欄参照。			

8．教職課程関連科目配置表

教　職　課　程　関　連　科　目			
授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
日本史	4	3・4	
外国史（東洋史及び西洋史）	4	3・4	
人文地理学	4	3・4	
人文地理学概論	4	3・4	
自然地理学	4	3・4	
△地理情報分析法	4	3・4	
△気象学	4	3・4	
△地誌学概論（アメリカ地誌を含む）	4	3・4	
△地誌学概論（アジア地誌を含む）	4	3・4	
△地誌学概論（ヨーロッパ地誌を含む）	4	3・4	
△地誌学概論（日本地誌を含む）	4	3・4	
法律学概説	4	3・4	
政治学概説	4	3・4	
政治学原論	4	1・2	
国際関係論	4	3・4	
哲学史	4	3・4	
△倫理学概説	4	3・4	
宗教学	4	3・4	
△心理学概説	4	3・4	
（注意）　修得した単位は卒業要件単位には算入されません。 教職課程関連科目は教育職員免許状の取得を希望し申請した学生以外は履修できません。 △は隔年開講			

9．税理士特別講座について

経済学部では、本学OB・OGの税理士・公認会計士等で構成される「青学会計人クラブ」の協力のもと、1998年から正規のカリキュラムとは別に「税理士特別講座」を開設しています。

皆さんの先輩であり、実務の第一線で活躍する専門家が、日頃の忙しい時間を割いて会計科目･税法科目の基礎講座と親身な受験指導を行っています。税理士試験のみならず、日商簿記検定を目指す人にも学習の指針となることでしょう。税理士･公認会計士という職業に関心を持ちながらも、現場の実務家と接する機会の少ない学生は、この特別講座を大いに活用してください。

勉学意欲のある学生の受講を期待しています。

説明会開催日時や申し込みの詳細については、年度初頭に「学生ポータル」を参照してください。

D．経済学科履修要項（2006・2007年度入学者）

【1】 経済学科履修について

経済学科の基本理念

経済学を理論、政策、歴史の３方向から総合的に学び、現実の経済問題を自ら分析できる力を養い、弾力的な思考と行動力を持った自由で独立した学生を育てる。

１．卒業要件

⑴ 卒業に必要な単位数について

卒業資格を得るためには、下表に示す区分にしたがってその単位を修得しなければなりません。ここに示す単位数は科目の種別ごとに要求される最低の単位数です。これが１単位でも不足すると卒業は認められません。

134単位は卒業に必要な最低単位数なので、意欲のある学生はこの単位を超えて単位を修得できます。

⑵ 学位について

経済学部経済学科に４年以上（ただし８年を限度とします）在学し、卒業に必要な**134**単位以上を修得した者には、学位記を与え「学士（経済学）」の学位を授与します。

卒業要件単位表

<table>
<tr><th colspan="2">科　目　の　種　類</th><th>必選の別</th><th colspan="2">必要単位</th></tr>
<tr><td colspan="2">青山スタンダード科目</td><td>必　修
選択必修</td><td colspan="2">26</td></tr>
<tr><td>外　国　語　科　目</td><td>第一外国語科目</td><td>必　修</td><td colspan="2">12</td></tr>
<tr><td rowspan="4">専　門　科　目</td><td>A群（入門科目）</td><td rowspan="2">選　択</td><td rowspan="2">24</td><td rowspan="4">80</td></tr>
<tr><td>B群（基礎科目）</td></tr>
<tr><td>C群（専攻科目）</td><td rowspan="2">選　択</td><td rowspan="2">56</td></tr>
<tr><td>D群（関連科目）
（20単位まで専門に算入）</td></tr>
<tr><td>自　由　選　択　科　目</td><td>青山スタンダード26単位を超えた単位
経済学部開講の外国語選択科目
専門80単位を超えた単位
他学部開講の専門科目</td><td>選　択</td><td colspan="2">16</td></tr>
<tr><td colspan="3">総　　計</td><td colspan="2">134</td></tr>
</table>

※　A・B群で24単位を超えた単位はC群に加算されます。
※　C・D群で56単位を超えた単位は自由選択科目に加算されます。

2．最高履修制限単位

最高履修制限単位は次のとおりです。各年次生は、この表に示す単位数を超えて履修することはできません。なお、各年次においては、１科目以上の履修をしなければなりません。

学　　年	１年次	２年次	３年次	４年次	合　計
最高履修制限単位	44	44	46	50	184

（注意）　教育職員免許状および各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目および教職課程関連科目の単位は、最高履修制限単位に含まれません。

3．進級条件

２年次終了時までに、卒業要件単位50単位以上を修得しなければ３年次に進級できません。

なお、教育職員免許状および各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目の単位は、卒業要件単位に算入されません。

4．修得単位僅少者について

入学後休学期間を除いて２年間で修得単位が32単位に満たない学生は、大学学則第34条に基づき成業の見込のない者として除籍されることがありますので注意してください。

5．編入学者・転部者

編入学者および転部者については、入学時の学年の履修条件が適用されます。履修方法等通常の入学者とは異なりますので特に注意してください。なお、編入学者・転部者の場合、編入・転部をした年度に限り履修順序は適用しません。

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2006・2007年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養をそなえているという社会的評価を受けることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

科目の種類				必選の別	必要単位
青山スタンダード科目	1）教養コア	キリスト教理解関連科目		必修	2
	2）技能コア	言葉の技能	英語	※1	
			第二外国語 ※2　※3	必修	4
		身体の技能		必修※4	2
		情報の技能		必修	2
	3）テーマ別	キリスト教理解関連科目		必修	2
	4）教養コア	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記４領域のうち２領域から「教養コア科目」を選択	選択必修	4
	5）領域指定	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記領域より４）で選択しなかった２領域から各１科目（２単位）ずつ選択。（「教養コア科目」あるいは「テーマ別科目」いずれも可）	選択必修	4
	フレッシャーズ・セミナー、教養コア科目、技能コア科目、テーマ別科目から選択。（１）～５）で修得した科目は除く）			選択	6

※１　言葉の技能･英語は、所属する学部（学科）が開講する科目を履修します。詳しくは、所属する学部（学科）の外国語科目履修方法および配置表に関するページを参照してください。（英語スキルⅠ－１、Ⅰ－２を除く）

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

・「（第二外国語）Ⅰ(A)」「（第二外国語）Ⅰ(B)」について、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます（日本語は除く）。

・「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ･（第二外国語）」あるいは「（第二外国語）Ⅱ」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「インテンシブ･（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

※４　教育・経済・経営のみ必修です。

○　必要単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　**受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。**

３．授業科目配置表

（太字は必修科目）

		授業科目	単位	配置年次	備考
		フレッシャーズ・セミナー	2	1	１年生のみ
教養コア科目		（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	
		（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題（総合科目） 現代社会の諸問題（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（自然理解関連科目） 科学・技術の視点（総合科目） 科学・技術の視点（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	英語・日本語	**Essential English**	**2**	**1**	2006年度入学者 法学部・理工学部のみ
		英語・日本語	英語スキルⅠ－1	1	1	2007年度以降入学者１年生のみ
		英語・日本語	英語スキルⅠ－2	1	1	2007年度以降入学者１年生のみ
		英語・日本語	**日本語初級A**	**2**	**1**	2006年度入学者 法学部・理工学部の 外国人留学生該当者のみ
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－2**	**1**	**1**	
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(B)－1**	**1**	**1**	
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(B)－2**	**1**	**1**	
		第二外国語	**英語Ⅰ－1**	**1**	**1**	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週２回履修し、計４単位修得してください。
		第二外国語	**英語Ⅰ－2**	**1**	**1**	
		第二外国語	**英語（ⅠA）－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語	**英語（ⅠA）－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語	**英語（ⅠB）－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語	**英語（ⅠB）－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語	**日本語Ⅰ(A)**	**2**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語	**日本語Ⅰ(B)**	**2**	**1**	外国人留学生のみ
	身体の技能	**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	教育・経済・経営のみ必修
	情報の技能	**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	
テーマ別科目	関連科目（領域A）キリスト教理解	**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	理工学部は２年次 他は３年次配置
	関連科目（領域A）キリスト教理解	旧約聖書と人間	2	2・3・4	
	関連科目（領域A）キリスト教理解	新約聖書と人間	2	3・4	
	関連科目（領域A）キリスト教理解	キリスト教生命倫理	2	3・4	

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目(領域A)	キリスト教政治倫理	2	3・4	
		キリスト教と自然科学	2	2･3･4	
		キリスト教環境倫理	2	2･3･4	
		キリスト教音楽	2	3・4	
		キリスト教美術	2	3・4	
		メソジスト教会史	2	3・4	
		キリスト教教育	2	3・4	閉講
		世界の諸宗教	2	2･3･4	旧称「比較宗教学」
		現代神学	2	3・4	
		キリスト教と社会福祉	2	3・4	閉講
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	3・4	旧称「聖書とフェミニズム」（2003～2007年度）、「フェミニズムと聖書」（2008年度）
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	旧称「聖書の中の女性たち」
		サービス・ラーニングⅠ	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2･3･4	
	人間理解関連科目(領域B)	哲学A	2	2･3･4	
		哲学B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題A	2	3・4	
		哲学の諸問題B	2	3・4	
		哲学の諸問題C	2	3・4	
		哲学の諸問題D	2	3・4	
		論理学A	2	2･3･4	
		論理学B	2	2･3･4	
		論理学の諸問題A	2	3・4	
		論理学の諸問題B	2	3・4	
		倫理学A	2	2･3･4	
		倫理学B	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題A	2	3・4	
		倫理学の諸問題B	2	3・4	
		西洋倫理思想史A	2	3・4	
		西洋倫理思想史B	2	3・4	
		言語学A	2	2･3･4	
		言語学B	2	2･3･4	
		日本語学A	2	2･3･4	
		日本語学B	2	2･3･4	
		文学A	2	2･3･4	
		文学B	2	2･3･4	
		文学史A	2	3・4	
		文学史B	2	3・4	
		美術A	2	2･3･4	
		美術B	2	2･3･4	
		美術史A	2	3・4	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	美術史B	2	3・4	
		音楽A	2	2･3･4	
		音楽B	2	2･3･4	
		音楽史A	2	3・4	
		音楽史B	2	3・4	
		文化人類学A	2	2･3･4	
		文化人類学B	2	2･3･4	
		比較文化A	2	2･3･4	
		比較文化B	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題A	2	3・4	
		比較文化の諸問題B	2	3・4	
		心理学A	2	2･3･4	心理学科除く
		心理学B	2	2･3･4	心理学科除く
		教育学A	2	2･3･4	
		教育学B	2	2･3･4	
		平和を考えるA	2	3・4	
		平和を考えるB	2	3・4	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）	4	2･3･4	法学部除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		日本の法と社会A	2	3・4	
		日本の法と社会B	2	3・4	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	
		国際政治経済学B	2	2･3･4	
		国際関係概論A	2	2･3･4	
		国際関係概論B	2	2･3･4	
		社会学A	2	2･3･4	
		社会学B	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	
		経済学A	2	2･3･4	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	
		情報社会科学B	2	2･3･4	
		情報社会論	2	3・4	
		社会情報論	2	3・4	
		人口問題A	2	2･3･4	
		人口問題B	2	2･3･4	
		フェミニズムA	2	3・4	

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	フェミニズムB	2	3・4	
		民族問題A	2	3・4	
		民族問題B	2	3・4	
		マスメディアと社会	2	2･3･4	
		データサイエンス	2	2･3･4	
		福祉と人間A	2	3・4	
		福祉と人間B	2	3・4	
		国際ビジネス入門A	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門B	2	2･3･4	
		感性ビジネスA ーファッション産業のフロンティアー	2	2･3･4	
		感性ビジネスB ーファッション産業のフロンティアー	2	2･3･4	
		感性ビジネスC ーファッション・ビジネス戦略論ー	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		感性ビジネスD ーファッション・ビジネス戦略論ー	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		パーソナル・マネー・マネジメント入門	2	3・4	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと人づくりのリテラシー	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情A	2	3・4	
		国際ビジネスと海外事情B	2	3・4	
		グローバリゼーションとWTO	2	3・4	
		日本農業とWTO	2	3・4	
		環境問題と社会	2	3・4	NPO環境平和持続の会寄附講座
		現代金融の諸問題	2	3・4	金融青山会寄附講座
		経済・金融とファイナンス	2	3・4	閉講
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		ファイナンシャルプランニング基礎	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		囲碁で養うロジカルシンキング	2	2･3･4	公益財団法人日本棋院寄附講座
	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	
		技術史B	2	2･3･4	
		日常生活の数理	2	2･3･4	
		数理科学入門I	2	2･3･4	理工学部除く
		数理科学入門II	2	2･3･4	理工学部除く
		数理科学の視点	2	2･3･4	
		数理モデル	2	2･3･4	
		自然科学概論A	2	2･3･4	
		自然科学概論B	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術A	2	3・4	
		文化としての科学・技術B	2	3・4	
		現代物理	2	2･3･4	
		ライフサイエンス	2	2･3･4	

テーマ別科目	自然理解関連科目（領域D）	ゲノム	2	2·3·4	
		生物と地球環境	2	3・4	
		地球環境保全	2	3・4	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	3・4	
		地球観（自然と人の倫理）	2	2·3·4	
		生命と地球の歴史	2	2·3·4	
		宇宙科学	2	2·3·4	
		野鳥の生態	2	2·3·4	
		鳥類と生物多様性	2	2·3·4	
		植物生態学	2	2·3·4	
		メカワールド	2	2·3·4	理工学部除く
		経営管理の技術	2	2·3·4	理工学部除く
		先端エレクトロニクス	2	2·3·4	
		環境科学A	2	2·3·4	
		環境科学B	2	2·3·4	
		自然地理学A	2	2·3·4	
		自然地理学B	2	2·3·4	
		科学史	2	2·3·4	
		生命と生態系(環境と生物)	2	2·3·4	
		生命の連続（遺伝）	2	2·3·4	
		かたちの科学	2	2·3·4	
		自然史	2	2·3·4	
		自然観の変遷	2	2·3·4	
	歴史理解関連科目（領域E）	青山学院大学の歴史	2	2·3·4	
		日本社会史A	2	2·3·4	
		日本社会史B	2	2·3·4	
		日本社会史C	2	3・4	
		中国史A	2	2·3·4	
		中国史B	2	2·3·4	
		中国史C	2	3・4	
		ヨーロッパ史A	2	2·3·4	
		ヨーロッパ史B	2	2·3·4	
		ヨーロッパ史C	2	3・4	
		現代史A	2	2·3·4	
		現代史B	2	2·3·4	
		現代史C	2	2·3·4	
		現代史D	2	2·3·4	
		考古学A	2	2·3·4	
		考古学B	2	2·3·4	
		科学思想史A	2	2·3·4	
		科学思想史B	2	2·3·4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	インテンシブ・(第二外国語)(A)	2	2・3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ・(第二外国語)(B)	2	2・3・4	
		インテンシブ・(第二外国語)(C)	2	2・3・4	
		インテンシブ・(第二外国語)(D)	2	2・3・4	
		（第二外国語）II (A)	2	2・3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語を指します。
		（第二外国語）II (B)	2	2・3・4	
		（第二外国語）II (C)	2	2・3・4	
		（第二外国語）II (D)	2	2・3・4	
		（第二外国語）II (E)	2	2・3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、中国語を指します。
		中国語 II (F)	2	2・3・4	
		（第二外国語）II	2	2・3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		英語 II	2	2・3・4	フランス文学科のみ
		英語 （II A）	2	2・3・4	外国人留学生のみ
		英語 （II B）	2	2・3・4	外国人留学生のみ、旧称「英語II」
		日本語 II	2	2・3・4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）III	2	3・4	（第二外国語）はドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		フランス語 III (A)	2	3・4	フランス文学科除く
		フランス語 III (B)	2	3・4	フランス文学科除く
		英語 III	2	3・4	フランス文学科のみ
		英語 （III）	2	3・4	外国人留学生のみ
		日本語 III	2	3・4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）会話（I）	2	2・3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語（フランス文学科のみ）を指します。
		（第二外国語）会話（II）	2	3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語を指します。
		日本語 （I）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 （I）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 （I）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 （I）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 （II）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 （II）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 （II）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 （II）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 （III）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 （III）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 （III）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 （III）D	1	3	交換留学生のみ

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	日本語(Ⅳ)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語(Ⅳ)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語(Ⅳ)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語(Ⅳ)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語(Ⅴ)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語(Ⅴ)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語(Ⅴ)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語(Ⅴ)D	1	3	交換留学生のみ
		日本事情(Ⅰ)	2	3	交換留学生のみ
		日本事情(Ⅱ)	2	3	交換留学生のみ
		日本事情(Ⅲ)	2	3	交換留学生のみ
		日本事情(Ⅳ)	2	3	交換留学生のみ
		日本事情(Ⅴ)	2	3	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化C	2	3・4	
		スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化C	2	3・4	
		中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	3・4	
		韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化B	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化A	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化B	2	3・4	
		日本学A	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	
		English Studies B	2	2･3･4	
		English Studies C	2	3・4	
		English Studies D	2	3・4	
		English Studies E	2	3・4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	ことばの研究A	2	2·3·4	
		ことばの研究B	2	3・4	
		少数民族の社会と文化A	2	3・4	
		少数民族の社会と文化B	2	3・4	
		民族文化論A	2	2·3·4	
		民族文化論B	2	2·3·4	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2·3·4	
		身体の仕組みと病気A	2	2·3·4	
		身体の仕組みと病気B	2	2·3·4	
		スポーツ生理学	2	2·3·4	
		スポーツバイオメカニクス	2	2·3·4	
		スポーツ心理学	2	2·3·4	
		動きの人間学	2	2·3·4	
		医療社会学	2	2·3·4	
		スポーツ運動実習	1	2·3·4	４回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2·3·4	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎Ⅰ	2	2·3·4	
		プログラミング基礎Ⅱ	2	2·3·4	
		情報スキルⅡ	2	2·3·4	
		eラーニング入門	2	2·3·4	
		インストラクショナルデザイン入門	2	2·3·4	
		教育システムのためのIT入門	2	2·3·4	
		eラーニングの法的課題入門	2	2·3·4	

【３】 第一外国語科目について

１．第一外国語科目配置表

	授業科目（全て通年）	単位	履修年次	備　　考
必修	**リーディング・コンプリヘンションⅠ**	2	1	
	リーディング・コンプリヘンションⅡ	2	2	リーディング・コンプリヘンションⅠ修得者のみ履修可。
	ファンダメンタル・イングリッシュ	2	1	
	リーディング＆ディスカッション	2	2	ファンダメンタル・イングリッシュ修得者のみ履修可。
	ライティング＆コミュニケーション	2	1	
	英語圏の言葉と文化（英語演習）	2	3	
選択	オーラル・コミュニケーションⅠ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座Ａ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座Ｂ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	アドバンスト・ライティング	2	2	ライティング＆コミュニケーション修得者のみ履修可。
	ビジネス・コミュニケーション	2	3・4	
	オーラル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	オーラル・コミュニケーションⅠ修得者のみ履修可。
	スピーチ・クリニック	4	3・4	

(注意)・第一外国語科目には、クラス指定があります。
・下級年次必修科目の再履修クラスが開講されている場合は、必ずそのクラスで受講してください。
・他学部の第一外国語科目は履修できません。

2．外国人留学生の外国語科目の履修について

外国人留学生の外国語科目は、以下のとおり履修してください。

A．第一外国語科目の履修方法

第一外国語科目の必要単位

必　　修（12単位）

履修年次	授業科目名（すべて２単位）		
1	**日本語初級A**	**日本語初級B**	**日本語初級C**
2	**日本語中級 A**	**日本語中級 B**	
3	**日本語上級**		

履修順序はありません。

※指定の第一外国語必修科目以外は履修できません。

B．第二外国語科目の履修方法（青山スタンダード参照）

言葉の技能〔領域F〕（第二外国語科目）の必要単位

必　　修（４単位）

フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語のうちから１カ国語を履修すること。ただし、母国語（第一言語）は第二外国語として履修できません。

（注意）

(1) 外国人留学生の第一外国語科目・第二外国語科目については、原則として、履修順序を設けません。ただし、１年次配置前期開講科目と後期開講科目の間にそれぞれ履修順序があり、前期開講科目の単位が修得できない時、後期開講科目の履修登録は自動的に削除されます。

(2) 申請した第二外国語以外の外国語科目の単位は、自由選択科目に算入されます。

(3) 本学入学以前に、高等学校あるいは海外などですでに学習したことのある学生が、その学力をⅠ修了者に準ずると認定された場合、Ⅱの科目で卒業に必要な単位に充当することができます。

【４】 専門科目履修方法および配置表

１．専門科目について

専門科目の最低必要単位は、入学年度の履修条件に従って修得しなければなりません。

① A・B群の必要単位　24単位（これを超えた単位は、C群に加算）

A・B群　選択科目

② C・D群の必要単位　56単位（これを超えた単位は、自由選択に加算）

C群　選択科目

D群　選択科目……20単位までを専門科目に含める。

２．教職課程関連科目について

教職課程関連科目は、教職課程の一分野である「教科に関する専門科目」として置く科目です。履修については、「X．教職課程（教員免許状･各種資格）について」ならびに『教職課程履修の手引（第一部）』を参照してください。なお、修得単位は卒業要件単位には算入されません。

３．他学部生の本学科専門科目の履修について

他学部生は、下記専門科目の履修はできません。

授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
経済学入門	4	経済英語入門	2	ミクロ経済学	4
マクロ経済学	4	経済政策論	4	財政学	4
注）産業論	2	外国書講読	4	演習	4
情報処理Ⅰ	4	情報処理Ⅱ	4	演習（卒業論文）	8
GIS入門	2	GIS応用	2	マーケティング論	4
経営学総論	4	財務会計論	4	リスク・マネジメント論	4
経済地理学	4	地方財政論	4	経済開発論	4
地域経済学	4				

注）「産業論（航空事業Ⅰ）」･「産業論（航空事業Ⅱ）」･「産業論（損害保険業）」･「産業論（税法）」･「産業論（証券ビジネス）」･「産業論（知的エンタテイメント産業Ⅰ）」･「産業論（知的エンタテイメント産業Ⅱ）」は他学部学生の履修を認めます。

４．演習について

演習は、各学部の基礎または概要科目で学んだことをもとに、自分自身で研究テーマを見つけ、大学４年間の集大成である「卒業論文」作成を目標とする専門科目です。学生主体の討論形式を中心に授業が進みます。

ただし、教員ごとに少人数の登録となりますので、選考を要します。

⑴ 履修登録方法

３年生：「演習」（４単位）

選考に合格した場合は、事前登録科目として自動的に履修登録されますので、各自での履修登録は必要ありません。

４年生：「演習（卒業論文）」（８単位）

選考に合格した場合と前年度からの継続を希望する場合には、各自で履修登録をしてください。

⑵ 履修登録に関する注意事項

① ４年次において「演習（卒業論文）」を履修する場合は、必ず卒業論文を提出してください。

② ４年次において「演習（卒業論文）」を履修した場合、この科目は**必修**となります。したがって、この単位を修得できない場合には、他の選択科目で卒業単位を充足していても卒業を認めません。

③ ３年次において協定校へ交換留学生として行く場合、３年次前期は、「演習」を履修し、帰国後、４年次後期から「演習（卒業論文）」を継続履修することが可能です。

⑶　卒業論文について

提出日時・注意事項については、学生ポータルを確認してください。

5．大学院科目特別履修制度について

大学院経済学研究科経済学専攻または公共・地域マネジメント専攻への進学を希望する４年次生に対して、より高度な専門知識を早期に習得する機会を提供するために、経済学研究科科目の一部を履修することができます。

これによって修得した単位は、研究科入学後、博士前期課程修了要件として定められた単位数まで申請することができるため早期修了あるいは課程博士論文作成作業への早期着手が可能になります。またこの取得単位は卒業後５年以内に限り研究科に入学した時点で認定することができます。

大学院科目特別履修制度は、以下の２種類の方法があります。

１．３年次試験による大学院科目特別履修生試験

出願資格：３年次に在学する者（経済学専攻は経済・経営・国際政経学部のみ）

２．４年次履修による先取り科目履修

経済学専攻：

経済学部４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。

公共・地域マネジメント専攻：

現代経済デザイン学科４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。

※詳細は大学院事務室経済学研究科へ問い合わせてください。

6．産業論について

産業論のうち寄附講座となっている科目は、企業の寄付により開講されている科目です。企業の都合により次年度以降閉講する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

7．経済学科専門科目配置表

注）備考欄に旧称とある科目は、旧名称科目で修得済みの学生は履修できません。

コース			授業科目	単位	履修年次	備考
入門科目						
A群			経済学入門	4	1・2	
			経済英語入門	2	1・2	
基礎科目						
B群	理論・数量		ミクロ経済学	4	1・2	
			マクロ経済学	4	1・2	
			統計学概論	4	1・2	
			経済数学入門	4	1・2	
	政策・産業		経済政策論	4	2	
			財政学	4	2	
			金融論	4	2	
	歴史・国際・環境		経済史概論	4	1・2	
			国際経済学	4	2	
			経済地理学	4	2	（2013年度以降休講）
専攻科目						
C群	理論・数量	理論	経済学史	4	2	
			応用ミクロ経済学	4	3・4	
			応用マクロ経済学	4	3・4	
			経済動学	4	3・4	
			オープンマクロ経済学	4	3・4	
		数量	情報処理Ⅰ	4	2	
			情報処理Ⅱ	4	3・4	
			計量経済学	4	3・4	
			経済統計	4	3・4	
			数理統計	4	3・4	
			経済数学Ⅰ	2	3・4	
			経済数学Ⅱ	2	3・4	
	政策・産業	政府	社会政策論	4	3・4	
			地方財政論	4	3・4	（2012年度以降休講）
			租税論	4	3・4	（2012年度以降休講）
			公共経済学	4	3・4	
			社会保障論	4	3・4	
		企業	産業論（総合商社）	2	3・4	
			産業論（現代の証券）	2	3・4	野村證券㈱寄附講座
			産業論（航空事業Ⅰ）	2	3・4	
			産業論（航空事業Ⅱ）	2	3・4	
			産業論（ベンチャーとマーケティング）	2	3・4	
			産業論（損害保険業）	2	3・4	日本興亜損害保険㈱寄附講座
			産業論（コマーシャルバンキング戦略論）	2	3・4	SMBC コンサルティング㈱寄附講座
			産業論（バンキングビジネス）	2	3・4	
			産業論（自動車産業）	2	3・4	
			産業論（税法）	2	3・4	東京税理士会寄附講座
			産業論（証券ビジネス）	2	3・4	東海東京証券㈱寄附講座
			産業論（知的エンタテイメント産業Ⅰ）	2	3・4	日本コントラクトブリッジ連盟寄附講座
			産業論（知的エンタテイメント産業Ⅱ）	2	3・4	日本コントラクトブリッジ連盟寄附講座
			※産業論は、卒業要件単位に算入されるのは10単位までで、それを超えた単位は卒業要件外になります。			
			労働経済論	4	3・4	

コース			授業科目	単位	履修年次	備考
C群	政策・産業	企業	産業組織論	4	3・4	
			産業技術論	4	3・4	（閉講）
		金融	ファイナンス論	4	3・4	
			国際金融論	4	3・4	
	歴史・国際・環境	歴史	日本経済史	4	3・4	
			欧米経済史	4	3・4	
			東洋経済史	4	3・4	
			経済思想史	4	3・4	
			キリスト教社会思想史	4	3・4	
		国際問題	日本経済論	4	3・4	
			世界経済論	4	3・4	
			経済開発論	4	3・4	（2012年度以降休講）
			各国経済論 A	4	3・4	
			各国経済論 B	4	3・4	
		地域・環境	地域経済学	4	3・4	（2012年度以降休講）
			交通経済学	4	3・4	
			農業経済論	4	3・4	
			環境経済学	4	3・4	
			GIS 入門	2	3・4	
			GIS 応用	2	3・4	「GIS 入門」修得者のみ履修可
			地域人口学	4	3・4	（閉講）
	演習等		外国書講読	4	3・4	
			演習	4	3のみ	
			演習（卒業論文）	8	4のみ	
関連科目						
D群（関連科目）	法学		憲法	4	2	
			民法Ⅰ	4	3・4	
			民法Ⅱ	4	3・4	
			商法Ⅰ	4	3・4	
			商法Ⅱ	4	3・4	
			経済法	4	3・4	
			労働法	4	3・4	
	経営学		簿記論	4	1・2	
			マーケティング論	4	2	
			経営学総論	4	2	（2011年度以降休講）
			財務会計論	4	2	
			金融市場論	4	3・4	（2011年度以降休講）
			リスク・マネジメント論	4	3・4	
			経営史	4	3・4	
	国際政治経済学部B群科目		経済学部の科目と異名称のものに限ります。 Ⅰ・Ⅱを除いた同一名称科目は履修できません。 他学部科目一覧表の国際政治経済学部欄参照。			

8．教職課程関連科目配置表

教職課程関連科目			
授業科目	単位	履修年次	備考
日本史	4	3・4	
外国史（東洋史及び西洋史）	4	3・4	
人文地理学	4	3・4	
人文地理学概論	4	3・4	
自然地理学	4	3・4	
△地理情報分析法	4	3・4	
△気象学	4	3・4	
△地誌学概論（アメリカ地誌を含む）	4	3・4	
△地誌学概論（アジア地誌を含む）	4	3・4	
△地誌学概論（ヨーロッパ地誌を含む）	4	3・4	
△地誌学概論（日本地誌を含む）	4	3・4	
法律学概説	4	3・4	
政治学概説	4	3・4	
政治学原論	4	1・2	
国際関係論	4	3・4	
哲学史	4	3・4	
△倫理学概説	4	3・4	
宗教学	4	3・4	
△心理学概説	4	3・4	

（注意）　修得した単位は卒業要件単位には算入されません。
教職課程関連科目は教育職員免許状の取得を希望し申請した学生以外は履修できません。
△は隔年開講

9．税理士特別講座について

経済学部では、本学OB・OGの税理士・公認会計士等で構成される「青学会計人クラブ」の協力のもと、1998年から正規のカリキュラムとは別に「税理士特別講座」を開設しています。

皆さんの先輩であり、実務の第一線で活躍する専門家が、日頃の忙しい時間を割いて会計科目･税法科目の基礎講座と親身な受験指導を行っています。税理士試験のみならず、日商簿記検定を目指す人にも学習の指針となることでしょう。税理士･公認会計士という職業に関心を持ちながらも、現場の実務家と接する機会の少ない学生は、この特別講座を大いに活用してください。

勉学意欲のある学生の受講を期待しています。

説明会開催日時や申し込みの詳細については、年度初頭に「学生ポータル」を参照してください。

E．経済学科履修要項（2004・2005年度入学者）

【1】 経済学科履修について

経済学科の基本理念

経済学を理論、政策、歴史の３方向から総合的に学び、現実の経済問題を自ら分析できる力を養い、弾力的な思考と行動力を持った自由で独立した学生を育てる。

１．卒業要件

⑴ 卒業に必要な単位数について

卒業資格を得るためには、下表に示す区分にしたがってその単位を修得しなければなりません。ここに示す単位数は科目の種別ごとに要求される最低の単位数です。これが１単位でも不足すると卒業は認められません。

134単位は卒業に必要な最低単位数なので、意欲のある学生はこの単位を超えて単位を修得できます。

⑵ 学位について

経済学部に４年以上（ただし８年を限度とします）在学し、卒業に必要な**134**単位以上を修得した者には、学位記を与え「学士（経済学）」の学位を授与します。

卒業要件単位表

<table>
<tr><th colspan="2">科　目　の　種　類</th><th>必選の別</th><th colspan="2">必要単位</th></tr>
<tr><td colspan="2">青山スタンダード科目</td><td>必　修
選択必修</td><td colspan="2">28</td></tr>
<tr><td>外　国　語　科　目</td><td>第一外国語科目</td><td>必　修</td><td colspan="2">10</td></tr>
<tr><td rowspan="4">専　門　科　目</td><td>Ａ群（入門科目）</td><td rowspan="2">選　択</td><td rowspan="2">24</td><td rowspan="4">80</td></tr>
<tr><td>Ｂ群（基礎科目）</td></tr>
<tr><td>Ｃ群（専攻科目）</td><td rowspan="2">選　択</td><td rowspan="2">56</td></tr>
<tr><td>Ｄ群（関連科目）
（**20**単位まで専門に算入）</td></tr>
<tr><td>自由選択科目</td><td>青山スタンダード28単位を超えた単位
経済学部開講の外国語選択科目
専門80単位を超えた単位
他学部開講の専門科目</td><td>選　択</td><td colspan="2">16</td></tr>
<tr><td colspan="3">総　　計</td><td colspan="2">134</td></tr>
</table>

※　Ａ・Ｂ群で24単位を超えた単位はＣ群に加算されます。
※　Ｃ・Ｄ群で56単位を超えた単位は自由選択科目に加算されます。

2．最高履修制限単位

最高履修制限単位は次のとおりです。各年次生は、この表に示す単位数を超えて履修することはできません。なお、各年次においては、１科目以上の履修をしなければなりません。

学　　年	１年次	２年次	３年次	４年次	合計
最高履修制限単位	44	44	46	50	184

（注意）　教育職員免許状および各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目および教職課程関連科目の単位は、最高履修制限単位に含まれません。

3．進級条件

２年次終了時までに、卒業要件単位50単位以上を修得しなければ３年次に進級できません。

なお、教育職員免許状および各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目の単位は、卒業要件単位に算入されません。

4．修得単位僅少者について

入学後休学期間を除いて２年間で修得単位が32単位に満たない学生は、大学学則第34条に基づき成業の見込のない者として除籍されることがありますので注意してください。

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2004・2005年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養をそなえているという社会的評価を受けることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

科目の種別			授業科目	必要単位
フレッシャーズ・セミナー				自由
コア科目	教養コア	キリスト教理解関連科目（領域A）	キリスト教概論Ⅰ	2
		人間理解関連科目（領域B）	自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2
		社会理解関連科目（領域C）	現代社会の諸問題（総合科目） 現代社会の諸問題（個別科目）	2
		自然理解関連科目（領域D）	科学・技術の視点（総合科目） 科学・技術の視点（個別科目）	2
		歴史理解関連科目（領域E）	歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2
	技能コア	言葉の技能（領域F）	英語　※１	2
			第二外国語　※２　※３	4
		身体の技能（領域G）	健康・スポーツ演習　※４	2
		情報の技能（領域H）	情報スキルⅠ	2
テーマ別科目		キリスト教理解関連科目（領域A）	キリスト教概論Ⅱ	2
		（領域A）～（領域H）　※５		6

※１　英米文学科、フランス文学科を除きます。

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

・2004年度以降入学生は、「（第二外国語）Ⅰ(A)」「（第二外国語）Ⅰ(B)」について、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます（日本語は除く）。

・「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

※４　教育・経済・経営のみ必修です。

※５　６単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　フレッシャーズ・セミナー、健康・スポーツ演習（教育・経済・経営除く）、第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます（日本文学科・国際政治経済学部除く）。

○　受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。

3．授業科目配置表

（太字は必修科目）

		授業科目		単位	配置年次	備考
		フレッシャーズ・セミナー		2	1	1年のみ
教養コア科目		**キリスト教概論Ⅰ**		**2**	**1**	
		自己理解		2	1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		現代社会の諸問題		2	1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		科学・技術の視点		2	1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		歴史と人間		2	1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	英語・日本語	Essential English	**2**	**1**	英米文・フランス文・国際政治経済除く
			Essential English Ⅰ	**1**	**1**	国際政治経済学部のみ
			Essential English Ⅱ	**1**	**1**	国際政治経済学部のみ
			日本語初級A	**2**	**1**	外国人留学生該当者のみ
		第二外国語（2004・2005年度入学生）	**（第二外国語）Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指す。
			（第二外国語）Ⅰ(A)－2	**1**	**1**	
			（第二外国語）Ⅰ(B)－1	**1**	**1**	
			（第二外国語）Ⅰ(B)－2	**1**	**1**	
			英語Ⅰ－1	**1**	**1**	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週2回履修し、計4単位修得してください。
			英語Ⅰ－2	**1**	**1**	
			英語（ⅠA）－1	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠA）－2	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）－1	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）－2	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(A)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(B)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語（2003年度入学生）	**（第二外国語）Ⅰ(A)**	**2**	**1**	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指す。
			（第二外国語）Ⅰ(B)	**2**	**1**	
			英語Ⅰ	**2**	**1**	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週2回履修し、計4単位修得すること。
			英語（ⅠA）	**2**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）	**2**	**1**	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(A)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(B)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
	身体の技能	**健康・スポーツ演習**		**2**	**1**	教育・経済・経営のみ必修
	情報の技能	**情報スキルⅠ**		**2**	**1**	
		キリスト教概論Ⅱ		**2**	**2・3**	理工学部は2年次 他は3年次配置

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	旧約聖書と人間	2	2·3·4	
		新約聖書と人間	2	3・4	
		キリスト教生命倫理	2	3・4	
		キリスト教政治倫理	2	3・4	
		キリスト教と自然科学	2	2·3·4	
		キリスト教環境倫理	2	2·3·4	
		キリスト教音楽	2	3・4	
		キリスト教美術	2	3・4	
		メソジスト教会史	2	3・4	
		キリスト教教育	2	3・4	閉講
		世界の諸宗教	2	2·3·4	旧称「比較宗教学」
		現代神学	2	3・4	
		キリスト教と社会福祉	2	3・4	閉講
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	3・4	旧称「聖書とフェミニズム」（2003～2007年度）、「フェミニズムと聖書」（2008年度）
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2·3·4	旧称「聖書の中の女性たち」
		サービス・ラーニングⅠ	2	2·3·4	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2·3·4	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2·3·4	
		哲学B	2	2·3·4	
		哲学の諸問題A	2	3・4	
		哲学の諸問題B	2	3・4	
		哲学の諸問題C	2	3・4	
		哲学の諸問題D	2	3・4	
		論理学A	2	2·3·4	
		論理学B	2	2·3·4	
		論理学の諸問題A	2	3・4	
		論理学の諸問題B	2	3・4	
		倫理学A	2	2·3·4	
		倫理学B	2	2·3·4	
		倫理学の諸問題A	2	3・4	
		倫理学の諸問題B	2	3・4	
		西洋倫理思想史A	2	3・4	
		西洋倫理思想史B	2	3・4	
		言語学A	2	2·3·4	
		言語学B	2	2·3·4	
		日本語学A	2	2·3·4	
		日本語学B	2	2·3·4	
		文学A	2	2·3·4	
		文学B	2	2·3·4	
		文学史A	2	3・4	
		文学史B	2	3・4	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	美術A	2	2･3･4	
		美術B	2	2･3･4	
		美術史A	2	3・4	
		美術史B	2	3・4	
		音楽A	2	2･3･4	
		音楽B	2	2･3･4	
		音楽史A	2	3・4	
		音楽史B	2	3・4	
		文化人類学A	2	2･3･4	
		文化人類学B	2	2･3･4	
		比較文化A	2	2･3･4	
		比較文化B	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題A	2	3・4	
		比較文化の諸問題B	2	3・4	
		心理学A	2	2･3･4	心理学科・経営学部2003年度入学生除く
		心理学B	2	2･3･4	心理学科・経営学部2003年度入学生除く
		教育学A	2	2･3･4	
		教育学B	2	2･3･4	
		平和を考えるA	2	3・4	
		平和を考えるB	2	3・4	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）	4	2･3･4	法学部・経営学部2003年度入学生除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		日本の法と社会A	2	3・4	
		日本の法と社会B	2	3・4	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	旧称「政治学A」 経営学部2003年度入学生除く
		国際政治経済学B	2	2･3･4	旧称「政治学B」 経営学部2003年度入学生除く
		国際関係概論A	2	2･3･4	
		国際関係概論B	2	2･3･4	
		社会学A	2	2･3･4	経営学部2003年度入学生除く
		社会学B	2	2･3･4	経営学部2003年度入学生除く
		社会学C （社会学による国際感覚）	2	3・4	閉講
		社会学D （社会学による国際理解）	2	3・4	閉講
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	
		経済学A	2	2･3･4	経済学部除く

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	経済学B	2	2·3·4	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2·3·4	
		情報社会科学B	2	2·3·4	
		情報社会論	2	3・4	
		社会情報論	2	3・4	
		人口問題A	2	2·3·4	
		人口問題B	2	2·3·4	
		フェミニズムA	2	3・4	
		フェミニズムB	2	3・4	
		民族問題A	2	3・4	
		民族問題B	2	3・4	
		マスメディアと社会	2	2·3·4	
		文献と情報の世界	2	2·3·4	閉講
		データサイエンス	2	2·3·4	
		福祉と人間A	2	3・4	
		福祉と人間B	2	3・4	
		国際ビジネス入門A	2	2·3·4	
		国際ビジネス入門B	2	2·3·4	
		感性ビジネスA ―ファッション産業のフロンティア―	2	2·3·4	
		感性ビジネスB ―ファッション産業のフロンティア―	2	2·3·4	
		感性ビジネスC ―ファッション・ビジネス戦略論―	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成講座（IFI）寄附講座
		感性ビジネスD ―ファッション・ビジネス戦略論―	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成講座（IFI）寄附講座
		パーソナル・マネー・マネジメント入門	2	3・4	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと人づくりのリテラシー	2	2·3·4	
		国際ビジネスと海外事情A	2	3・4	
		国際ビジネスと海外事情B	2	3・4	
		グローバリゼーションとWTO	2	3・4	
		日本農業とWTO	2	3・4	
		環境問題と社会	2	3・4	NPO環境平和持続の会寄附講座
		現代金融の諸問題	2	3・4	金融青山会寄附講座
		経済・金融とファイナンス	2	3・4	閉講
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2·3·4	㈱近代セールス社寄附講座
		ファイナンシャルプランニング基礎	2	2·3·4	㈱近代セールス社寄附講座
		囲碁で養うロジカルシンキング	2	2·3·4	公益財団法人日本棋院寄附講座
		技術史A	2	2·3·4	
		技術史B	2	2·3·4	
		日常生活の数理	2	2·3·4	

テーマ別科目	自然理解関連科目（領域D）	数理科学入門 I	2	2·3·4	理工学部除く
		数理科学入門 II	2	2·3·4	理工学部除く
		数理科学の視点	2	2·3·4	
		数理モデル	2	2·3·4	
		自然科学概論 A	2	2·3·4	
		自然科学概論 B	2	2·3·4	
		文化としての科学・技術A	2	3・4	
		文化としての科学・技術B	2	3・4	
		現代物理	2	2·3·4	
		現代社会と化学物質	2	2·3·4	閉講
		ライフサイエンス	2	2·3·4	
		ゲノム	2	2·3·4	
		生物と地球環境	2	3・4	
		地球環境保全	2	3・4	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	3・4	
		地球観（自然と人の倫理）	2	2·3·4	
		生命と地球の歴史	2	2·3·4	
		宇宙科学	2	2·3·4	
		野鳥の生態	2	2·3·4	
		鳥類と生物多様性	2	2·3·4	
		植物生態学	2	2·3·4	
		メカワールド	2	2·3·4	理工学部除く
		経営管理の技術	2	2·3·4	旧称「技術と経営」理工学部除く
		先端エレクトロニクス	2	2·3·4	
		環境科学 A	2	2·3·4	
		環境科学 B	2	2·3·4	
		自然地理学 A	2	2·3·4	
		自然地理学 B	2	2·3·4	
		科学史	2	2·3·4	
		生命と生態系(環境と生物)	2	2·3·4	
		生命の連続（遺伝）	2	2·3·4	
		かたちの科学	2	2·3·4	
		自然史	2	2·3·4	
		自然観の変遷	2	2·3·4	
	歴史理解関連科目（領域E）	青山学院大学の歴史	2	2·3·4	
		日本社会史 A	2	2·3·4	
		日本社会史 B	2	2·3·4	
		日本社会史 C	2	3・4	
		中国史 A	2	2·3·4	
		中国史 B	2	2·3·4	
		中国史 C	2	3・4	
		ヨーロッパ史 A	2	2·3·4	

テーマ別科目	歴史理解関連科目（領域E）	ヨーロッパ史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史C	2	3・4	
		現代史A	2	2･3･4	
		現代史B	2	2･3･4	
		現代史C	2	2･3･4	
		現代史D	2	2･3･4	
		考古学A	2	2･3･4	
		考古学B	2	2･3･4	
		科学思想史A	2	2･3･4	
		科学思想史B	2	2･3･4	
		人間形成の歴史A（日本）	2	2･3･4	閉講
		人間形成の歴史B（日本）	2	2･3･4	閉講
		人間形成の歴史C（西洋）	2	3・4	閉講
		人間形成の歴史D（西洋）	2	3・4	閉講
	言葉の技能（領域F）	インテンシブ･(第二外国語)(A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ･(第二外国語)(B)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(C)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(D)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語を指します。
		（第二外国語）II (B)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (C)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (D)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (E)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、中国語を指します。
		中国語 II (F)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		英語 II	2	2･3･4	フランス文学科のみ
		英語（II A）	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		英語（II B）	2	2･3･4	外国人留学生のみ、旧称「英語II」
		日本語 II	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）III	2	3・4	（第二外国語）はドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		フランス語 III (A)	2	3・4	フランス文学科除く
		フランス語 III (B)	2	3・4	フランス文学科除く
		英語 III	2	3・4	フランス文学科のみ
		英語（III）	2	3・4	外国人留学生のみ
		日本語 III	2	3・4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）会話（I）	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語（フランス文学科のみ）を指します。

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	（第二外国語）会話（II）	2	3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語を指します。
		日本語（I）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（I）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（I）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（I）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（II）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（II）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（II）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（II）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（III）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（III）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（III）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（III）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（IV）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（IV）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（IV）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（IV）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）D	1	3	交換留学生のみ
		日本事情（I）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（II）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（III）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（IV）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（V）	2	3	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化C	2	3・4	
		スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化C	2	3・4	
		中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	中国語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	3・4	
		韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化B	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化A	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化B	2	3・4	
		日本学A	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	
		English Studies B	2	2･3･4	
		English Studies C	2	3・4	
		English Studies D	2	3・4	
		English Studies E	2	3・4	
		ことばの研究A	2	2･3･4	
		ことばの研究B	2	3・4	
		少数民族の社会と文化A	2	3・4	
		少数民族の社会と文化B	2	3・4	
		民族文化論A	2	2･3･4	
		民族文化論B	2	2･3･4	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	
		動きの人間学	2	2･3･4	
		医療社会学	2	2･3･4	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	４回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎Ⅰ	2	2･3･4	
		プログラミング基礎Ⅱ	2	2･3･4	
		情報スキルⅡ	2	2･3･4	
		eラーニング入門	2	2･3･4	
		インストラクショナルデザイン入門	2	2･3･4	
		教育システムのためのIT入門	2	2･3･4	
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	

【3】 第一外国語科目について

1．第一外国語科目配置表

	授業科目（全て通年）	単位	履修年次	備　　考
必修	**リーディング・コンプリヘンションⅠ**	2	1	
	リーディング・コンプリヘンションⅡ	2	2	リーディング・コンプリヘンションⅠ修得者のみ履修可。
	リーディング＆ディスカッション	2	2	
	ライティング＆コミュニケーション	2	1	
	英語圏の言葉と文化（英語演習）	2	3	
選択	オーラル・コミュニケーションⅠ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座A	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座B	2	1・2	(2014年度以降休講)
	アドバンスト・ライティング	2	2	ライティング＆コミュニケーション修得者のみ履修可。
	ビジネス・コミュニケーション	2	3・4	
	オーラル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	オーラル・コミュニケーションⅠ修得者のみ履修可。
	スピーチ・クリニック	4	3・4	

(注意)・第一外国語科目には、クラス指定があります。
・下級年次必修科目の再履修クラスが開講されている場合は、必ずそのクラスで受講してください。
・他学部の第一外国語科目は履修できません。

２．外国人留学生の外国語科目の履修について

外国人留学生の外国語科目は、以下のとおり履修してください。

Ａ．青山スタンダード/技能コア/言葉の技能〔領域Ｆ〕の履修方法

必　　修（２単位）

日本語初級Ａ

Ｂ．第一外国語科目の履修方法

第一外国語科目の必要単位

必　　修（10単位）

履修年次	授業科目名（すべて２単位）	
1	**日本語初級Ｂ**	**日本語初級Ｃ**
2	**日本語中級Ａ**	**日本語中級Ｂ**
3	**日本語上級**	

履修順序はありません。

※指定の第一外国語必修科目以外は履修できません。

Ｃ．第二外国語科目の履修方法（青山スタンダード参照）

言葉の技能〔領域Ｆ〕（第二外国語科目）の必要単位

必　　修（４単位）

フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語のうちから１カ国語を履修すること。ただし、母国語（第一言語）は第二外国語として履修できません。

（注意）

(1) 外国人留学生の第一外国語科目・第二外国語科目については、原則として、履修順序を設けません。ただし、2004年度以降入学者は、１年次配置前期開講科目と後期開講科目の間にそれぞれ履修順序があり、前期開講科目の単位が修得できない時、後期開講科目の履修登録は自動的に削除されます。

(2) 申請した第二外国語以外の外国語科目の単位は、自由選択科目に算入されます。

(3) 本学入学以前に、高等学校あるいは海外などですでに学習したことのある学生が、その学力をⅠ修了者に準ずると認定された場合、Ⅱの科目で卒業に必要な単位に充当することができます。

【４】 専門科目履修方法および配置表

１．専門科目について

専門科目の最低必要単位は、入学年度の履修条件に従って修得しなければなりません。

① A・B群の必要単位　24単位（これを超えた単位は、C群に加算）

A・B群　選択科目

② C・D群の必要単位　56単位（これを超えた単位は、自由選択に加算）

C群　選択科目

D群　選択科目……20単位までを専門科目に含める。

２．教職課程関連科目について

教職課程関連科目は、教職課程の一分野である「教科に関する専門科目」として置く科目です。履修については、「X．教職課程（教員免許状･各種資格）について」ならびに『教職課程履修の手引（第一部）』を参照してください。なお、修得単位は卒業要件単位には算入されません。

３．他学部生の本学部専門科目の履修について

他学部生は、下記専門科目の履修はできません。

授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
経済学入門	4	経済英語入門	2	ミクロ経済学	4
マクロ経済学	4	経済政策論	4	財政学	4
注）産業論	2	外国書講読	4	演習	4
情報処理Ⅰ	4	情報処理Ⅱ	4	演習（卒業論文）	8
GIS入門	2	GIS応用	2	マーケティング論	4
経営学総論	4	財務会計論	4	リスク・マネジメント論	4
経済地理学	4	地方財政論	4	経済開発論	4
地域経済学	4				

注）「産業論（航空事業Ⅰ）」･「産業論（航空事業Ⅱ）」･「産業論（損害保険業）」･「産業論（税法）」･「産業論（証券ビジネス）」･「産業論（知的エンタテイメント産業Ⅰ）」･「産業論（知的エンタテイメント産業Ⅱ）」は他学部生の履修を認めます。

４．演習について

演習は、各学部の基礎または概要科目で学んだことをもとに、自分自身で研究テーマを見つけ、大学４年間の集大成である「卒業論文」作成を目標とする専門科目です。学生主体の討論形式を中心に授業が進みます。

ただし、教員ごとに少人数の登録となりますので、選考を要します。

⑴ 履修登録方法

３年生：「演習」（４単位）

選考に合格した場合は、事前登録科目として自動的に履修登録されますので、各自での履修登録は必要ありません。

４年生：「演習（卒業論文）」（８単位）

選考に合格した場合と前年度からの継続を希望する場合には、各自で履修登録をしてください。

⑵ 履修登録に関する注意事項

① ４年次において「演習（卒業論文）」を履修する場合は、必ず卒業論文を提出してください。

② ４年次において「演習（卒業論文）」を履修した場合、この科目は**必修**となります。したがって、この単位を修得できない場合には、他の選択科目で卒業単位を充足していても卒業を認めません。

③　３年次において協定校へ交換留学生として行く場合、３年次前期は、「演習」を履修し、帰国後の４年次後期から卒業論文指導教員の許可があれば「演習（卒業論文）」を継続履修することが可能です。

⑶　卒業論文について

提出日時・注意事項については、学生ポータルを確認してください。

５．大学院科目特別履修制度について

大学院経済学研究科経済学専攻または公共・地域マネジメント専攻への進学を希望する４年次生に対して、より高度な専門知識を早期に習得する機会を提供するために、経済学研究科科目の一部を履修することができます。

これによって修得した単位は、研究科入学後、博士前期課程修了要件として定められた単位数まで申請することができるため早期修了あるいは課程博士論文作成作業への早期着手が可能になります。またこの取得単位は卒業後５年以内に限り研究科に入学した時点で認定することができます。

大学院科目特別履修制度は、以下の２種類の方法があります。

１．３年次試験による大学院科目特別履修生試験
　出願資格：３年次に在学する者（経済学専攻は経済・経営・国際政経学部のみ）

２．４年次履修による先取り科目履修
　経済学専攻：
　経済学部４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。
　公共・地域マネジメント専攻：
　現代経済デザイン学科４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。

※詳細は大学院事務室経済学研究科へ問い合わせてください。

６．産業論について

産業論のうち寄附講座となっている科目は、企業の寄付により開講されている科目です。企業の都合により次年度以降閉講する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

7．経済学科専門科目配置表

注）備考欄に旧称とある科目は、旧名称科目で修得済みの学生は履修できません。

コース			授業科目	単位	履修年次	備考
入門科目						
A群			経済学入門	4	1・2	
			経済英語入門	2	1・2	
基礎科目						
B群	理論・数量		ミクロ経済学	4	1・2	
			マクロ経済学	4	1・2	
			統計学概論	4	1・2	
			経済数学入門	4	1・2	旧称：経済数学概論
	政策・産業		経済政策論	4	2	
			財政学	4	2	
			金融論	4	2	旧称：貨幣金融論
	歴史・国際・環境		経済史概論	4	1・2	
			国際経済学	4	2	
			経済地理学	4	2	(2013年度以降休講)
専攻科目						
C群	理論・数量	理論	経済学史	4	2	
			応用ミクロ経済学	4	3・4	
			応用マクロ経済学	4	3・4	
			経済動学	4	3・4	
			オープンマクロ経済学	4	3・4	
		数量	情報処理Ⅰ	4	2	
			情報処理Ⅱ	4	3・4	
			計量経済学	4	3・4	
			経済統計	4	3・4	
			数理統計	4	3・4	
			経済数学Ⅰ	2	3・4	
			経済数学Ⅱ	2	3・4	
	政策・産業	政府	社会政策論	4	3・4	
			地方財政論	4	3・4	(2012年度以降休講)
			租税論	4	3・4	(2012年度以降休講)
			公共経済学	4	3・4	
			社会保障論	4	3・4	
		企業	産業論（総合商社）	2	3・4	
			産業論（現代の証券）	2	3・4	野村證券㈱寄附講座
			産業論（航空事業Ⅰ）	2	3・4	
			産業論（航空事業Ⅱ）	2	3・4	
			産業論（ベンチャーとマーケティング）	2	3・4	
			産業論（損害保険業）	2	3・4	日本興亜損害保険㈱寄附講座
			産業論（コマーシャルバンキング戦略論）	2	3・4	SMBC コンサルティング㈱寄附講座
			産業論（バンキングビジネス）	2	3・4	
			産業論（自動車産業）	2	3・4	
			産業論（税法）	2	3・4	東京税理士会寄附講座
			産業論（証券ビジネス）	2	3・4	東海東京証券㈱寄附講座
			産業論（知的エンタテイメント産業Ⅰ）	2	3・4	日本コントラクトブリッジ連盟寄附講座
			産業論（知的エンタテイメント産業Ⅱ）	2	3・4	日本コントラクトブリッジ連盟寄附講座
			産業論は、卒業要件単位に算入されるのは10単位までで、それを超えた単位は卒業要件外になります。			
			労働経済論	4	3・4	

コース			授業科目	単位	履修年次	備考
C群	政策・産業	企業	産業組織論	4	3・4	
			産業技術論	4	3・4	（閉講）
		金融	ファイナンス論	4	3・4	旧称：金融組織論
			国際金融論	4	3・4	
	歴史・国際・環境	歴史	日本経済史	4	3・4	
			欧米経済史	4	3・4	
			東洋経済史	4	3・4	
			経済思想史	4	3・4	
			キリスト教社会思想史	4	3・4	旧称：キリスト教経済倫理
		国際問題	日本経済論	4	3・4	
			世界経済論	4	3・4	
			経済開発論	4	3・4	（2012年度以降休講）
			各国経済論 A	4	3・4	
			各国経済論 B	4	3・4	
		地域・環境	地域経済学	4	3・4	（2012年度以降休講）
			交通経済学	4	3・4	
			農業経済論	4	3・4	
			環境経済学	4	3・4	
			GIS 入門	2	3・4	旧称：「GIS 入門 A」・「GIS 入門 B」
			GIS 応用	2	3・4	「GIS 入門」修得者のみ履修可。
			地域人口学	4	3・4	（閉講）旧称：経済人口学
	演習等		外国書講読	4	3・4	
			演習	4	3のみ	
			演習（卒業論文）	8	4のみ	
関連科目						
D群（関連科目）	法学		憲法	4	2	
			民法 I	4	3・4	
			民法 II	4	3・4	
			商法 I	4	3・4	
			商法 II	4	3・4	
			経済法	4	3・4	
			労働法	4	3・4	
	経営学		簿記論	4	1・2	
			マーケティング論	4	2	
			経営学総論	4	2	（2011年度以降休講）
			財務会計論	4	2	
			金融市場論	4	3・4	（2011年度以降休講）旧称：証券市場論
			リスク・マネジメント論	4	3・4	旧称：保険論
			経営史	4	3・4	
	国際政治経済学部B群科目		経済学部の科目と異名称のものに限ります。 I・IIを除いた同一名称科目は履修できません。 他学部科目一覧表の国際政治経済学部欄参照。			

8．教職課程関連科目配置表

教職課程関連科目			
授業科目	単位	履修年次	備考
日本史	4	3・4	
外国史（東洋史及び西洋史）	4	3・4	
人文地理学	4	3・4	
人文地理学概論	4	3・4	
自然地理学	4	3・4	
△地理情報分析法	4	3・4	旧称：水文学
△気象学	4	3・4	
△地誌学概論（アメリカ地誌を含む）	4	3・4	
△地誌学概論（アジア地誌を含む）	4	3・4	
△地誌学概論（ヨーロッパ地誌を含む）	4	3・4	
△地誌学概論（日本地誌を含む）	4	3・4	
法律学概説	4	3・4	
政治学概説	4	3・4	
政治学原論	4	1・2	
国際関係論	4	3・4	
哲学史	4	3・4	
△倫理学概説	4	3・4	
宗教学	4	3・4	
△心理学概説	4	3・4	

（注意）修得した単位は卒業要件単位には算入されません。
教職課程関連科目は教育職員免許状の取得を希望し申請した学生以外は履修できません。
△は隔年開講

9．税理士特別講座について

経済学部では、本学OB・OGの税理士・公認会計士等で構成される「青学会計人クラブ」の協力のもと、1998年から正規のカリキュラムとは別に「税理士特別講座」を開設しています。

皆さんの先輩であり、実務の第一線で活躍する専門家が、日頃の忙しい時間を割いて会計科目･税法科目の基礎講座と親身な受験指導を行っています。税理士試験のみならず、日商簿記検定を目指す人にも学習の指針となることでしょう。税理士･公認会計士という職業に関心を持ちながらも、現場の実務家と接する機会の少ない学生は、この特別講座を大いに活用してください。

勉学意欲のある学生の受講を期待しています。

説明会開催日時や申し込みの詳細については、年度初頭に「学生ポータル」を参照してください。

A．現代経済デザイン学科履修要項（2012年度入学者）

【1】 現代経済デザイン学科履修について

現代経済デザイン学科の基本理念

経済学の英知のもと、公共部門と国際・地域社会の役割や相互関連性を理解し、現代経済を取り巻く諸問題を発見する能力、分析する能力、解決に向けて政策を立案する能力など、実践力に裏付けられた社会デザイン志向型の人材を育てる。

1．卒業要件

⑴ 卒業に必要な単位数について

卒業資格を得るためには、下表に示す区分にしたがってその単位を修得しなければなりません。ここに示す単位数は科目の種別ごとに要求される最低の単位数です。これが１単位でも不足すると卒業は認められません。

134単位は卒業に必要な最低単位数なので、意欲のある学生はこの単位を超えて単位を修得できます。

⑵ 学位について

現代経済デザイン学科に４年以上（ただし８年を限度とします）在学し、卒業に必要な**134**単位以上を修得した者には、学位記を与え「学士（経済学）」の学位を授与します。

卒業要件単位表

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">科　目　の　種　類</th><th>必選の別</th><th colspan="4">必要単位</th></tr>
<tr><td rowspan="15">公共コース・地域コース共通</td><td colspan="2">青山スタンダード科目</td><td>必修
選択必修</td><td colspan="4">26</td></tr>
<tr><td>外国語科目</td><td>第一外国語科目</td><td>必修</td><td colspan="4">12</td></tr>
<tr><td rowspan="6">専門科目</td><td>A群（入門科目）</td><td>必修</td><td>2</td><td rowspan="3">18</td><td rowspan="3">30</td><td rowspan="6">80</td></tr>
<tr><td rowspan="3">B群（基礎科目）</td><td>必修</td><td>14</td></tr>
<tr><td>選択必修</td><td>2</td></tr>
<tr><td></td><td>選択</td><td colspan="2">12</td></tr>
<tr><td rowspan="2">C群（専攻科目）</td><td>必修</td><td colspan="2">2</td><td rowspan="3">50</td></tr>
<tr><td>選択</td><td colspan="2" rowspan="2">48</td></tr>
<tr><td>D群（関連科目）
（20単位まで専門に算入）</td><td>選択</td></tr>
<tr><td rowspan="4">自由選択科目</td><td>青山スタンダード26単位を超えた単位</td><td rowspan="4">選択</td><td colspan="4" rowspan="4">16</td></tr>
<tr><td>経済学部開講の外国語選択科目</td></tr>
<tr><td>専門80単位を超えた単位</td></tr>
<tr><td>他学部開講の専門科目</td></tr>
<tr><td colspan="3">総　　計</td><td colspan="4">134</td></tr>
</table>

※　A・B群で30単位を超えた単位は、C群に加算されます。
※　C・D群で50単位を超えた単位は、自由選択科目に加算されます。

2．最高履修制限単位

最高履修制限単位は次のとおりです。各年次生は、この表に示す単位数を超えて履修することはできません。なお、各年次においては、１科目以上の履修をしなければなりません。

学　　年	１年次	２年次	３年次	４年次	合　計
最高履修制限単位	44	44	46	50	184

（注意）　各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目（2008年度入学生は「教育原理」、2009年度以降入学生は「教育原理Ａ」「教育原理Ｂ」）の単位は、最高履修制限単位に含まれません。

3．進級条件

２年次終了時までに、卒業要件単位50単位以上を修得しなければ３年次に進級できません。

4．修得単位僅少者について

入学後休学期間を除いて２年間で修得単位が32単位に満たない学生は、大学学則第34条に基づき成業の見込のない者として除籍されることがありますので注意してください。

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2012年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養をそなえているという社会的評価を受けることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

科目の種類				必選の別	必要単位
青山スタンダード科目	1）教養コア	キリスト教理解関連科目		必修	2
	2）技能コア	言葉の技能	英語	※1	
			第二外国語 ※2　※3	必修	4
		身体の技能		必修※4	2
		情報の技能		必修	2
	3）テーマ別	キリスト教理解関連科目		必修	2
	4）教養コア	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記４領域のうち２領域から「教養コア科目」を選択	選択必修	4
	5）領域指定	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記領域より４）で選択しなかった２領域から各１科目（２単位）ずつ選択。（「教養コア科目」あるいは「テーマ別科目」いずれも可）	選択必修	4
	フレッシャーズ・セミナー、ウェルカム・レクチャー、キャリアデザイン・セミナー、教養コア科目、技能コア科目、テーマ別科目から選択。（１）～５）で修得した科目は除く）			選択	6

※１　言葉の技能･英語は、所属する学部（学科）が開講する科目を履修します。詳しくは、所属する学部（学科）の外国語科目履修方法および配置表に関するページを参照してください。（英語スキルⅠ－１、Ⅰ－２を除く）

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

・「（第二外国語）Ⅰ(A)」「（第二外国語）Ⅰ(B)」について、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます（日本語は除く）。

・「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ･（第二外国語）」あるいは「（第二外国語）Ⅱ」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「インテンシブ･（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

※４　教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修です。

○　必要単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　**受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。**

３．授業科目配置表

（太字は必修科目）

		授業科目	単位	配置年次	備考
		フレッシャーズ・セミナー	2	1	1年生のみ
		ウェルカム・レクチャー	2	1	1年生のみ
		キャリアデザイン・セミナー	2	1	1年生のみ
教養コア科目		（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	
		（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題(総合科目) 現代社会の諸問題(個別科目)	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（自然理解関連科目） 科学･技術の視点（総合科目） 科学･技術の視点（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	日本語・英語	英語スキルⅠ－1	1	1	2007年度以降入学者１年生のみ
		日本語・英語	英語スキルⅠ－2	1	1	2007年度以降入学者１年生のみ
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
			（第二外国語）Ⅰ(A)－2	**1**	**1**	
			（第二外国語）Ⅰ(B)－1	**1**	**1**	
			（第二外国語）Ⅰ(B)－2	**1**	**1**	
			英語Ⅰ－1	**1**	**1**	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週２回履修し、計４単位修得してください。
			英語Ⅰ－2	**1**	**1**	
			英語（ⅠA）－1	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠA）－2	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）－1	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）－2	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(A)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(B)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
	身体の技能		**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修
	情報の技能		**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	理工学部・社会情報学部は２年次 他は３年次配置
			旧約聖書と人間	2	2･3･4	
			新約聖書と人間	2	2･3･4	
			キリスト教生命倫理	2	2･3･4	
			キリスト教政治倫理	2	2･3･4	
			キリスト教と自然科学	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
			キリスト教環境倫理	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	キリスト教音楽	2	2･3･4	
		キリスト教美術	2	2･3･4	
		メソジスト教会史	2	2･3･4	
		世界の諸宗教	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		サービス・ラーニングⅠ	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2･3･4	
		海外語学・キリスト教文化研修	2	2･3･4	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2･3･4	
		哲学B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題A	2	2･3･4	
		哲学の諸問題B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題C	2	2･3･4	
		哲学の諸問題D	2	2･3･4	
		論理学A	2	2･3･4	
		論理学B	2	2･3･4	
		論理学の諸問題A	2	2･3･4	
		論理学の諸問題B	2	2･3･4	
		倫理学A	2	2･3･4	
		倫理学B	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題A	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題B	2	2･3･4	
		西洋倫理思想史A	2	2･3･4	
		西洋倫理思想史B	2	2･3･4	
		言語学A	2	2･3･4	
		言語学B	2	2･3･4	
		日本語学A	2	2･3･4	
		日本語学B	2	2･3･4	
		文学A	2	2･3･4	
		文学B	2	2･3･4	
		文学史A	2	2･3･4	
		文学史B	2	2･3･4	
		美術A	2	2･3･4	
		美術B	2	2･3･4	
		美術史A	2	2･3･4	
		美術史B	2	2･3･4	
		音楽A	2	2･3･4	
		音楽B	2	2･3･4	
		音楽史A	2	2･3･4	
		音楽史B	2	2･3･4	
		文化人類学A	2	2･3･4	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	文化人類学B	2	2･3･4	
		比較文化A	2	2･3･4	
		比較文化B	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題A	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題B	2	2･3･4	
		心理学A	2	2･3･4	心理学科除く
		心理学B	2	2･3･4	心理学科除く
		教育学A	2	2･3･4	
		教育学B	2	2･3･4	
		平和を考えるA	2	2･3･4	
		平和を考えるB	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）	4	2･3･4	法学部除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		日本の法と社会A	2	2･3･4	
		日本の法と社会B	2	2･3･4	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	
		国際政治経済学B	2	2･3･4	
		国際関係概論A	2	2･3･4	
		国際関係概論B	2	2･3･4	
		社会学A	2	2･3･4	
		社会学B	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	
		経済学A	2	2･3･4	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	
		情報社会科学B	2	2･3･4	
		情報社会論	2	2･3･4	
		社会情報論	2	2･3･4	
		人口問題A	2	2･3･4	
		人口問題B	2	2･3･4	
		フェミニズムA	2	2･3･4	
		フェミニズムB	2	2･3･4	
		民族問題A	2	2･3･4	
		民族問題B	2	2･3･4	
		マスメディアと社会	2	2･3･4	
		データサイエンス	2	2･3･4	
		福祉と人間A	2	2･3･4	

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	福祉と人間B	2	2･3･4	
		グローバリゼーションとWTO	2	2･3･4	
		日本農業とWTO	2	2･3･4	
		環境問題と社会	2	2･3･4	NPO環境平和持続の会寄附講座
	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	
		技術史B	2	2･3･4	
		日常生活の数理	2	2･3･4	
		数理科学入門I	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学入門II	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学の視点	2	2･3･4	
		数理モデル	2	2･3･4	
		自然科学概論A	2	2･3･4	
		自然科学概論B	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術A	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術B	2	2･3･4	
		現代物理	2	2･3･4	
		ライフサイエンス	2	2･3･4	
		ゲノム	2	2･3･4	
		生物と地球環境	2	2･3･4	
		地球環境保全	2	2･3･4	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	2･3･4	
		地球観（自然と人の倫理）	2	2･3･4	
		生命と地球の歴史	2	2･3･4	
		宇宙科学	2	2･3･4	
		野鳥の生態	2	2･3･4	
		鳥類と生物多様性	2	2･3･4	
		植物生態学	2	2･3･4	
		先端エレクトロニクス	2	2･3･4	
		環境科学A	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		環境科学B	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		自然地理学A	2	2･3･4	
		自然地理学B	2	2･3･4	
		科学史	2	2･3･4	
		生命と生態系(環境と生物)	2	2･3･4	
		生命の連続（遺伝）	2	2･3･4	
		かたちの科学	2	2･3･4	
		自然史	2	2･3･4	
		自然観の変遷	2	2･3･4	
	歴史理解関連科目（領域E）	青山学院大学の歴史	2	2･3･4	
		日本社会史A	2	2･3･4	
		日本社会史B	2	2･3･4	
		日本社会史C	2	2･3･4	

テーマ別科目	歴史理解関連科目（領域E）	中国史A	2	2･3･4	
		中国史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史A	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史C	2	2･3･4	
		現代史A	2	2･3･4	
		現代史B	2	2･3･4	
		現代史C	2	2･3･4	
		現代史D	2	2･3･4	
		考古学A	2	2･3･4	
		考古学B	2	2･3･4	
		科学思想史A	2	2･3･4	
	言葉の技能（領域F）	インテンシブ･(第二外国語)(A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ･(第二外国語)(B)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(C)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(D)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語を指します。
		（第二外国語）II (B)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (C)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (D)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (E)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、中国語を指します。
		中国語II (F)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		英語II	2	2･3･4	フランス文学科のみ
		英語（II A）	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		英語（II B）	2	2･3･4	外国人留学生のみ、旧称「英語II」
		日本語II	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）III	2	3・4	（第二外国語）はドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		フランス語III (A)	2	3・4	フランス文学科除く
		フランス語III (B)	2	3・4	フランス文学科除く
		英語III	2	3・4	フランス文学科のみ
		英語（III）	2	3・4	外国人留学生のみ
		日本語III	2	3・4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）会話（I）	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語（フランス文学科のみ）を指します。
		（第二外国語）会話（II）	2	3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語を指します。

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	日本語（Ⅰ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅰ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅰ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅰ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅱ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅱ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅱ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅱ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅲ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅲ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅲ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅲ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅳ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅳ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅳ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅳ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅴ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅴ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅴ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅴ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅵ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅵ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅵ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅵ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅰ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅱ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅲ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅳ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅴ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅵ）	2	3	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	スペイン語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化B	2	2･3･4	
		イスラム圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		イスラム圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		日本学A	2	2･3･4	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	2･3･4	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	
		English Studies B	2	2･3･4	
		English Studies C	2	2･3･4	
		English Studies D	2	2･3･4	
		English Studies E	2	2･3･4	
		ことばの研究A	2	2･3･4	
		ことばの研究B	2	2･3･4	
		少数民族の社会と文化A	2	2･3･4	
		少数民族の社会と文化B	2	2･3･4	
		民族文化論A	2	2･3･4	
		民族文化論B	2	2･3･4	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	
		動きの人間学	2	2･3･4	
		医療社会学	2	2･3･4	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	４回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎Ⅰ	2	2･3･4	
		プログラミング基礎Ⅱ	2	2･3･4	
		情報スキルⅡ	2	2･3･4	
		eラーニング入門	2	2･3･4	
		インストラクショナルデザイン入門	2	2･3･4	
		教育システムのためのIT入門	2	2･3･4	両キャンパス相互に隔年開講
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	

テーマ別科目	キャリアの技能（領域Ⅰ）	キャリアデザイン基礎	2	2･3･4	
		キャリアデザイン応用	2	3・4	
		仕事力基礎論	2	3・4	
		日本語文章作成演習	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門A	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門B	2	2･3･4	
		感性ビジネスA ―ファッション産業のフロンティア―	2	2･3･4	
		感性ビジネスB ―ファッション産業のフロンティア―	2	2･3･4	
		感性ビジネスC ―ファッション・ビジネス戦略論―	2	2･3･4	㈶ファッション産業人材育成機構(IFI）寄附講座
		感性ビジネスD ―ファッション・ビジネス戦略論―	2	2･3･4	㈶ファッション産業人材育成機構(IFI）寄附講座
		パーソナル・マネー・マネジメント入門	2	2･3･4	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと人づくりのリテラシー	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情A	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情B	2	2･3･4	
		現代金融の諸問題	2	2･3･4	金融青山会寄附講座
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		ファイナンシャルプランニング基礎	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		囲碁で養うロジカルシンキング	2	2･3･4	公益財団法人日本棋院寄附講座
		ファッション流通ビジネス論	2	2･3･4	
		海外語学・文化研修Ⅰ	2	2･3･4	
		海外語学・文化研修Ⅱ	2	2･3･4	
		海外語学・文化研修Ⅲ	2	2･3･4	
		ビジネスコミュニケーション	2	3・4	

【３】 第一外国語科目について

１．第一外国語科目配置表

	授業科目（全て通年）	単位	履修年次	備　　考
必修	**リーディング・コンプリヘンションⅠ**	2	1	
	リーディング・コンプリヘンションⅡ	2	2	リーディング・コンプリヘンションⅠ修得者のみ履修可。
	ファンダメンタル・イングリッシュ	2	1	
	リーディング＆ディスカッション	2	2	ファンダメンタル・イングリッシュ修得者のみ履修可。
	ライティング＆コミュニケーション	2	1	
	英語圏の言葉と文化（英語演習）	2	3	
選択	オーラル・コミュニケーションⅠ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座Ａ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座Ｂ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	アドバンスト・ライティング	2	2	ライティング＆コミュニケーション修得者のみ履修可。
	ビジネス・コミュニケーション	2	3・4	
	オーラル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	オーラル・コミュニケーションⅠ修得者のみ履修可。
	スピーチ・クリニック	4	3・4	

(注意)・第一外国語科目には、クラス指定があります。
・下級年次必修科目の再履修クラスが開講されている場合は、必ずそのクラスで受講してください。
・他学部の第一外国語科目は履修できません。

２．外国人留学生の外国語科目の履修について

外国人留学生の外国語科目は、以下のとおり履修してください。

Ａ．第一外国語科目の履修方法

第一外国語科目の必要単位

必　　修（12単位）

履修年次	授業科目名（すべて２単位）		
1	**日本語初級A**	**日本語初級B**	**日本語初級C**
2	**日本語中級 A**	**日本語中級 B**	
3	**日本語上級**		

履修順序はありません。

※指定の第一外国語必修科目以外は履修できません。

Ｂ．第二外国語科目の履修方法（青山スタンダード参照）

言葉の技能〔領域Ｆ〕（第二外国語科目）の必要単位

必　　修（４単位）

フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語のうちから１カ国語を履修すること。ただし、母国語（第一言語）は第二外国語として履修できません。

（注意）

⑴　外国人留学生の第一外国語科目・第二外国語科目については、原則として、履修順序を設けません。ただし、１年次配置前期開講科目と後期開講科目の間にそれぞれ履修順序があり、前期開講科目の単位が修得できない時、後期開講科目の履修登録は自動的に削除されます。

⑵　申請した第二外国語以外の外国語科目の単位は、自由選択科目に算入されます。

⑶　本学入学以前に、高等学校あるいは海外などですでに学習したことのある学生が、その学力をⅠ修了者に準ずると認定された場合、Ⅱの科目で卒業に必要な単位に充当することができます。

【４】 専門科目履修方法および配置表

１．専門科目について

専門科目の最低必要単位は、入学年度の履修条件に従って修得しなければなりません。

① Ａ・Ｂ群の必要単位　　30単位（これを超えた単位は、Ｃ群の単位に加算）

② Ｃ・Ｄ群の必要単位　　50単位（これを超えた単位は、自由選択に加算）
※ Ｄ群（関連科目）は上限20単位で、これを超えた単位は、自由選択に加算。

２．授業科目の種類

必修科目	所属する学部・学科で必ず履修し、単位を修得しなければならない科目
選択必修科目	指定されたいくつかの科目の中から選択履修し、各学部・学科所定の単位数を必ず修得しなければならない科目
指定科目 （事前登録科目）	所属する学部・学科であらかじめ指定された科目で、必ず履修しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修し、必要要件単位数を修得する科目

３．他学部生の本学科専門科目の履修について

他学部生は、下記専門科目の履修はできません。

① Ａ・Ｂ群科目（例外：「経済地理」「経済地誌」は履修可）
② Ｃ群の「コア科目」、「演習等」、「総合科目」、４年次配置（院共通）科目
③ 同一名称科目（Ⅰ、Ⅱが付く科目を含む）および異名称同一科目

４．コースについて

① コースの目的

現代経済デザイン学科の専門科目は、基礎的な知識からより高度な専門知識を効率的に習得することができるよう、段階的･体系的に編成されています。学習効果をあげるためには、専門科目を系統的に履修することが大切です。コースは、学生が学習目的に即した履修を行うために設けられています。専門科目配置表中の専攻科目（Ｃ群）には、公共分野（主に公共コース）３ブロックと地域分野（主に地域コース）３ブロック・１モジュール、計７科目群が配置されています。どちらの分野の科目を主として学習するかに応じて、各分野の基礎知識を習得することを目的とした**コース指定科目**を必ず履修することになります。

② コースの決定

○ ２年次後期から２コース（**公共**コース、**地域**コース）に分かれてコース指定科目を履修することになります。２年次後期および３年次のコース指定科目は、事前登録科目として自動的に履修登録されますので、各自での履修登録は必要ありません。

○ 詳細は、掲示または学生ポータルにて確認して下さい。

5．演習について

・「**基礎演習**」
　2年次後期（2単位）
・「**専門演習Ⅰ**」
　3年次通年（4単位）
・「**専門演習Ⅱ**」
　4年次前期（2単位）
・「**卒業論文**」
　4年次通年（4単位）

◎　1年次後期に選考を要します。

＊「基礎演習」の選考と履修登録について

①　選考時期…1年次後期

②　コース申請…決定した基礎演習の教員に合わせてコース申請してください。

③　履修登録…選考に合格した場合は、2年次に自動的に事前登録されます。

＊「専門演習Ⅰ」・「専門演習Ⅱ」について

前年度からの継続を希望する場合は、各自で履修登録してください。

＊「卒業論文」について

・「専門演習Ⅱ」履修者のみ履修可能です（必修ではありません）。

・希望者は各自で履修登録してください。

・提出日時・注意事項については、学生ポータルを確認してください。

6．4年次のみ配置科目について

「専門演習Ⅱ」・「卒業論文」を除き4年次のみ配置されている科目は、「専門演習Ⅱ」・「卒業論文」と並行して履修するなど、高度な専門知識を習得するために、大学院連携科目として大学院経済学研究科公共・地域マネジメント専攻の科目の一部を、本学科の4年次生に開講しています。

この科目は、本学科の卒業要件単位に算入されます。

7．大学院科目特別履修制度について

大学院経済学研究科経済学専攻または公共・地域マネジメント専攻への進学を希望する4年次生に対して、より高度な専門知識を早期に習得する機会を提供するために、経済学研究科科目の一部を履修することができます。

これによって修得した単位は、研究科入学後、博士前期課程修了要件として定められた単位数まで申請することができるため早期修了あるいは課程博士論文作成作業への早期着手が可能になります。またこの取得単位は卒業後5年以内に限り研究科に入学した時点で認定することができます。

大学院科目特別履修制度は、以下の2種類の方法があります。

1．3年次試験による大学院科目特別履修生試験

　出願資格：3年次に在学する者（経済学専攻は経済・経営・国際政経学部のみ）

2．4年次履修による先取り科目履修

　経済学専攻：

　経済学部4年次に在学するもので、3年次修了時に124単位を修得した者。

　公共・地域マネジメント専攻：

　現代経済デザイン学科4年次に在学するもので、3年次修了時に124単位を修得した者。

※詳細は大学院事務室経済学研究科へ問い合わせてください。

8．現代経済デザイン学科専門科目配置表

コース			授業科目	単位	履修年次	備考（特に記載のないものは選択科目）
入門科目						
A群	学科		**現代経済デザイン総合講義**	**2**	1	**必修**
基礎科目						
B群	コア科目	学科	**ミクロ経済学講義**	**4**	1	**必修** ペア科目（半期）
			ミクロ経済学演習	**2**	1	**必修**
			公共哲学Ⅰ	**2**	1	**必修**
			公共経済学Ⅰ	**2**	1	**必修**
			地域経済学Ⅰ	**2**	1	**必修**
			経済情報	**2**	2	**必修**
			入門経済数学Ⅰ	2	1	**選択必修**
			入門経済数学Ⅱ	2	2	「入門経済数学Ⅰ」修得者のみ履修可
			入門統計学Ⅰ	2	1	**選択必修**
			入門統計学Ⅱ	2	2	「入門統計学Ⅰ」修得者のみ履修可
		公共	公共経済学Ⅱ	2	2	**指定**
		地域	GISによる空間分析Ⅰ	2	2	**指定**
	関連科目		マクロ経済学講義	4	1･2	
			ツールとしてのゲーム理論	2	1･2	
			情報の経済学	2	1･2	
			グローバル経済Ａ	2	1･2	
			グローバル経済Ｂ	2	1･2	
			経済地理	2	1･2	
			経済地誌	2	1･2	
			データ解析	2	2	
			経済政策論Ⅰ	2	2	＊
			経済政策論Ⅱ	2	2	＊
			財政学Ⅰ	2	2	＊
			財政学Ⅱ	2	2	＊
			経済史概論Ⅰ	2	1･2	＊
			経済史概論Ⅱ	2	1･2	＊
			経済学史Ⅰ	2	2	＊
			経済学史Ⅱ	2	2	＊
	演習等		基礎演習	2	2のみ	
			プレゼンテーション	2	2	
			ビジネスマナー	2	2	
専攻科目						
C群	コア科目	学科	**公共哲学Ⅱ**	**2**	3	**必修**
		公共	公共経済学Ⅲ	2	3	**指定**
			厚生経済学	2	3	**指定**
		地域	地域経済学Ⅱ	2	3	**指定**
			地域政策論	2	3	**指定**
	学科関連科目	公共分野	応用経済ブロック			
			ミクロ経済学特論	2	4	院共通
			マクロ経済学特論	2	4	院共通
			租税特論	2	4	院共通
			地方財政特論	2	4	院共通
			租税の経済学Ⅰ	2	3･4	＊
			地方財政の経済学Ⅰ	2	3･4	

＊は、経済学科主体科目

コース			授業科目	単位	履修年次	備考（特に記載のないものは選択科目）
C群	学科関連科目	公共分野	公的規制の経済学	2	3･4	
			公共政策特論	2	4	院共通
			NPO 論 A	2	3･4	
			契約の経済学	2	3･4	
			制度・政策ブロック			
			租税の経済学II	2	3･4	＊
			地方財政の経済学II	2	3･4	
			公共政策の経済学	2	3･4	
			社会保障論 I	2	3･4	＊
			社会保障論II	2	3･4	＊
			公共経営ブロック			
			公共選択論	2	3･4	
			公共マネジメント特論	2	4	院共通
			NPO 論 B	2	3･4	
			政策と評価 A	2	3･4	
			法と経済学	2	3･4	
		地域分野	空間経済ブロック			
			産業集積特論	2	4	院共通
			都市経済学	2	3･4	
			開発経済学	2	3･4	
			交通経済学 I	2	3･4	＊
			交通経済学II	2	3･4	＊
			環境経済学 I	2	3･4	＊
			環境経済学II	2	3･4	＊
			地域政策ブロック			
			都市再生論	2	3･4	
			まちづくりと都市計画	2	3･4	
			住宅と不動産の経済学	2	3･4	
			大都市地域特論	2	4	院共通
			郊外地域論	2	3･4	
			政策と評価 B	2	3･4	
			地域人口論	2	3･4	
			農業経済論 I	2	3･4	＊
			農業経済論II	2	3･4	＊
			エリアスタディブロック			
			EU 経済特論	2	4	院共通
			アジア経済特論	2	4	院共通
			地域人口特論	2	4	院共通
			世界経済論 I	2	3･4	＊
			世界経済論II	2	3･4	＊
			各国経済論 A I	2	3･4	＊
			各国経済論 A II	2	3･4	＊
			各国経済論 B I	2	3･4	＊
			各国経済論 B II	2	3･4	＊
			統計・情報モジュール			
			GIS による空間分析II	2	3･4	（注）異名称同一科目：経済学科「GIS 応用」
			GIS による空間分析III	2	4	（注）院共通

（注）「GIS による空間分析 I」または経済学科の「GIS 入門」修得者のみ履修可。

コース		授　業　科　目	単位	履修年次	備　考（特に記載のないものは選択科目）
C群	演習等	専門演習Ⅰ	4	3	「基礎演習」修得者のみ履修可
		専門演習Ⅱ	2	4	「基礎演習」および「専門演習Ⅰ」修得者のみ履修可
		卒業論文	4	4	「専門演習Ⅱ」同時履修
		Presentation & Debate	2	3･4	（隔年開講）
		フィールドスタディ	2	2･3･4	
		フィールドワーク	2	2･3･4	
		ビジネスライティング	2	3･4	（隔年開講）
	総合科目	公共地域政策研究	2	4	院共通
		公共情報研究	2	4	院共通
		地域情報研究	2	4	院共通
		公共地域政策論（公共）	2	2･3･4	
		公共地域政策論（地域）	2	2･3･4	
		公共地域政策論（国際）	2	2･3･4	
		経済・金融事情（金融機関）	2	2･3･4	
		経済・金融事情（EU 経済）	2	2･3･4	
		経済・金融事情（総合）	2	2･3･4	（金融青山会）寄附講座
		経済・金融事情（金融機関経営）	2	2･3･4	
関　連　科　目					
D群（関連科目）	経済学科科目	A･B 群科目、C１･C２群の同一名称科目、異名称同一科目（「GIS 応用」）、「演習等」は除きます。また、C２群の「産業論」は、卒業要件単位に算入されるのは 6 単位までで、それを超えた単位は卒業要件外になります。			
	法学	憲法	4	2	
		民法Ⅰ	4	3･4	
		民法Ⅱ	4	3･4	
		商法Ⅰ	4	3･4	
		商法Ⅱ	4	3･4	
		経済法	4	3･4	
		労働法	4	3･4	
		政治学原論	4	1･2	
		行政学	4	3･4	
		行政法Ⅰ	4	3･4	
		税法	4	3･4	
	経営学	簿記論	4	1･2	
		マーケティング論Ⅰ	2	2	
		マーケティング論Ⅱ	2	2	
		事業戦略論Ⅰ	2	2	
		事業戦略論Ⅱ	2	2	
		財務会計論Ⅰ	2	2	
		財務会計論Ⅱ	2	2	
		リスク・マネジメント論Ⅰ	2	3･4	
		リスク・マネジメント論Ⅱ	2	3･4	
		経営史Ⅰ	2	3･4	
		経営史Ⅱ	2	3･4	
	国際政治経済学部B群科目	経済学部の科目と異名称のものに限ります。 Ⅰ・Ⅱを除いた同一名称科目は履修できません。 「他学部科目一覧表」の国際政治経済学部欄参照。			

9．税理士特別講座について

経済学部では、本学 OB・OG の税理士・公認会計士等で構成される「青学会計人クラブ」の協力のもと、1998年から正規のカリキュラムとは別に「税理士特別講座」を開設しています。

皆さんの先輩であり、実務の第一線で活躍する専門家が、日頃の忙しい時間を割いて会計科目･税法科目の基礎講座と親身

な受験指導を行っています。税理士試験のみならず、日商簿記検定を目指す人にも学習の指針となることでしょう。税理士・公認会計士という職業に関心を持ちながらも、現場の実務家と接する機会の少ない学生は、この特別講座を大いに活用してください。

勉学意欲のある学生の受講を期待しています。

説明会開催日時や申し込みの詳細については、年度初頭に「学生ポータル」を参照してください。

B．現代経済デザイン学科履修要項（2011年度入学者）

【1】 現代経済デザイン学科履修について

現代経済デザイン学科の基本理念

経済学の英知のもと、公共部門と国際・地域社会の役割や相互関連性を理解し、現代経済を取り巻く諸問題を発見する能力、分析する能力、解決に向けて政策を立案する能力など、実践力に裏付けられた社会デザイン志向型の人材を育てる。

1．卒業要件

⑴ 卒業に必要な単位数について

卒業資格を得るためには、下表に示す区分にしたがってその単位を修得しなければなりません。ここに示す単位数は科目の種別ごとに要求される最低の単位数です。これが1単位でも不足すると卒業は認められません。

134単位は卒業に必要な最低単位数なので、意欲のある学生はこの単位を超えて単位を修得できます。

⑵ 学位について

現代経済デザイン学科に4年以上（ただし8年を限度とします）在学し、卒業に必要な**134**単位以上を修得した者には、学位記を与え「学士（経済学）」の学位を授与します。

卒業要件単位表

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">科　目　の　種　類</th><th>必選の別</th><th colspan="4">必要単位</th></tr>
<tr><td rowspan="15">公共コース・地域コース共通</td><td colspan="2">青山スタンダード科目</td><td>必修
選択必修</td><td colspan="4">26</td></tr>
<tr><td>外国語科目</td><td>第一外国語科目</td><td>必修</td><td colspan="4">12</td></tr>
<tr><td rowspan="7">専門科目</td><td>A群（入門科目）</td><td>必修</td><td>2</td><td rowspan="3">18</td><td rowspan="3">30</td><td rowspan="7">80</td></tr>
<tr><td rowspan="3">B群（基礎科目）</td><td>必修</td><td>14</td></tr>
<tr><td>選択必修</td><td>2</td></tr>
<tr><td></td><td>選択</td><td colspan="2">12</td></tr>
<tr><td rowspan="2">C群（専攻科目）</td><td>必修</td><td colspan="2">2</td><td rowspan="3">50</td></tr>
<tr><td>選択</td><td colspan="2" rowspan="2">48</td></tr>
<tr><td>D群（関連科目）
（20単位まで専門に算入）</td><td>選択</td></tr>
<tr><td rowspan="4">自由選択科目</td><td>青山スタンダード26単位を超えた単位</td><td rowspan="4">選択</td><td colspan="4" rowspan="4">16</td></tr>
<tr><td>経済学部開講の外国語選択科目</td></tr>
<tr><td>専門80単位を超えた単位</td></tr>
<tr><td>他学部開講の専門科目</td></tr>
<tr><td colspan="4">総　　計</td><td colspan="4">134</td></tr>
</table>

※　A・B群で30単位を超えた単位は、C群に加算されます。
※　C・D群で50単位を超えた単位は、自由選択科目に加算されます。

2．最高履修制限単位

最高履修制限単位は次のとおりです。各年次生は、この表に示す単位数を超えて履修することはできません。なお、各年次においては、１科目以上の履修をしなければなりません。

学　　年	１年次	２年次	３年次	４年次	合　計
最高履修制限単位	44	44	46	50	184

（注意）　各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目（2008年度入学生は「教育原理」、2009年度以降入学生は「教育原理Ａ」「教育原理Ｂ」）の単位は、最高履修制限単位に含まれません。

3．進級条件

２年次終了時までに、卒業要件単位50単位以上を修得しなければ３年次に進級できません。

4．修得単位僅少者について

入学後休学期間を除いて２年間で修得単位が32単位に満たない学生は、大学学則第34条に基づき成業の見込のない者として除籍されることがありますので注意してください。

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2011年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養をそなえているという社会的評価を受けることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

科目の種類				必選の別	必要単位
青山スタンダード科目	1）教養コア	キリスト教理解関連科目		必修	2
	2）技能コア	言葉の技能	英語	※1	
			第二外国語 ※2　※3	必修	4
		身体の技能		必修※4	2
		情報の技能		必修	2
	3）テーマ別	キリスト教理解関連科目		必修	2
	4）教養コア	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記４領域のうち２領域から「教養コア科目」を選択	選択必修	4
	5）領域指定	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記領域より４）で選択しなかった２領域から各１科目（２単位）ずつ選択。（「教養コア科目」あるいは「テーマ別科目」いずれも可）	選択必修	4
	フレッシャーズ・セミナー、ウェルカム・レクチャー、キャリアデザイン・セミナー、教養コア科目、技能コア科目、テーマ別科目から選択。（１）～５）で修得した科目は除く）			選択	6

※１　言葉の技能･英語は、所属する学部（学科）が開講する科目を履修します。詳しくは、所属する学部（学科）の外国語科目履修方法および配置表に関するページを参照してください。（英語スキルⅠ－１、Ⅰ－２を除く）

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

・「（第二外国語）Ⅰ(A)」「（第二外国語）Ⅰ(B)」について、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます（日本語は除く）。

・「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ･（第二外国語）」あるいは「（第二外国語）Ⅱ」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「インテンシブ･（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

※４　教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修です。

○　必要単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　**受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。**

3．授業科目配置表

（太字は必修科目）

			授業科目	単位	配置年次	備考
			フレッシャーズ・セミナー	2	1	1年生のみ
			ウェルカム・レクチャー	2	1	1年生のみ
			キャリアデザイン・セミナー	2	1	1年生のみ
教養コア科目			（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	
教養コア科目			（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
教養コア科目			（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題（総合科目） 現代社会の諸問題（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
教養コア科目			（自然理解関連科目） 科学・技術の視点（総合科目） 科学・技術の視点（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
教養コア科目			（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	日本語・英語	英語スキルⅠ－1	1	1	2007年度以降入学者1年生のみ
技能コア科目	言葉の技能	日本語・英語	英語スキルⅠ－2	1	1	2007年度以降入学者1年生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－2**	**1**	**1**	
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(B)－1**	**1**	**1**	
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(B)－2**	**1**	**1**	
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**英語Ⅰ－1**	**1**	**1**	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週2回履修し、計4単位修得してください。
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**英語Ⅰ－2**	**1**	**1**	
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**英語（ⅠA）－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**英語（ⅠA）－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**英語（ⅠB）－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**英語（ⅠB）－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**日本語Ⅰ(A)**	**2**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**日本語Ⅰ(B)**	**2**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	身体の技能		**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修
技能コア科目	情報の技能		**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	理工学部・社会情報学部は2年次 他は3年次配置
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		旧約聖書と人間	2	2・3・4	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		新約聖書と人間	2	3・4	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		キリスト教生命倫理	2	3・4	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		キリスト教政治倫理	2	3・4	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		キリスト教と自然科学	2	2・3・4	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		キリスト教環境倫理	2	2・3・4	

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	キリスト教音楽	2	3・4	
		キリスト教美術	2	3・4	
		メソジスト教会史	2	3・4	
		世界の諸宗教	2	2･3･4	
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	3・4	
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅠ	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2･3･4	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2･3･4	
		哲学B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題A	2	3・4	
		哲学の諸問題B	2	3・4	
		哲学の諸問題C	2	3・4	
		哲学の諸問題D	2	3・4	
		論理学A	2	2･3･4	
		論理学B	2	2･3･4	
		論理学の諸問題A	2	3・4	
		論理学の諸問題B	2	3・4	
		倫理学A	2	2･3･4	
		倫理学B	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題A	2	3・4	
		倫理学の諸問題B	2	3・4	
		西洋倫理思想史A	2	3・4	
		西洋倫理思想史B	2	3・4	
		言語学A	2	2･3･4	
		言語学B	2	2･3･4	
		日本語学A	2	2･3･4	
		日本語学B	2	2･3･4	
		文学A	2	2･3･4	
		文学B	2	2･3･4	
		文学史A	2	3・4	
		文学史B	2	3・4	
		美術A	2	2･3･4	
		美術B	2	2･3･4	
		美術史A	2	3・4	
		美術史B	2	3・4	
		音楽A	2	2･3･4	
		音楽B	2	2･3･4	
		音楽史A	2	3・4	
		音楽史B	2	3・4	
		文化人類学A	2	2･3･4	
		文化人類学B	2	2･3･4	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	比較文化A	2	2･3･4	
		比較文化B	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題A	2	3・4	
		比較文化の諸問題B	2	3・4	
		心理学A	2	2･3･4	心理学科除く
		心理学B	2	2･3･4	心理学科除く
		教育学A	2	2･3･4	
		教育学B	2	2･3･4	
		平和を考えるA	2	3・4	
		平和を考えるB	2	3・4	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）	4	2･3･4	法学部除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		日本の法と社会A	2	3・4	
		日本の法と社会B	2	3・4	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	
		国際政治経済学B	2	2･3･4	
		国際関係概論A	2	2･3･4	
		国際関係概論B	2	2･3･4	
		社会学A	2	2･3･4	
		社会学B	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	
		経済学A	2	2･3･4	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	
		情報社会科学B	2	2･3･4	
		情報社会論	2	3・4	
		社会情報論	2	3・4	
		人口問題A	2	2･3･4	
		人口問題B	2	2･3･4	
		フェミニズムA	2	3・4	
		フェミニズムB	2	3・4	
		民族問題A	2	3・4	
		民族問題B	2	3・4	
		マスメディアと社会	2	2･3･4	
		データサイエンス	2	2･3･4	
		福祉と人間A	2	3・4	
		福祉と人間B	2	3・4	

テーマ別科目		グローバリゼーションとWTO	2	3・4	
		日本農業とWTO	2	3・4	
		環境問題と社会	2	3・4	NPO環境平和持続の会寄附講座
	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	
		技術史B	2	2･3･4	
		日常生活の数理	2	2･3･4	
		数理科学入門Ⅰ	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学入門Ⅱ	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学の視点	2	2･3･4	
		数理モデル	2	2･3･4	
		自然科学概論A	2	2･3･4	
		自然科学概論B	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術A	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術B	2	2･3･4	
		現代物理	2	2･3･4	
		ライフサイエンス	2	2･3･4	
		ゲノム	2	2･3･4	
		生物と地球環境	2	3・4	
		地球環境保全	2	3・4	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	3・4	
		地球観（自然と人の倫理）	2	2･3･4	
		生命と地球の歴史	2	2･3･4	
		宇宙科学	2	2･3･4	
		野鳥の生態	2	2･3･4	
		鳥類と生物多様性	2	2･3･4	
		植物生態学	2	2･3･4	
		先端エレクトロニクス	2	2･3･4	
		環境科学A	2	2･3･4	
		環境科学B	2	2･3･4	
		自然地理学A	2	2･3･4	
		自然地理学B	2	2･3･4	
		科学史	2	2･3･4	
		生命と生態系（環境と生物）	2	2･3･4	
		生命の連続（遺伝）	2	2･3･4	
		かたちの科学	2	2･3･4	
		自然史	2	2･3･4	
		自然観の変遷	2	2･3･4	
	歴史理解関連科目（領域E）	青山学院大学の歴史	2	2･3･4	
		日本社会史A	2	2･3･4	
		日本社会史B	2	2･3･4	
		日本社会史C	2	3・4	
		中国史A	2	2･3･4	

テーマ別科目	歴史理解関連科目（領域E）	中国史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史A	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史C	2	3・4	
		現代史A	2	2･3･4	
		現代史B	2	2･3･4	
		現代史C	2	2･3･4	
		現代史D	2	2･3･4	
		考古学A	2	2･3･4	
		考古学B	2	2･3･4	
		科学思想史A	2	2･3･4	
	言葉の技能（領域F）	インテンシブ･(第二外国語)(A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ･(第二外国語)(B)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(C)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(D)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語を指します。
		（第二外国語）II (B)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (C)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (D)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (E)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、中国語を指します。
		中国語 II (F)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		英語 II	2	2･3･4	フランス文学科のみ
		英語 (II A)	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		英語 (II B)	2	2･3･4	外国人留学生のみ、旧称「英語II」
		日本語 II	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）III	2	3・4	（第二外国語）はドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		フランス語 III (A)	2	3・4	フランス文学科除く
		フランス語 III (B)	2	3・4	フランス文学科除く
		英語 III	2	3・4	フランス文学科のみ
		英語 (III)	2	3・4	外国人留学生のみ
		日本語 III	2	3・4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）会話（I）	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語（フランス文学科のみ）を指します。
		（第二外国語）会話（II）	2	3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語を指します。
		日本語 (I)A	1	3	交換留学生のみ

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	日本語（Ⅰ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅰ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅰ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅱ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅱ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅱ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅱ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅲ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅲ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅲ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅲ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅳ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅳ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅳ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅳ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅴ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅴ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅴ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅴ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅵ）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅵ）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅵ）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（Ⅵ）D	1	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅰ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅱ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅲ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅳ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅴ）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅵ）	2	3	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化C	2	3・4	
		スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化C	2	3・4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	3・4	
		韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化B	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化A	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化B	2	3・4	
		日本学A	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	
		English Studies B	2	2･3･4	
		English Studies C	2	3・4	
		English Studies D	2	3・4	
		English Studies E	2	3・4	
		ことばの研究A	2	2･3･4	
		ことばの研究B	2	3・4	
		少数民族の社会と文化A	2	3・4	
		少数民族の社会と文化B	2	3・4	
		民族文化論A	2	2･3･4	
		民族文化論B	2	2･3･4	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	
		動きの人間学	2	2･3･4	
		医療社会学	2	2･3･4	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	４回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎Ⅰ	2	2･3･4	
		プログラミング基礎Ⅱ	2	2･3･4	
		情報スキルⅡ	2	2･3･4	
		eラーニング入門	2	2･3･4	
		インストラクショナルデザイン入門	2	2･3･4	
		教育システムのためのIT入門	2	2･3･4	
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	

テーマ別科目	キャリアの技能（領域Ⅰ）	キャリアデザイン基礎	2	2･3･4	
		キャリアデザイン応用	2	3・4	
		仕事力基礎論	2	3・4	
		日本語文章作成演習	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門A	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門B	2	2･3･4	
		感性ビジネスA ―ファッション産業のフロンティア―	2	2･3･4	
		感性ビジネスB ―ファッション産業のフロンティア―	2	2･3･4	
		感性ビジネスC ―ファッション・ビジネス戦略論―	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構(IFI）寄附講座
		感性ビジネスD ―ファッション・ビジネス戦略論―	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構(IFI）寄附講座
		パーソナル・マネー・マネジメント入門	2	3・4	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと人づくりのリテラシー	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情A	2	3・4	
		国際ビジネスと海外事情B	2	3・4	
		現代金融の諸問題	2	3・4	金融青山会寄附講座
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		ファイナンシャルプランニング基礎	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		囲碁で養うロジカルシンキング	2	2･3･4	公益財団法人日本棋院寄附講座
		ファッション流通ビジネス論	2	2･3･4	
		ビジネスコミュニケーション	2	3・4	

【３】 第一外国語科目について

１．第一外国語科目配置表

	授業科目（全て通年）	単位	履修年次	備　　考
必修	**リーディング・コンプリヘンションⅠ**	2	1	
	リーディング・コンプリヘンションⅡ	2	2	リーディング・コンプリヘンションⅠ修得者のみ履修可。
	ファンダメンタル・イングリッシュ	2	1	
	リーディング＆ディスカッション	2	2	ファンダメンタル・イングリッシュ修得者のみ履修可。
	ライティング＆コミュニケーション	2	1	
	英語圏の言葉と文化（英語演習）	2	3	
選択	オーラル・コミュニケーションⅠ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座Ａ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座Ｂ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	アドバンスト・ライティング	2	2	ライティング＆コミュニケーション修得者のみ履修可。
	ビジネス・コミュニケーション	2	3・4	
	オーラル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	オーラル・コミュニケーションⅠ修得者のみ履修可。
	スピーチ・クリニック	4	3・4	

(注意)・第一外国語科目には、クラス指定があります。
・下級年次必修科目の再履修クラスが開講されている場合は、必ずそのクラスで受講してください。
・他学部の第一外国語科目は履修できません。

２．外国人留学生の外国語科目の履修について

外国人留学生の外国語科目は、以下のとおり履修してください。

Ａ．第一外国語科目の履修方法

第一外国語科目の必要単位

必　　修（12単位）

履修年次	授業科目名（すべて２単位）		
1	**日本語初級A**	**日本語初級B**	**日本語初級C**
2	**日本語中級 A**	**日本語中級 B**	
3	**日本語上級**		

履修順序はありません。

※指定の第一外国語必修科目以外は履修できません。

Ｂ．第二外国語科目の履修方法（青山スタンダード参照）

言葉の技能〔領域Ｆ〕（第二外国語科目）の必要単位

必　　修（４単位）

フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語のうちから１カ国語を履修すること。ただし、母国語（第一言語）は第二外国語として履修できません。

（注意）

⑴　外国人留学生の第一外国語科目・第二外国語科目については、原則として、履修順序を設けません。ただし、１年次配置前期開講科目と後期開講科目の間にそれぞれ履修順序があり、前期開講科目の単位が修得できない時、後期開講科目の履修登録は自動的に削除されます。

⑵　申請した第二外国語以外の外国語科目の単位は、自由選択科目に算入されます。

⑶　本学入学以前に、高等学校あるいは海外などですでに学習したことのある学生が、その学力をⅠ修了者に準ずると認定された場合、Ⅱの科目で卒業に必要な単位に充当することができます。

【４】 専門科目履修方法および配置表

１．専門科目について

専門科目の最低必要単位は、入学年度の履修条件に従って修得しなければなりません。

① Ａ・Ｂ群の必要単位　　30単位（これを超えた単位は、Ｃ群に加算）

② Ｃ・Ｄ群の必要単位　　50単位（これを超えた単位は、自由選択に加算）
※ Ｄ群（関連科目）は上限20単位で、これを超えた単位は自由選択に加算。

２．授業科目の種類

必修科目	所属する学部・学科で必ず履修し、単位を修得しなければならない科目
選択必修科目	指定されたいくつかの科目の中から選択履修し、各学部・学科所定の単位数を必ず修得しなければならない科目
指定科目 （事前登録科目）	所属する学部・学科であらかじめ指定された科目で、必ず履修しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修し、必要要件単位数を修得する科目

３．他学部生の本学科専門科目の履修について

他学部生は、下記専門科目の履修はできません。

① Ａ・Ｂ群科目（例外：「経済地理」「経済地誌」は履修可）
② Ｃ群の「コア科目」、「演習等」、「総合科目」、４年次配置（院共通）科目
③ 同一名称科目（Ⅰ、Ⅱが付く科目を含む）および異名称同一科目

４．コースについて

① コースの目的

現代経済デザイン学科の専門科目は、基礎的な知識からより高度な専門知識を効率的に習得することができるよう、段階的･体系的に編成されています。学習効果をあげるためには、専門科目を系統的に履修することが大切です。コースは、学生が学習目的に即した履修を行うために設けられています。専門科目配置表中の専攻科目（Ｃ群）には、公共分野（主に公共コース）３ブロックと地域分野（主に地域コース）３ブロック・１モジュール、計７科目群が配置されています。どちらの分野の科目を主として学習するかに応じて、各分野の基礎知識を習得することを目的とした**コース指定科目**を必ず履修することになります。

② コースの決定

○ ２年次後期から２コース（**公共**コース、**地域**コース）に分かれてコース指定科目を履修するため、１年次の12月（予定）にコースガイダンスを行います。ガイダンス後必ず希望するコースを申請して下さい。申請したコースに基づいて、２年次後期および３年次のコース指定科目は、事前登録科目として自動的に履修登録されますので、各自での履修登録は必要ありません。

○ コースの変更は、２年次の後期履修変更期間に、所定用紙の提出をもって申請することとします。コース登録の変更は、在学中１回とします。

○ 詳細は、掲示または学生ポータルにて確認して下さい。

5．演習について

⑴「基礎演習」（２年次前期）について

申請したコースに関わらず、開講されている「基礎演習」を複数履修することができます（ただし、人数制限を設けることがあります）。

⑵「専門演習」（３年次）、「卒業論文指導」（４年次）について

２年次後期に、選考を要します。

① 選考

○ 「専門演習」の選考を、２年次の10月（予定）に行います。

○ 原則として、申請したコースに関連する分野の「専門演習」に応募して下さい。

② 履修登録

○ ３年生：「専門演習」（４単位）
選考に合格した場合は、事前登録科目として自動的に履修登録されます。

○ ４年生：「卒業論文指導」（４単位）
前年度からの継続を希望する場合は、各自で履修登録をしてください（必修ではありません）。

6．４年次のみ配置科目について

「卒業論文指導」を除き４年次のみ配置されている科目は、「卒業論文指導」と並行して履修するなど、高度な専門知識を習得するために、大学院連携科目として大学院経済学研究科公共・地域マネジメント専攻の科目の一部を、本学科の４年次生に開講しています。

この科目は、本学科の卒業要件単位に算入されます。

7．大学院科目特別履修制度について

大学院経済学研究科経済学専攻または公共・地域マネジメント専攻への進学を希望する４年次生に対して、より高度な専門知識を早期に習得する機会を提供するために、経済学研究科科目の一部を履修することができます。

これによって修得した単位は、研究科入学後、博士前期課程修了要件として定められた単位数まで申請することができるため早期修了あるいは課程博士論文作成作業への早期着手が可能になります。またこの取得単位は卒業後５年以内に限り研究科に入学した時点で認定することができます。

大学院科目特別履修制度は、以下の２種類の方法があります。

１．３年次試験による大学院科目特別履修生試験
出願資格：３年次に在学する者（経済学専攻は経済・経営・国際政経学部のみ）

２．４年次履修による先取り科目履修
経済学専攻：
経済学部４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。
公共・地域マネジメント専攻：
現代経済デザイン学科４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。

※詳細は大学院事務室経済学研究科へ問い合わせてください。

8．現代経済デザイン学科専門科目配置表

コース			授業科目	単位	履修年次	備考（特に記載のないものは選択科目）
入門科目						
A群	学科		**現代経済デザイン総合講義**	**2**	1	**必修**
基礎科目						
B群	コア科目	学科	**ミクロ経済学講義**	**4**	1	**必修** ペア科目（半期）
			ミクロ経済学演習	**2**	1	**必修**
			公共哲学Ⅰ	**2**	1	**必修**
			公共経済学Ⅰ	**2**	1	**必修**
			地域経済学Ⅰ	**2**	1	**必修**
			経済情報	**2**	2	**必修**
			入門経済数学Ⅰ	2	1	**選択必修**
			入門経済数学Ⅱ	2	2	「入門経済数学Ⅰ」修得者のみ履修可
			入門統計学Ⅰ	2	1	**選択必修**
			入門統計学Ⅱ	2	2	「入門統計学Ⅰ」修得者のみ履修可
		公共	公共経済学Ⅱ	2	2	**指定**
		地域	GISによる空間分析Ⅰ	2	2	**指定**
	関連科目		マクロ経済学講義	4	1･2	
			ツールとしてのゲーム理論	2	1･2	
			情報の経済学	2	1･2	
			グローバル経済A	2	1･2	
			グローバル経済B	2	1･2	
			経済地理	2	1･2	
			経済地誌	2	1･2	
			データ解析	2	2	
			経済政策論Ⅰ	2	2	＊
			経済政策論Ⅱ	2	2	＊
			財政学Ⅰ	2	2	＊
			財政学Ⅱ	2	2	＊
			経済史概論Ⅰ	2	1･2	＊
			経済史概論Ⅱ	2	1･2	＊
			経済学史Ⅰ	2	2	＊
			経済学史Ⅱ	2	2	＊
	演習等		基礎演習A	2	2のみ	
			基礎演習B	2	2のみ	
			基礎演習C	2	2のみ	
			基礎演習D	2	2のみ	
			基礎演習E	2	2のみ	
			プレゼンテーション	2	2	
			ビジネスマナー	2	2	
専攻科目						
C群	コア科目	学科	**公共哲学Ⅱ**	**2**	3	**必修**
		公共	公共経済学Ⅲ	2	3	**指定**
			厚生経済学	2	3	**指定**
		地域	地域経済学Ⅱ	2	3	**指定**
			地域政策論	2	3	**指定**
	学科関連科目	公共分野	応用経済ブロック			
			ミクロ経済学特論	2	4	院共通
			マクロ経済学特論	2	4	院共通

＊は、経済学科主体科目

コース			授業科目	単位	履修年次	備考（特に記載のないものは選択科目）
C群	学科関連科目	公共分野	租税特論	2	4	院共通
			地方財政特論	2	4	院共通
			租税の経済学Ⅰ	2	3･4	＊
			地方財政の経済学Ⅰ	2	3･4	
			公的規制の経済学	2	3･4	
			公共政策特論	2	4	院共通
			NPO 論 A	2	3･4	
			契約の経済学	2	3･4	
			制度・政策ブロック			
			租税の経済学Ⅱ	2	3･4	＊
			地方財政の経済学Ⅱ	2	3･4	
			公共政策の経済学	2	3･4	
			社会保障論Ⅰ	2	3･4	＊
			社会保障論Ⅱ	2	3･4	＊
			公共経営ブロック			
			公共選択論	2	3･4	
			公共マネジメント特論	2	4	院共通
			NPO 論 B	2	3･4	
			政策と評価 A	2	3･4	
			法と経済学	2	3･4	
		地域分野	空間経済ブロック			
			産業集積特論	2	4	院共通
			都市経済学	2	3･4	
			開発経済学	2	3･4	
			交通経済学Ⅰ	2	3･4	＊
			交通経済学Ⅱ	2	3･4	＊
			環境経済学Ⅰ	2	3･4	＊
			環境経済学Ⅱ	2	3･4	＊
			地域政策ブロック			
			都市再生論	2	3･4	
			まちづくりと都市計画	2	3･4	
			住宅と不動産の経済学	2	3･4	
			大都市地域特論	2	4	院共通
			郊外地域論	2	3･4	
			政策と評価 B	2	3･4	
			地域人口論	2	3･4	
			農業経済論Ⅰ	2	3･4	＊
			農業経済論Ⅱ	2	3･4	＊
			エリアスタディブロック			
			EU 経済特論	2	4	院共通
			アジア経済特論	2	4	院共通
			地域人口特論	2	4	院共通
			世界経済論Ⅰ	2	3･4	＊
			世界経済論Ⅱ	2	3･4	＊
			各国経済論 A Ⅰ	2	3･4	＊
			各国経済論 A Ⅱ	2	3･4	＊
			各国経済論 B Ⅰ	2	3･4	＊
			各国経済論 B Ⅱ	2	3･4	＊
			統計・情報モジュール			
			GIS による空間分析Ⅱ	2	3･4	（注）異名称同一科目：経済学科「GIS 応用」
			GIS による空間分析Ⅲ	2	4	（注）院共通

（注）「GIS による空間分析Ⅰ」または経済学科の「GIS 入門」修得者のみ履修可。

コース		授　業　科　目	単位	履修年次	備　考（特に記載のないものは選択科目）
C群	演習等	専門演習	4	3	
		卒業論文指導	4	4	「専門演習」修得者のみ履修可
		Presentation & Debate	2	3･4	
		フィールドスタディ	2	3･4	
		フィールドワーク	2	3･4	
		ビジネスライティング	2	3･4	
	総合科目	公共地域政策研究	2	4	院共通
		公共情報研究	2	4	院共通
		地域情報研究	2	4	院共通
		公共地域政策論（公共）	2	3･4	
		公共地域政策論（地域）	2	3･4	
		公共地域政策論（国際）	2	3･4	
		経済・金融事情（総合）	2	2	金融青山会寄附講座　2013年度開講
関　連　科　目					
D群（関連科目）	経済学科科目	A･B群科目、C1･C2群の同一名称科目、異名称同一科目（「GIS応用」）、「演習等」は除きます。また、C2群の「産業論」は、卒業要件単位に算入されるのは6単位までで、それを超えた単位は卒業要件外になります。			
	法学	憲法	4	2	
		民法Ⅰ	4	3･4	
		民法Ⅱ	4	3･4	
		商法Ⅰ	4	3･4	
		商法Ⅱ	4	3･4	
		経済法	4	3･4	
		労働法	4	3･4	
		政治学原論	4	1･2	
		行政学	4	3･4	
		行政法Ⅰ	4	3･4	
		税法	4	3･4	
	経営学	簿記論	4	1･2	
		マーケティング論Ⅰ	2	2	
		マーケティング論Ⅱ	2	2	
		事業戦略論Ⅰ	2	2	
		事業戦略論Ⅱ	2	2	
		財務会計論Ⅰ	2	2	
		財務会計論Ⅱ	2	2	
		リスク・マネジメント論Ⅰ	2	3･4	
		リスク・マネジメント論Ⅱ	2	3･4	
		経営史Ⅰ	2	3･4	
		経営史Ⅱ	2	3･4	
	国際政治経済学部B群科目	経済学部の科目と異名称のものに限ります。 Ⅰ・Ⅱを除いた同一名称科目は履修できません。 「他学部科目一覧表」の国際政治経済学部欄参照。			

9．税理士特別講座について

経済学部では、本学OB・OGの税理士・公認会計士等で構成される「青学会計人クラブ」の協力のもと、1998年から正規のカリキュラムとは別に「税理士特別講座」を開設しています。

皆さんの先輩であり、実務の第一線で活躍する専門家が、日頃の忙しい時間を割いて会計科目･税法科目の基礎講座と親身な受験指導を行っています。税理士試験のみならず、日商簿記検定を目指す人にも学習の指針となることでしょう。税理士･公認会計士という職業に関心を持ちながらも、現場の実務家と接する機会の少ない学生は、この特別講座を大いに活用してください。

勉学意欲のある学生の受講を期待しています。

説明会開催日時や申し込みの詳細については、年度初頭に「学生ポータル」を参照してください。

C．現代経済デザイン学科履修要項（2009・2010年度入学者）

【1】 現代経済デザイン学科履修について

現代経済デザイン学科の基本理念

経済学の英知のもと、公共部門と国際・地域社会の役割や相互関連性を理解し、現代経済を取り巻く諸問題を発見する能力、分析する能力、解決に向けて政策を立案する能力など、実践力に裏付けられた社会デザイン志向型の人材を育てる。

1．卒業要件

⑴ 卒業に必要な単位数について

卒業資格を得るためには、下表に示す区分にしたがってその単位を修得しなければなりません。ここに示す単位数は科目の種別ごとに要求される最低の単位数です。これが1単位でも不足すると卒業は認められません。

134単位は卒業に必要な最低単位数なので、意欲のある学生はこの単位を超えて単位を修得できます。

⑵ 学位について

現代経済デザイン学科に4年以上（ただし8年を限度とします）在学し、卒業に必要な**134**単位以上を修得した者には、学位記を与え「学士（経済学）」の学位を授与します。

卒業要件単位表

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">科　目　の　種　類</th><th>必選の別</th><th colspan="4">必要単位</th></tr>
<tr><td rowspan="15">公共コース・地域コース共通</td><td colspan="2">青山スタンダード科目</td><td>必修
選択必修</td><td colspan="4">26</td></tr>
<tr><td>外国語科目</td><td>第一外国語科目</td><td>必修</td><td colspan="4">12</td></tr>
<tr><td rowspan="7">専門科目</td><td>A群（入門科目）</td><td>必修</td><td>2</td><td rowspan="3">18</td><td rowspan="4">30</td><td rowspan="9">80</td></tr>
<tr><td rowspan="3">B群（基礎科目）</td><td>必修</td><td>14</td></tr>
<tr><td>選択必修</td><td>2</td></tr>
<tr><td></td><td>選択</td><td colspan="2">12</td></tr>
<tr><td rowspan="2">C群（専攻科目）</td><td>必修</td><td colspan="2">2</td><td rowspan="4">50</td></tr>
<tr><td>選択</td><td colspan="2" rowspan="2">48</td></tr>
<tr><td>D群（関連科目）
（20単位まで専門に算入）</td><td>選択</td></tr>
<tr><td rowspan="4">自由選択科目</td><td>青山スタンダード26単位を超えた単位</td><td rowspan="4">選択</td><td colspan="4" rowspan="4">16</td></tr>
<tr><td>経済学部開講の外国語選択科目</td></tr>
<tr><td>専門80単位を超えた単位</td></tr>
<tr><td>他学部開講の専門科目</td></tr>
<tr><td colspan="4">総　　計</td><td colspan="4">134</td></tr>
</table>

※　A・B群で30単位を超えた単位は、C群に加算されます。
※　C・D群で50単位を超えた単位は、自由選択科目に加算されます。

2．最高履修制限単位

最高履修制限単位は次のとおりです。各年次生は、この表に示す単位数を超えて履修することはできません。なお、各年次においては、１科目以上の履修をしなければなりません。

学　　年	１年次	２年次	３年次	４年次	合　計
最高履修制限単位	44	44	46	50	184

（注意）　各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目（2008年度入学生は「教育原理」、2009年度以降入学生は「教育原理Ａ」「教育原理Ｂ」）の単位は、最高履修制限単位に含まれません。

3．進級条件

２年次終了時までに、卒業要件単位50単位以上を修得しなければ３年次に進級できません。

4．修得単位僅少者について

入学後休学期間を除いて２年間で修得単位が32単位に満たない学生は、大学学則第34条に基づき成業の見込のない者として除籍されることがありますので注意してください。

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2009・2010年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養をそなえているという社会的評価を受けることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

科目の種類				必選の別	必要単位
青山スタンダード科目	1）教養コア	キリスト教理解関連科目		必修	2
	2）技能コア	言葉の技能	英語	※1	
			第二外国語 ※2 ※3	必修	4
		身体の技能		必修※4	2
		情報の技能		必修	2
	3）テーマ別	キリスト教理解関連科目		必修	2
	4）教養コア	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記４領域のうち２領域から「教養コア科目」を選択	選択必修	4
	5）領域指定	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記領域より４）で選択しなかった２領域から各１科目（２単位）ずつ選択。（「教養コア科目」あるいは「テーマ別科目」いずれも可）	選択必修	4
	フレッシャーズ・セミナー、ウェルカム・レクチャー、教養コア科目、技能コア科目、テーマ別科目から選択。（１）～５）で修得した科目は除く）			選択	6

※１　言葉の技能･英語は、所属する学部（学科）が開講する科目を履修します。詳しくは、所属する学部（学科）の外国語科目履修方法および配置表に関するページを参照してください。（英語スキルⅠ－１、Ⅰ－２を除く）

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

・「（第二外国語）Ⅰ(A)」「（第二外国語）Ⅰ(B)」について、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます（日本語は除く）。

・「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ･（第二外国語）」あるいは「（第二外国語）Ⅱ」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「インテンシブ･（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

※４　文学部教育・教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修です。

○　必要単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　**受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。**

3．授業科目配置表

（太字は必修科目）

		授業科目	単位	配置年次	備考
		フレッシャーズ・セミナー	2	1	1年生のみ
		ウェルカム・レクチャー	2	1	2009年度以降入学者1年生のみ
教養コア科目		（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	
		（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題（総合科目） 現代社会の諸問題（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（自然理解関連科目） 科学・技術の視点（総合科目） 科学・技術の視点（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	日本語・英語	英語スキルⅠ－1	1	1	1年生のみ
		日本語・英語	英語スキルⅠ－2	1	1	1年生のみ
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
			（第二外国語）Ⅰ(A)－2	**1**	**1**	
			（第二外国語）Ⅰ(B)－1	**1**	**1**	
			（第二外国語）Ⅰ(B)－2	**1**	**1**	
			英語Ⅰ－1	**1**	**1**	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週2回履修し、計4単位修得してください。
			英語Ⅰ－2	**1**	**1**	
			英語（ⅠA）－1	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠA）－2	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）－1	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）－2	**1**	**1**	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(A)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(B)	**2**	**1**	外国人留学生のみ
	身体の技能		**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	文学部教育・教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修
	情報の技能		**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	理工学部・社会情報学部は2年次 他は3年次配置
			旧約聖書と人間	2	2・3・4	
			新約聖書と人間	2	3・4	
			キリスト教生命倫理	2	3・4	
			キリスト教政治倫理	2	3・4	
			キリスト教と自然科学	2	2・3・4	
			キリスト教環境倫理	2	2・3・4	
			キリスト教音楽	2	3・4	

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	キリスト教美術	2	3・4	
		メソジスト教会史	2	3・4	
		キリスト教教育	2	3・4	閉講
		世界の諸宗教	2	2･3･4	旧称「比較宗教学」
		現代神学	2	3・4	
		キリスト教と社会福祉	2	3・4	閉講
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	3・4	「フェミニズムと聖書」（2008年度）
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	旧称「聖書の中の女性たち」
		サービス・ラーニングⅠ	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2･3･4	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2･3･4	
		哲学B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題A	2	3・4	
		哲学の諸問題B	2	3・4	
		哲学の諸問題C	2	3・4	
		哲学の諸問題D	2	3・4	
		論理学A	2	2･3･4	
		論理学B	2	2･3･4	
		論理学の諸問題A	2	3・4	
		論理学の諸問題B	2	3・4	
		倫理学A	2	2･3･4	
		倫理学B	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題A	2	3・4	
		倫理学の諸問題B	2	3・4	
		西洋倫理思想史A	2	3・4	
		西洋倫理思想史B	2	3・4	
		言語学A	2	2･3･4	
		言語学B	2	2･3･4	
		日本語学A	2	2･3･4	
		日本語学B	2	2･3･4	
		文学A	2	2･3･4	
		文学B	2	2･3･4	
		文学史A	2	3・4	
		文学史B	2	3・4	
		美術A	2	2･3･4	
		美術B	2	2･3･4	
		美術史A	2	3・4	
		美術史B	2	3・4	
		音楽A	2	2･3･4	
		音楽B	2	2･3･4	
		音楽史A	2	3・4	
		音楽史B	2	3・4	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	文化人類学A	2	2･3･4	
		文化人類学B	2	2･3･4	
		比較文化A	2	2･3･4	
		比較文化B	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題A	2	3・4	
		比較文化の諸問題B	2	3・4	
		心理学A	2	2･3･4	心理学科除く
		心理学B	2	2･3･4	心理学科除く
		教育学A	2	2･3･4	
		教育学B	2	2･3･4	
		平和を考えるA	2	3・4	
		平和を考えるB	2	3・4	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）	4	2･3･4	法学部除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		日本の法と社会A	2	3・4	
		日本の法と社会B	2	3・4	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	
		国際政治経済学B	2	2･3･4	
		国際関係概論A	2	2･3･4	
		国際関係概論B	2	2･3･4	
		社会学A	2	2･3･4	
		社会学B	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	
		経済学A	2	2･3･4	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	
		情報社会科学B	2	2･3･4	
		情報社会論	2	3・4	
		社会情報論	2	3・4	
		人口問題A	2	2･3･4	
		人口問題B	2	2･3･4	
		フェミニズムA	2	3・4	
		フェミニズムB	2	3・4	
		民族問題A	2	3・4	
		民族問題B	2	3・4	
		マスメディアと社会	2	2･3･4	
		データサイエンス	2	2･3･4	

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	福祉と人間A	2	3・4	
		福祉と人間B	2	3・4	
		国際ビジネス入門A	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門B	2	2･3･4	
		感性ビジネスA ―ファッション産業のフロンティア―	2	2･3･4	
		感性ビジネスB ―ファッション産業のフロンティア―	2	2･3･4	
		感性ビジネスC ―ファッション・ビジネス戦略論―	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		感性ビジネスD ―ファッション・ビジネス戦略論―	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		パーソナル・マネー・マネジメント入門	2	3・4	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと人づくりのリテラシー	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情A	2	3・4	
		国際ビジネスと海外事情B	2	3・4	
		グローバリゼーションとWTO	2	3・4	
		日本農業とWTO	2	3・4	
		環境問題と社会	2	3・4	NPO環境平和持続の会寄附講座
		現代金融の諸問題	2	3・4	金融青山会寄附講座
		経済・金融とファイナンス	2	3・4	閉講
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		ファイナンシャルプランニング基礎	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		囲碁で養うロジカルシンキング	2	2･3･4	公益財団法人日本棋院寄附講座
	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	
		技術史B	2	2･3･4	
		日常生活の数理	2	2･3･4	
		数理科学入門I	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学入門II	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学の視点	2	2･3･4	
		数理モデル	2	2･3･4	
		自然科学概論A	2	2･3･4	
		自然科学概論B	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術A	2	3・4	
		文化としての科学・技術B	2	3・4	
		現代物理	2	2･3･4	
		ライフサイエンス	2	2･3･4	
		ゲノム	2	2･3･4	
		生物と地球環境	2	3・4	
		地球環境保全	2	3・4	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	3・4	
		地球観（自然と人の倫理）	2	2･3･4	

テーマ別科目	自然理解関連科目（領域D）	生命と地球の歴史	2	2･3･4	
		宇宙科学	2	2･3･4	
		野鳥の生態	2	2･3･4	
		鳥類と生物多様性	2	2･3･4	
		植物生態学	2	2･3･4	
		メカワールド	2	2･3･4	理工学部除く
		経営管理の技術	2	2･3･4	理工学部除く
		先端エレクトロニクス	2	2･3･4	
		環境科学A	2	2･3･4	
		環境科学B	2	2･3･4	
		自然地理学A	2	2･3･4	
		自然地理学B	2	2･3･4	
		科学史	2	2･3･4	
		生命と生態系(環境と生物)	2	2･3･4	
		生命の連続（遺伝）	2	2･3･4	
		かたちの科学	2	2･3･4	
		自然史	2	2･3･4	
		自然観の変遷	2	2･3･4	
	歴史理解関連科目（領域E）	青山学院大学の歴史	2	2･3･4	
		日本社会史A	2	2･3･4	
		日本社会史B	2	2･3･4	
		日本社会史C	2	3・4	
		中国史A	2	2･3･4	
		中国史B	2	2･3･4	
		中国史C	2	3・4	
		ヨーロッパ史A	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史C	2	3・4	
		現代史A	2	2･3･4	
		現代史B	2	2･3･4	
		現代史C	2	2･3･4	
		現代史D	2	2･3･4	
		考古学A	2	2･3･4	
		考古学B	2	2･3･4	
		科学思想史A	2	2･3･4	
		科学思想史B	2	2･3･4	
	言葉の技能（領域F）	インテンシブ･(第二外国語)(A)	2	2･3･4	(第二外国語) はフランス語 (フランス文学科除く)、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ･(第二外国語)(B)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(C)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(D)	2	2･3･4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	（第二外国語）II (A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語を指します。
		（第二外国語）II (B)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (C)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (D)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (E)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、中国語を指します。
		中国語 II (F)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		英語 II	2	2･3･4	フランス文学科のみ
		英語 (II A)	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		英語 (II B)	2	2･3･4	外国人留学生のみ、旧称「英語II」
		日本語 II	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）III	2	3・4	（第二外国語）はドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		フランス語 III (A)	2	3・4	フランス文学科除く
		フランス語 III (B)	2	3・4	フランス文学科除く
		英語 III	2	3・4	フランス文学科のみ
		英語 (III)	2	3・4	外国人留学生のみ
		日本語 III	2	3・4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）会話（I）	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語（フランス文学科のみ）を指します。
		（第二外国語）会話（II）	2	3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語を指します。
		日本語 (I)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (I)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (I)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (I)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)D	1	3	交換留学生のみ

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	日本語（V）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）D	1	3	交換留学生のみ
		日本事情（I）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（II）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（III）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（IV）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（V）	2	3	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化C	2	3・4	
		スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化C	2	3・4	
		中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	3・4	
		韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化B	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化A	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化B	2	3・4	
		日本学A	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	
		English Studies B	2	2･3･4	
		English Studies C	2	3・4	
		English Studies D	2	3・4	
		English Studies E	2	3・4	
		ことばの研究A	2	2･3･4	
		ことばの研究B	2	3・4	
		少数民族の社会と文化A	2	3・4	
		少数民族の社会と文化B	2	3・4	

テーマ別科目		民族文化論A	2	2･3･4	
		民族文化論B	2	2･3･4	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	
		動きの人間学	2	2･3･4	
		医療社会学	2	2･3･4	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	４回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎Ⅰ	2	2･3･4	
		プログラミング基礎Ⅱ	2	2･3･4	
		情報スキルⅡ	2	2･3･4	
		eラーニング入門	2	2･3･4	
		インストラクショナルデザイン入門	2	2･3･4	
		教育システムのためのIT入門	2	2･3･4	
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	

【3】 第一外国語科目について

1．第一外国語科目配置表

	授業科目（全て通年）	単位	履修年次	備　　考
必修	**リーディング・コンプリヘンションⅠ**	2	1	
	リーディング・コンプリヘンションⅡ	2	2	リーディング・コンプリヘンションⅠ修得者のみ履修可。
	ファンダメンタル・イングリッシュ	2	1	
	リーディング＆ディスカッション	2	2	ファンダメンタル・イングリッシュ修得者のみ履修可。
	ライティング＆コミュニケーション	2	1	
	英語圏の言葉と文化（英語演習）	2	3	
選択	オーラル・コミュニケーションⅠ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座A	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座B	2	1・2	(2014年度以降休講)
	アドバンスト・ライティング	2	2	ライティング＆コミュニケーション修得者のみ履修可。
	ビジネス・コミュニケーション	2	3・4	
	オーラル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	オーラル・コミュニケーションⅠ修得者のみ履修可。
	スピーチ・クリニック	4	3・4	

(注意)・第一外国語科目には、クラス指定があります。
・下級年次必修科目の再履修クラスが開講されている場合は、必ずそのクラスで受講してください。
・他学部の第一外国語科目は履修できません。

２．外国人留学生の外国語科目の履修について

外国人留学生の外国語科目は、以下のとおり履修してください。

Ａ．第一外国語科目の履修方法

第一外国語科目の必要単位

必　　修（12単位）

履修年次	授業科目名（すべて２単位）		
1	**日本語初級A**	**日本語初級B**	**日本語初級C**
2	**日本語中級 A**	**日本語中級 B**	
3	**日本語上級**		

履修順序はありません。

※指定の第一外国語必修科目以外は履修できません。

Ｂ．第二外国語科目の履修方法（青山スタンダード参照）

言葉の技能〔領域Ｆ〕（第二外国語科目）の必要単位

必　　修（４単位）

フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語のうちから１カ国語を履修すること。ただし、母国語（第一言語）は第二外国語として履修できません。

（注意）

⑴　外国人留学生の第一外国語科目・第二外国語科目については、原則として、履修順序を設けません。ただし、１年次配置前期開講科目と後期開講科目の間にそれぞれ履修順序があり、前期開講科目の単位が修得できない時、後期開講科目の履修登録は自動的に削除されます。

⑵　申請した第二外国語以外の外国語科目の単位は、自由選択科目に算入されます。

⑶　本学入学以前に、高等学校あるいは海外などですでに学習したことのある学生が、その学力をⅠ修了者に準ずると認定された場合、Ⅱの科目で卒業に必要な単位に充当することができます。

【４】 専門科目履修方法および配置表

１．専門科目について

専門科目の最低必要単位は、入学年度の履修条件に従って修得しなければなりません。

① Ａ・Ｂ群の必要単位　　30単位（これを超えた単位は、Ｃ群に加算）

② Ｃ・Ｄ群の必要単位　　50単位（これを超えた単位は、自由選択に加算）
※ Ｄ群（関連科目）は上限20単位で、これを超えた単位は自由選択に加算。

２．授業科目の種類

必修科目	所属する学部・学科で必ず履修し、単位を修得しなければならない科目
選択必修科目	指定されたいくつかの科目の中から選択履修し、各学部・学科所定の単位数を必ず修得しなければならない科目
指定科目（事前登録科目）	所属する学部・学科であらかじめ指定された科目で、必ず履修しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修し、必要要件単位数を修得する科目

３．他学部生の本学科専門科目の履修について

他学部生は、下記専門科目の履修はできません。

① Ａ・Ｂ群科目（例外：「経済地理」「経済地誌」は履修可）
② Ｃ群の「コア科目」、「演習等」、「総合科目」、４年次配置（院共通）科目
③ 同一名称科目（Ⅰ、Ⅱが付く科目を含む）および異名称同一科目

４．コースについて

① コースの目的

現代経済デザイン学科の専門科目は、基礎的な知識からより高度な専門知識を効率的に習得することができるよう、段階的･体系的に編成されています。学習効果をあげるためには、専門科目を系統的に履修することが大切です。コースは、学生が学習目的に即した履修を行うために設けられています。専門科目配置表中の専攻科目（Ｃ群）には、公共分野（主に公共コース）３ブロックと地域分野（主に地域コース）３ブロック・１モジュール、計７科目群が配置されています。どちらの分野の科目を主として学習するかに応じて、各分野の基礎知識を習得することを目的とした**コース指定科目**を必ず履修することになります。

② コースの決定

○ ２年次後期から２コース（**公共**コース、**地域**コース）に分かれてコース指定科目を履修するため、１年次の12月（予定）にコースガイダンスを行います。ガイダンス後必ず希望するコースを申請して下さい。申請したコースに基づいて、２年次後期および３年次のコース指定科目は、事前登録科目として自動的に履修登録されますので、各自での履修登録は必要ありません。

○ コースの変更は、２年次の後期履修変更期間に、所定用紙の提出をもって申請することとします。コース登録の変更は、在学中１回とします。

○ 詳細は、掲示または学生ポータルにて確認して下さい。

5．演習について

⑴ 「基礎演習」（２年次前期）について

申請したコースに関わらず、開講されている「基礎演習」を複数履修することができます（ただし、人数制限を設けることがあります）。

⑵ 「専門演習」（３年次）、「卒業論文指導」（４年次）について

２年次後期に、選考を要します。

① 選考

○ 「専門演習」の選考を、２年次の10月（予定）に行います。

○ 原則として、申請したコースに関連する分野の「専門演習」に応募して下さい。

② 履修登録

○ ３年生：「専門演習」（４単位）
選考に合格した場合は、事前登録科目として自動的に履修登録されます。

○ ４年生：「卒業論文指導」（４単位）
選考に合格した場合と前年度からの継続を希望する場合は、各自で履修登録をしてください（必修ではありません）。

6．４年次のみ配置科目について

「卒業論文指導」を除き４年次のみ配置されている科目は、「卒業論文指導」と並行して履修するなど、高度な専門知識を習得するために、大学院連携科目として大学院経済学研究科公共・地域マネジメント専攻の科目の一部を、本学科の４年次生に開講しています。

この科目は、本学科の卒業要件単位に算入されます。

7．大学院科目特別履修制度について

大学院経済学研究科経済学専攻または公共・地域マネジメント専攻への進学を希望する４年次生に対して、より高度な専門知識を早期に習得する機会を提供するために、経済学研究科科目の一部を履修することができます。

これによって修得した単位は、研究科入学後、博士前期課程修了要件として定められた単位数まで申請することができるため早期修了あるいは課程博士論文作成作業への早期着手が可能になります。またこの取得単位は卒業後５年以内に限り研究科に入学した時点で認定することができます。

大学院科目特別履修制度は、以下の２種類の方法があります。

１．３年次試験による大学院科目特別履修生試験
出願資格：３年次に在学する者（経済学専攻は経済・経営・国際政経学部のみ）

２．４年次履修による先取り科目履修
経済学専攻：
経済学部４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。
公共・地域マネジメント専攻：
現代経済デザイン学科４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。

※詳細は大学院事務室経済学研究科へ問い合わせてください。

8．現代経済デザイン学科専門科目配置表

コース			授業科目	単位	履修年次	備考（特に記載のないものは選択科目）
入門科目						
A群	学科		**現代経済デザイン総合講義**	**2**	1	**必修**
基礎科目						
B群	コア科目	学科	**ミクロ経済学講義**	**4**	1	**必修** ペア科目（半期）
			ミクロ経済学演習	**2**	1	**必修**
			公共哲学Ⅰ	**2**	1	**必修**
			公共経済学Ⅰ	**2**	1	**必修**
			地域経済学Ⅰ	**2**	1	**必修**
			経済情報	**2**	2	**必修**
			入門経済数学Ⅰ	2	1	**選択必修**
			入門経済数学Ⅱ	2	2	「入門経済数学Ⅰ」修得者のみ履修可
			入門統計学Ⅰ	2	1	**選択必修**
			入門統計学Ⅱ	2	2	「入門統計学Ⅰ」修得者のみ履修可
		公共	公共経済学Ⅱ	2	2	**指定**
		地域	GISによる空間分析Ⅰ	2	2	**指定**
	関連科目		マクロ経済学講義	4	1･2	
			ツールとしてのゲーム理論	2	1･2	
			情報の経済学	2	1･2	
			グローバル経済A	2	1･2	
			グローバル経済B	2	1･2	
			経済地理	2	1･2	異名称同一科目：経済学科「経済地理学」(2009年度以前入学者用)
			経済地誌	2	1･2	
			データ解析	2	2	
			経済政策論	4	2	＊
			財政学	4	2	＊
			経済史概論	4	1･2	＊
			経済学史	4	2	＊
	演習等		基礎演習A	2	2のみ	
			基礎演習B	2	2のみ	
			基礎演習C	2	2のみ	
			基礎演習D	2	2のみ	
			基礎演習E	2	2のみ	
			プレゼンテーション	2	2	
			ビジネスマナー	2	2	
専攻科目						
C群	コア科目	学科	**公共哲学Ⅱ**	**2**	3	**必修**
		公共	公共経済学Ⅲ	2	3	**指定**
			厚生経済学	2	3	**指定**
		地域	地域経済学Ⅱ	2	3	**指定**
			地域政策論	2	3	**指定**
	学科関連科目	公共分野	応用経済ブロック			
			ミクロ経済学特論	2	4	院共通
			マクロ経済学特論	2	4	院共通
			租税特論	2	4	院共通
			地方財政特論	2	4	院共通
			租税の経済学Ⅰ	2	3･4	＊
			地方財政の経済学Ⅰ	2	3･4	

＊は経済学科主体科目

コース			授業科目	単位	履修年次	備考（特に記載のないものは選択科目）
C群	学科関連科目	公共分野	公的規制の経済学	2	3･4	
			公共政策特論	2	4	院共通
			NPO 論 A	2	3･4	
			契約の経済学	2	3･4	
			制度・政策ブロック			
			租税の経済学II	2	3･4	＊
			地方財政の経済学II	2	3･4	
			公共政策の経済学	2	3･4	
			社会保障論	4	3･4	＊
			公共経営ブロック			
			公共選択論	2	3･4	
			公共マネジメント特論	2	4	院共通
			NPO 論 B	2	3･4	
			政策と評価 A	2	3･4	
			法と経済学	2	3･4	
		地域分野	空間経済ブロック			
			産業集積特論	2	4	院共通
			都市経済学	2	3･4	
			開発経済学	2	3･4	
			交通経済学	4	3･4	＊
			環境経済学	4	3･4	＊
			地域政策ブロック			
			都市再生論	2	3･4	
			まちづくりと都市計画	2	3･4	
			住宅と不動産の経済学	2	3･4	
			大都市地域特論	2	4	院共通
			郊外地域論	2	3･4	
			政策と評価 B	2	3･4	
			地域人口論	2	3･4	＊
			農業経済論	4	3･4	＊
			エリアスタディブロック			
			EU 経済特論	2	4	院共通
			アジア経済特論	2	4	院共通
			地域人口特論	2	4	院共通
			世界経済論	4	3･4	＊
			各国経済論 A	4	3･4	＊
			各国経済論 B	4	3･4	＊
			統計・情報モジュール			
			GIS による空間分析II	2	3･4	（注）異名称同一科目：経済学科「GIS 応用」
			GIS による空間分析III	2	4	（注）院共通
	演習等		専門演習	4	3	
			卒業論文指導	4	4	「専門演習」修得者のみ履修可
			Presentation & Debate	2	3･4	
			フィールドスタディ	2	3･4	
			フィールドワーク	2	3･4	
			ビジネスライティング	2	3･4	
	総合科目		公共地域政策研究	2	4	院共通
			公共情報研究	2	4	院共通
			地域情報研究	2	4	院共通
			公共地域政策論（公共）	2	3･4	

（注）「GIS による空間分析 I」または経済学科の「GIS 入門」修得者のみ履修可。

コース		授　業　科　目	単位	履修年次	備　考（特に記載のないものは選択科目）
		公共地域政策論（地域）	2	3･4	
		公共地域政策論（国際）	2	3･4	
		経済・金融事情（総合）	2	2	金融青山会寄附講座　2013年度開講
関　連　科　目					
D群（関連科目）	経済学科科目	A･B群科目、C1･C2群の同一名称科目、異名称同一科目（「GIS応用」）、「演習等」は除きます。また、C2群の「産業論」は、卒業要件単位に算入されるのは6単位までで、それを超えた単位は卒業要件外になります。			
	法学	憲法	4	2	
		民法Ⅰ	4	3･4	
		民法Ⅱ	4	3･4	
		商法Ⅰ	4	3･4	
		商法Ⅱ	4	3･4	
		経済法	4	3･4	
		労働法	4	3･4	
		政治学原論	4	1･2	
		行政学	4	3･4	
		行政法Ⅰ	4	3･4	
		税法	4	3･4	
	経営学	簿記論	4	1･2	
		マーケティング論	4	2	
		事業戦略論Ⅰ	2	2	2010年度以降入学者用（2009年度以前入学者用の「経営学総論」は2011年度以降休講）
		事業戦略論Ⅱ	2	2	
		財務会計論	4	2	
		金融市場論	4	3･4	（2011年度以降休講）
		リスク・マネジメント論Ⅰ	2	3･4	
		リスク・マネジメント論Ⅱ	2	3･4	
		経営史Ⅰ	2	3･4	
		経営史Ⅱ	2	3･4	
	国際政治経済学部B群科目	経済学部の科目と異名称のものに限ります。 Ⅰ・Ⅱを除いた同一名称科目は履修できません。 「他学部科目一覧表」の国際政治経済学部欄参照。			

9．税理士特別講座について

経済学部では、本学OB・OGの税理士・公認会計士等で構成される「青学会計人クラブ」の協力のもと、1998年から正規のカリキュラムとは別に「税理士特別講座」を開設しています。

皆さんの先輩であり、実務の第一線で活躍する専門家が、日頃の忙しい時間を割いて会計科目･税法科目の基礎講座と親身な受験指導を行っています。税理士試験のみならず、日商簿記検定を目指す人にも学習の指針となることでしょう。税理士･公認会計士という職業に関心を持ちながらも、現場の実務家と接する機会の少ない学生は、この特別講座を大いに活用してください。

勉学意欲のある学生の受講を期待しています。

説明会開催日時や申し込みの詳細については、年度初頭に「学生ポータル」を参照してください。

D．現代経済デザイン学科履修要項（2008年度入学者）

【1】 現代経済デザイン学科履修について

現代経済デザイン学科の基本理念

経済学の英知のもと、公共部門と国際・地域社会の役割や相互関連性を理解し、現代経済を取り巻く諸問題を発見する能力、分析する能力、解決に向けて政策を立案する能力など、実践力に裏付けられた社会デザイン志向型の人材を育てる。

1．卒業要件

⑴ 卒業に必要な単位数について

卒業資格を得るためには、下表に示す区分にしたがってその単位を修得しなければなりません。ここに示す単位数は科目の種別ごとに要求される最低の単位数です。これが1単位でも不足すると卒業は認められません。

134単位は卒業に必要な最低単位数なので、意欲のある学生はこの単位を超えて単位を修得できます。

⑵ 学位について

現代経済デザイン学科に4年以上（ただし8年を限度とします）在学し、卒業に必要な**134**単位以上を修得した者には、学位記を与え「学士（経済学）」の学位を授与します。

卒業要件単位表

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">科　目　の　種　類</th><th>必選の別</th><th colspan="4">必要単位</th></tr>
<tr><td rowspan="15">公共コース・地域コース共通</td><td colspan="2">青山スタンダード科目</td><td>必修
選択必修</td><td colspan="4">26</td></tr>
<tr><td>外国語科目</td><td>第一外国語科目</td><td>必修</td><td colspan="4">12</td></tr>
<tr><td rowspan="7">専門科目</td><td>A群（入門科目）</td><td>必修</td><td>2</td><td rowspan="3">18</td><td rowspan="4">30</td><td rowspan="9">80</td></tr>
<tr><td rowspan="3">B群（基礎科目）</td><td>必修</td><td>14</td></tr>
<tr><td>選択必修</td><td>2</td></tr>
<tr><td></td><td>選択</td><td colspan="2">12</td></tr>
<tr><td rowspan="2">C群（専攻科目）</td><td>必修</td><td colspan="2">2</td><td rowspan="4">50</td></tr>
<tr><td>選択</td><td colspan="2" rowspan="3">48</td></tr>
<tr><td>D群（関連科目）
（20単位まで専門に算入）</td><td>選択</td></tr>
<tr><td rowspan="4">自由選択科目</td><td>青山スタンダード26単位を超えた単位</td><td rowspan="4">選択</td><td colspan="4" rowspan="4">16</td></tr>
<tr><td>経済学部開講の外国語選択科目</td></tr>
<tr><td>専門80単位を超えた単位</td></tr>
<tr><td>他学部開講の専門科目</td></tr>
<tr><td colspan="4">総　　計</td><td colspan="4">134</td></tr>
</table>

※　A・B群で30単位を超えた単位は、C群に加算されます。
※　C・D群で50単位を超えた単位は、自由選択科目に加算されます。

2．最高履修制限単位

最高履修制限単位は次のとおりです。各年次生は、この表に示す単位数を超えて履修することはできません。なお、各年次においては、１科目以上の履修をしなければなりません。

学　　年	１年次	２年次	３年次	４年次	合　計
最高履修制限単位	44	44	46	50	184

（注意）　各種資格の取得を希望する学生の教職課程科目（2008年度入学生は「教育原理」、2009年度以降入学生は「教育原理Ａ」「教育原理Ｂ」）の単位は、最高履修制限単位に含まれません。

3．進級条件

２年次終了時までに、卒業要件単位50単位以上を修得しなければ３年次に進級できません。

4．修得単位僅少者について

入学後休学期間を除いて２年間で修得単位が32単位に満たない学生は、大学学則第34条に基づき成業の見込のない者として除籍されることがありますので注意してください。

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2008年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養をそなえているという社会的評価を受けることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

科目の種類				必選の別	必要単位
青山スタンダード科目	1）教養コア	キリスト教理解関連科目		必修	2
	2）技能コア	言葉の技能	英語	※1	
			第二外国語 ※2 ※3	必修	4
		身体の技能		必修※4	2
		情報の技能		必修	2
	3）テーマ別	キリスト教理解関連科目		必修	2
	4）教養コア	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記４領域のうち２領域から「教養コア科目」を選択	選択必修	4
	5）領域指定	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記領域より４）で選択しなかった２領域から各１科目（２単位）ずつ選択。（「教養コア科目」あるいは「テーマ別科目」いずれも可）	選択必修	4
	フレッシャーズ・セミナー、ウェルカム・レクチャー、教養コア科目、技能コア科目、テーマ別科目から選択。（１）～５）で修得した科目は除く）			選択	6

※１　言葉の技能･英語は、所属する学部（学科）が開講する科目を履修します。詳しくは、所属する学部（学科）の外国語科目履修方法および配置表に関するページを参照してください。（英語スキルⅠ－１、Ⅰ－２を除く）

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

・「（第二外国語）Ⅰ(A)」「（第二外国語）Ⅰ(B)」について、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます（日本語は除く）。

・「インテンシブ・（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ･（第二外国語）」あるいは「（第二外国語）Ⅱ」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「インテンシブ･（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

※４　文学部教育・教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修です。

○　必要単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　**受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。**

3．授業科目配置表

（太字は必修科目）

		授業科目	単位	配置年次	備考
		フレッシャーズ・セミナー	2	1	1年生のみ
		ウェルカム・レクチャー	2	1	2009年度以降入学者1年生のみ
教養コア科目		（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	
		（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題(総合科目) 現代社会の諸問題(個別科目)	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（自然理解関連科目） 科学･技術の視点（総合科目） 科学･技術の視点（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
		（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	日本語・英語	英語スキルⅠ－1	1	1	1年生のみ
		日本語・英語	英語スキルⅠ－2	1	1	1年生のみ
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－2**	**1**	**1**	
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(B)－1**	**1**	**1**	
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(B)－2**	**1**	**1**	
		第二外国語	**英語Ⅰ－1**	**1**	**1**	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週2回履修し、計4単位修得してください。
		第二外国語	**英語Ⅰ－2**	**1**	**1**	
		第二外国語	**英語（ⅠA）－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語	**英語（ⅠA）－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語	**英語（ⅠB）－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語	**英語（ⅠB）－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語	**日本語Ⅰ(A)**	**2**	**1**	外国人留学生のみ
		第二外国語	**日本語Ⅰ(B)**	**2**	**1**	外国人留学生のみ
	身体技能の		**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	文学部教育・教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修
	情報技能の		**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目(領域A)		**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	理工学部・社会情報学部は2年次 他は3年次配置
	キリスト教理解関連科目(領域A)		旧約聖書と人間	2	2･3･4	
	キリスト教理解関連科目(領域A)		新約聖書と人間	2	3・4	
	キリスト教理解関連科目(領域A)		キリスト教生命倫理	2	3・4	
	キリスト教理解関連科目(領域A)		キリスト教政治倫理	2	3・4	
	キリスト教理解関連科目(領域A)		キリスト教と自然科学	2	2･3･4	
	キリスト教理解関連科目(領域A)		キリスト教環境倫理	2	2･3･4	
	キリスト教理解関連科目(領域A)		キリスト教音楽	2	3・4	

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	キリスト教美術	2	3・4	
		メソジスト教会史	2	3・4	
		キリスト教教育	2	3・4	閉講
		世界の諸宗教	2	2･3･4	旧称「比較宗教学」
		現代神学	2	3・4	
		キリスト教と社会福祉	2	3・4	閉講
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	3・4	「フェミニズムと聖書」（2008年度）
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	旧称「聖書の中の女性たち」
		サービス・ラーニングⅠ	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2･3･4	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2･3･4	
		哲学B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題A	2	3・4	
		哲学の諸問題B	2	3・4	
		哲学の諸問題C	2	3・4	
		哲学の諸問題D	2	3・4	
		論理学A	2	2･3･4	
		論理学B	2	2･3･4	
		論理学の諸問題A	2	3・4	
		論理学の諸問題B	2	3・4	
		倫理学A	2	2･3･4	
		倫理学B	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題A	2	3・4	
		倫理学の諸問題B	2	3・4	
		西洋倫理思想史A	2	3・4	
		西洋倫理思想史B	2	3・4	
		言語学A	2	2･3･4	
		言語学B	2	2･3･4	
		日本語学A	2	2･3･4	
		日本語学B	2	2･3･4	
		文学A	2	2･3･4	
		文学B	2	2･3･4	
		文学史A	2	3・4	
		文学史B	2	3・4	
		美術A	2	2･3･4	
		美術B	2	2･3･4	
		美術史A	2	3・4	
		美術史B	2	3・4	
		音楽A	2	2･3･4	
		音楽B	2	2･3･4	
		音楽史A	2	3・4	
		音楽史B	2	3・4	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	文化人類学A	2	2･3･4	
		文化人類学B	2	2･3･4	
		比較文化A	2	2･3･4	
		比較文化B	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題A	2	3・4	
		比較文化の諸問題B	2	3・4	
		心理学A	2	2･3･4	心理学科除く
		心理学B	2	2･3･4	心理学科除く
		教育学A	2	2･3･4	
		教育学B	2	2･3･4	
		平和を考えるA	2	3・4	
		平和を考えるB	2	3・4	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）	4	2･3･4	法学部除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		日本の法と社会A	2	3・4	
		日本の法と社会B	2	3・4	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	
		国際政治経済学B	2	2･3･4	
		国際関係概論A	2	2･3･4	
		国際関係概論B	2	2･3･4	
		社会学A	2	2･3･4	
		社会学B	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	
		経済学A	2	2･3･4	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	
		情報社会科学B	2	2･3･4	
		情報社会論	2	3・4	
		社会情報論	2	3・4	
		人口問題A	2	2･3･4	
		人口問題B	2	2･3･4	
		フェミニズムA	2	3・4	
		フェミニズムB	2	3・4	
		民族問題A	2	3・4	
		民族問題B	2	3・4	
		マスメディアと社会	2	2･3･4	
		データサイエンス	2	2･3･4	

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	福祉と人間A	2	3・4	
		福祉と人間B	2	3・4	
		国際ビジネス入門A	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門B	2	2･3･4	
		感性ビジネスA ーファッション産業のフロンティアー	2	2･3･4	
		感性ビジネスB ーファッション産業のフロンティアー	2	2･3･4	
		感性ビジネスC ーファッション・ビジネス戦略論ー	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		感性ビジネスD ーファッション・ビジネス戦略論ー	2	3・4	㈶ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		パーソナル・マネー・マネジメント入門	2	3・4	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと人づくりのリテラシー	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情A	2	3・4	
		国際ビジネスと海外事情B	2	3・4	
		グローバリゼーションとWTO	2	3・4	
		日本農業とWTO	2	3・4	
		環境問題と社会	2	3・4	NPO環境平和持続の会寄附講座
		現代金融の諸問題	2	3・4	金融青山会寄附講座
		経済・金融とファイナンス	2	3・4	閉講
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		ファイナンシャルプランニング基礎	2	2･3･4	㈱近代セールス社寄附講座
		囲碁で養うロジカルシンキング	2	2･3･4	公益財団法人日本棋院寄附講座
	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	
		技術史B	2	2･3･4	
		日常生活の数理	2	2･3･4	
		数理科学入門I	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学入門II	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部を除く
		数理科学の視点	2	2･3･4	
		数理モデル	2	2･3･4	
		自然科学概論A	2	2･3･4	
		自然科学概論B	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術A	2	3・4	
		文化としての科学・技術B	2	3・4	
		現代物理	2	2･3･4	
		ライフサイエンス	2	2･3･4	
		ゲノム	2	2･3･4	
		生物と地球環境	2	3・4	
		地球環境保全	2	3・4	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	3・4	
		地球観（自然と人の倫理）	2	2･3･4	

テーマ別科目	自然理解関連科目（領域D）	生命と地球の歴史	2	2･3･4	
		宇宙科学	2	2･3･4	
		野鳥の生態	2	2･3･4	
		鳥類と生物多様性	2	2･3･4	
		植物生態学	2	2･3･4	
		メカワールド	2	2･3･4	理工学部除く
		経営管理の技術	2	2･3･4	理工学部除く
		先端エレクトロニクス	2	2･3･4	
		環境科学A	2	2･3･4	
		環境科学B	2	2･3･4	
		自然地理学A	2	2･3･4	
		自然地理学B	2	2･3･4	
		科学史	2	2･3･4	
		生命と生態系(環境と生物)	2	2･3･4	
		生命の連続（遺伝）	2	2･3･4	
		かたちの科学	2	2･3･4	
		自然史	2	2･3･4	
		自然観の変遷	2	2･3･4	
	歴史理解関連科目（領域E）	青山学院大学の歴史	2	2･3･4	
		日本社会史A	2	2･3･4	
		日本社会史B	2	2･3･4	
		日本社会史C	2	3・4	
		中国史A	2	2･3･4	
		中国史B	2	2･3･4	
		中国史C	2	3・4	
		ヨーロッパ史A	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史C	2	3・4	
		現代史A	2	2･3･4	
		現代史B	2	2･3･4	
		現代史C	2	2･3･4	
		現代史D	2	2･3･4	
		考古学A	2	2･3･4	
		考古学B	2	2･3･4	
		科学思想史A	2	2･3･4	
		科学思想史B	2	2･3･4	
	言葉の技能（領域F）	インテンシブ･(第二外国語)(A)	2	2･3･4	(第二外国語) はフランス語 (フランス文学科除く)、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ･(第二外国語)(B)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(C)	2	2･3･4	
		インテンシブ･(第二外国語)(D)	2	2･3･4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	（第二外国語）II (A)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語を指します。
		（第二外国語）II (B)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (C)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (D)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II (E)	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、中国語を指します。
		中国語 II (F)	2	2･3･4	
		（第二外国語）II	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		英語 II	2	2･3･4	フランス文学科のみ
		英語 (II A)	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		英語 (II B)	2	2･3･4	外国人留学生のみ、旧称「英語II」
		日本語 II	2	2･3･4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）III	2	3・4	（第二外国語）はドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		フランス語 III (A)	2	3・4	フランス文学科除く
		フランス語 III (B)	2	3・4	フランス文学科除く
		英語 III	2	3・4	フランス文学科のみ
		英語 (III)	2	3・4	外国人留学生のみ
		日本語 III	2	3・4	外国人留学生のみ
		（第二外国語）会話（I）	2	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語（フランス文学科のみ）を指します。
		（第二外国語）会話（II）	2	3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語を指します。
		日本語 (I)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (I)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (I)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (I)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (II)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (III)D	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)B	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (IV)D	1	3	交換留学生のみ

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	日本語（V）A	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）B	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）C	1	3	交換留学生のみ
		日本語（V）D	1	3	交換留学生のみ
		日本事情（I）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（II）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（III）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（IV）	2	3	交換留学生のみ
		日本事情（V）	2	3	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化C	2	3・4	
		スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化C	2	3・4	
		中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化C	2	3・4	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	3・4	
		韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化B	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化A	2	3・4	
		イスラム圏の社会と文化B	2	3・4	
		日本学A	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	3・4	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	
		English Studies B	2	2･3･4	
		English Studies C	2	3・4	
		English Studies D	2	3・4	
		English Studies E	2	3・4	
		ことばの研究A	2	2･3･4	
		ことばの研究B	2	3・4	
		少数民族の社会と文化A	2	3・4	
		少数民族の社会と文化B	2	3・4	

テーマ別科目		民族文化論A	2	2･3･4	
		民族文化論B	2	2･3･4	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	
		動きの人間学	2	2･3･4	
		医療社会学	2	2･3･4	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	４回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎Ⅰ	2	2･3･4	
		プログラミング基礎Ⅱ	2	2･3･4	
		情報スキルⅡ	2	2･3･4	
		eラーニング入門	2	2･3･4	
		インストラクショナルデザイン入門	2	2･3･4	
		教育システムのためのIT入門	2	2･3･4	
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	

【３】 第一外国語科目について

１．第一外国語科目配置表

	授業科目（全て通年）	単位	履修年次	備　　考
必修	**リーディング・コンプリヘンションⅠ**	2	1	
	リーディング・コンプリヘンションⅡ	2	2	リーディング・コンプリヘンションⅠ修得者のみ履修可。
	ファンダメンタル・イングリッシュ	2	1	
	リーディング＆ディスカッション	2	2	ファンダメンタル・イングリッシュ修得者のみ履修可。
	ライティング＆コミュニケーション	2	1	
	英語圏の言葉と文化（英語演習）	2	3	
選択	オーラル・コミュニケーションⅠ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座Ａ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	英語資格試験準備講座Ｂ	2	1・2	(2014年度以降休講)
	アドバンスト・ライティング	2	2	ライティング＆コミュニケーション修得者のみ履修可。
	ビジネス・コミュニケーション	2	3・4	
	オーラル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	オーラル・コミュニケーションⅠ修得者のみ履修可。
	スピーチ・クリニック	4	3・4	

(注意)・第一外国語科目には、クラス指定があります。
・下級年次必修科目の再履修クラスが開講されている場合は、必ずそのクラスで受講してください。
・他学部の第一外国語科目は履修できません。

２．外国人留学生の外国語科目の履修について

外国人留学生の外国語科目は、以下のとおり履修してください。

Ａ．第一外国語科目の履修方法

第一外国語科目の必要単位

必　　修（12単位）

履修年次	授業科目名（すべて２単位）		
1	**日本語初級A**	**日本語初級B**	**日本語初級C**
2	**日本語中級 A**	**日本語中級 B**	
3	**日本語上級**		

履修順序はありません。

※指定の第一外国語必修科目以外は履修できません。

Ｂ．第二外国語科目の履修方法（青山スタンダード参照）

言葉の技能〔領域Ｆ〕（第二外国語科目）の必要単位

必　　修（４単位）

フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語のうちから１カ国語を履修すること。ただし、母国語（第一言語）は第二外国語として履修できません。

（注意）

⑴　外国人留学生の第一外国語科目・第二外国語科目については、原則として、履修順序を設けません。ただし、１年次配置前期開講科目と後期開講科目の間にそれぞれ履修順序があり、前期開講科目の単位が修得できない時、後期開講科目の履修登録は自動的に削除されます。

⑵　申請した第二外国語以外の外国語科目の単位は、自由選択科目に算入されます。

⑶　本学入学以前に、高等学校あるいは海外などですでに学習したことのある学生が、その学力をⅠ修了者に準ずると認定された場合、Ⅱの科目で卒業に必要な単位に充当することができます。

【４】 専門科目履修方法および配置表

１．専門科目について

専門科目の最低必要単位は、入学年度の履修条件に従って修得しなければなりません。

① Ａ・Ｂ群の必要単位　　30単位（これを超えた単位は、Ｃ群に加算）

② Ｃ・Ｄ群の必要単位　　50単位（これを超えた単位は、自由選択に加算）
※ Ｄ群（関連科目）は上限20単位で、これを超えた単位は自由選択に加算

２．授業科目の種類

必修科目	所属する学部・学科で必ず履修し、単位を修得しなければならない科目
選択必修科目	指定されたいくつかの科目の中から選択履修し、各学部・学科所定の単位数を必ず修得しなければならない科目
指定科目（事前登録科目）	所属する学部・学科であらかじめ指定された科目で、必ず履修しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修し、必要要件単位数を修得する科目

３．他学部生の本学科専門科目の履修について

他学部生は、下記専門科目の履修はできません。

① Ａ・Ｂ群科目（例外：「経済地理」「経済地誌」は履修可）
② Ｃ群の「コア科目」、「演習等」、「総合科目」、４年次配置（院共通）科目
③ 同一名称科目（Ⅰ、Ⅱが付く科目を含む）および異名称同一科目

４．コースについて

① コースの目的

現代経済デザイン学科の専門科目は、基礎的な知識からより高度な専門知識を効率的に習得することができるよう、段階的･体系的に編成されています。学習効果をあげるためには、専門科目を系統的に履修することが大切です。コースは、学生が学習目的に即した履修を行うために設けられています。専門科目配置表中の専攻科目（Ｃ群）には、公共分野（主に公共コース）３ブロックと地域分野（主に地域コース）３ブロック・１モジュール、計７科目群が配置されています。どちらの分野の科目を主として学習するかに応じて、各分野の基礎知識を習得することを目的とした**コース指定科目**を必ず履修することになります。

② コースの決定

○ ２年次後期から２コース（**公共**コース、**地域**コース）に分かれてコース指定科目を履修するため、１年次の12月（予定）にコースガイダンスを行います。ガイダンス後必ず希望するコースを申請して下さい。申請したコースに基づいて、２年次後期および３年次のコース指定科目は、事前登録科目として自動的に履修登録されますので、各自での履修登録は必要ありません。

○ コースの変更は、２年次の後期履修変更期間に、所定用紙の提出をもって申請することとします。コース登録の変更は、在学中１回とします。

○ 詳細は、掲示または学生ポータルにて確認して下さい。

5．演習について

⑴ 「基礎演習」（２年次前期）について

申請したコースに関わらず、開講されている「基礎演習」を複数履修することができます（ただし、人数制限を設けることがあります）。

⑵ 「専門演習」（３年次）、「卒業論文指導」（４年次）について

２年次後期に、選考を要します。

① 選考

○ 「専門演習」の選考を、２年次の10月（予定）に行います。

○ 原則として、申請したコースに関連する分野の「専門演習」に応募して下さい。

② 履修登録

○ ３年生：「専門演習」（４単位）

選考に合格した場合は、事前登録科目として自動的に履修登録されます。

○ ４年生：「卒業論文指導」（４単位）

選考に合格した場合と前年度からの継続を希望する場合は、各自で履修登録をしてください（必修ではありません）。

6．４年次のみ配置科目について

「卒業論文指導」を除き４年次のみ配置されている科目は、「卒業論文指導」と並行して履修するなど、高度な専門知識を習得するために、大学院連携科目として大学院経済学研究科公共・地域マネジメント専攻の科目の一部を、本学科の４年次生に開講しています。

この科目は、本学科の卒業要件単位に算入されます。

7．大学院科目特別履修制度について

大学院経済学研究科経済学専攻または公共・地域マネジメント専攻への進学を希望する４年次生に対して、より高度な専門知識を早期に習得する機会を提供するために、経済学研究科科目の一部を履修することができます。

これによって修得した単位は、研究科入学後、博士前期課程修了要件として定められた単位数まで申請することができるため早期修了あるいは課程博士論文作成作業への早期着手が可能になります。またこの取得単位は卒業後５年以内に限り研究科に入学した時点で認定することができます。

大学院科目特別履修制度は、以下の２種類の方法があります。

１．３年次試験による大学院科目特別履修生試験

出願資格：３年次に在学する者（経済学専攻は経済・経営・国際政経学部のみ）

２．４年次履修による先取り科目履修

経済学専攻：

経済学部４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。

公共・地域マネジメント専攻：

現代経済デザイン学科４年次に在学するもので、３年次修了時に124単位を修得した者。

※詳細は大学院事務室経済学研究科へ問い合わせてください。

8．現代経済デザイン学科専門科目配置表

コース			授業科目	単位	履修年次	備考（特に記載のないものは選択科目）
入門科目						
A群	学科		**現代経済デザイン総合講義**	**2**	1	**必修**
基礎科目						
B群	コア科目	学科	**ミクロ経済学講義**	**4**	1	**必修** ペア科目（半期）
			ミクロ経済学演習	**2**	1	**必修**
			公共哲学Ⅰ	**2**	1	**必修**
			公共経済学Ⅰ	**2**	1	**必修**
			地域経済学Ⅰ	**2**	1	**必修**
			経済情報	**2**	2	**必修**
			入門経済数学Ⅰ	2	1	**選択必修**
			入門経済数学Ⅱ	2	2	「入門経済数学Ⅰ」修得者のみ履修可
			入門統計学Ⅰ	2	1	**選択必修**
			入門統計学Ⅱ	2	2	「入門統計学Ⅰ」修得者のみ履修可
		公共	公共経済学Ⅱ	2	2	**指定**
		地域	GISによる空間分析Ⅰ	2	2	**指定**
	関連科目		マクロ経済学講義	4	1･2	
			ツールとしてのゲーム理論	2	1･2	
			情報の経済学	2	1･2	
			グローバル経済A	2	1･2	
			グローバル経済B	2	1･2	
			経済地理	2	1･2	
			経済地誌	2	1･2	
			データ解析	2	2	
			経済政策論	4	2	＊
			財政学	4	2	＊
			経済史概論	4	1･2	＊
			経済学史	4	2	＊
	演習等		基礎演習A	2	2のみ	
			基礎演習B	2	2のみ	
			基礎演習C	2	2のみ	
			基礎演習D	2	2のみ	
			基礎演習E	2	2のみ	
			プレゼンテーション	2	2	
			ビジネスマナー	2	2	
専攻科目						
C群	コア科目	学科	**公共哲学Ⅱ**	**2**	3	**必修**
		公共	公共経済学Ⅲ	2	3	**指定**
			厚生経済学	2	3	**指定**
		地域	地域経済学Ⅱ	2	3	**指定**
			地域政策論	2	3	**指定**
	学科関連科目	公共分野	応用経済ブロック			
			ミクロ経済学特論	2	4	院共通
			マクロ経済学特論	2	4	院共通
			租税特論	2	4	院共通
			地方財政特論	2	4	院共通
			租税の経済学Ⅰ	2	3･4	＊
			地方財政の経済学Ⅰ	2	3･4	

＊は、経済学科主体科目

コース			授業科目	単位	履修年次	備考（特に記載のないものは選択科目）
C群	学科関連科目	公共分野	公的規制の経済学	2	3･4	
			公共政策特論	2	4	院共通
			NPO 論 A	2	3･4	
			契約の経済学	2	3･4	
			制度・政策ブロック			
			租税の経済学II	2	3･4	＊
			地方財政の経済学II	2	3･4	
			公共政策の経済学	2	3･4	
			社会保障論	4	3･4	＊
			公共経営ブロック			
			公共選択論	2	3･4	
			公共マネジメント特論	2	4	院共通
			NPO 論 B	2	3･4	
			政策と評価 A	2	3･4	
			法と経済学	2	3･4	
		地域分野	空間経済ブロック			
			産業集積特論	2	4	院共通
			都市経済学	2	3･4	
			開発経済学	2	3･4	
			交通経済学	4	3･4	＊
			環境経済学	4	3･4	＊
			地域政策ブロック			
			都市再生論	2	3･4	
			まちづくりと都市計画	2	3･4	
			住宅と不動産の経済学	2	3･4	
			大都市地域特論	2	4	院共通
			郊外地域論	2	3･4	
			政策と評価 B	2	3･4	
			地域人口論	2	3･4	＊
			農業経済論	4	3･4	＊
			エリアスタディブロック			
			EU 経済特論	2	4	院共通
			アジア経済特論	2	4	院共通
			地域人口特論	2	4	院共通
			世界経済論	4	3･4	＊
			各国経済論 A	4	3･4	＊
			各国経済論 B	4	3･4	＊
			統計・情報モジュール			
			GIS による空間分析II	2	3･4	（注）異名称同一科目：経済学科「GIS 応用」
			GIS による空間分析III	2	4	（注）院共通
	演習等		専門演習	4	3	
			卒業論文指導	4	4	「専門演習」修得者のみ履修可
			Presentation & Debate	2	3･4	
			フィールドスタディ	2	3･4	
			フィールドワーク	2	3･4	
			ビジネスライティング	2	3･4	
	総合科目		公共地域政策研究	2	4	院共通
			公共情報研究	2	4	院共通
			地域情報研究	2	4	院共通
			公共地域政策論	2	3･4	
			経済・金融事情（総合）	2	2	金融青山会寄附講座　2013年度開講

（注）「GIS による空間分析 I 」または経済学科の「GIS 入門」修得者のみ履修可。

コース		授　業　科　目	単位	履修年次	備　考（特に記載のないものは選択科目）
関　連　科　目					
D群（関連科目）	経済学科科目	A･B群科目、C1･C2群の同一名称科目、異名称同一科目（「GIS応用」）、「演習等」は除きます。また、C2群の「産業論」は、卒業要件単位に算入されるのは6単位までで、それを超えた単位は卒業要件外になります。			
	法学	憲法	4	2	
		民法Ⅰ	4	3･4	
		民法Ⅱ	4	3･4	
		商法Ⅰ	4	3･4	
		商法Ⅱ	4	3･4	
		経済法	4	3･4	
		労働法	4	3･4	
		政治学原論	4	1･2	
		行政学	4	3･4	
		行政法Ⅰ	4	3･4	
		税法	4	3･4	
	経営学	簿記論	4	1･2	
		マーケティング論	4	2	
		経営学総論	4	2	（2011年度以降休講）
		財務会計論	4	2	
		金融市場論	4	3･4	（2011年度以降休講）
		リスク・マネジメント論	4	3･4	
		経営史	4	3･4	
	国際政治経済学部B群科目	経済学部の科目と異名称のものに限ります。 Ⅰ・Ⅱを除いた同一名称科目は履修できません。 「他学部科目一覧表」の国際政治経済学部欄参照。			

9．税理士特別講座について

経済学部では、本学OB・OGの税理士・公認会計士等で構成される「青学会計人クラブ」の協力のもと、1998年から正規のカリキュラムとは別に「税理士特別講座」を開設しています。

皆さんの先輩であり、実務の第一線で活躍する専門家が、日頃の忙しい時間を割いて会計科目･税法科目の基礎講座と親身な受験指導を行っています。税理士試験のみならず、日商簿記検定を目指す人にも学習の指針となることでしょう。税理士･公認会計士という職業に関心を持ちながらも、現場の実務家と接する機会の少ない学生は、この特別講座を大いに活用してください。

勉学意欲のある学生の受講を期待しています。

説明会開催日時や申し込みの詳細については、年度初頭に「学生ポータル」を参照してください。

他学部科目一覧表

他学部科目の履修について

他学部科目のうち本学部学生が履修可能な科目の一覧表を以下に掲載します。
履修については下記の点に注意してください。

1．一覧表は他学部が本学部に対して履修可能としている科目を掲載しています。なお、「担当者氏名」および「本年度休講」の掲載はしていませんので、講義内容および授業時間割表にて確認してください。履修希望科目が講義内容および授業時間割表に掲載されていない場合は本年度休講となっています。
　また、年度により一覧表の科目のうち履修を認めないなどの措置をとることがあります。

2．履修可能な科目は同じ入学年度の科目のみ履修できます。掲載してある一覧表以前の入学生で他学部科目の履修を希望する学生は教務課で希望学部の授業要覧を閲覧し履修できるかどうかを確認してください。

3．本学部では入学年度によって他学部科目の卒業要件単位に含まれる条件が異なる場合がありますので、授業要覧で確認のうえ履修してください。なお、国際政治経済学部のＢ群科目は（掲載の【国際政治経済学部生以外の学部生に履修を許可しない科目の一覧】を除く）、専門科目のＤ群として卒業要件に算入できます。

4．一覧表に掲載されている科目のうち、履修に制限がある場合は、開講学部の履修制限に従って履修してください。

文学部共通科目（2011年度以降入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
芸術文化論	4	2・3・4	文化財科学	4	2・3・4	日本の思想	4	2・3・4
東洋の思想	4	2・3・4	現代思想	4	2・3・4	日本美術史	4	2・3・4
東洋美術史	4	2・3・4	西洋美術史	4	2・3・4	日本文化史	4	2・3・4
東洋文化史	4	2・3・4	西洋文化史	4	2・3・4	映像文化論Ａ	2	2・3・4
映像文化論Ｂ	2	2・3・4	東洋音楽史	4	2・3・4	西洋音楽史	4	2・3・4
生命倫理学	4	2・3・4	詩論	4	2・3・4	ギリシャ・ローマ文学	4	2・3・4
テクスト論	4	2・3・4	物語文学	4	2・3・4	キリスト教文学	4	2・3・4
世界各地域の文学Ａ	4	2・3・4	世界各地域の文学Ｂ	4	2・3・4	世界各地域の文学Ｃ	4	2・3・4
児童文学	4	2・3・4	比較文学	4	2・3・4	言語学概論	4	2・3・4
比較言語学	4	2・3・4	記号論	4	2・3・4	古典ギリシャ語Ⅰ	4	2・3・4
古典ギリシャ語Ⅱ	4	2・3・4	ラテン語入門	4	2・3・4	ラテン語Ⅰ	4	2・3・4
ラテン語Ⅱ	4	2・3・4	出版ジャーナリズム	4	2・3・4	放送ジャーナリズム	4	2・3・4
認知言語学	4	2・3・4	精神分析学入門	4	2・3・4	心理言語学	4	2・3・4
イタリアの言語と文化	4	2・3・4	通訳ワークショップ(1)	2	3・4	通訳ワークショップ(2)	2	3・4
現代社会と文学部	2	3・4						

文学部共通科目（2010年度以前入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
芸術文化論	4	3・4	文化財科学	4	3・4	日本の思想	4	2・3・4
東洋の思想	4	2・3・4	現代思想	4	3・4	日本美術史	4	3・4
東洋美術史	4	3・4	西洋美術史	4	3・4	日本文化史	4	3・4
東洋文化史	4	3・4	西洋文化史	4	3・4	映像文化論A	2	3・4
映像文化論B	2	3・4	東洋音楽史	4	3・4	西洋音楽史	4	3・4
生命倫理学	4	3・4	詩論	4	3・4	ギリシャ・ローマ文学	4	3・4
テクスト論	4	3・4	物語文学	4	3・4	キリスト教文学	4	3・4
世界各地域の文学A	4	3・4	世界各地域の文学B	4	3・4	世界各地域の文学C	4	3・4
児童文学	4	3・4	比較文学	4	3・4	言語学概論	4	3・4
比較言語学	4	3・4	記号論	4	3・4	古典ギリシャ語I	4	3・4
古典ギリシャ語II	4	3・4	ラテン語入門	4	2・3・4	ラテン語I	4	3・4
ラテン語II	4	3・4	出版ジャーナリズム	4	3・4	放送ジャーナリズム	4	3・4
認知言語学	4	3・4	精神分析学入門	4	3・4	心理言語学	4	3・4
イタリアの言語と文化	4	2・3・4	通訳ワークショップ(1)	2	3・4	通訳ワークショップ(2)	2	3・4
現代社会と文学部	2	3・4						

文学部教育学科（2001年度～2008年度入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
日本教育史（人間形成の歴史Ⅰ）	4	1・2	西洋教育史（人間形成の歴史Ⅱ）	4	3・4	宗教教育学	2	2
教育哲学Ⅰ（人間形成の思想と哲学）	2	3・4	教育哲学Ⅱ（人間形成の文化と社会）	2	3・4	発達と文化Ⅰ（教育人類学）	2	3・4
発達と文化Ⅱ（教育現象学）	2	3・4	図書館情報文化論	2	2	比較発達社会学	4	1・2
教育社会学概論	4	1・2	比較教育学	4	3・4	教育行政・制度	4	2
国際理解教育	2	3・4	現代社会と社会教育Ⅰ（高齢化社会と教育）	2	3・4	現代社会と社会教育Ⅱ（青年期の教育）	2	3・4
現代社会と社会教育Ⅲ（ジェンダーと教育）	2	3・4	家庭教育	4	2	発達文化論	2	3・4
発達心理学	4	1・2	教育調査・統計	4	3・4	社会教育計画	4	3・4
※1社会教育演習	4	3・4	図書館情報学概論	2	2	図書館システム経営論	2	3・4
図書館システムサービス論	2	2	図書館情報学特論	2	3・4	児童サービス論	2	3・4
生涯学習概論	4	2	※1生涯学習演習	4	3・4	学校教育学総論	4	1・2
初等教育原理	4	1・2	教育課程論	4	3・4	学校経営・管理	4	3・4
※2教育方法	4	2	教材開発論	2	3・4	学校教育学特論	4	3・4
音楽教材研究	2	3・4	図画工作教材研究	2	3・4	体育教材研究	2	3・4
国語教材研究	2	3・4	社会教材研究	2	3・4	算数教材研究	2	3・4
理科教材研究	2	3・4	生活科教材研究	2	3・4	家庭教材研究	2	3・4
学校経営と学校図書館	2	2	学習指導と学校図書館	2	3・4	読書教育論	2	3・4
学校心理学	2	3・4	臨床保育学	4	3・4	幼児教育原理	4	1・2
小児保健学	4	3・4	小児精神神経学	2	3・4	保育方法の研究	4	3・4
保育内容総論	4	3・4	保育内容研究（健康）	2	3・4	保育内容研究（人間関係）	2	3・4
保育内容研究（環境）	2	3・4	保育内容研究（ことば）	2	3・4	保育内容研究（表現A）	2	3・4
保育内容研究（表現B）	2	3・4	※3臨床心理学総論	4	2	人格心理学	4	3・4
相談心理学	4	3・4	養護教育	4	1・2	障害児・者の心理Ⅰ	2	2
障害児・者の心理Ⅱ	2	3・4	障害児・者の教育	2	3・4	障害児・者の福祉	2	3・4
障害児・者の医学	2	3・4	メディア・コミュニケーション概論	2	1・2	認知科学概論	2	2
インターフェース論	2	3・4	知的表現論	2	3・4	メディア・コミュニケーション特論Ⅰ	2	3・4
メディア・コミュニケーション特論Ⅱ	2	3・4	視聴覚教育メディア論	2	3・4	学習心理学	4	3・4
社会心理学	4	3・4	情報メディア論Ⅰ	2	2	情報メディア論Ⅱ	2	3・4
情報メディア特論	2	3・4	メディア組織法Ⅰ	2	3・4	メディア組織法Ⅱ	4	3・4
学校図書館メディア	2	3・4	情報サービス論	4	3・4	情報検索法	4	3・4
情報メディア利用論	2	3・4	※4教育学概論Ⅱ	2	3・4	※5生涯学習概論Ⅱ	2	3・4
インストラクショナルデザイン総論	2	3・4	教育システムのためのITファンダメンタル	2	3・4	コンピュータ利用教育と学習理論	2	3・4
コンテンツ開発演習	2	3・4	eラーニングシステムマネジメント演習	2	3・4	コース実施と学習支援演習	2	3・4
オンライン調査解析演習	2	3・4	協調学習デザイン演習	2	3・4	キリスト教学校論	2	3・4
聖書の世界（旧約）	2	3・4	聖書の世界（新約）	2	3・4	キリスト教の教理	2	3・4
キリスト教と法思想	2	3・4	宗教と社会	2	3・4	礼拝学	2	3・4
キリスト教と精神医学	2	3・4						

※1：社会教育主事希望者のみ履修可　※2：2003年度以降入学生は履修不可　※3：「臨床心理学」修得者は履修不可
※4：社会教育主事・学芸員希望者のみ履修可　※5：司書・学芸員希望者のみ履修可

文学部英米文学科（2010年度以降入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
イギリス文学史	4	1・2	イギリス文学概論	4	1・2	イギリス文化概論	4	1・2
アメリカ文学史	4	1・2	アメリカ文学概論	4	1・2	アメリカ文化概論	4	1・2
グローバル文学・文化概論	4	1・2	グローバル文学理論	4	1・2	英語学概論	4	1・2
英語史	4	1・2	英文法	4	1・2	コミュニケーション概論	4	1・2
異文化間コミュニケーション概論	4	1・2	英語教育学概論	4	1・2	イギリス文学特講	4	3・4
イギリス文化特講	4	3・4	アメリカ文学特講	4	3・4	アメリカ文化特講	4	3・4
グローバル文学特講	4	3・4	グローバル文化特講	4	3・4	英語学特講	4	3・4
言語学特講	4	3・4	コミュニケーション特講	4	3・4	英語教育学特講	4	3・4
英詩概論	4	3・4	イギリス事情	4	3・4	アメリカ事情	4	3・4
英語聖書	4	3・4	ビジネスイングリッシュⅠ	2	3・4	メディアイングリッシュⅠ	2	3・4
メディアイングリッシュⅡ	2	3・4						

文学部英米文学科（2009年度以前入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
英国文学史Ⅰ	4	1	英国文学史Ⅱ	4	1	英語学概論	4	1
米国文学史	4	1	英語史	4	1	英文学概論	4	1
米文学概論	4	1	コミュニケーション概論	4	1	異文化間コミュニケーション概論	4	1
英文学特講	4	3・4	米文学特講	4	3・4	英語学特講	4	3・4
言語学特講	4	3・4	コミュニケーション特講	4	3・4	英詩概論	4	3・4
英語教授法	4	3・4	イギリス事情	4	3・4	アメリカ事情	4	3・4
英語聖書	4	3・4	ビジネスイングリッシュⅠ	2	3・4	メディアイングリッシュⅠ	2	3・4
メディアイングリッシュⅡ	2	3・4						

文学部フランス文学科（2011・2012年度入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
※フランス語会話	4	1	フランス文学研究	4	3・4	フランス語学研究	4	3・4
フランス文化研究	4	3・4	講読演習	4	3・4	エクスプリカシオン(A)	4	3・4
エクスプリカシオン(B)	4	3・4	コミュニカシオンⅠ	4	3・4	コミュニカシオンⅡ	4	3・4
エクスプレシオン・エクリットⅡ	4	3・4	エクスプレシオン・エクリットⅢ	4	3・4	フランス文学特講	4	2・3・4
フランス語学特講	4	2・3・4	フランス文化特講	4	2・3・4	フランス文学演習Ⅰ	4	2・3
フランス語学演習Ⅰ	4	2・3	フランス文化演習Ⅰ	4	2・3	フランス文学演習Ⅱ	4	3・4
フランス語学演習Ⅱ	4	3・4	フランス文化演習Ⅱ	4	3・4	フランス語教授法Ⅰ	4	3・4
フランス語教授法Ⅱ	4	3・4	フランス語作文	4	2・3・4	フランス語学概論	4	2・3・4
実務フランス語	4	3・4						

※：既修得者用クラスのみ履修可

他学部科目一覧表

文学部フランス文学科（2010年度以前入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
講読演習	4	3・4	フランス文学史概説Ⅱ	4	3・4	フランス語学概論	4	3・4
フランス語史	4	3・4	エクスプリカシオン	4	3・4	コミュニカシオンⅠ・Ⅱ	8	3・4
コミュニカシオンⅢ	4	3・4	フランス語作文Ⅱ	4	3・4	フランス語作文Ⅲ	4	4
時事フランス語	4	3・4	実務フランス語	4	3・4	フランス文学特講	4	3・4
フランス語学特講	4	3・4	フランス文化特講	4	3・4	フランス文学演習	4	3・4
フランス語学演習	4	3・4	フランス文化演習	4	3・4	※1フランス語会話Ⅲ	4	3・4
※2フランス語教授法	4	3・4	※3フランス語教授法Ⅰ	4	3・4	※3フランス語教授法Ⅱ	4	3・4

※1：「フランス語会話Ⅱ」修得者は履修不可
※2：2008年度以前入学者
※3：2009年度以降入学者

文学部日本文学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
日本文学史Ⅰ	2	1	日本文学史Ⅱ	2	1	日本文学史Ⅲ	2	2
日本文学史Ⅳ	2	2	古典文学概論	4	1・2	近代文学概論	4	1・2
漢文学概論	4	1・2	日本語学概論	4	1・2	日本語史	4	1・2
日本文学講読［1］～［4］	4	1・2	漢文学講読	4	1・2	日本語学講読	4	1・2
表象文化論［1］～［3］	4	3・4	日本文学特講［1］～[12]	4	3・4	日本文学特講A・B	2	3・4
漢文学特講［1］・［2］	4	3・4	日本語学特講［1］～［3］	4	3・4	書理論	4	3・4

文学部史学科（2012年度入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
※考古学概説	2	1	人文地理学概論	4	3・4	日本史特講	4	2・3・4
東洋史特講	4	2・3・4	西洋史特講	4	2・3・4	考古学特講	4	2・3・4
史学特講A	4	1・2・3・4	史学特講B	4	1・2・3・4	自然地理学概論	2	2・3・4
地誌学	2	2・3・4	法律学	2	2・3・4	政治学	2	2・3・4
※博物館概論	2	2・3のみ	※博物館経営論	2	2・3のみ	※博物館資料論	2	2・3のみ
※博物館資料保存論	2	2・3・4	※博物館展示論	2	2・3・4	※博物館情報・メディア論	2	2・3・4
※博物館教育論	2	2・3・4	※博物館実習Ⅰ	2	3のみ	※博物館実習Ⅱ	2	4

※学芸員希望者のみ

文学部史学科（2011年度以前入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
※考古学概説	2	1	史学概論	2	1	人文地理学概論	4	3・4
古文書学	4	2・3・4	日本史特講	4	2・3・4	東洋史特講	4	2・3・4
西洋史特講	4	2・3・4	考古学特講	4	2・3・4	芸術史特講	4	2・3・4
史学特講A	4	1・2・3・4	史学特講B	4	1・2・3・4	※博物館概論	2	3のみ
※博物館学各論	4	3・4	※博物館実習Ⅰ	2	3のみ	※博物館実習Ⅱ	2	4

※学芸員希望者のみ

文学部比較芸術学科（2012年度入学者）

他学部・他学科生は３年次以上の学生が履修可

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
比較芸術学特講Ⅰ	2	3・4	比較芸術学特講Ⅱ	2	3・4	比較芸術学特講Ⅲ	2	3・4
美学・芸術思想	4	3・4	西洋の宗教と芸術	4	3・4	日本・東洋の宗教と芸術	4	3・4
伝統デザイン論	4	3・4						

文学部心理学科　昼間主コース（2001年度～2006年度入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
基礎心理学A	2	2	基礎心理学B	2	3・4	教育・心理統計法	4	2
学習心理学	4	3・4	発達心理学	4	1・2	臨床保育学	4	3・4
教育哲学Ⅰ	2	3・4	社会心理学	4	3・4	産業心理学	2	3・4
認知科学概論	2	2	臨床心理学	4	2	心理療法	4	3・4
人格心理学	4	3・4	相談心理学	4	3・4	哲学的認識論	4	3・4
学校心理学	2	3・4	学校教育学総論	2	1・2	障害児・者の心理Ⅰ	2	2
障害児・者の心理Ⅱ	2	3・4	障害児・者の教育	2	3・4	障害児・者の福祉	2	3・4
障害児・者の医学	2	3・4	心理学特講A	2	3・4	心理学特講B	2	3・4
心理学原書講読	2	3・4	教育統計実習	2	3・4			

文学部心理学科（2007年度～2008年度入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
基礎心理学	2	2	心理統計学基礎	4	2	哲学的認識論	4	3・4
心理統計実習	2	3・4	心の哲学	4	3・4	心理学史	2	3・4
心理学研究法	2	3	学習心理学	4	3・4	発達心理学	4	1・2
生涯発達心理学Ⅰ	2	2	生涯発達心理学Ⅱ	2	2	知覚心理学	2	2
認知科学概論	2	2	認知心理学	4	3・4	感情心理学	2	3・4
神経心理学	2	3・4	人格心理学	4	3・4	健康心理学	2	3・4
社会心理学	4	3・4	社会心理学Ⅰ	2	3・4	社会心理学Ⅱ	2	3・4
産業心理学	2	3・4	広告心理学	2	3・4	ノンバーバル・コミュニケーションⅠ	2	3・4
ノンバーバル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	音楽心理学	2	3	心理学特講A	2	3・4
心理学特講B	2	3・4	学校心理学	2	3・4	臨床心理学	4	2
臨床心理学Ⅰ	2	3・4	臨床心理学Ⅱ	2	3・4	心理療法	4	3・4
精神分析学	2	3・4	家族心理学	2	3・4	犯罪心理学	4	3・4
臨床心理学特講	4	3・4	相談心理学	4	3・4	音楽療法	2	3・4
音楽療法演習	2	3・4	コミュニティ心理学	2	3・4	臨床心理実務倫理論	2	3・4
心理面接法	4	3・4	精神医学	4	3・4	身体医学	2	3・4
心身医学	2	3・4	薬理学	2	3・4	脳生理学	2	3・4
精神衛生	2	3・4	生涯発達論	2	3・4	母子保健	2	3・4
成人・高齢者保健	2	3・4	精神保健福祉	2	3・4	保健・医療・福祉・制度論	2	3・4
社会保障制度と関連法規	2	3・4	障害児・者の心理Ⅰ	2	2	障害児・者の心理Ⅱ	2	3・4
障害児・者の教育	2	3・4	障害児・者の福祉	2	3・4	障害児・者の医学	2	3・4
学校教育学総論	4	1・2	保育内容総論	4	3・4	臨床保育学	4	3・4
保育方法の研究	4	3・4	生涯学習概論	4	2	現代社会と社会教育Ⅰ（高齢化社会と教育）	2	3・4
現代社会と社会教育Ⅱ（青年期の教育）	2	3・4	現代社会と社会教育Ⅲ（ジェンダーと教育）	2	3・4	心理学原書講読A	2	3・4
心理学原書講読B	2	3・4						

教育人間科学部教育学科（2009年度以降入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
人間形成学総論	2	1・2	日本教育史Ⅰ	2	1・2	日本教育史Ⅱ	2	1・2
西洋教育史Ⅰ	2	3・4	西洋教育史Ⅱ	2	3・4	教育史特殊講義	2	3・4
宗教教育学	2	2	発達と文化A	2	3・4	発達と文化B	2	3・4
教育哲学A	2	3・4	教育哲学B	2	3・4	教育学特論A	2	3・4
教育学特論B	2	3・4	教育社会学総論	2	1・2	比較発達社会学	2	1・2
生涯発達心理学Ⅰ	2	1・2	生涯発達心理学Ⅱ	2	1・2	キャリア教育A	2	2
キャリア教育B	2	3・4	家庭教育A	2	2	家庭教育B	2	2
比較教育学	2	3・4	異文化理解教育	2	3・4	老年学	2	3・4
教育学特論C	2	3・4	教育学特論D	2	3・4	社会福祉概論	2	2
臨床心理学概論Ⅰ	2	2	臨床心理学概論Ⅱ	2	2	小児精神神経学	2	3・4
相談心理学Ⅰ	2	3・4	相談心理学Ⅱ	2	3・4	特別支援教育	2	3・4
障害児・者の心理Ⅰ	2	2	障害児・者の心理Ⅱ	2	3・4	障害児・者の教育	2	3・4
障害児・者の福祉	2	3・4	障害児・者の医学	2	3・4	教育学特論E	2	3・4
教育学特論F	2	3・4	生涯学習概論Ⅰ	2	2	生涯学習概論Ⅱ	2	2
高等教育論A	2	2	高等教育論B	2	3・4	社会教育計画Ⅰ	2	3・4
社会教育計画Ⅱ	2	3・4	社会教育課題研究	4	3・4	高齢化社会と教育	2	3・4
青年期と教育	2	3・4	ジェンダーと教育	2	3・4	青年文化論	2	3・4
ボランティア教育論	2	3・4	地域ネットワーキング論	2	3・4	スポーツ・レクリエーション論	2	3・4
教育学特論G	2	3・4	教育学特論H	2	3・4	教育情報学総論	2	1・2
メディア・コミュニケーション総論	2	1・2	認知科学概論	2	2	学校経営と学校図書館	2	2
視聴覚教育メディア論	2	3・4	インターフェース論	2	3・4	知的表現論	2	3・4
教材開発論	2	3・4	学習指導と学校図書館	2	3・4	学校図書館メディア	2	3・4
情報メディア利用論	2	3・4	読書教育論	2	3・4	学習心理学Ⅰ	2	3・4
学習心理学Ⅱ	2	3・4	社会心理学Ⅰ	2	3・4	社会心理学Ⅱ	2	3・4
教育学特論Ⅰ	2	3・4	教育学特論J	2	3・4	図書館情報学概論	2	2
図書館システムサービス論	2	2	図書館情報文化論	2	2	図書館システム経営論	2	3・4
情報メディア論A	2	2	情報メディア論B	2	3・4	情報メディア論C	2	3・4
児童サービス論	2	3・4	メディア組織法Ⅰ	2	3・4	メディア組織法Ⅱ	2	3・4
メディア組織法Ⅲ	2	3・4	情報サービス論Ⅰ	2	3・4	情報サービス論Ⅱ	2	3・4
情報サービス論Ⅲ(2012年度以降入学者)	2	3・4	情報検索法Ⅰ(2011年度以前入学者)	2	3・4	情報検索法Ⅱ(2011年度以前入学者)	2	3・4
情報技術論(2012年度以降入学者)	2	2・3・4	図書館情報学実習	2	4	教育学特論K	2	3・4
教育学特論L	2	3・4	幼児教育原理A	2	1・2	幼児教育原理B	2	1・2
児童福祉論	2	1・2	臨床保育学A	2	2	臨床保育学B	2	2
小児保健論	2	3・4	教育学特論M	2	3・4	教育学特論N	2	3・4
小児栄養学	2	3・4	教育学特論O	2	3・4	教育学特論P	2	3・4
学校教育学総論	2	1・2	初等教育原理A	2	1・2	初等教育原理B	2	1・2
学校心理学	2	3・4	教育学特論Q	2	3・4	教育学特論R	2	3・4
初等英語概説A	2	3・4	初等英語概説B	2	3・4	教育学特論S	2	3・4
教育学特論T	2	3・4	インストラクショナルデザイン総論	2	3・4	教育システムのためのITファンダメンタル	2	3・4
コンピュータ利用教育と学習理論	2	3・4	コンテンツ開発演習	2	3・4	eラーニングシステムマネジメント演習	2	3・4
コース実施と学習支援演習	2	3・4	オンライン調査解析演習	2	3・4	協調学習デザイン演習	2	3・4
キリスト教学校論	2	3・4	聖書の世界(旧約)	2	3・4	聖書の世界(新約)	2	3・4
キリスト教の教理	2	3・4	キリスト教と法思想	2	3・4	宗教と社会	2	3・4
礼拝学	2	3・4	キリスト教メンタルヘルス	2	3・4			

教育人間科学部心理学科（2009年度以降入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
心理統計実習	2	3・4	哲学的認識論	4	3・4	心の哲学	4	3・4
心理学史	2	3・4	学習心理学	4	3・4	発達心理学	4	1・2
生涯発達心理学Ⅰ	2	2	生涯発達心理学Ⅱ	2	2	生涯発達論	2	3・4
知覚心理学	2	2	認知心理学	4	3・4	音楽心理学	2	3・4
感情心理学	2	3・4	神経心理学	2	3・4	人格心理学	4	3・4
犯罪心理学	4	3・4	社会心理学	4	3・4	社会心理学Ⅰ	2	3・4
社会心理学Ⅱ	2	3・4	産業心理学	2	3・4	広告心理学	2	3・4
ノンバーバル・コミュニケーションⅠ	2	3・4	ノンバーバル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅰ	2	3・4
応用社会心理学特講Ⅱ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅲ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅳ	2	3・4
応用社会心理学特講Ⅴ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅵ	2	3・4	心理学特講A	2	3・4
学校心理学	2	3・4	臨床心理学	4	2	臨床心理学Ⅰ	2	3・4
臨床心理学Ⅱ	2	3・4	障害児・者の心理Ⅰ	2	2	臨床心理学特講	4	3・4
精神分析学	2	3・4	精神医学	4	3・4	音楽療法	2	3・4
相談心理学	4	3・4	家族心理学	2	3・4	健康心理学	2	3・4
コミュニティ心理学	2	3・4	障害児・者の心理Ⅱ	2	3・4	障害児・者の教育	2	3・4
障害児・者の福祉	2	3・4	障害児・者の医学	2	3・4	心理面接法	4	3・4
応用行動分析	2	3・4	身体医学	2	3・4	心身医学	2	3・4
薬理学	2	3・4	脳生理学	2	3・4	精神衛生	2	3・4
母子保健	2	3・4	成人・高齢者保健	2	3・4	精神保健福祉	2	3・4
保健・医療・福祉・制度論	2	3・4	社会保障制度と関連法規	2	3・4	心理学原書講読A	2	3・4
心理学原書講読B	2	3・4						

法学部

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
裁判と法	2	1・2	行政と法	2	1・2	現代弁護士論	2	1・2
企業と法	2	1・2	アメリカの社会と法	2	1・2	中国の社会と法	2	1・2
労働と法	2	1・2	市民生活と税法	2	1・2	インターネットと法	2	1・2
憲法II	4	2	比較憲法	4	3・4	立法学入門	2	3・4
言論法	4	3・4	憲法特殊講義	2	1・2	行政法I	4	3・4
行政法II	4	3・4	行政法III	2	3・4	地方自治法	4	3・4
教育法	4	3・4	税法	4	3・4	民法III	4	2
民法IV	4	3・4	民法V	4	3・4	借地借家法	2	3・4
※3知的財産法I	2	3・4	※3知的財産法II	2	3・4	※4知的財産法III	2	3・4
※4知的財産法IV	2	3・4	※1登記法	2	3・4	※1不動産法	2	3・4
民事訴訟法I	4	3・4	民事訴訟法II	4	3・4	破産法	4	3・4
刑法I	4	2	刑法II	4	3・4	刑事訴訟法	4	3・4
刑事政策	4	3・4	商法（手形法・小切手法）	4	3・4	商法（保険法）	4	3・4
銀行取引法	2	3・4	商法（海商法・航空法）	4	3・4	西洋法史学	4	3・4
環境法	4	3・4	※5金融商品取引法	2	3・4	※2企業法務	2	3・4
法思想史	4	1・2	法哲学	4	3・4	法社会学	4	3・4
ローマ法	4	3・4	日本法史学	4	3・4	外国法入門	4	1・2
イギリス法	4	3・4	アメリカ法（刑法・刑事訴訟法）	2	3・4	ドイツ法	4	3・4
フランス法	4	3・4	※6アメリカ法（憲法・司法制度論I）	2	3・4	アメリカ法（憲法・司法制度論II）	2	3・4
アメリカ法（契約法）	2	3・4	アメリカ法（財産法・担保付取引論）	2	3・4	アメリカ法（知的財産法論）	2	3・4
アメリカ法（不法行為法・PL法）	2	3・4	アメリカ法（家族法）	2	3・4	アメリカ法（会社法・商法）	2	3・4
アメリカ法入門	2	3・4	EU法	4	3・4	ラテンアメリカの法	2	3・4
※7中国法I	2	3・4	※7中国法II	2	3・4	中国法III	2	3・4
中国法IV	2	3・4	国際労働法	2	3・4	※8国際私法I	2	3・4
※8国際私法II	2	3・4	国際取引法I	2	3・4	国際取引法II	2	3・4
国際取引法III	2	3・4	国際法I	4	3・4	国際法II	4	3・4
※9消費者法	2	3・4	社会保障法	4	3・4	日本政治史	4	1・2
政治過程論	4	3・4	政治学原論	4	1・2	政治思想史	4	3・4
西洋政治史	4	3・4	比較政治学	4	3・4	国際関係論	4	3・4
行政学	4	3・4	外交史	4	3・4	英語文献講読	4	3・4
ドイツ語文献講読	4	3・4	フランス語文献講読	4	3・4	中国法文献講読	4	3・4
※10NPOと国際公共政策	2	3・4	金融・商品先物取引法	4	3・4	国際社会と法	2	1・2
経済と法	2	3・4	国際金融法	2	3・4	ファイナンスとデリバティブ	2	3・4

※1　2002年度以前入学者履修不可
※2　2002年度以前入学者・「企業法務（経営学部科目・4単位）」を修得済の者は履修不可
※3　「知的所有権法I」・「知的財産法I（4単位）」を修得済の者は履修不可
※4　「知的所有権法II」・「知的財産法II（4単位）」を修得済の者は履修不可
※5　「証券取引法」を修得済の者は履修不可
※6　「アメリカ法（憲法・司法制度論）」を修得済の者は履修不可
※7　「アジア法」を修得済の者は履修不可
※8　「国際私法」を修得済の者は履修不可
※9　「消費者保護法」を修得済の者は履修不可
※10　「NPOと公共政策」を修得済の者は履修不可
上記科目は、法学部成績評価基準（法学部要覧又は法学部HP参照）にのっとり成績評価いたします。

経営学部（2011・2012年度入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
経営データ分析のための基礎解析入門Ⅰ	2	1・2	経営データ分析のための基礎解析入門Ⅱ	2	1・2	経営データ分析のための線形代数入門Ⅰ	2	1・2
経営データ分析のための線形代数入門Ⅱ	2	1・2	ファイナンスⅠ	2	2	ファイナンスⅡ	2	2
キャリア開発Ⅴ	2	3・4	企業法務Ⅰ	2	3・4	企業法務Ⅱ	2	3・4
経営戦略論Ⅰ	2	3・4	経営戦略論Ⅱ	2	3・4	経営組織論Ⅰ	2	2
経営組織論Ⅱ	2	2	組織心理学Ⅰ	2	3・4	組織心理学Ⅱ	2	3・4
人材育成論Ⅰ	2	3・4	人材育成論Ⅱ	2	3・4	人的資源管理論Ⅰ	2	3・4
人的資源管理論Ⅱ	2	3・4	サプライチェーン・マネジメントⅠ	2	3・4	サプライチェーン・マネジメントⅡ	2	3・4
事業創造戦略Ⅰ	2	3・4	事業創造戦略Ⅱ	2	3・4	経営データ分析基礎Ⅰ	2	1・2
経営データ分析基礎Ⅱ	2	1・2	経営データ分析応用Ⅰ	2	3・4	経営データ分析応用Ⅱ	2	3・4
経営情報システム論Ⅰ	2	3・4	経営情報システム論Ⅱ	2	3・4	マネジメントサイエンスⅠ	2	3・4
マネジメントサイエンスⅡ	2	3・4	産業労働衛生論	2	3・4	医療経営論	2	3・4
戦略・マネジメント特論Ⅰ	2	3・4	戦略・マネジメント特論Ⅱ	2	3・4	戦略・マネジメント特論Ⅲ	2	3・4
戦略・マネジメント特論Ⅳ	2	3・4	競争戦略論Ⅰ	2	3・4	競争戦略論Ⅱ	2	3・4
組織行動論Ⅰ	2	3・4	組織行動論Ⅱ	2	3・4	中級簿記Ⅰ	2	2
中級簿記Ⅱ	2	2	企業評価論Ⅰ	2	3・4	企業評価論Ⅱ	2	3・4
実証会計論Ⅰ	2	3・4	実証会計論Ⅱ	2	3・4	会計情報論Ⅰ	2	3・4
会計情報論Ⅱ	2	3・4	財務分析論Ⅰ	2	3・4	財務分析論Ⅱ	2	3・4
制度会計論Ⅰ	2	2	制度会計論Ⅱ	2	2	国際会計論Ⅰ	2	2
国際会計論Ⅱ	2	2	税務会計論Ⅰ	2	3・4	税務会計論Ⅱ	2	3・4
監査論Ⅰ	2	3・4	監査論Ⅱ	2	3・4	原価計算論	2	2
コストマネジメント	2	3・4	意思決定会計論	2	2	予算管理論	2	2
戦略管理会計Ⅰ	2	2	戦略管理会計Ⅱ	2	2	財務管理論Ⅰ	2	2
財務管理論Ⅱ	2	2	証券投資論Ⅰ	2	2	証券投資論Ⅱ	2	2
会計・ファイナンス特論Ⅰ	2	3・4	会計・ファイナンス特論Ⅱ	2	3・4	会計・ファイナンス特論Ⅲ	2	3・4
会計・ファイナンス特論Ⅳ	2	3・4	統合マーケティングコミュニケーション	2	3・4	広告論Ⅰ	2	2
広告論Ⅱ	2	2	文化創造マーケティングⅠ	2	2	文化創造マーケティングⅡ	2	2
消費者行動論	2	3・4	ブランド戦略論	2	3・4	サービスマーケティング	2	3・4
国際マーケティング	2	3・4	商業英語	4	3・4	商業英語論	4	3・4
貿易商務論	4	3・4	損害保険論	4	3・4	国際貿易論Ⅰ	2	2
国際貿易論Ⅱ	2	2	市場システム論Ⅰ	2	2	市場システム論Ⅱ	2	2
現代日本産業史	4	3・4	社会情報ネットワーク論Ⅰ	2	3・4	社会情報ネットワーク論Ⅱ	2	3・4
流通情報システム論Ⅰ	2	2	流通情報システム論Ⅱ	2	2	流通政策Ⅰ	2	3・4
流通政策Ⅱ	2	3・4	国際経営論Ⅰ	2	3・4	国際経営論Ⅱ	2	3・4
市場システム特論Ⅰ	2	3・4	市場システム特論Ⅱ	2	3・4	市場システム特論Ⅲ	2	3・4
市場システム特論Ⅳ	2	3・4	イギリス文化論Ⅰ	2	3・4	イギリス文化論Ⅱ	2	3・4
英語圏社会・文化研究Ⅰ	2	3・4	英語圏社会・文化研究Ⅱ	2	3・4	ユダヤ文化とビジネスⅠ	2	3・4
ユダヤ文化とビジネスⅡ	2	3・4	韓国の経営文化Ⅰ	2	3・4	韓国の経営文化Ⅱ	2	3・4
アメリカ文化論Ⅰ	2	3・4	アメリカ文化論Ⅱ	2	3・4	世界の言語文化Ⅰ	2	3・4
世界の言語文化Ⅱ	2	3・4	Globalization and Emerging Countries Ⅰ	2	3・4	Globalization and Emerging Countries Ⅱ	2	3・4
国際法	4	3・4						

経営学部（2009・2010年度入学者）

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
経営データ分析のための基礎解析入門Ⅰ	2	1・2	経営データ分析のための基礎解析入門Ⅱ	2	1・2	経営データ分析のための線形代数入門Ⅰ	2	1・2
経営データ分析のための線形代数入門Ⅱ	2	1・2	ファイナンスⅠ	2	2	ファイナンスⅡ	2	2
キャリア開発Ⅴ	2	3・4	企業法務Ⅰ	2	3・4	企業法務Ⅱ	2	3・4
経営戦略論Ⅰ	2	3・4	経営戦略論Ⅱ	2	3・4	経営組織論Ⅰ	2	3・4
経営組織論Ⅱ	2	3・4	組織心理学Ⅰ	2	3・4	組織心理学Ⅱ	2	3・4
人材育成論Ⅰ	2	3・4	人材育成論Ⅱ	2	3・4	人的資源管理論Ⅰ	2	3・4
人的資源管理論Ⅱ	2	3・4	サプライチェーン・マネジメントⅠ	2	3・4	サプライチェーン・マネジメントⅡ	2	3・4
事業創造戦略Ⅰ	2	3・4	事業創造戦略Ⅱ	2	3・4	経営データ分析基礎Ⅰ	2	1・2
経営データ分析基礎Ⅱ	2	1・2	経営データ分析応用Ⅰ	2	3・4	経営データ分析応用Ⅱ	2	3・4
経営情報システム論Ⅰ	2	3・4	経営情報システム論Ⅱ	2	3・4	マネジメントサイエンスⅠ	2	3・4
マネジメントサイエンスⅡ	2	3・4	産業労働衛生論	2	3・4	医療経営論	2	3・4
戦略・マネジメント特論Ⅰ	2	3・4	戦略・マネジメント特論Ⅱ	2	3・4	戦略・マネジメント特論Ⅲ	2	3・4
戦略・マネジメント特論Ⅳ	2	3・4	簿記論Ⅱ	4	3・4	企業評価論Ⅰ	2	3・4
企業評価論Ⅱ	2	3・4	実証会計論Ⅰ	2	3・4	実証会計論Ⅱ	2	3・4
会計情報論Ⅰ	2	3・4	会計情報論Ⅱ	2	3・4	財務分析論Ⅰ	2	3・4
財務分析論Ⅱ	2	3・4	制度会計論Ⅰ	2	3・4	制度会計論Ⅱ	2	3・4
国際会計論Ⅰ	2	3・4	国際会計論Ⅱ	2	3・4	税務会計論Ⅰ	2	3・4
税務会計論Ⅱ	2	3・4	監査論Ⅰ	2	3・4	監査論Ⅱ	2	3・4
原価計算論	2	3・4	コストマネジメント	2	3・4	意思決定会計論	2	3・4
予算管理論	2	3・4	戦略管理会計Ⅰ	2	3・4	戦略管理会計Ⅱ	2	3・4
財務管理論Ⅰ	2	3・4	財務管理論Ⅱ	2	3・4	証券投資論Ⅰ	2	3・4
証券投資論Ⅱ	2	3・4	会計・ファイナンス特論Ⅰ	2	3・4	会計・ファイナンス特論Ⅱ	2	3・4
会計・ファイナンス特論Ⅲ	2	3・4	会計・ファイナンス特論Ⅳ	2	3・4	競争戦略論Ⅰ	2	3・4
競争戦略論Ⅱ	2	3・4	組織行動論Ⅰ	2	3・4	組織行動論Ⅱ	2	3・4
統合マーケティングコミュニケーション	2	3・4	広告論	4	3・4	文化創造マーケティングⅠ	2	3・4
文化創造マーケティングⅡ	2	3・4	消費者行動論	2	3・4	ブランド戦略論	2	3・4
サービスマーケティング	2	3・4	国際マーケティング	2	3・4	商業英語	4	3・4
商業英語論	4	3・4	貿易商務論	4	3・4	損害保険論	4	3・4
国際貿易論Ⅰ	2	3・4	国際貿易論Ⅱ	2	3・4	市場システム論Ⅰ	2	3・4
市場システム論Ⅱ	2	3・4	現代日本産業史	4	3・4	社会情報ネットワーク論Ⅰ	2	3・4
社会情報ネットワーク論Ⅱ	2	3・4	流通情報システム論Ⅰ	2	3・4	流通情報システム論Ⅱ	2	3・4
流通政策Ⅰ	2	3・4	流通政策Ⅱ	2	3・4	市場システム特論Ⅰ	2	3・4
市場システム特論Ⅱ	2	3・4	市場システム特論Ⅲ	2	3・4	市場システム特論Ⅳ	2	3・4
国際経営論Ⅰ	2	3・4	国際経営論Ⅱ	2	3・4	イギリス文化論Ⅰ	2	3・4
イギリス文化論Ⅱ	2	3・4	英語圏社会・文化研究Ⅰ	2	3・4	英語圏社会・文化研究Ⅱ	2	3・4
ユダヤ文化とビジネスⅠ	2	3・4	ユダヤ文化とビジネスⅡ	2	3・4	韓国の経営文化Ⅰ	2	3・4
韓国の経営文化Ⅱ	2	3・4	アメリカ文化論Ⅰ	2	3・4	アメリカ文化論Ⅱ	2	3・4
世界の言語文化Ⅰ	2	3・4	世界の言語文化Ⅱ	2	3・4	Globalization and Emerging Countries Ⅰ	2	3・4
Globalization and Emerging Countries Ⅱ	2	3・4	国際法	4	3・4			

経営学部（2008年度以前入学者）

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
経営データ分析入門Ⅰ	4	1・2	経営データ分析入門Ⅱ	4	1・2	経営データ分析Ⅰ	4	1・2
企業法務	4	3・4	経営戦略論	4	3・4	事業創造戦略	4	3・4
経営組織論	4	3・4	組織心理学	4	3・4	人的資源管理論	4	3・4
事業戦略評価	4	3・4	サプライチェーン・マネジメント	4	3・4	財務管理論	4	3・4
投資行動論	4	3・4	経営データ分析Ⅱ	4	3・4	経営情報システム論	4	3・4
インフォメーションマネジメントⅠ	4	3・4	インフォメーションマネジメントⅡ	4	3・4	マネジメントサイエンスⅠ	2	3・4
マネジメントサイエンスⅡ	2	3・4	文化産業マーケティング論Ⅰ	2	3・4	文化産業マーケティング論Ⅱ	2	3・4
消費者行動論	2	3・4	製品戦略論	2	3・4	統合マーケティングコミュニケーション論	2	3・4
サービスマーケティング論	2	3・4	国際マーケティング論	2	3・4	市場システム論	4	3・4
広告論	4	3・4	国際貿易論	4	3・4	貿易商務論	4	3・4
商業英語論	4	3・4	流通政策	4	3・4	簿記論Ⅱ	4	3・4
原価計算論	2	3・4	連結会計論	2	3・4	制度会計論	2	3・4
会計監査論	4	3・4	税務会計論	4	3・4	国際会計論	4	3・4
意思決定会計論	2	3・4	予算管理論	2	3・4	原価管理論	2	3・4
会計情報論	4	3・4	財務分析論	4	3・4	経営学特殊講義Ⅰ（人材育成論Ⅰ）	2	3・4
経営学特殊講義Ⅱ（人材育成論Ⅱ）	2	3・4	商学特殊講義Ⅰ（マーケティング・プロフェッショナル実践Ⅰ）	2	3・4	商学特殊講義Ⅱ（マーケティング・プロフェッショナル実践Ⅱ）	2	3・4
会計学特殊講義Ⅰ（企業評価論Ⅰ）	2	3・4	会計学特殊講義Ⅱ（企業評価論Ⅱ）	2	3・4	会計学特殊講義Ⅲ（国際会計論）	2	3・4
会計学特殊講義Ⅳ（会計学文献研究）	2	3・4	経営と法	2	3・4	企業と社会	2	3・4
技術と経営	2	3・4	経営組織と個人	2	3・4	経営と文化	2	3・4
国際法	4	3・4						

国際政治経済学部（2005年度以前入学者）

国際政治経済学部は、学科科目Ｂ群科目の履修を他学部の学生に認めています。ただし、以下の一覧に掲載する科目については、履修を認めていません。

【国際政治経済学部生以外の学部生に履修を許可しない科目の一覧】

授　業　科　目	授　業　科　目	授　業　科　目
国際政治学特殊講義III	国際経済学特殊講義III	外国書（フランス語）講読Ⅰ・II
外国書（ドイツ語）講読Ⅰ・II	外国書（スペイン語）講読Ⅰ・II	外国書（中国語）講読Ⅰ・II
外国書（ロシア語）講読Ⅰ・II	インターンシップ	プリゼミ
演習Ⅰ・II	文化とコミュニケーションⅠ・II	通訳の理論と方法Ⅰ・II
翻訳の理論と方法Ⅰ・II	英語レポート・論文作成Ⅰ・II	Thesis Writing Ⅰ・II
国際ビジネス・コミュニケーションⅠ・II	アンケート・社会調査の方法	言語科学特殊講義Ⅰ・II
民法概論Ⅰ・II	国際私法Ⅰ・II	国連研究II
日本経済と証券ビジネス	コミュニケーション研究法の全体像	
その他、所属学部・学科に同一名称・異名称同一科目がある国際政治経済学部の科目		

国際政治経済学部（2006年度以降入学者）

国際政治経済学部は、学科科目Ｂ群科目の履修を他学部の学生に認めています。ただし、以下の一覧に掲載する科目については、履修を認めていません。

【国際政治経済学部生以外の学部生に履修を許可しない科目の一覧】

授　業　科　目	授　業　科　目	授　業　科　目
国際政治学特殊講義III	国際経済学特殊講義III	外国書（フランス語）講読Ⅰ・II
外国書（ドイツ語）講読Ⅰ・II	外国書（スペイン語）講読Ⅰ・II	外国書（中国語）講読Ⅰ・II
外国書（ロシア語）講読Ⅰ・II	インターンシップ	演習IA・IB・II
通訳の理論と実践Ⅰ・II	翻訳の理論と実践Ⅰ・II	国際ビジネス･コミュニケーション(Ⅰ)･(II)
アンケート・社会調査の方法	言語の普遍性	情報と組織の経済学Ⅰ
日本経済と証券ビジネス	民法概論Ⅰ・II	国際私法Ⅰ・II
財政学	簿記論Ⅰ・II	広告コミュニケーション論
国際取引法	インターネットと法＊	紛争解決と法
インターカルチュラル･コミュニケーション	国際コミュニケーション特殊講義(海外研修)	国連研究II
コミュニケーション研究法の全体像	イギリス文化論	文化とコミュニケーションⅠ・II
経営情報Ⅰ・II	パブリック・リレーションズ	
その他、所属学部・学科に同一名称・異名称同一科目がある国際政治経済学部の科目 2011年度以降入学者は簿記論IIA・IIBについても履修を認めていません。		

総合文化政策学部（2008年度以降入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
経済分析（1ミクロ）	2	3・4	経済分析（2マクロ）	2	3・4	社会調査法Ⅰ	2	3・4
公共社会論	2	3・4	金融概論	2	3・4	行政学概論	2	3・4
国際関係	2	3・4	公共政策論	2	3・4	憲法概論	2	3・4
民法概論	2	3・4	行政法概論	2	3・4	著作権法	2	3・4
国際政治学概論	2	3・4	経済発展論	2	3・4	国際平和論	2	3・4
経済政策概論	2	3・4	公共経済学概論	2	3・4	文化経済学	2	3・4
文化行政法	2	3・4	文化産業概論	2	3・4	観光産業論	2	3・4
消費経済論	2	3・4	日本経済概論	2	3・4	社会福祉論	2	3・4
キリスト教福祉論	2	3・4	マーケティング概論	2	3・4	会計学	2	3・4
サービスマーケティング概論	2	3・4	消費文化論	2	3・4	経営戦略概論	2	3・4
組織論入門	2	3・4	人的資源管理概論	2	3・4	経営情報論	2	3・4
管理会計概論	2	3・4	経営分析論	2	3・4	非営利会計論	2	3・4
プロジェクトマネジメント論	2	3・4	ビジネスプロセスマネジメント論	2	3・4	プロジェクトファイナンス	2	3・4
マーケティング戦略論	2	3・4	ブランド戦略論	2	3・4	公共経営論	2	3・4
文化財保護法	2	3・4	プロジェクトプロデュース論	2	3・4	世界経済概論	2	3・4
社会調査論Ⅰ	2	3・4	社会調査論Ⅱ	2	3・4	統計学	2	3・4
文化人類学概論	2	3・4	日本文化の歴史	2	3・4	異文化間コミュニケーション論	2	3・4
表象文化概論	2	3・4	社会分析学	2	3・4	宗教史	2	3・4
経済史(1) (現代経済デザイン学科生のみ)	2	3・4	経済史(2) (現代経済デザイン学科生のみ)	2	3・4	社会思想史	2	3・4
経済と文明	2	3・4	比較文明論	2	3・4	地域文化論(1)	2	3・4
地域文化論(2)	2	3・4	地域文化論(3)	2	3・4	地域文化論(4)	2	3・4
宗教文化概論	2	3・4	宗教社会学	2	3・4	比較宗教論	2	3・4
ネットワーク社会と文化	2	3・4	マイノリティ文化論	2	3・4	※都市文化論	2	3・4
経営文化論	2	3・4	文化と精神分析	2	3・4	現代経済史 (現代経済デザイン学科生のみ)	2	3・4
現代日本文化論	2	3・4	近代哲学史	2	3・4	論理学	2	3・4
公共哲学概論	2	3・4	認識論	2	3・4	存在論	2	3・4
倫理学入門	2	3・4	象徴記号論	2	3・4	情報環境論(1)	2	3・4
情報環境論(2)	2	3・4	メディアリテラシー	2	3・4	宗教哲学	2	3・4
社会倫理	2	3・4	日本思想史概論	2	3・4	現代哲学	2	3・4
現代思潮	2	3・4	現代の神学	2	3・4	認知哲学	2	3・4
環境美学	2	3・4	芸術哲学	2	3・4	情報工学	2	3・4
社会調査法Ⅱ	2	3・4	社会統計学	2	3・4	社会調査実習	4	3・4

※都市文化論…2012年度以降入学者は履修不可

理工学部

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
現代物理学概論	2	2・3・4	現代化学概論	2	2・3・4	一般電気工学	2	2・3・4
社会と経営システム工学	2	2・3・4	計算機概論	2	2・3・4			

社会情報学部（2008年度以降入学者）

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
知的財産法	2	3・4	経済政策II	2	3・4	社会調査II	2	3・4
証券市場II	2	3・4	デリバティブズ	2	3・4	経済解析I	2	3・4
経済解析II	2	3・4	現代の経済	2	3・4	グローバルビジネス	2	3・4
社会情報特別講義C	2	3・4	社会情報特別講義D	2	3・4	組織論	2	3・4
情報倫理	2	3・4	文化心理学	2	3・4	組織意思決定論	2	3・4
プロジェクトマネジメント	2	3・4	広報論	2	3・4	情報化社会と文化	2	3・4
情報アクセス法	2	3・4	コンピュータグラフィックス	2	3・4	情報システム開発	2	3・4
ソフトウェア開発・保守	2	3・4	社会情報特別講義E	2	3・4	社会情報特別講義F	2	3・4
情報科学応用III	2	3・4						

社会情報学部（2012年度以降入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
情報化社会と法	2	2・3・4	ミクロ経済政策	2	2・3・4	証券市場II	2	2・3・4
デリバティブズ	2	2・3・4	経済解析	2	2・3・4	現代の世界と日本	2	2・3・4
グローバルビジネス	2	2・3・4	情報倫理	2	2・3・4	文化心理学	2	2・3・4
合理的思考と社会行動	2	2・3・4	広報論	2	2・3・4	情報政策	2	2・3・4
情報システム演習	2	3・4	社会資格講義	2	3・4			

Ⅴ．授業について

1．授　業

授業時間

各キャンパスの授業時間は、次のとおりです。

	青山キャンパス （文学部心理学科夜間主コース・第二部を含む）	相模原キャンパス
第１時限	9：00～10：30	9：00～10：30
礼　拝	10：30～11：00	10：30～11：00
第２時限	11：00～12：30	11：00～12：30
昼休み	12：30～13：10	12：30～13：10
第３時限	13：10～14：40	13：10～14：40
第４時限	14：45～16：15	14：55～16：25
第５時限	16：20～17：50	16：40～18：10
第６時限	（月・水・木・土）18：00～19：30 （火・金）18：00～19：25	
礼拝・課外活動	（火）礼拝　　（金）課外活動 19：30～20：00	
第７時限	（月・水・木・土）19：40～21：10 （火・金）20：05～21：30	

相模原キャンパス

相模原キャンパス授業時間割は原則５時限で実施します。しかし、学科目配置上５時限で実施できないことが起きた場合のみ６時限目に配置いたします。

なお、６時限目は現在の５時限終了後15分休憩後より開始いたします。

青山キャンパス

青山キャンパス第一部の授業時間割は原則１～５時限で配置しておりますが、学科目配置の都合により６時限にも配置することがあります。なお、６時限は第二部の授業時間と同様に18：00より開始いたします。

また、特別な行事のときに授業時間が変更となることがあります。その場合は「学生ポータル」で伝達します。

授業教室

授業教室については、別冊子『授業時間割表』に掲載されています。授業教室が変更になる場合は、随時「学生ポータル」で伝達しますので、毎日必ず確認してください。建物の配置については『授業時間割表』巻末に掲載されている「大学建物配置図」を参照してください。

休　講

授業が休講になる場合は、主に「学生ポータル」で伝達します。

休講情報がなく、授業開始から30分以上経過しても担当教員が来ず、連絡もない場合は、学務担当窓口（巻末参照）に問い合わせ、指示を受けてください（学生共通細則第７条参照）。

補　講

休講となった授業に対し、補講を行う場合があります。補講日は、前期・後期とも、定期試験開始前にそれぞれ数日間設けられています。日程については、学事暦を参照してください。詳細は「学生ポータル」などで伝達しますので、必ず確認してください。また、補講期間以外にも補講を行う場合もあります。担当者が直接教室で発表するか、または「学生ポータル」などで発表しますので、随時確認してください。

授業の欠席について

本学では、特定の理由による欠席を認める「公欠制度」は設けておりません。ケガ･病気･忌引きなどで授業を欠席した場合は、次回の授業時に直接担当教員に申し出て、指示を受けてください。なお、長期にわたる欠席の場合は、学務担当窓口（巻末参照）に相談してください。

2．大学からの伝達

本学では、大学から学生のみなさんへの通知や連絡は、主に「学生ポータル」と「掲示」によって行います。

「学生ポータル」を学内で利用する場合は学生証が必要ですので、必ず携帯してください。また、利用方法については、冊子『学生ポータル利用案内』を参照してください。

「掲示板」の設置場所については次のとおりです。

青山キャンパス	８号館と９号館の間（１階）
相模原キャンパス	Ｅ棟とＦ棟の間（外階段下通路内）

「学生ポータル」「掲示板」では、授業・試験など学生生活に直接関係のある事項が随時伝達されています。情報を確認しなかったことにより、後になって不利益を被ることのないよう、十分注意してください。また、電話による問い合わせには一切応じられませんので、質問などがある場合は直接窓口に来室してください。

3．緊急時の「授業の取り扱い」および「伝達手段」について

事故、災害などにより通常利用している交通機関の運行が停止した場合の授業の取扱いは次のとおりとします。

下記いずれの場合も大学からの情報伝達手段で確認してください。

１．通常利用している交通機関運休時における対応

⑴　代替交通機関を利用して登校が可能と判断できた場合には、危険な状況でない限り、極力、登校するよう努めてください。

⑵　代替交通機関の利用ができず登校できなかった場合には、学務担当窓口（巻末参照）に用意されている「交通機関不通による授業欠席届」に、交通機関などが発行した遅延証明書、事故証明書などを添えて授業担当者に提出して欠席分の学習補填の指示を受けてください。

上記１.で休講などの情報
携帯電話　http://mobile.jm.aoyama.ac.jp

２．台風の接近時などの対応

台風の接近などによる被害が予想される場合には、休講などの特別措置がとられることがあります。

３．大規模地震の発生が予想されるときの対応

⑴　大規模地震対策特別措置法による「地震防災対策強化地域判定会」の招集が報道された時点で休校措置がとられます。

⑵　警戒宣言が解除され、または「判定会」が解散されたときは、休校を解き、平常授業に戻ります。

上記２．３．

テレドーム　0180－993171（青山学院大学用番号）
Web　　http://www.aoyama.ac.jp

（緊急の情報がない場合、テレドームは呼び出し音のみになります）
ただしこのサービスについては、利用可能な電話と、利用できない電話があります。

利用可能な電話

①　一般電話
②　携帯電話…NTT docomo、au、SoftBank

利用できない電話

携帯電話…NTT docomo を除くプリペイド式携帯、PHS、
列車公衆電話、「050」から始まる IP 電話、NTT の「ひかり電話」、
一部のケーブルテレビ電話、海外からの国際電話

緊急時には、原則として「学生ポータル」では情報提供されません。

４．新型インフルエンザに対する本学の対応について

2009年に全国的に流行した新型インフルエンザは弱毒性の「H1N1」型でしたが、いまだ強毒性インフルエンザ「H5N1」型の流行が危惧されております。

本学では新型インフルエンザの流行が確認された場合は学院危機管理委員会のもとに「新型インフルエンザ対策本部」および「新型インフルエンザ対策会議」において検討を行い、休校等の処置を行う場合（休校の解除を含む）は学生・生徒・児童・園児、教職員および保護者等に対して学院ホームページや学内一斉配信メール(学生ポータル等)、緊急連絡網、文書等でお知らせいたします。

なお、新型インフルエンザ（「H5N1」型）に対する本学の対応は「国内で１人でも発生が認められた場合は幼稚園から大学までを完全休校」とします。

日本国内で罹患者が認められ、厚生労働大臣よりフェーズ４Ｂ（ヒト-ヒト感染発生）の宣言が行われた時点で登校を控えてください。

新型インフルエンザの休校情報は発生次第、テレドームで確認できます。
◇テレドーム　0180-993171

Ⅵ．試験・レポートについて

授業科目の履修状況を評価し単位を認定するため、試験が行われます。試験は、筆記のほかに、科目によっては、論文、レポート、口述試験、実技テスト、その他担当者の指定する方法で行われることもあります。

試験は、受験資格のある学生のみ受験できます。

受験資格は、以下のとおりです。

① 受験する授業科目を履修登録していること

② 学費を納入済みであること

なお、学期を通じ欠席の多い学生は、その科目の受験資格を失うことがあります（学生共通細則第７条参照）。

１．試験の種別

定期試験

前期末、後期末に期間を定めて実施する試験を定期試験といいます。

試験時間割は、試験開始日の約２週間前に「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。試験実施教室や時間割は通常授業時と異なります。

平常試験

定期試験期間以外の、平常の授業時間に行う試験を平常試験といいます。この場合、担当者によって実施日その他の詳細が決定され、担当者が直接教室で発表するか、または「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。

レポート

レポートは、提出先によって２種類あります。

【学務担当窓口提出レポート】

おおむね定期試験の前後に受付が行われます。詳細は「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。

テーマ、枚数、提出期限などを確認し、必ず指定された期間（時間）内に提出してください。指定された期間内であれば、当該授業科目開講キャンパスに限らず、どちらのキャンパスでも受付けますが、締切時間はキャンパスで異なりますのでよく確認してください。

提出後の内容変更および指定された期間以外の提出は認めません。

このレポートを提出するときは、以下の点に注意してください。

① 用紙は指定されたものを使用してください。

② 必ず大学所定のレポート提出票を貼付してください。

③ レポート提出票には、整理番号その他、記入事項のすべてを「学生ポータル」で確認の上、ボールペンで記入してください。鉛筆書きは受け付けません。

④ 窓口に持参する際は、提出票記入・ホチキス留めなどをすべて完了し、作成が完了した状態にしておいてください。窓口での提出票記入・ホチキス留めはできません。

⑤ 提出した際に受領印の押印された「レポート提出票（学生控）」を受け取り、成績が発表されるまで各自保管しておいてください。後日、提示を求められる場合があります。

【担当者提出レポート】

情報は担当者が直接教室で発表するか、または「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。テーマ、用紙、枚数、提出期限、提出方法など、すべて担当者の指示に従ってください。

提出先として**学務グループ設置あるいは学務部教務課の提出ボックス**を指定される場合が

ありますが、このレポートは**担当者提出レポート**として扱います。

追試験

定期試験に限り、病気、その他やむを得ない理由によって受験できなかった学生に対して行われる試験を追試験といいます。受験資格は厳密に定められており、**自己の不注意によって受験できなかった場合、および、公的な証明書のない場合は、追試験を受けることはできません。**

資格および申請方法などについては後述の「**3．追試験**」を参照してください。なお、出席日数不足など、担当者の判断によって追試験の受験が認められない場合があります。

> 定期試験期間中は、試験の有無にかかわらず、定期試験期間最終日まで予定（旅行など）を入れないでください。
> また、やむを得ず追試験の申請をすることも想定し、追試験実施日（学生ポータルで発表）にも留意してください。

2．定期試験の受験

定期試験時間

定期試験時間帯は以下のとおりです。授業時間帯とは異なるので注意してください。

相模原キャンパスでは定期試験科目配置上、５時限で実施できないことが起きた場合のみ６時限目に配置します。なお、６時限目は18時10分より開始します。

試験時間は原則として60分です（理工学部・社会情報学部専門科目のみ最長85分の場合があります）。

	青山キャンパス （文学部心理学科夜間主コース・第二部を含む）	相模原キャンパス
第１時限	９：40 ～ 10：40	９：30 ～ 10：30
第２時限	11：00 ～ 12：00	11：10 ～ 12：10
第３時限	13：00 ～ 14：00	13：10 ～ 14：10
第４時限	14：30 ～ 15：30	14：50 ～ 15：50
第５時限	16：00 ～ 17：00	16：30 ～ 17：30
第６時限	18：20 ～ 19：20	
第７時限	19：40 ～ 20：40	

受験上の注意

受験上の注意は以下の通りです。あらかじめよく読んでおいてください。

試験教室で配布される受験票は、試験を受けた証拠になりますので学年・クラス番号等、正確に記入してください。答案用紙の学年・クラス番号を正しく記入しない場合、担当教員の成績報告に支障をきたすことがあります。また指定されたクラス・試験教室で必ず受験してください。

受験上の注意

１．監督者の指示に従うこと。
２．机の空いている限り、一机一名で着席すること。
３．机上等に書き込みがある場合は、開始前に申し出ること。
４．学生証はケースから出し、通路側の机上に置くこと。**※注**
５．以下の行為は、不正行為に該当するので充分留意すること。
　① 受験資格のない者の受験（代人も含む）。
　② 答案の交換及び他人の答案を盗み見ること。
　③ カンニングペーパー（縮小コピー）等の準備および使用。
　④ 答案用紙を提出せずに試験場から退室すること。

⑤　机の中にノート、コピー、文献等を開いたまま置くこと。
⑥　所持品やかばん、透明ファイルケース等の中身が見える形のまま、身の回りに置くこと。

6．机上には、許可された文献類および筆記用具以外は置かないこと。
なお、筆箱・ペンケース等も置いてはならない。

7．携帯電話等の電子機器類の電源を切り、かばん等に入れておくこと。
（携帯電話は時計として使用できない）

8．試験終了前に退室する場合は、他の受験者の妨げにならないよう留意すること。

9．不正行為は恥ずべき行為であり大学として厳重に対処する。

※注　学生証を提示しない学生は受験できません。

・試験開始後20分以上の遅刻者は受験できません。また試験開始後30分を経過するまで退室できません。

・試験当日学生証を忘れた場合、相模原キャンパスでは学務グループ、青山キャンパスでは学務部教務課で学生カードを受け取り受験してください。学生カードの使用については以下の点に注意してください。

ａ．学生カードは、試験受験以外には一切利用できません。

ｂ．学生カードは発行日に限り記載者本人のみ有効です。使用後は自己の責任において適切に処分してください。

不正行為

不正行為を行った学生は、以下に示す『試験における不正行為者処分規則』が適用され、単位を修得することができません。科目によっては４年間で卒業することが不可能になります。

青山学院規則集『試験における不正行為者処分規則』より抜粋

第３条　不正行為者の処分内容は、学則に基づく懲戒処分（訓告、停学、退学）とするほか不正行為を行った授業科目、当該授業科目を含む数科目または全授業科目の履修届を無効とする。

第４条　不正行為者の氏名および処分は学内に掲示し、本人および保証人へ通知する。

不正行為とは、**『試験における不正行為者処分規則施行細則』第２条**に定められた、以下の行為をいいます。

①　代人として受験することまたは代人に受験させること。
②　答案を交換すること。
③　カンニング・ペーパーおよびそれに準ずるもの（メモ類）の用意またはそれらを使用すること。
④　カンニング・ペーパーおよびそれに準ずるもの（メモ類）を廻し見すること。
⑤　使用が許可されていない文献等を使用すること。
⑥　使用が許可されている文献等を貸借すること。
⑦　所持品、身体、机、壁等に解答およびそれに類するものを書き込むこと。
⑧　答案を写させること、または写しとること。
⑨　他人の答案を盗み見ること。
⑩　声、動作等で解答を伝達すること、または伝達を受けること。
⑪　受験資格のない者が受験すること。
⑫　他人の学生証を使用して受験すること。
⑬　偽名または故意により無記名答案を提出すること。
⑭　答案を提出しないこと。
⑮　監督者の指示や注意に従わないこと。
⑯　その他上記各号に類すると認められる行為。

3．追試験

申請資格

定期試験を病気、その他やむを得ない理由によって受験できなかった学生のみ申請することができます。

以下の場合には追試験の対象とはなりません。

① 自己の不注意（時間割の見間違い・変更情報の見落としなど）によって受験できなかった場合

② 公共交通機関以外を利用した場合の、天候や交通事故などによる道路の渋滞、車両の故障を理由とする遅刻・欠席の場合

③ 平常試験（定期試験以外の試験を指す）の場合

④ 定期試験を受験した場合

申請方法

申請の日程、追試験日程については、定期試験前に「学生ポータル」で発表します。

追試験の受験を希望する学生は、**直接、授業科目の開講キャンパスの学務担当窓口**（巻末参照）**で、定められた期間に申請してください。**当該授業科目開講キャンパス以外の学務担当窓口では申請できません。

申請時には、当該試験の受験が不可能であったことを証明する公的な書類を持参してください。公的な書類は、**学生氏名、定期試験を受験できなかった日時、理由、証明者名の記載および証明者印のあるもの**に限ります。**コピーは不可です。**申請後「追試験願」用紙を交付しますので、その場で記入し、持参した書類とともに提出してください。なお、受験料は無料です。

欠席理由と、それを示す証明書は次のとおりです。

理　由	証　明　書
病気	医師の診断書（通院・入院・安静期間などの記載のあるもの）
忌引（両親、兄弟姉妹、祖父母、配偶者、子供） ※法事は忌引に含めない	死亡に関する公的証明書および保証人などによる続柄の証明（要押印） または、 葬儀に参列したことを示す会葬礼状（日付が明記されているもの） および保証人などによる続柄・参列の証明（要押印）
就職試験	就職試験の受験を証明するもの（受験票では不可）
災害（台風、地震、水害、火災など）	官公庁による被災証明書
交通関係（遅延）	交通機関などの証明書（通学路線に限る。遅延当日必ず学務担当窓口で指示を受けること）
教育実習	教育実習参加証明書（教職課程課・学務グループにて発行）
科目の時限重複	定期試験実施前に学務担当窓口で指示を受けること

上記以外の理由または、公的な証明書が無い場合については、事前に「**追試験受験資格審査**」を受けてください。審査で認められた場合のみ申請することができます。

追試験時間・採点

原則として60分で実施し、答案は100点満点で採点されます。

Ⅶ．成績評価について

成績評価

学業成績は、授業科目ごとに行う**試験（筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当者の指定する方法）**によって評価されます。

本学の成績は100点法によって評価されます。60点以上が合格とされ、所定の単位が与えられます。

成績証明書および成績通知書には AA、A、B、C の表記が用いられます。ただし、「情報スキルⅠ」および指定の海外研修については、所定の単位が与えられた場合、成績証明書には「RR」、成績通知書には「合格」と表示されます。

実点数範囲	学生への成績通知	成績証明書の記載
100～90	AA	AA
89～80	A	A
79～70	B	B
69～60	C	C
59以下または不合格	XX	表示せず
欠席	X	表示せず
「情報スキルⅠ」、海外研修等による単位修得	合格	RR

G.P.A.

2009年度以降のカリキュラム適用学生については、成績通知書に「G.P.A.」の数値を表示しています。G.P.A.（Grade Point Average）とは、学生の履修登録科目の１単位あたりの評点平均値を指します。これは、欧米で広く用いられている世界標準的な成績評価方法で、本学では給付奨学金や学業奨励賞の候補者選出、学位授与式の総代選出、本学大学院進学などの際に活用されています。

履修した科目には、A、B、C、XX などの成績が与えられます。これらの評価を数値化して１単位ごとの平均を算出したものが G.P.A. です。

本学では、各評価に与えられる評点は次のとおりです。

本学評価	評点
AA	4.0
A	3.0
B	2.0
C	1.0
XX(不合格)	0.0
X （欠席）	0.0

上記の評点を次の計算式に当てはめて G.P.A. を算出します。

$$\text{G.P.A.}=\frac{(\text{AA の単位数}\times 4+\text{A の単位数}\times 3+\text{B の単位数}\times 2+\text{C の単位数}\times 1)}{(\text{AA の単位数}+\text{A の単位数}+\text{B の単位数}+\text{C の単位数}+\text{XX の単位数}+\text{X の単位数})}$$

※理工・社会情報学部は、教職課程科目を G.P.A. 算出の対象外とします。

※「情報スキルⅠ」は、G.P.A. 算出の対象外とします。

成績通知

学生の成績評価は、３月上旬および９月中旬に学生ポータルメニュー「成績通知書」にてお知らせします。学外 PC から閲覧する場合は、あらかじめ学内で Secure Matrix パスワードの登録を済ませておく必要があります。（詳細は、学生ポータルメニュー「学外から成績通知書を閲覧する手順」を参照してください。）**成績通知書は各自で印刷し、修得した科目とその評価を確認してください。**

成績調査

成績評価に疑問がある場合は、「成績調査」を申請することができます。これは、科目担当者に対して、安易に再考・変更を求めるものではありません。成績に疑問を持つ**明確な根拠がある場合にのみ**申請してください。

大学が指定する調査期間中に、成績通知書持参のうえ所属キャンパスの学務担当窓口（巻末参照）へ申し出てください。調査期間は、「学生ポータル」でお知らせします。

電話での問い合わせ、期間外の申し出には一切応じません。

Ⅷ．進級および卒業について

進　級

進級については、所属する学部で条件が異なるので、「Ⅳ．学部履修要項」の各学部、学科の**進級条件**の項を参照してください。進級するには、１年間をとおして在学することが必要です。

休学をして復学した場合は、休学前と同一学年になります。

卒　業

⑴　本学に４年以上在学し（休学期間を除く）、各学部で定められた、卒業に必要な単位を修得した者は、卒業が認められ学士の学位が授与されます。

⑵　卒業発表は３月上旬に行います。卒業の可否は必ず本人が確認してください。電話による問い合わせには一切応じておりません。

９月卒業

４年生で留年した場合、不足する科目や単位数により、次年度の前期で単位を修得し、卒業要件単位を満たすことができれば、願い出によって９月に卒業できる制度があります。

⑴　希望者は、学務担当窓口（巻末参照）で相談し、**「９月卒業希望届」**を定められた期間に提出してください。

⑵　期限を過ぎてからの提出は、一切認められません。

⑶　学費については、本学の財務部資金グループに問い合わせてください。

卒業延期制度

４年次に在学する学生が卒業要件を満たし、具体的な勉学継続計画、国家試験受験等明確な理由、目的を有したうえで、在学期間を延長して学修継続を希望する場合、卒業の延期を認めて学修継続の機会を与える制度です。

⑴　希望者は、学務担当窓口（巻末参照）で相談し、**「卒業延期許可願」、「学修計画書」、「誓約書・保証書」**を定められた期間に提出してください。

⑵　期限を過ぎてからの提出は、一切認められません。

⑶　学費については、本学の財務部資金グループに問い合わせてください。

Ⅸ．学籍について

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>内　　容</th><th>取扱・問い合わせ窓口</th></tr>
<tr><td colspan="2">修業年限</td><td>本学の教育課程を修了するために必要な最低修業年限は、４年です。</td><td>学則第35条参照</td></tr>
<tr><td colspan="2">在学年限</td><td>①　本学に在学できる期間は、休学期間を除き８年です。
②　２年次編入学生、２年次転部または転学部･転学科生の在学年限は６年です。
③　３年次編入学生、３年次転部または転学部･転学科生の在学年限は４年です。
④　再入学者の在学年限は、退学以前を加えて８年です。
⑤　編入学、転部または転学部・転学科をした再入学者の在学年限は、退学以前を加え、編入学、転部または転学部・転学科学生の在学年限を越えることはできません。</td><td>学則第36条参照</td></tr>
<tr><td rowspan="3">休学</td><td>休学期間</td><td>①　休学期間は、通年（１年間）、前期、後期の３種類があり、１年または１学期ごとに更新しなければなりません。
②　休学期間は連続２年までとしますが、特にやむを得ない場合は、審議をしたうえで、連続して３年まで認めることがあります。
③　休学期間は通算して３年を超えることはできません。
④　休学期間は在学期間に算入しません。</td><td>学則第29・36条参照</td></tr>
<tr><td>休学をするには</td><td>病気その他やむを得ない理由で休学しようとする学生は、以下の手続きを行い、教授会の承認を得なければなりません。
①「休学願」（大学所定用紙）（保証人連署）の提出
②　学生証の提示
③　休学費の納入
④「理由書（書式は任意）」休学期間が通算であっても連続であっても、２年を超えてさらに休学を願い出る場合のみ提出
※休学は原級（元の学年）にとどめるので、通年または半期休学をした場合、進級することができません。進級するには、４月から翌年３月まで１年間とおして在学することが必要ですのでご注意ください。</td><td>（手続き）
⇒学務担当窓口
（巻末参照）
学則第28条参照

（休学費）
⇒財務部資金グループ
（青山キャンパス）
学則　別記学費納付に関する取扱い８参照</td></tr>
<tr><td>休学願の提出期限</td><td>「休学願」の提出期限は次のとおりです。
<table><tr><th></th><th>休学期間</th><th>提出期限</th></tr><tr><td>通年休学</td><td>４月１日～翌年３月31日</td><td>６月末日</td></tr><tr><td>前期休学</td><td>４月１日～９月30日</td><td>６月末日</td></tr><tr><td>後期休学</td><td>10月１日～翌年３月31日</td><td>12月末日</td></tr></table></td><td>⇒学務担当窓口
（巻末参照）</td></tr>
<tr><td>復学</td><td>復学をするには</td><td>休学者が復学を希望する場合、大学所定の「復学願」を提出し、教授会の承認を経て復学することができます。休学期間満了の約２ヶ月前に、学務部教務課（相模原キャンパスは学務グループ）から次期の復学・休学の継続などについての問い合わせをします。なお、復学が承認された場合の年次は、休学の種類にかかわらず、休学前と同一年次となります。</td><td>⇒学務担当窓口
（巻末参照）

学則第30条参照</td></tr>
</table>

		内　　容	取扱・問い合わせ窓口
退学	退学の期日	退学の期日は、学費の納付期間によって異なります。前期分まで納付している場合は９月30日付、後期分まで納付している場合は３月31日付となります。	学則　別記学費納付に関する取扱い10参照
	退学をするには	病気その他やむを得ない事情で退学を希望する場合は、以下の手続きを行い、教授会の承認を得なければなりません。 ①「退学願」（大学所定用紙）（保証人連署）の提出 ②　学生証の提出 ③　退学期日を含む学期までの学費の納入	⇒学務担当窓口 （巻末参照） 学則第32条参照
再入学		退学した後に再入学を願い出た場合、事情を審査のうえ相当年次に再入学を許可することがあります。願い出をするためには以下のような条件があります。 ①　再入学の願い出ができる期間は、原則として退学した日から２年以内とし、「再入学願」は１月中旬～１月末日（要問い合わせ）の間に学務担当窓口に提出してください。 ②　再入学できる時期は、学年の初めとします。	⇒学務担当窓口 （巻末参照） 学則第27条参照
二重学籍	二重学籍の禁止	本学学生は、他大学および本学他学部または他学科と併せて在学することはできません。	学則第27条の２参照
除籍		学費を期限内に納入しない、履修登録をしない、などの場合は修学の意思がないものとして除籍され、本学学生としての身分を失うことになります。なお、除籍者に対しては、以後、在学中の修得単位・成績の証明などは一切行ないません。また、再入学の資格も失うことになります。	学則第34条参照
転部・転学部・転学科	転部とは	同一学部（学科）内で昼間部または第二部に移ることです。転部を願い出た場合には、選考の上、当該学部学科への転部を許可することがあります。許可された場合、転部届の提出が必要となります。	⇒学務担当窓口 （巻末参照） 学則第26条参照 （詳細については、広報入試センター（青山キャンパス）から、10月初旬発行予定の「試験要項」を確認してください。）
	転学部とは	文学部、教育人間科学部、法学部、国際政治経済学部へ学部を移ることです。転学部を願い出た場合には、選考の上、当該学部への転学部を許可することがあります。許可された場合、転学部届の提出が必要となります。	
	転学科とは	同一学部内で学科を移ることです。文学部の学生で転学科を願い出た場合には、選考の上、文学部の他学科への転学科を許可することがあります。また、教育人間科学部の学生が転学科を願い出た場合には、選考の上、教育人間科学部の他学科への転学科を許可することがあります。許可された場合、転学科届の提出が必要となります。	

Ⅹ．教職課程（教員免許状・各種資格）について

１．本学で取得可能な教育職員免許状

〔取得可能な免許状の種類・教科（学部・学科別）〕

本学で取得可能な免許状の種類・教科は次のとおりです。

（2012年度入学者）

学　部	学　科	免許状の種類・教科
文学部	英米文学科	中 学 校教諭１種免許状（英語） 高等学校教諭１種免許状（英語）
	フランス文学科	中 学 校教諭１種免許状（フランス語） 高等学校教諭１種免許状（フランス語）
	日本文学科	中 学 校教諭１種免許状（国語） 高等学校教諭１種免許状（国語）
	史学科	中 学 校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（地理歴史）
教育人間科学部	教育学科	幼 稚 園教諭１種免許状 小 学 校教諭１種免許状 中 学 校教諭１種免許状（国語・社会・英語） 高等学校教諭１種免許状 （国語・地理歴史・公民・英語）
理工学部	物理・数理学科	中 学 校教諭１種免許状（理科・数学） 高等学校教諭１種免許状（理科・数学）
	化学・生命科学科	中 学 校教諭１種免許状（理科） 高等学校教諭１種免許状（理科）
	電気電子工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	機械創造工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	経営システム工学科	高等学校教諭１種免許状（情報）
	情報テクノロジー学科	高等学校教諭１種免許状（情報）
社会情報学部	社会情報学科	中 学 校教諭１種免許状（数学） 高等学校教諭１種免許状（数学・情報）

（2009～2011年度入学者）

学　　部	学　　科	免許状の種類・教科
文学部	英米文学科	中 学 校教諭１種免許状（英語） 高等学校教諭１種免許状（英語）
	フランス文学科	中 学 校教諭１種免許状（フランス語） 高等学校教諭１種免許状（フランス語）
	日本文学科	中 学 校教諭１種免許状（国語） 高等学校教諭１種免許状（国語）
	史学科	中 学 校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（地理歴史）
教育人間科学部	教育学科	幼 稚 園教諭１種免許状 小 学 校教諭１種免許状 中 学 校教諭１種免許状（国語・社会・英語） 高等学校教諭１種免許状 （国語・地理歴史・公民・英語）
経済学部	経済学科	中 学 校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（地理歴史※１・公民）
法学部	法学科	中 学 校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（公民）
経営学部	経営学科	高等学校教諭１種免許状（商業）※２
理工学部	物理・数理学科	中 学 校教諭１種免許状（理科・数学） 高等学校教諭１種免許状（理科・数学）
	化学・生命科学科	中 学 校教諭１種免許状（理科） 高等学校教諭１種免許状（理科）
	電気電子工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	機械創造工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	経営システム工学科	高等学校教諭１種免許状（情報）
	情報テクノロジー学科	高等学校教諭１種免許状（情報）
社会情報学部	社会情報学科	中 学 校教諭１種免許状（数学） 高等学校教諭１種免許状（数学・情報）
文学部第二部	英米文学科	中 学 校教諭１種免許状（英語）※１ 高等学校教諭１種免許状（英語）※１

※１　2009年度・2010年度入学者のみ
※２　2009年度入学者のみ

（2005～2008年度入学者）

学　　部	学　　科	免許状の種類・教科
文学部	教育学科	幼 稚 園教諭１種免許状 小 学 校教諭１種免許状 中 学 校教諭１種免許状（国語・社会・英語） 高等学校教諭１種免許状 （国語・地理歴史・公民・英語）
	英米文学科	中 学 校教諭１種免許状（英語） 高等学校教諭１種免許状（英語）
	フランス文学科	中 学 校教諭１種免許状（フランス語） 高等学校教諭１種免許状（フランス語）
	日本文学科	中 学 校教諭１種免許状（国語） 高等学校教諭１種免許状（国語）
	史学科	中 学 校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（地理歴史）
経済学部	経済学科	中 学 校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（地理歴史・公民）
法学部	法学科	中 学 校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（公民）
経営学部	経営学科	高等学校教諭１種免許状（商業）
理工学部	物理・数理学科	中 学 校教諭１種免許状（理科・数学） 高等学校教諭１種免許状（理科・数学）
	化学・生命科学科	中 学 校教諭１種免許状（理科） 高等学校教諭１種免許状（理科）
	電気電子工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	機械創造工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	経営システム工学科	高等学校教諭１種免許状（情報）
	情報テクノロジー学科	高等学校教諭１種免許状（情報）
文学部第二部	教育学科	幼 稚 園教諭１種免許状 小 学 校教諭１種免許状 中 学 校教諭１種免許状（国語・社会） 高等学校教諭１種免許状（国語・地理歴史・公民）
	英米文学科	中 学 校教諭１種免許状（英語） 高等学校教諭１種免許状（英語）
経済学部第二部	経済学科	中 学 校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（地理歴史・公民）
経営学部第二部	経営学科	高等学校教諭１種免許状（商業）

（2004年度以前入学者は、入学年度の「教職課程履修の手引」を参照してください。）

2．教員免許状の取得希望申請について

2006年度以降入学者の申請方法

教員免許状の取得を希望する者は、入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』を熟読の上、前期履修登録期間に Web の履修登録画面から**「教職・各種資格申請」**の画面を開き、登録を行ってください。

この申請は、毎年度前期履修登録期間に必ず行うものであり、在学中における申請内容の変更・取消、またはその有無にかかわらず、教職履修申請継続の意思を持っている場合には、毎年度申請を更新してください。申請内容は毎年度末にクリアされます。

2005年度以前入学者の申請方法

教員免許状の取得を希望する者は、入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』を熟読の上、Web の履修登録画面から**「教職・各種資格申請」**の画面を開き、登録を行ってください。

なお、この申請は、変更・取消がない限り在学期間中に一度行えばよく、毎年再申請する必要はありません。

3．教職課程料の納入について

2006年度以降入学者の教職課程料の納入方法

教員免許状の申請登録（Web）をすると、申請した年度ごとに後期学費納入時に教職課程料を納入することになります。たとえ教職課程科目の履修登録をしなくても、**教員免許状の申請登録によって教職課程料が後期学費に加算されます**ので、各自の責任において免許教科を確認し、熟考の上申請をしてください。また、申請登録（Web）の取消しは、前期履修登録期間内しか行えません。なお、一旦納入された教職課程料は、いかなる理由があっても返還しません。

※学費を前期納付時に一括納付した者については、教職課程料の納付時期は 9 月となります。

2005年度以前入学者の教職課程料の納入方法

教員免許状の申請登録をすると、後期学費納入時に**教職課程料**を納入することになります。たとえ教職課程科目の履修登録をしなくても、**教員免許状の申請登録によって教職課程料が後期学費に加算されます**ので、各自の責任において免許教科を確認し、熟考の上申請をしてください。また、申請を取り消す場合には、最初に申請を行った年度に限り、前期履修登録期間内に Web で修正（取消）を行えば、教職課程料は徴収されません。教職課程料は在学中に一度納入すればよく、毎年徴収されることはありません。また、一旦納入された教職課程料は、いかなる理由があっても返還しません。

４．教職課程履修について

履修上の注意

教職課程の履修は、１年次の年度初頭に開催される**教職課程オリエンテーション**で配付される入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』に従ってください。また、履修方法・科目名称の変更などについては、年度初頭に開催される２年次生対象**教職課程オリエンテーション**と３年次生および４年次生対象**教育実習説明会**で資料を配付しますので、必ず確認してください。

教職課程関係の**オリエンテーション･説明会**および**手続**などの詳細については、『**学年初頭行事**』(学生ポータルに掲載)、教職課程掲示板で確認してください。

オリエンテーション・説明会に欠席したり、指定期間内に**介護等体験登録・教育実習予備登録・教員免許状大学一括申請**などの手続を行わなかった場合、卒業時までに教員免許状を取得できない事態に陥ることがありますので、遺漏のないよう自己管理してください。

履修順序のある科目

教員免許状取得のための科目には、次ページ以下のとおり**「履修順序」**が定められたものがあります。詳細については、『**教職課程履修の手引**』の該当する学部･学科別の免許教科の項を併せて参照してください。

また、学部・学科別の取得可能な教員免許状の校種・教科は、**「１．本学で取得可能な教育職員免許状」**の表のとおりです。

〔教員免許状取得に必要な科目の履修順序〕

（2010年度以降入学者に適用）

幼稚園教諭免許状取得希望者

第１段階		第２段階		第３段階
			第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）		（４年次配置科目）
教育思想概説 教育心理学概説 教育制度概説	教職論	保育内容教育法を３教科以上	幼児教育実習Ⅰ	幼児教育実習Ⅱ 教職実践演習（幼）

小学校教諭免許状取得希望者

第１段階		第２段階		第３段階
			第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）		（４年次配置科目）
教育思想概説 教育心理学概説 教育制度概説	教職論	初等教科教育法を４教科以上	初等教育実習Ⅰ	初等教育実習Ⅱ 教職実践演習（小）

中学校・高等学校教諭免許状取得希望者（第一部・第二部）

第１段階		第２段階	第３段階
		第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）	（４年次配置科目）
教育原理Ａ （教育思想概説） 教育心理 （教育心理学概説） 教育原理Ｂ （教育制度概説）	教職論	中等教育実習Ⅰ 国語科教育法 　又は　国語科教材論 社会科教育法 　又は　社会科教材論 地理歴史科教育法 　又は　地理歴史科教材論 公民科教育法 　又は　公民科教材論 英語科教育法 　又は　英語科教育法特論 フランス語科教育法 （フランス語教授法Ⅰ） 　又は　フランス語科教育法特論 理科教育法Ⅰ及び理科教育法Ⅱ 　又は　理科教材論 数学科教育法 　又は　数学科教育法特論 工業科教育法 情報科教育法 　又は　情報科教育法特論	中等教育実習ⅡＡ 中等教育実習ⅡＢ 教職実践演習（中・高）

・**「教育原理Ａ」「教育心理」「教育原理Ｂ」は２年次までしか履修できません。**

・第二部英米文学科生が「中等教育実習Ⅰ」、「英語科教育法」および「英語科教育法特論」を履修するには、第１段階の授業科目に合格している事に加えて**「教職課程 英語能力認定制度」**に合格していることを条件としています。

・**「教職課程 英語能力認定制度」認定申請手続**の詳細については、11月上旬より**教職課程掲示板（９号館１階）**で周知します。

（2009年度入学者に適用）

幼稚園教諭免許状取得希望者

第１段階		第２段階		第３段階
			第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）		（４年次配置科目）
教育思想概説 教育心理学概説 教育制度概説	教職論	保育内容教育法を３教科以上	幼児教育実習Ⅰ	幼児教育実習Ⅱ

小学校教諭免許状取得希望者

第１段階		第２段階		第３段階
			第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）		（４年次配置科目）
教育思想概説 教育心理学概説 教育制度概説	教職論	初等教科教育法を４教科以上	初等教育実習Ⅰ	初等教育実習Ⅱ

中学校・高等学校教諭免許状取得希望者（第一部・第二部）

第１段階		第２段階	第３段階
		第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）	（４年次配置科目）
教育原理Ａ （教育思想概説） 教育心理 （教育心理学概説） 教育原理Ｂ （教育制度概説）	教職論	中等教育実習Ⅰ 国語科教育法 　又は　国語科教材論 社会科教育法 　又は　社会科教材論 地理歴史科教育法 　又は　地理歴史科教材論 公民科教育法 　又は　公民科教材論 英語科教育法（英語教授法） 　又は　英語科教育法特論 フランス語科教育法 （フランス語教授法Ⅰ） 　又は　フランス語科教育法特論 商業科教育法 理科教育法Ⅰ及び理科教育法Ⅱ 　又は　理科教材論 数学科教育法 　又は　数学科教育法特論 工業科教育法 情報科教育法 　又は　情報科教育法特論	中等教育実習ⅡＡ 中等教育実習ⅡＢ

・**「教育原理 A」「教育心理」「教育原理 B」は 2 年次までしか履修できません。**
・第二部英米文学科生が「中等教育実習Ⅰ」、「英語科教育法」および「英語科教育法特論」を履修するには、第 1 段階の授業科目に合格している事に加えて**「教職課程 英語能力認定制度」**に合格していることを条件としています。
・**「教職課程 英語能力認定制度」認定申請手続**の詳細については、11月上旬より**教職課程掲示板（ 9 号館 1 階）**で周知します。

（2005～2008年度入学者に適用）

幼稚園教諭免許状取得希望者（第一部）

第 1 段階		第 2 段階		第 3 段階
			第 1 段階に合格した場合のみ履修できる	第 2 段階に合格した場合のみ履修できる
（1 年次配置科目）	（2 年次配置科目）	（3 年次配置科目）		（4 年次配置科目）
教育学概論 教育心理学概論	現代教師論	保育内容研究を 3 教科以上	幼児教育実習Ⅰ	幼児教育実習Ⅱ

幼稚園教諭免許状取得希望者（第二部）

第 1 段階		第 2 段階		第 3 段階
			第 1 段階に合格した場合のみ履修できる	第 2 段階に合格した場合のみ履修できる
（1 年次配置科目）	（2 年次配置科目）	（2 年次配置科目）	（3 年次配置科目）	（4 年次配置科目）
教育学概論 教育心理学概論	現代教師論	保育内容研究を 3 教科以上	幼児教育実習Ⅰ	幼児教育実習Ⅱ

小学校教諭免許状取得希望者（第一部）

第 1 段階		第 2 段階		第 3 段階
			第 1 段階に合格した場合のみ履修できる	第 2 段階に合格した場合のみ履修できる
（1 年次配置科目）	（2 年次配置科目）	（3 年次配置科目）		（4 年次配置科目）
教育学概論 教育心理学概論	現代教師論	教材研究を 4 教科以上	初等教育実習Ⅰ	初等教育実習Ⅱ

小学校教諭免許状取得希望者（第二部）

第 1 段階		第 2 段階		第 3 段階
			第 1 段階に合格した場合のみ履修できる	第 2 段階に合格した場合のみ履修できる
（1 年次配置科目）	（2 年次配置科目）	（2 年次配置科目）	（3 年次配置科目）	（4 年次配置科目）
教育学概論 教育心理学概論	現代教師論	教材研究を 4 教科以上	初等教育実習Ⅰ	初等教育実習Ⅱ

中学校・高等学校教諭免許状取得希望者（第一部・第二部）

第１段階		第２段階	第３段階
		第１段階に合格した 場合のみ履修できる	第２段階に合格した 場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）	（４年次配置科目）
教育原理 （教育学概論） 教育心理 （教育心理学概論）	現代教師論	中等教育実習Ⅰ 国語科教育法 　又は　国語科教材論 社会科教育法 　又は　社会科教材論 地理歴史科教育法 　又は　地理歴史科教材論 公民科教育法 　又は　公民科教材論 英語科教育法（英語教授法） 　又は　英語科教育法特論 フランス語科教育法 （フランス語教授法） 商業科教育法 理科教育法Ⅰ及び理科教育法Ⅱ 　又は　理科教材論 数学科教育法 　又は　数学科教育法特論 工業科教育法 情報科教育法 　又は　情報科教育法特論	中等教育実習ⅡA 中等教育実習ⅡB

・**「教育原理」「教育心理」は２年次までしか履修できません。**
・2005年度入学者の２年次配置科目「教師論」は名称変更により「現代教師論」になりました。2005年度入学者は「現代教師論」を履修してください。
・第二部英米文学科生が「中等教育実習Ⅰ」「英語科教育法」および「英語科教育法特論」を履修するには、第１段階の授業科目に合格している事に加えて**「教職課程 英語能力認定制度」**（旧称 T.E.T.）に合格していることを条件としています。
・**「教職課程 英語能力認定制度」**（旧称 T.E.T.）についての詳細は、**教職課程掲示板（９号館１階）**を参照してください。
・**「教職課程 英語能力認定制度」認定申請手続**の詳細については、11月上旬より**教職課程掲示板（９号館１階）**で周知します。
（2004年度以前入学者は、入学年度の「教育課程履修の手引」を参照してください。）

5．教職課程科目配置表

文学部
教育人間科学部
理工学部
社会情報学部

（2012年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	教職論	2	2	
	教育原理Ａ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育心理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育原理Ｂ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育課程編成法	2	3・4	
	国語科教育法	4	3	
	国語科教材論	4	3	
	社会科教育法	4	3	
	社会科教材論	4	3	
	地理歴史科教育法	2	3	
	地理歴史科教材論	2	3	
	公民科教育法	2	3	
	公民科教材論	2	3	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	フランス語科教育法	4	3	
	フランス語科教育法特論	4	3	
	理科教育法Ⅰ	2	3	
	理科教育法Ⅱ	2	3	
	理科教材論	4	3	
	数学科教育法	4	3	
	数学科教育法特論	4	3	
	工業科教育法	4	3	
	情報科教育法	2	3	
	情報科教育法特論	2	3	
	道徳教育指導法	2	3・4	
	特別活動論	2	3・4	
	教育方法の研究	2	3・4	
	生徒・進路指導論	2	3・4	
	教育相談	2	3・4	
	幼児教育実習Ⅰ	1	3	
	幼児教育実習Ⅱ	4	4	
	初等教育実習Ⅰ	1	3	
	初等教育実習Ⅱ	4	4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習ⅡＡ	2	4	
	中等教育実習ⅡＢ	2	4	
	教職実践演習（幼）	2	4	
	教職実践演習（小）	2	4	
	教職実践演習（中・高）	2	4	

文学部
教育人間科学部
経済学部
法学部
理工学部
社会情報学部

（2010～2011年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	教職論	2	2	
	教育原理Ａ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育心理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育原理Ｂ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育課程編成法	2	3・4	
	国語科教育法	4	3	
	国語科教材論	4	3	
	社会科教育法	4	3	
	社会科教材論	4	3	
	地理歴史科教育法	2	3	
	地理歴史科教材論	2	3	
	公民科教育法	2	3	
	公民科教材論	2	3	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	フランス語科教育法	4	3	
	フランス語科教育法特論	4	3	
	理科教育法Ⅰ	2	3	
	理科教育法Ⅱ	2	3	
	理科教材論	4	3	
	数学科教育法	4	3	
	数学科教育法特論	4	3	
	工業科教育法	4	3	
	情報科教育法	2	3	
	情報科教育法特論	2	3	
	道徳教育指導法	2	3・4	
	特別活動論	2	3・4	
	教育方法の研究	2	3・4	
	生徒・進路指導論	2	3・4	
	教育相談	2	3・4	
	幼児教育実習Ⅰ	1	3	
	幼児教育実習Ⅱ	4	4	
	初等教育実習Ⅰ	1	3	
	初等教育実習Ⅱ	4	4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習ⅡＡ	2	4	
	中等教育実習ⅡＢ	2	4	
	教職実践演習（幼）	2	4	
	教職実践演習（小）	2	4	
	教職実践演習（中・高）	2	4	

文学部
教育人間科学部
経済学部
法学部
経営学部
理工学部
社会情報学部

（2009年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	教職論	2	2	
	教育原理Ａ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育心理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育原理Ｂ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育課程編成法	2	3・4	
	国語科教育法	4	3	
	国語科教材論	4	3	
	社会科教育法	4	3	
	社会科教材論	4	3	
	地理歴史科教育法	2	3	
	地理歴史科教材論	2	3	
	公民科教育法	2	3	
	公民科教材論	2	3	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	フランス語科教育法	4	3	
	フランス語科教育法特論	4	3	
	商業科教育法	4	3	
	理科教育法Ⅰ	2	3	
	理科教育法Ⅱ	2	3	
	理科教材論	4	3	
	数学科教育法	4	3	
	数学科教育法特論	4	3	
	工業科教育法	4	3	
	情報科教育法	2	3	
	情報科教育法特論	2	3	
	道徳教育指導法	2	3・4	
	特別活動論	2	3・4	
	教育方法の研究	2	3・4	
	生徒・進路指導論	2	3・4	
	教育相談	2	3・4	
	総合演習	2	3・4	
	幼児教育実習Ⅰ	1	3	
	幼児教育実習Ⅱ	4	4	
	初等教育実習Ⅰ	1	3	
	初等教育実習Ⅱ	4	4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習ⅡＡ	2	4	
	中等教育実習ⅡＢ	2	4	

文学部
経済学部
法学部
経営学部
理工学部

（2005～2008年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。
（2004年度以前入学者は、入学年度の「教職課程履修の手引」を参照してください。）

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	現代教師論	2	2	
	教育原理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育心理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	国語科教育法	4	3	
	国語科教材論	4	3	
	社会科教育法	4	3	
	社会科教材論	4	3	
	地理歴史科教育法	2	3	
	地理歴史科教材論	2	3	
	公民科教育法	2	3	
	公民科教材論	2	3	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	フランス語科教育法	4	3	
	商業科教育法	4	3	
	理科教育法Ⅰ	2	3	
	理科教育法Ⅱ	2	3	
	理科教材論	4	3	
	数学科教育法	4	3	
	数学科教育法特論	4	3	
	工業科教育法	4	3	
	情報科教育法	2	3	
	情報科教育法特論	2	3	
	道徳教育の研究	2	3・4	
	特別活動	2	3・4	
	教育方法の研究	2	3・4	
	生徒指導（進路指導を含む）	2	3・4	
	教育相談	2	3・4	
	総合演習	2	3・4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習ⅡA	2	4	
	中等教育実習ⅡB	2	4	

文学部第二部

（2010年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	教職論	2	2	
	教育原理Ａ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育心理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育原理Ｂ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育課程編成法	2	3・4	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	道徳教育指導法	2	3・4	
	特別活動論	2	2・3・4	
	教育方法の研究	2	2・3・4	
	生徒・進路指導論	2	2・3・4	
	教育相談	2	2・3・4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習ⅡＡ	2	4	
	中等教育実習ⅡＢ	2	4	
	教職実践演習（中・高）	2	4	

文学部第二部

（2009年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	教職論	2	2	
	教育原理Ａ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育心理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育原理Ｂ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育課程編成法	2	3・4	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	道徳教育指導法	2	3・4	
	特別活動論	2	2・3・4	
	教育方法の研究	2	2・3・4	
	生徒・進路指導論	2	2・3・4	
	教育相談	2	2・3・4	
	総合演習	2	3・4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習ⅡＡ	2	4	
	中等教育実習ⅡＢ	2	4	

文学部第二部
経済学部第二部
経営学部第二部

（2005～2008年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。
（2004年度以前入学者は、入学年度の「教職課程履修の手引」を参照してください。）

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	現代教師論	2	2	
	教育原理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育心理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	国語科教育法	4	3	
	国語科教材論	4	3	
	社会科教育法	4	3	
	社会科教材論	4	3	
	地理歴史科教育法	2	3	
	地理歴史科教材論	2	3	
	公民科教育法	2	3	
	公民科教材論	2	3	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	商業科教育法	4	3	
	道徳教育の研究	2	3・4	
	特別活動	2	2・3・4	
	教育方法の研究	2	2・3・4	
	生徒指導（進路指導を含む）	2	2・3・4	
	教育相談	2	2・3・4	
	総合演習	2	3・4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習ⅡA	2	4	
	中等教育実習ⅡB	2	4	

６．本学で取得可能な資格

〔取得可能な資格の種類（学部・学科別）〕

本学で取得可能な資格の種類は次のとおりです。

（2005年度以降入学者）

学　部	学　科	資 格 の 種 類
文学部	教育学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
	英米文学科	
	フランス文学科	
	日本文学科	
	史学科	
	心理学科	司書・社会教育主事・学芸員
	比較芸術学科	
教育人間科学部	教育学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
	心理学科	司書・社会教育主事・学芸員
経済学部	経済学科	司書教諭※１・司書・社会教育主事・学芸員
	現代経済デザイン学科	司書・社会教育主事・学芸員
法学部	法学科	司書教諭※１・司書・社会教育主事・学芸員
経営学部	経営学科	司書教諭※２・司書・社会教育主事・学芸員
	マーケティング学科	司書・社会教育主事・学芸員
国際政治経済学部	国際政治学科	司書・社会教育主事・学芸員
	国際経済学科	
	国際コミュニケーション学科	
総合文化政策学部	総合文化政策学科	司書・社会教育主事・学芸員
理工学部	物理・数理学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
	化学・生命科学科	
	電気電子工学科	
	機械創造工学科	
	経営システム工学科	
	情報テクノロジー学科	
社会情報学部	社会情報学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
文学部第二部	教育学科	司書教諭・社会教育主事
	英米文学科	
経済学部第二部	経済学科	
経営学部第二部	経営学科	

※１　2012年度以降の入学生を除く
※２　2010年度以降の入学生を除く

7．各種資格の取得希望申請について

2006年度以降入学者の申請方法

各種資格（**司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員**）の取得を希望する者は、入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』を熟読の上、前期履修登録期間に、Web の履修登録画面から**「教職・各種資格申請」**の画面を開き、登録を行ってください。

この申請は、毎年度前期履修登録期間に必ず行うものであり、在学中における申請内容の変更・取消、またはその有無にかかわらず、継続の意思を持っている場合には、毎年度申請を更新してください。申請内容は毎年度末にクリアされます。

2005年度以前入学者の申請方法

各種資格（**司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員**）の取得を希望する者は、入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』を熟読の上、Web の履修登録画面から**「教職・各種資格申請」**の画面を開き、登録を行ってください。

なお、この申請は、変更・取消がない限り在学期間中に一度行えばよく、毎年申請する必要はありません。

8．資格課程料の納入方法

2006年度以降入学者の納入方法

各種資格（司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員）の申請登録（Web）をすると、それぞれの資格について申請した年度ごとに後期学費納入時に資格課程料を納入することになります。たとえ必要科目の履修登録をしなくても、**各種資格の申請登録によって資格課程料が後期学費に加算されます**ので、熟考の上申請をしてください。また、申請登録（Web）の取消しは、前期履修登録期間内しか行えません。なお、一旦納入された資格課程料は、いかなる理由があっても返還しません。

※学費を前期納付時に一括納付した者については、資格課程料の納付時期は 9 月となります。

2005年度以前入学者の納入方法

① **司書教諭**：**「教職・各種資格申請」**で司書教諭資格の申請登録をし、**「学校経営と学校図書館」**を履修登録すると、司書教諭の**資格課程料**が後期学費で徴収されます。

② **司書**：**「教職・各種資格申請」**で司書資格の申請登録をし、**「図書館情報学概論」**を履修登録すると、司書の**資格課程料**が後期学費で徴収されます。

③ **社会教育主事**：**「教職・各種資格申請」**で社会教育主事資格の申請登録をし、**「生涯学習概論」**を履修登録すると、社会教育主事の**資格課程料**が後期学費で徴収されます。

④ **学芸員**：**「教職・各種資格申請」**で学芸員資格の申請登録をし、**「博物館実習Ⅰ」**を履修登録すると、学芸員の**資格課程料**が後期学費で徴収されます。

①～④の各種資格課程料は在学中に一度納入すればよく、毎年徴収されることはありません。

また、一旦納入された資格課程料は、いかなる理由があっても返還しません。

9．各種資格取得に必要な科目の履修について

履修上の注意

各種資格取得に必要な科目の履修は、１年次の年度初頭に開催される**各種資格オリエンテーション**で配付される入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』に従ってください（第二部は、オリエンテーションはありませんので、教職課程課窓口で各種資格申請希望者に『**教職課程履修の手引**』を配付します）。

また、履修方法・科目名称などの変更があった場合には、年度初頭に開催される２年次生対象の**司書・司書教諭・社会教育主事オリエンテーション、学芸員オリエンテーション**、２年次生対象**「博物館実習Ⅰ」予備登録説明会**（学芸員資格取得希望者対象）などで資料を配付しますので、必ず確認してください。

各種資格関係の**オリエンテーション･説明会**および**手続**等の詳細については、『**学年初頭行事**』（学生ポータルに掲載）、教職課程掲示板で確認してください。

オリエンテーション・説明会に欠席したり、指定期間内に**博物館実習予備登録・各種資格申請**などの手続を行わなかった場合、卒業時までに資格の取得ができない事態に陥ることがありますので、遺漏のないよう自己管理してください（但し、司書教諭資格の取得時期については、『**教職課程履修の手引**』を参照してください）。

履修順序のある科目

司書および**学芸員**資格取得のための科目には、**「履修順序」**が定められたものがあります。詳細については、『**教職課程履修の手引**』の**司書**および**学芸員**の項を参照してください。

また、学部・学科別の取得可能な資格の種類は、**「６.本学で取得可能な資格」**の表のとおりです。

〔司書資格取得に必要な科目の履修順序〕

（2012年度入学者）

①	②
２年次以降履修できる	第１段階の科目に合格した翌年度以降にのみ履修できる
（２年次配置科目）	（３・４年次配置科目）
図書館情報学概論	情報サービス論II 情報サービス論III メディア組織法II メディア組織法III

〔学芸員資格取得に必要な科目の履修順序〕

（2011年度以前入学者）

①	②
	①を履修し合格した場合のみ履修できる
（３年次配置科目）	（４年次配置科目）
博物館実習Ⅰ 博物館概論 博物館学各論	博物館実習II

・「博物館実習Ⅰ」および「博物館概論」は、３年次生しか履修できません。

・「博物館実習Ⅰ」は、実習設備等の諸事情により、受講者は30名までとします。また、２年次10月に博物館実習予備登録を受付け、３年次年度初頭に選抜試験を実施します。

・「博物館実習Ⅰ」説明会・予備登録の日程については、教職課程掲示板で確認して下さい。

（2012年度入学者）

①		②
2・3年次のみ履修できる	3年次のみ履修できる	①を履修し合格した者のみ履修できる
（2年次配置科目）	（3年次配置科目）	（4年次配置科目）
博物館概論 博物館経営論 博物館資料論	博物館実習Ⅰ	博物館実習Ⅱ

・**「博物館実習Ⅰ」は3年次生しか履修できません。**
・「博物館実習Ⅰ」は、実習設備等の諸事情により、受講者は30名までとします。また、2年次10月に博物館実習予備登録を受付け、3年次年度初頭に選抜試験を実施します。
・**「博物館実習Ⅰ」説明会・予備登録**の日程については、教職課程掲示板で確認してください。

履修順序のある科目の登録方法

① 「博物館実習Ⅰ」（3年次配置科目）は、**事前登録科目**です。2年次10月に**博物館実習予備登録**をし、3年次の年度初頭に実施される**選抜試験**に合格することにより**事前登録**されるので、履修登録期間中に個人が登録する必要はありません。履修登録期間中に、Webの履修登録画面で登録内容を確認してください。
② 「博物館実習Ⅱ」（4年次配置科目）は、Webの履修登録画面から各自が登録をしてください。履修順序の条件を満たしていない場合は、登録することができません。

Ⅺ．大学院について

本学には、より高度な専門知識と技術によって確かな実績と高い評価をうける「大学院」各研究科･専攻に加え、時代と社会の要請に応える高度専門職業人養成の「専門職大学院」があります。

学部から本学「大学院」「専門職大学院」へ進学を希望する学生は、詳細を下記に問い合わせてください。

《問い合わせ先》

大学院

進学希望研究科	問い合わせ先（担当部署）
文学研究科 教育人間科学研究科 経済学研究科 法学研究科 経営学研究科 国際政治経済学研究科 総合文化政策学研究科 社会情報学研究科社会情報学専攻ヒューマンイノベーションコース	大学院事務室 所在：青山キャンパス　総研ビル２階
理工学研究科 社会情報学研究科社会情報学専攻社会情報学コース	スチューデントセンター・学務グループ 所在：相模原キャンパス　Ｂ棟１階
国際マネジメント研究科	専門職大学院事務室 所在：青山キャンパス　５号館１階

専門職大学院

進学希望研究科	問い合わせ先（担当部署）
国際マネジメント研究科（ビジネススクール） 法務研究科（ロースクール） 会計プロフェッション研究科（アカウンティングスクール）	専門職大学院事務室 所在：青山キャンパス　５号館１階

＊青山学院大学ホームページ（http://www.aoyama.ac.jp）にも、情報が載っていますので、参照してください。

＊上記の内容に変更が生じた場合は、「学生ポータル」で伝達いたします。

大学院 入試情報一覧（2012年度実績）

		学内進学者選抜※1	内部推薦	外部推薦	一般(秋)	一般(春)	大学院科目特別履修資格試験※2
文学研究科	英米文学専攻＊1				○	○	○
	フランス文学・語学専攻＊1				○	○	○
	日本文学・日本語専攻＊1				○	○	
	史学専攻＊1				○	○	○
教育人間科学研究科	教育学専攻＊1				○	○	
	心理学専攻＊1 心理学コース 臨床心理学コース	○				○	
経済学研究科	経済学専攻＊1	○			○	○	○
	公共・地域マネジメント専攻＊1	○			○	○	○
法学研究科	私法専攻＊1		○	○	○	○	○
	公法専攻＊1						
	ビジネス法務専攻＊2				○(実施時期は要問い合わせ)		○
経営学研究科	経営学専攻＊1	○			○	○	○
国際政治経済学研究科	国際政治学専攻＊2	○			○	○	○
	国際経済学専攻＊2						
	国際コミュニケーション専攻＊2						
総合文化政策学研究科	文化創造マネジメント専攻＊2	○			○	○	○
	総合文化政策学専攻＊3	○			○	○	
理工学研究科	理工学専攻＊1 基礎科学コース 化学コース 機能物質創成コース 生命科学コース 電気電子工学コース 機械創造コース 知能情報コース マネジメントテクノロジーコース	○			○(実施時期は要問い合わせ)		
社会情報学研究科	社会情報学専攻＊1 社会情報学コース ヒューマンイノベーションコース	○			○(実施時期は要問い合わせ)		

専門職大学院 入試情報一覧（2012年度実績）

		指定学部推薦			自己推薦			一般入試			
		7月	1月	2月	7月	1月	2月	10月	11月	1月	2月
国際マネジメント研究科	国際マネジメントサイエンス専攻＊3							○			○
	国際マネジメント専攻＊4							○		○	○
法務研究科	法務専攻＊4							○			
会計プロフェッション研究科	会計プロフェッション専攻＊4	○	○	○	○	○	○	○			

＊1　博士前期課程
＊2　修士課程
＊3　博士課程（5年一貫制）
＊4　専門職学位課程

※1　経営学研究科・国際政治経済学研究科は「学内飛び級」制度も導入しています。
※2　「大学院科目特別履修資格試験」に合格した者は、学部4年次で大学院科目を履修できます。
経済学研究科・経営学研究科では「先取り科目履修方式」もあります。

学務担当窓口について

キャンパス	学務担当窓口	事務取扱時間	
相模原キャンパス	学務グループ （B棟１階 スチューデントセンター）	（月～金） 9：00～11：30 12：30～15：05 16：05～17：00	（土） 9：00～11：30
青山キャンパス	学務部　教務課 （８号館１階）	（月～金） 9：00～11：30 12：30～20：00	（土） 9：00～11：30 14：00～20：00
	学務部　教職課程課 （８号館１階）	（月・水・木） 9：00～11：30 12：30～16：00 （火・金） 9：00～11：30 12：30～16：00 17：00～20：00	（土） 9：00～11：30

＊上記の内容に変更が生じた場合は、「学生ポータル」で伝達いたします。

＊長期休業など、授業期間以外の事務取り扱いについては「学生ポータル」で伝達いたします。

窓口で取り扱う業務：

●履修・成績に関すること　●授業に関すること　●休学・退学などの学籍に関する願出

●教職課程（教員免許状）および各種資格（司書教諭・司書・学芸員・社会教育主事）取得に関すること

●証明書の交付

種　類	取扱窓口	手数料（1通につき）
在学証明書	証明書自動発行機 注1） 所属キャンパスの学務担当窓口	和文　200円 英文　400円
成績証明書		
卒業見込証明書		
本学が定めた様式以外の証明書 注2）	所属キャンパスの学務担当窓口	
学力に関する証明書	青山キャンパス教職課程課 相模原キャンパス教職課程担当窓口	和文　400円
免許状取得見込証明書		和文　200円
各種資格取得見込証明書		
健康診断証明書	証明書自動発行機 注1） 英文・指定用紙は保健管理センター	和文　200円 英文　400円

注１）在学生の証明書発行は、原則として自動発行機をお使いください。

注２）即日発行できない証明書があるので事前に取扱窓口で確認してください。

＊電話など、窓口以外での受付には原則として応じません。

＊提出物は期限を厳守してください。締切後の取り扱いは一切行いません。

地の塩、世の光
The Salt of the Earth,The Light of the World
青山学院スクール・モットー

学生番号

氏　　名